

平成22年度
仙台市
市民センター
事業概要

仙台市
中央市民センター

目 次

I 市民センターの概要

1	仙台市市民センター（公民館）の歴史	1
2	市民センター施設概要	4
3	平成22年度 仙台市市民センターの組織	9
4	市民センターの施設理念と運営方針	10
5	市民センター事業体系	14
6	平成22年度 市民センター事業の実施体制	17

II 拠点館事業 平成22年度 市直営事業実績

1	生涯学習事業研究	18
2	広域規模の学習支援	21
3	学校・地域連携推進	30
4	学習情報収集・提供事業	33
5	職員研修	35
6	仙台市公民館運営審議会	36

III 地区館事業 平成22年度 指定管理事業実績

青葉区

青葉区中央市民センター	38
柏木市民センター	40
北山市民センター	42
福沢市民センター	43
旭ヶ丘市民センター	45
三本松市民センター	47
片平市民センター	49
水の森市民センター	51
貝ヶ森市民センター	53
中山市民センター	55
折立市民センター	57
広瀬市民センター	59
宮城西市民センター	61
大沢市民センター	63
落合市民センター	65
吉成市民センター	67
木町通市民センター	69

宮城野区

中央市民センター	71
高砂市民センター	73
岩切市民センター	75
鶴ヶ谷市民センター	77
榴ヶ岡市民センター	79
東部市民センター	81
幸町市民センター	83
田子市民センター	85
福室市民センター	87

若林区

若林区中央市民センター	89
七郷市民センター	91
荒町市民センター	93
六郷市民センター	95
沖野市民センター	97
若林市民センター	99

太白区

太白区中央市民センター	101
生出市民センター	103
中田市民センター	105
西多賀市民センター	107
八本松市民センター	109
八木山市民センター	111
山田市民センター	113
茂庭台市民センター	115
東中田市民センター	117
柳生市民センター	119
秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター	121
富沢市民センター	123

泉 区

泉区中央市民センター	125
根白石市民センター	127
南光台市民センター	129
黒松市民センター	131
将監市民センター	133
加茂市民センター	135
高森市民センター	137
松陵市民センター	139
寺岡市民センター	141
長命ヶ丘市民センター	143
松森市民センター	145
桂市民センター	147
南中山市民センター	149

IV 資料編

1 市民センターの予算	151
2 平成22年度 市民センター職員数	152
3 平成22年度 主催講座の事業別実施状況	154
4 主催事業参加者数推移	158
5 市民センター利用者数推移	160
6 仙台市市民センター条例・施行規則	162

平成22年度仙台市市民センター事業概要は
市民センターのホームページでもご覧いただけます

<http://www.stks.city.sendai.jp/sgks/WebPages/gaiyo.htm>

I 市民センターの概要

1 仙台市市民センター（公民館）の歴史

昭和 21 年、在仙文化人有志により、宮城県医師会館内に「仙台公民館」が設立された後、昭和 24 年の社会教育法施行に合わせた「仙台市公民館条例」の制定により、仙台市公会堂(現市民会館)内に仙台市公民館が誕生した。

以後、館数を増やしながら、社会教育施設として、市民の学習意欲に応える種々の事業を実施するとともに、市民が自主的に学習活動を行う場の提供を行っている。

平成元年には、教育委員会所管の公民館と市民局所管の地区市民センターを相互に併設して名称を「市民センター・公民館」とし、政令指定都市移行に伴って各区に拠点館を置いた。さらに、翌平成 2 年度に、「仙台市市民センター条例」を新たに制定し、施設名称を「市民センター」に統一した。

平成 3 年度、財団法人仙台市地域振興公社に施設管理を委託し、平成 13 年度には、市民センターの業務再編により市職員を各区拠点館に集中配置して、地区館の生涯学習事業を財団法人仙台ひと・まち交流財団(平成 13 年度に地域振興公社から名称変更)に委託した。平成 16 年度からは、指定管理者制度導入に伴い、同財団(平成 23 年 4 月に公益財団法人化)を指定管理者とし、以降、指定を更新・継続して現在に至っている。

平成 23 年 5 月 1 日時点で、市民センターは、概ね中学校区毎に59館設置されている。

年 月	摘 要	館 数
昭和 21 年 10 月	在仙文化人有志により、宮城県医師会館内に「仙台公民館」設立	
昭和 24 年 6 月	「社会教育法」制定	
昭和 24 年 8 月	「仙台市公民館条例」の制定により、仙台市公会堂(現市民会館)内に「仙台市公民館」誕生	1 館
昭和 25 年 12 月	仙台市教育委員会発足 仙台市公民館運営審議会設置	
昭和 27 年 6 月	「仙台市社会教育委員の設置に関する条例」制定	
昭和 31 年 4 月	生出村が仙台市に合併したことに伴い、「生出村公民館」を「生出分館」に改称	1 館 1 分館
昭和 42 年 4 月	「生出分館」が移転し、「生出公民館」に名称を変更	2 館
昭和 42 年 10 月	「仙台市公民館条例」を新たに制定(旧条例は廃止)、貸室の有料化 「長町公民館」開館	3 館
昭和 43 年 11 月	「高砂公民館」開館	4 館
昭和 44 年 10 月	「中田公民館」開館	5 館
昭和 46 年 8 月	公会堂解体・市民会館建設に伴い、「仙台市公民館」が東二番丁の「市民教養センター」に移転	
昭和 48 年 3 月	「仙台市公民館」を「中央公民館」に改称	
昭和 56 年 12 月	「岩切公民館」開館	6 館

年 月	摘 要	館数
昭和 58 年 3 月	「中央公民館」を現在地(仙台駅東口「パルシティ仙台」内)に新築移転し、宮城野通図書館(現・榴岡図書館)と共に開館	
昭和 58 年 4 月	「七郷公民館」開館	7 館
昭和 61 年 3 月	東二番丁小学校改築に伴う「市民教養センター」の廃止	
昭和 61 年 7 月	「中央公民館柏木分館」開館	7 館 1 分館
昭和 62 年 11 月	宮城町合併に伴い、公民館 9 館、分館 1 館となる (※)宮城・宮城西	9 館 1 分館
昭和 63 年 1 月	「中央公民館一番町分館」開館	9 館 2 分館
昭和 63 年 3 月	秋保町、泉市の合併に伴い、公民館 18 館、分館 2 館となる (※)泉・南光台・加茂・将監・根白石・秋保・馬場・湯元・八乙女	18 館 2 分館
平成元年 4 月	教育委員会所管の「公民館(18 館 2 分館)」と市民局所管の「地区市民センター(15 館)」が相互に併設され、新たに開館した 3 館を含めて施設の名称を「〇〇市民センター・公民館」の二枚看板とする 政令指定都市移行に伴い 5 区 38 館制をとり、各区に拠点館を設置 青 葉 区: 「一番町公民館」 宮城野区: 「中央公民館」 若 林 区: 「七郷公民館」 太 白 区: 「中田公民館」 泉 区: 「泉公民館」 ・名称変更: 柏木・一番町(分館から公民館へ名称変更) ・新 設: 片平・東中田・高森 ・市民会館の一部として開館していたものに併設: 榴ヶ岡 ・市民センターに併設: 鶴ヶ谷・東部・北山・福沢・旭ヶ丘・三本松・荒町・南小泉・六郷・西多賀・八本松・八木山・山田・茂庭台	38 館
平成 2 年 3 月	「仙台市市民センター条例」を新たに制定。	
平成 2 年 4 月	名称を「市民センター」に統一し、施設を教育委員会が所管する公民館として位置づけ、施設の使用許可を区長に委任、施設管理の総括を市民局、維持管理を区長に補助執行させる 「松陵市民センター」開館	39 館
平成 2 年 5 月	「大沢市民センター」開館	40 館
平成 2 年 9 月	「水の森市民センター」開館	41 館
平成 3 年 4 月	「若林市民センター」「沖野市民センター」「寺岡市民センター」開館	44 館
平成 3 年 6 月	「宮城市民センター」の名称を変更し、広瀬文化センター内に「広瀬市民センター」が開館	
平成 5 年 4 月	「幸町市民センター」「貝ヶ森市民センター」「長命ヶ丘市民センター」開館	47 館
平成 5 年 9 月	「南小泉市民センター」の名称を変更し、若林区文化センター内に若林区の拠点館「若林区中央市民センター」として開館	

年 月	摘 要	館数
平成 6 年 4 月	「落合市民センター」開館	48 館
平成 6 年 11 月	「せんだいLLプラン 21 仙台市生涯学習基本構想」策定	
平成 7 年 4 月	「中山市民センター」開館	49 館
平成 7 年 5 月	「折立市民センター」開館	50 館
平成 8 年 4 月	「吉成市民センター」開館	51 館
平成 9 年 4 月	「柳生市民センター」開館	52 館
平成 11 年 6 月	「長町市民センター」の名称を変更し、太白区文化センター内に太白区の拠点館「太白区中央市民センター」として開館	52 館
平成 11 年 8 月	「田子市民センター」開館	53 館
平成 12 年 1 月	「松森市民センター」開館	54 館
平成 13 年 1 月	「仙台まなびの杜(仙台市教育ビジョン)」策定(平成 13 年～22 年)	
平成 13 年 4 月	市民センターの業務再編により、職員を拠点館に集中配置、市民センター地区館事業を「仙台ひと・まち交流財団」に委託	
平成 13 年 9 月	「市民センター運営方針」を定める	
平成 13 年 11 月	「富沢市民センター」開館	55 館
平成 13 年 12 月	「桂市民センター」開館	56 館
平成 15 年 3 月	「福室市民センター」開館	57 館
平成 15 年 11 月	仙台市市民利用施設予約システムの導入 「南中山市民センター」開館	58 館
平成 16 年 4 月	指定管理者制度導入に伴い、財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定(平成 16 年 4 月から 3 年間) 「木町通市民センター」開館	59 館
平成 19 年 4 月	非公募により引き続き、財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定	
平成 19 年 10 月	仙台市公民館運営審議会より「市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて」(答申)を受ける。	
平成 20 年 12 月	「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」策定	
平成 21 年 4 月	非公募により引き続き、財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定	
平成 23 年 5 月	各区中央市民センターを教育局から各区役所区民部の公所として組織変更し、業務を各区長の補助執行とする。 宮城野区の拠点館機能を教育局中央市民センターから分離し、(仮)宮城野区中央市民センターが新設されるまでの間、宮城野区区民部に「市民センター事業推進室」を設置。	

2 市民センター施設概要

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(m ²)	主要施設	併設施設
青葉区 中央	青葉区一番 町二丁目 1 番 4 号	223-2516 261-3251	昭和 62 年 12 月 15 日	7,148.85 2,311.55	ホール, 小ホール(2), 会議 室(5), 和室, 調理実習室, 音 楽室, 市民活動室	幼稚園・小学校
柏木	青葉区柏木 三丁目 3 番 1 号	233-8066 233-8484	平成 10 年 4 月 1 日	2,822.73 1,315.20	会議室, 和室(2), ホール, 市民活動室, 資料室	コミュニティ防災セン ター
広瀬	青葉区下愛 子字観音堂 5 番地	392-8405 392-8410	平成 3 年 3 月 31 日	6,746.77 786.54	会議室, セミナー室(2), 和 室(2), 創作室, サークル連 絡室	広瀬文化センタ ー・広瀬図書館
宮城西	青葉区熊ヶ根 字石積 47 番 地	393-2829 393-2491	昭和 51 年 12 月 20 日	2,299.72 677.92	会議室(2), 和室(2), 調理 実習室, 体育館	
北山	青葉区新坂 町 8 番 4 号	272-1020 272-1036	昭和 49 年 7 月 3 日	2,071.54 1,406.43	会議室(3), 和室(4), 調理 実習室, 音楽室, トレーニン グ室, 親子室, 資料室, 図 書室	
福沢	青葉区福沢 町 9 番 9 号	223-9095 213-1647	昭和 59 年 6 月 9 日	3,205.75 1,998.46	会議室(3), 和室(3), 視聴覚 室, 調理実習室, 遊戯室, 図書室, 音楽室, 体育館	コミュニティ防災セン ター
旭ヶ丘	青葉区旭ヶ 丘三丁目 25 番 15 号	271-4729 271-7984	昭和 60 年 6 月 15 日	3,128.66 2,044.91	展示ホール(2), ホール (2), 会議室(3)	旭ヶ丘バス乗継 ターミナル
三本松	青葉区堤町 三丁目 23 番 1 号	274-3955 234-5355	昭和 62 年 3 月 31 日	4,861.02 1,499.07	会議室兼調理室, 和室(3), 体育館, 遊戯室, 図書室	コミュニティ防災セン ター
片平	青葉区米ヶ袋 一丁目 1 番 35 号	227-5333 268-0234	平成元年 3 月 15 日	2,500.03 2,027.60	会議室(2), 会議室兼調理 実習室, 和室(3), 体育館, 音楽室, 広瀬川自然展示コ ーナー	児童館(図書 室)・コミュニティ防 災センター
大沢	青葉区芋沢 字要害 65 番 地	394-6891 394-6439	平成 2 年 5 月 24 日	6,318.73 1,245.60	会議室兼調理実習室, 和室 (2), 体育館	児童館(図書 室)・コミュニティ防 災センター・証明 発行センター
水の森	青葉区水の 森四丁目 1 番 1 号	277-2711 277-8863	平成 2 年 8 月 30 日	(水の森温水 プール内) 11,317.60 1,847.57	会議室, 会議室兼調理実習 室, 和室(3), 体育館, 親子 室	児童館(図書 室)・コミュニティ防 災センター・温水 プール
貝ヶ森	青葉区貝ヶ 森一丁目 4 番 6 号	279-6320 279-6704	平成 5 年 4 月 26 日	3,690.11 1,578.64	会議室, 会議室兼調理実習 室, 和室(2), 資料室, 親子 室, ホール	児童館(図書 室)

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(m ²)	主要施設	併設施設
落合	青葉区落合 二丁目 15 番 15 号	392-7301 392-6737	平成 6 年 3 月 31 日	4,078.96 1,248.45	会議室兼調理実習室, 和室 (2), 娯楽室, 図書室, 親子 室, ホール	コミュニティ防災セン ター
中山	青葉区中山 三丁目 13 番 1 号	279-9216 719-2150	平成 7 年 3 月 31 日	4,047.48 1,719.78	会議室, 会議室兼調理実習 室, 和室(2), 資料室, 親子 室, ホール	児童館(図書 室)・老人憩い の家・コミュニティ 防災センター
折立	青葉区折立 三丁目 20 番 1 号	226-1226 226-2660	平成 7 年 5 月 30 日	2,843.36 1,790.71	会議室, 会議室兼調理実習 室, 和室(2), ホール, 親子 室, 資料室	児童館(図書 室)・コミュニティ防 災センター
吉成	青葉区国見ヶ 丘二丁目 2 番 地の 1	279-2033 279-9431	平成 8 年 4 月 26 日	3,300.76 1,606.03	会議室, 会議室兼調理実習 室, 和室, 親子室, ホール, 資料室	児童館(図書 室)・コミュニティ防 災センター
木町通	青葉区木町 通一丁目 7 番 36 号	711-2561 212-4330	平成 16 年 2 月 27 日	(木町通小 学校内) 10,480.00 2,892.34	会議室(2), 和室(2), 調理実 習室, 娯楽室, 親子室, 市 民活動室, ホール	小学校・児童館 (図書室)・コミュニ ティ防災センター
中央	宮城野区榴 岡四丁目 1 番 8 号	295-0403 295-0810	昭和 58 年 2 月 28 日	3,367.52 4,064.32	会議室, セミナー室(4), 和 室, 音楽室(2), 創作室(2), 体育館, トレーニング室, ミ ーティング室, 情報コーナー	榴岡図書館
高砂	宮城野区高 砂一丁目 24 番地の 9 号	258-1010 259-7577	平成 6 年 3 月 30 日	10,000.02 1,908.06	会議室(2), 和室(2), 調理実 習室, 親子室, ホール, 資 料室	児童館(図書 室)・コミュニティ防 災センター・老人 福祉センター・デ ィサービスセンター・保 健センター
岩切	宮城野区岩 切字三所南 88 番地の 2	255-7728 255-2075	昭和 56 年 12 月 15 日	4,789.09 2,060.91	講義室, 研修室(2), 和室 (2), 調理実習室, 視聴覚 室, 創作室, 体育館, 図書 室, 交流室, 親子室, 資料 室	保健センター・老 人憩いの家・コミ ュニティ防災セン ター・証明発行セン ター
鶴ヶ谷	宮城野区鶴 ヶ谷八丁目 19 番地の 1	251-1562 251-1564	昭和 47 年 5 月	7,377.65 2,003.21	会議室(3), 和室, 調理実習 室, 遊技室, ホール	児童館(図書 室)・温水プール
榴ヶ岡	宮城野区五 輪一丁目 4 番 22 号	293-6742 293-6761	昭和 48 年 6 月 1 日	2,266.05 1,020.17	会議室(5), 和室, 調理実習 室, 談話コーナー	
榴岡公園 軽体育館	宮城野区五 輪一丁目 3 番 1 号	299-5666 299-5690	平成元年 4 月 26 日	963.40 1,005.33	和室(2), ミーティングルーム (2), 休憩室, 体育館	
東部	宮城野区平 成一丁目 3 番 27 号	237-0092 235-7634	昭和 58 年 4 月 8 日	1,795.57 1,435.36	会議室, 和室(3), 調理実習 室, 娯楽室, 体育館	児童館(図書 室)
幸町	宮城野区幸 町三丁目 13 番 13 号	291-8651 291-8561	平成 5 年 3 月 31 日	3,838.08 1,756.90	会議室, 会議室兼調理実習 室, 和室(2), 親子室, 資料 室, ホール	児童館(図書 室)・コミュニティ防 災センター

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(m ²)	主要施設	併設施設
田子	宮城野区田子二丁目4番25号	254-2721 254-2722	平成11年 8月5日	2,877.76 1,951.49	会議室(2), 和室(2), 調理実習室, ホール, 娯楽室, 親子室, 市民活動室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
福室	宮城野区福室五丁目9番36号	786-3540 388-6320	平成15年 1月10日	4,747.25 1,956.70	ホール, 会議室(2), 和室(2), 調理実習室, 市民活動室, 娯楽室, 親子室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
若林区中央	若林区南小泉一丁目1番1号	282-1173 282-1180	平成5年 3月	(若林区文化センター内) 11,842.43 515.21	会議室(2), 和室(3), セミナー室(2), 創作室, サークル連絡室, プレイルーム	文化センター・図書館・情報センター
(若林区中央別棟)	若林区保春院前丁3番地の4		昭和53年 5月17日	3,369.21 2,120.57	会議室, 和室(2), 調理実習室, ホール, 娯楽室	児童館・社会福祉協議会
七郷	若林区荒井字堀添65番地の5	288-8700 288-2340	昭和58年 3月7日	5,674.00 1,986.39	会議室, 研修室(2), 和室(3), 調理実習室, 視聴覚室, 創作室, 体育館, 市民活動室	児童館(図書室)・保健センター・コミュニティ防災センター・証明発行センター
荒町	若林区荒町86番地の2	266-3790 266-5436	平成21年 11月27日	1,430.29 2,234.78	会議室(3), 和室(2), 調理実習室, ホール, 親子室, 市民活動室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
六郷	若林区今泉一丁目3番19号	289-5127 289-6359	昭和56年 12月15日	4,354.80 1,843.28	会議室(3), 和室(3), 調理実習室, 娯楽室, 体育館	児童館(図書室)・保健センター・証明発行センター
若林	若林三丁目15番20号	282-4541 282-2637	平成3年 4月29日	3,048.00 1,624.03	会議室, 会議室兼調理実習室, 和室(2), 資料室, 親子室, ホール	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
沖野	若林区沖野七丁目34番43号	282-4571 285-4681	平成3年 3月30日	6,151.42 1,637.42	会議室, 会議室兼調理実習室, 和室(2), 親子室, 資料室, ホール	児童館(図書室)・老人福祉センター・デイサービスセンター
太白区中央	太白区長町五丁目3番2号	304-2741 304-2526	平成11年 3月31日	(太白区文化センター内) 9,684.57 2,311.68	会議室(5), 和室(2), 調理実習室, 音楽室, 創作室, 体育館	文化センター・図書館・児童館・情報センター
中田	太白区中田四丁目1番5号	241-1459 242-2535	昭和56年 3月20日	3,217.97 1,801.97	講義室, 研修室(2), 和室(2), 調理実習室, 視聴覚室, 図書室, 体育館	コミュニティ防災センター・証明発行センター
生出	太白区茂庭字新熊野64番地	281-2040 281-4319	昭和55年 3月31日	3,635.87 955.78	講義室(2), 和室, 図書室, 調理実習室, 体育館	診療所・保健センター・証明発行センター
秋保	太白区秋保町長袋字大原160番地の2	399-2316 399-2394	昭和46年 9月1日	4,111.77 1,545.94	研修室, 視聴覚室, 茶室, 図書室, 和室, 会議室, 体育館, 調理実習室, 談話室	

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(m ²)	主要施設	併設施設
馬場	太白区秋保 町馬場字竹林 45番地の1	399-2745 -	昭和52年 3月31日	3,185.42 734.20	会議室, 講義室, 調理実習 室, 体育館, 図書室兼談話 室	
湯元	太白区秋保 町湯向2番地 の20	398-2720 398-2789	昭和54年 3月31日	1,846.47 844.98	集会室, 会議室, 講義室, 視聴覚室, 調理実習室, 和 室	
西多賀	太白区西多 賀三丁目6番 8号	244-6721 244-0524	昭和53年 5月10日	2,526.17 1,462.35	会議室(2), 和室(3), 調理 実習室, ホール, 娯楽室	児童館(図書 室)
八本松	太白区八本 松二丁目4番 20号	246-2426 246-9023	昭和60年 5月12日	3,606.73 1,495.44	会議室兼調理実習室, 会議 室, 和室(2), 体育館, 娯楽 室	児童館・太白図 書館分室・コミュニ ティ防災センター
八木山	太白区八木 山本町一丁 目43番地	228-1190 228-1689	昭和62年 2月10日	(八木山動物 公園内) 21,569.00 1,832.02	会議室兼調理実習室, 会議 室, 和室(2), 体育館, 図書 室, 遊戯室, 娯楽室	コミュニティ防災セン ター
山田	太白区山田 北前町13番1 号	244-0213 244-1843	昭和62年 4月17日	4,434.93 1,496.88	会議室, 会議室兼調理実習 室, 和室(2), 体育館, 遊戯 室, 娯楽室, 図書室	コミュニティ防災セン ター
茂庭台	太白区茂庭 台四丁目1番 10号	281-3293 281-4349	昭和63年 3月31日	9,803.90 1,495.55	会議室, 和室(2), 会議室兼 調理実習室, 娯楽室, 体育 館	児童館(図書 室)・コミュニティ防 災センター
東中田	太白区四郎 丸字吹上51 番地	242-1185 242-7053	平成元年 3月5日	5,516.21 1,619.96	会議室, 和室(2), 娯楽室, 体育館, 会議室兼調理実習 室	児童館(図書 室)・保健センタ ー・コミュニティ防災 センター
柳生	太白区柳生 七丁目20番7 号	306-6750 306-7081	平成9年 3月31日	2,879.16 1,633.01	会議室, 和室(2), ホール, 資料室, 親子室, 会議室兼 調理実習室	児童館(図書 室)・コミュニティ防 災センター
富沢	太白区富沢 南一丁目18 番地の10	244-3977 307-5101	平成13年 11月22日	4,068.46 1,839.30	会議室(2), 和室(2), ホー ル, 調理実習室, 娯楽室, 親子室, 図書室, 市民活動 室	コミュニティ防災セン ター
泉区 中央	泉区市名坂 字東裏53番 地の1	372-8101 372-2447	平成15年 11月14日	3,035.78 2,138.54	会議室(3), 和室(2), 調理実 習室, 研修室, 音楽室, 創 作室, 親子室, 娯楽室, 市 民活動室, ホール	コミュニティ防災セン ター・泉ふるさと 生活ギャラリー
根白石	泉区根白石 字杉下前24 番地	379-2108 376-5769	昭和63年 3月31日	5,839.66 1,911.53	会議室(2), ホール, 工作 室, 和室, 調理実習室	泉図書館分 室, 証明発行セ ンター
南光台	泉区南光台 七丁目1番30 号	251-5850 252-8172	昭和52年 3月31日	3,295.50 1,218.49	集会室, 和室, 研修室(5), 会議室, 調理実習室	泉図書館分室

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(m ²)	主要施設	併設施設
黒松	泉区黒松一丁目 33 番 40 号	234-5346 219-2038	平成 4 年 10 月 20 日	5,264.63 1,491.48	ホール, 研修室(2), 多目的室, 和室, 調理実習室	泉図書館分室
将監	泉区将監八丁目 2 番 1 号	372-0923 374-8704	平成 4 年 3 月 19 日	1,821.00 1,497.95	和室(2), 研修室(3), 調理実習室, ホール, 娯楽室, 託児室	泉図書館分室
加茂	泉区加茂四丁目 2 番地	378-2970 377-4565	昭和 58 年 4 月 1 日	3,147.00 1,469.84	和室, 研修室, 調理実習室, ホール, 体育館, 談話室	泉図書館分室
高森	泉区高森六丁目 1 番 2 号	378-9950 378-9969	平成元年 3 月 20 日	3,000.12 1,499.93	研修室(3), 和室, 調理実習室, 音楽室, 工作室, ホール	泉図書館分室
松陵	泉区松陵五丁目 20 番地の 2	375-8101 375-6101	平成 2 年 3 月 10 日	2,806.93 1,498.49	研修室(3), 工作室, 調理実習室, 和室, 託児室, ホール	泉図書館分室・訪問看護ステーション
寺岡	泉区寺岡二丁目 14 番地の 4	378-4490 378-4534	平成 3 年 3 月 10 日	2,665.42 1,481.22	研修室(3), 和室, 調理実習室, トレーニング室, ホール	泉図書館分室
長命ヶ丘	泉区長命ヶ丘二丁目 14 番 15 号	377-3504 377-3508	平成 5 年 4 月 27 日	2,885.07 1,496.35	会議室, 会議室兼調理実習室, 和室(2), 娯楽室, 親子室, ホール	泉図書館分室
松森	泉区松森字城前 9 番地の 2	776-9510 776-9512	平成 11 年 12 月 10 日	4,000.50 1,870.33	会議室, 和室(2), 調理実習室, 工作室, ホール, 娯楽室, 図書室, 親子室, 市民活動室	コミュニティ防災センター
桂	泉区桂三丁目 19 番 1 号	375-0550 771-5931	平成 13 年 12 月 4 日	7,759.48 2,268.05	会議室(2), 和室(2), 創作室, 調理実習室, 娯楽室, 親子室, 市民活動室, ホール	児童センター(図書室)・コミュニティ防災センター
南中山	泉区南中山二丁目 24 番 12 号	379-4780 348-4340	平成 15 年 11 月 13 日	5,718.56 1,579.66	会議室(2), 和室(3), 調理実習室, 研修室, 親子室, 娯楽室, 市民活動室, 図書コーナー, 体育館	コミュニティ防災センター

3 平成 22 年度 仙台市市民センターの組織

教育委員会

拠点館

中央市民センター（管理係・事業係）※宮城野区拠点館を兼ねる

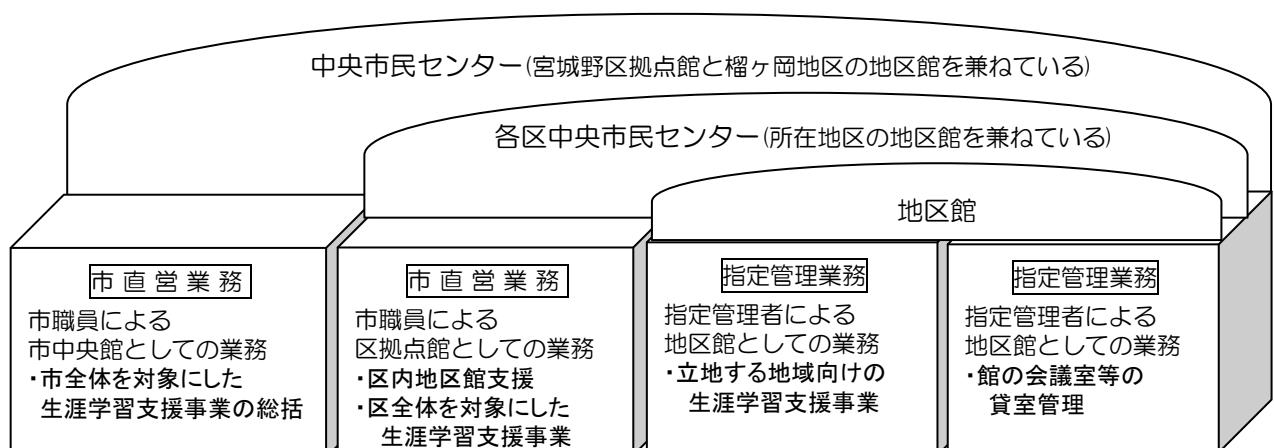
- 青葉区中央市民センター（事業企画係）
- 若林区中央市民センター（事業企画係）
- 太白区中央市民センター（事業企画係）
- 泉 区中央市民センター（事業企画係）

地区館

〔59館一括指定管理〕指定管理者 財団法人仙台ひと・まち交流財団

青葉区内 17 館	宮城野区内 9 館	若林区内 6 館	太白区内 14 館	泉区内 13 館
青葉区中央市民センター 柏木市民センター 広瀬市民センター 宮城西市民センター 北山市民センター 福沢市民センター 旭ヶ丘市民センター 三本松市民センター 片平市民センター 大沢市民センター 水の森市民センター 貝ヶ森市民センター 落合市民センター 中山市民センター 折立市民センター 吉成市民センター 木町通市民センター	中央市民センター 高砂市民センター 岩切市民センター 鶴ヶ谷市民センター 榴ヶ岡市民センター 東部市民センター 幸町市民センター 田子市民センター 福室市民センター	若林区中央市民センター 七郷市民センター 荒町市民センター 六郷市民センター 若林市民センター 沖野市民センター	太白区中央市民センター 中田市民センター 生出市民センター 秋保市民センター 馬場市民センター 湯元市民センター 西多賀市民センター 八本松市民センター 八木山市民センター 山田市民センター 茂庭台市民センター 東中田市民センター 柳生市民センター 富沢市民センター	泉区中央市民センター 根白石市民センター 南光台市民センター 黒松市民センター 将監市民センター 加茂市民センター 高森市民センター 松陵市民センター 寺岡市民センター 長命ヶ丘市民センター 松森市民センター 桂市民センター 南中山市民センター

<拠点館の特殊な構造>



4 市民センターの施設理念と運営方針

(平成20年12月策定)

仙台市市民センターの施設理念

市民センターとは、次の3つの機能が一体となって運営される社会教育施設である。

- 1 市民の学びのプロセスに沿った学習支援のための諸機能を有し、あらゆるライフステージに応じた市民一人ひとりの学びを総合的に支援する、市民との協働による市民本位の生涯学習の支援拠点としての機能
- 2 子どもから高齢者までのあらゆる市民が集い交流し、多様な市民による様々な活動が主体的に行えるよう支援する場や機能を持った市民のための市民が主役の交流拠点としての機能
- 3 学びを通して地域の人と人をつなぎ、住みよいまちづくりにつながる人づくりを行う地域づくりの拠点としての機能

仙台市市民センター事業の運営方針

1 市民センター事業の目的

(1) 市民センター全体の事業目的

市民センターは、それぞれの地域での市民ニーズに応じた多様な事業を実施することにより、市民一人一人の主体的な生涯学習活動が充実し、その活動をきっかけとして仲間が集い交流が生まれ、その相互の交流を通して住みよい地域づくりにつながる自治活動が活発になるなど、それぞれの地域社会のより良い形成に寄与する“人づくり”を目指す。

重点方針

- ・全ての市民センター事業は、この目的に向かって計画性を持って実施する。
- ・実際の事業の企画・実施にあたり、職員は「きっかけ」「仕掛け」「働きかけ」といった社会教育的関わりを常に意識し、市民の主体的な「学び」を支え、市民と協働して事業に取り組む。
- ・職員はこのような目的が達成されているかどうかを自己点検・評価するとともに、市民・地域住民による評価を受け、事業の改善に絶えず努める。

(2) 拠点館事業の主要な目的

拠点館事業の主要な目的は、本市における、あらゆる市民のライフステージごとの学習ニーズに対応した、多様な生涯学習事業の計画的かつ体系的な推進である。さらには、指定管理者制度の下で事業を受注している地区館に対して、その果たすべき業務の目的・目標を設定し、定期的に事業を評価し必要な助言・指導を行うなど、発注者としての地区館事業へのマネジメントを行い社会教育施設としての質の確保を図ることである。

重点方針

- ・拠点館は、体系化された事業計画と社会教育の専門性を持って、市民センター事業全体の質を維持し高めるものとする。
- ・拠点館職員は常に専門性の維持・向上に努め、地域課題を踏まえた調査研究事業の充実と地区館支援のための環境整備に重点的に取り組むものとする。

(3) 地区館事業の主要な目的

地区館事業の主要な目的は、地域を基盤とし、地域づくりにつながる人づくりを行うこ

とであり、市民一人ひとりが「出会い・ふれあい・学びあう」ことでつながり、さらには市民自ら地域課題に向き合い住み良いまちづくりに協働して取り組むことができるよう支援することである。

重点方針

- ・地区館は“地域づくりの拠点”としての機能を果たすことを重点目標とし、館長は地域のコーディネーターの役割を担うものとする。
- ・地域の連帯感を高め豊かな地域社会を創るために、地域における市民の主体的で多様な生涯学習活動を支援し、質・量ともに充実するものとする。

2 市民センターの役割

(1) 市拠点館(中央市民センター)の基本的な役割

① 市民センターにおける生涯学習事業体系の策定と行動計画の立案、および全市にわたる生涯学習事業の推進

本市における生涯学習に関わる機関・団体との役割分担を踏まえ、学校教育や市長部局・区の事業担当課とも連携しながら、市民センターが担うべき生涯学習事業体系を策定し、事業目標を定めた行動計画にしたがって本市の生涯学習事業を着実に推進する。

② 生涯学習推進のための専門性の向上

少子高齢化・国際化・情報化、男女共同参画などの現代的な課題や、本市が抱える諸課題への先進的な取組み、及び市民のライフステージごとの多様な学習ニーズの把握と効果的なプログラムづくり等の調査・研究を推進するとともに、その成果を地区館等へ還元する。

③ 市民一人ひとりのニーズに対応した生涯学習支援体制の充実

〔学習活動のネットワーク化とリーダーの養成〕

市民相互の学習活動やそのネットワーク化を支援するとともに、学習リーダーの養成や学習ボランティア活動を推進する。

〔生涯学習情報の計画的体系的な収集と提供〕

計画的で体系的な生涯学習情報の収集と提供を行い、生涯学習相談事業の充実を図る。

④ 指定管理者制度下での指定管理業務のマネジメントの推進

地区館事業の発注者として、指定管理業務の目的とそのための事業の目標及びその要求水準の考え方を明確にし、地区館ごとに事業を評価できる体制を構築する。

⑤ 職員の人材育成

〔職員研修の体系化と専門研修の充実〕

初任者・中堅者・館長などに対する経験や役割に応じた体系的な研修や、社会教育を担当する職員としての専門性を高める研修の充実を図る。

〔職員への助言・指導及び支援体制づくり〕

事業が具体的な目標のもとに計画的に推進できるよう、事業を担当する職員への専門的な助言・指導や支援のための体制づくりに努める。

(2) 区拠点館(区中央市民センター)の基本的な役割

① 区内の生涯学習事業の推進

〔区内の生涯学習事業の推進と地域リーダーの育成〕

区内諸団体及び区役所などとの連携を図り地域課題に取り組むことで、区内の生涯学習事業を推進するとともに、区内の地域リーダーの育成に努める。

〔区内の市民の学習・グループ活動への支援〕

区内の生涯学習活動を幅広く支援するため、生涯学習情報の収集と提供、及び相談事業を充実させるとともに、活動する市民・団体等のグループ化やネットワーク化への支援に努める。

② 区内地区館事業への支援

〔関係諸団体との連携の推進〕

地域団体・NPO・ボランティア団体などの民間諸団体や、区役所、学校などの公共機関等との連携によって地区館事業が活発に展開されるよう、地区館を積極的に支援する。

〔家庭及び地域での教育力向上、ジュニアリーダーの育成支援〕

地域での子育て支援や子どもが育つ環境づくりのために、区内の民間諸団体や行政の担当課、嘱託社会教育主事研究協議会支部とも十分連携し、地区館での家庭及び地域社会の教育力の向上とジュニアリーダーの育成が図られるよう、その支援に努める。

〔地区館職員の人材育成〕

定期的な連絡会の開催や、区内の地区館が連携して進める事業の支援など、区内の地区館職員の人材育成が図られ、かつ効果的な事業が推進されるよう働きかけを行う。

③ 指定管理者制度下での区内地区館業務のマネジメントの推進

地区館業務の目的、各事業の目標及び要求水準をもとに、それぞれの地域ニーズを地区館職員とともに把握し、より効果的な事業の実施に向けた指導・助言を行うとともに、事業の結果についての的確な評価を行うことで、地区館事業の向上が図られるよう支援に努める。

(3) 地区館(各市民センター)の基本的な役割

取組指針

社会教育施設としての地区館に求められる下記の機能は、相互に関連を持ちながら総合的に発揮されなければならない。それにより、これまで市民センターに関心のなかった人々が、地区館事業に様々な形で関わることができ、地区館が多くの方の市民の参画を得ながら地域づくりの拠点として活発に機能することになる。

また、地区館の職員は、区拠点館の支援を受けつつ、これらの機能が総合的に発揮されるよう「きっかけ」をつくり、「仕掛け」「働きかけ」を行い、地域住民や地域の諸団体等と協働して事業を展開していくものとする。

① 地域住民本位の生涯学習拠点機能

〔学習ニーズ・地域課題を踏まえた特徴ある事業の実施〕

地域住民を対象にしたアンケート調査や懇談会、日々の地域情報の収集などを通して地域住民の学習ニーズと地域課題を把握し、目的を明確にした上で特徴ある事業を実施する。

〔事業の魅力づくりと参加しやすい条件づくり〕

事業の企画にあたっては「学びを通じての人と人とのつながり」を基本方針とし、地域住民が楽しく参加したくなるような工夫（魅力づくり）や参加しやすい条件を整えるよう努める。

〔市民参画の推進と市民の活動の育成・支援〕

市民自らが学ぶことで主体的な活動が地域で多様に展開できるよう、市民参画による事業を積極的に推進するとともに、地域を基盤としたサークル活動や市民活動の育成・支援に努める。

② 地域の交流・拠点機能

〔地域住民の交流の場、及び子どもたちの育成・交流の場の確保〕

多様な地域住民が気軽に集い、楽しく交流のできる場と機会を設ける。特に、地域の中で見守られ育まれるべき次代を担う子どもたちのための子育て支援と青少年の育成・交流の場の確保に配慮する。

〔様々な地域ネットワークの拠点機能＝プラットフォームの確保〕

地域にあるさまざまな団体、NPO、ボランティア組織等が共通の地域課題のも

とに集まれるネットワークの拠点としての機能（プラットフォーム）が持てるよう努める。

③ 地域のコミュニティづくり機能

〔コミュニティ意識の醸成〕

地域住民と協働し、地域の歴史・自然・行事などの地域資源を活かした地域文化の継承と創造の事業に継続的に取り組むとともに、地域の魅力と課題の発見を通して、多くの地域住民が地域と関わるができるよう積極的に働きかけ、地域住民のコミュニティ意識の醸成を図る。

〔地域活動を担う人材の育成〕

地域課題を踏まえ、地域の関係団体やNPO等と連携しながら、地域での多様な活動を担う人材の育成に努める。

〔地区館事業に市民が主体的に関わる仕組みづくり〕

地域に根差した地区館事業を市民と協働で推進するために、地域住民が地区館事業に主体的に関わる仕組み（地域住民による地区館ごとの運営協議会等）を創り活かす。

④ 地域のコーディネート機能

〔地域にある機関・団体等のネットワーク化〕

P T A・町内会・商店街等の各種地域団体、NPOなど地域に関わる機関や団体、学校や区役所等の公共機関と連携し、地域住民とともに地域課題に取り組むためのネットワークを構築する。

〔行政機関と地域との仲介・調整の窓口機能の分担〕

“地域の声”を施策や事業につなげるために、行政・専門機関等と地域の諸団体等との交流拠点施設としての仲介および調整の窓口機能を担う。

⑤ 地域の情報ステーション機能

〔地域の資源・財産の保管と公開〕

地域にあるさまざまな資源（歴史、文化、自然等）や財産（祭礼行事、施設、人材等）などに関する情報を多様な媒体に整理・保管し、地域住民が必要に応じて閲覧し活用できる仕組みを整える。

〔地域情報の収集と提供〕

地域内の学校や区役所などの公共機関からのお知らせや催し情報のほか、地域団体や各種サークル、NPOなどからの活動情報や募集情報などを随時収集・整理し、適時、地域住民に提供する。

仙台市市民センターの施設管理の運営方針

(1) 市民サービスの向上

- ① 利用者の立場に立ったサービスを行う
- ② 利用者のプライバシーを保護するよう十分配慮する

(2) 市民交流スペースの確保とオープンスペースの活用

市民の誰もが気軽に立ち寄り、交流のできる場と機能を確保する。

地区館のオープンスペース等に関しては、地域住民にとって魅力ある場となるよう、地域住民の意向を十分に踏まえた各館独自のルール及び運営体制を設けるなど、その利用を促進する。

(3) 地域優先への配慮

地区館は、地域づくりの拠点施設であることから、地域住民の利用が優先されるよう努め、そのための仕組みづくりを行う。

5 市民センター事業体系

＜教育局直轄事業体系＞

大分類	中分類	小分類
01 生涯学習事業に係る企画・調査・研究 市民センターによる調査研究を通し、本市の課題を明らかにすることにより、市民が様々な課題に応じて学べるようになる。	01 基礎調査の実施	01 地域別基礎調査
		02 生涯学習事業に係る学習情報の収集・発信に係る基礎調査
		03 その他関連調査
	02 生涯学習事例研究事業の実施	01 地域連携事業に係る事例研究
		02 学習成果社会還元に係る事例研究
		03 市民企画事業に係る事例研究
		04 その他当該事業に係る事例研究
	03 全市重点事業等の分析・評価	01 区内地域連携事業に係る分析・評価
		02 区内学習成果社会還元事業に係る分析・評価
		03 生涯学習委託事業に係る分析・評価
	04 調査・研究成果の活用	01 報告書作成及び報告会の開催
		02 生涯学習事業委託先への情報提供及び実施指導
		03 研究機関・教育機関への調査研究事業の提供
		04 生涯学習事業要求水準書作成
02 生涯学習の質的向上を図る 市民が質の高い市民センター事業を受けられるようになる。	01 広域規模の学習プログラムの実施	01 生涯学習ボランティア養成・育成事業の実施
		02 ジュニアリーダーの養成・育成事業
		03 インリーダー研修会
		04 家庭教育講座
		05 学びのコミュニティ推進事業
		06 学社連携・融合事業
		07 市民団体・NPO・企業連携
		08 市民参画事業
		09 その他
	02 市民センター事業運営への市民の意見反映	01 パートナーグループ事業の開催
		02 公民館運営審議会の運営
	03 職員の資質向上・企画力向上	01 職員研修
		02 テーマ別検討会
		03 職員会議
		04 地区館事業に係る指導・支援事業
03 情報提供 市民が学習に必要な情報をいつでも得られることで、主体的に学べるようになる。	01 学習情報収集提供	01 学習情報の提供・相談
		02 学習情報の収集
		03 生涯学習情報誌の発行
		04 ホームページによる学習情報の発信
04 委託事業 市民が様々な課題に応じて主体的に学習活動や社会参加できるようになる。	01 指定管理者への委託事業	01 ライフステージに応じた課題学習
		02 時代に応じた新しい課題の学習
		03 学習情報の提供・相談
		04 学習成果の社会還元事業
		05 学びの活動の広がる事業の実施
		06 パートナーグループ事業の開催
09 その他の業務		予算管理
		業務マネジメント
		事業概要作成
		社会教育実習生等の受入
		宮城県公民館連絡協議会運営
		全国公民館大会 庶務等

<地区館事業体系>

大分類	中分類	小分類
01 市民が様々な課題に応じて学べるようになる	01 市民がライフステージに応じた課題について学べるようになる	01 子育て支援に関する講座の開催
		02 家庭教育に関する講座
		03 家庭教育相談の開催
		04 インリーダー研修会の開催
		05 世代間の交流を進める事業の開催
		06 老壮大学の開催
		07 高齢化社会に対応した講座の開催
		08 自然・教養・文化に関する講座の開催
		09 健康づくりに関する講座の開催
		10 地域の素材を学習する講座の開催
	02 市民が、時代に応じた新しい課題について学べるようになる。	01 国際化時代に対応した講座の開催
		02 情報化時代に対応した講座の開催
		03 防災に関する講座の開催
		04 環境保全に関する講座の開催
		05 男女共同参画に関する講座の開催
		06 福祉に関する講座の開催
		07 ボランティア・奉仕活動に関する講座の開催
		08 社会力を高める講座
02 市民が、学習に必要な情報を得ることで、主体的に学べるようになる	01 市民が、市民センターで学習相談・情報提供を受けられるようになる	01 学習情報の提供・相談
		02 学習情報の収集
		03 サークル活動支援
	02 市民が、市民センターの講座情報をいつでも得られるようになる	01 市民センターだよりの発行
		02 生涯学習情報誌の発行
		03 ホームページによる学習情報の発信
		04 報道機関による情報の提供
03 市民が学んだ成果を地域に生かせるようになる	01 市民が、生涯学習ボランティアとして活動できるようになる	01 ジュニアリーダーの育成支援
		02 ボランティア養成講座の開催
		03 ボランティア活動の支援
	02 市民が、自らの知識や経験を生涯学習事業に生かせるようになる	01 市民による地域情報の発信
		02 市民が企画・運営する講座の実施
		03 生涯学習事業の企画の公募
04 市民が、地域で学びの活動を広げるようになる	01 学校、地域、市民活動団体が、地域活動を通して、連携できるようになる	01 学校と連携した事業の実施
		02 地域の学習団体と連携した事業の実施
		03 学びのコミュニティ事業の実施
	02 市民が、自らの学習活動を生かして、地域づくり・人づくりに参加できるようになる	01 まちづくりに参加する事業の実施
		02 地域間交流事業の開催
	03 市民が、地域の人やほかの学習団体と交流できるようになる	01 市民センターまつりの開催
		02 市民の学習発表会の開催
		03 市民交流事業の開催
05 市民が、質の高い市民センター事業を受けられるようにする	01 市民の意見が市民センターの運営に反映できるようにする	01 パートナーグループ事業の開催
		02 アンケート・調査研究による市民ニーズの把握
06 その他の業務	01 社会教育実習等の受入業務	01 職場体験学習の受入

<事業区分>

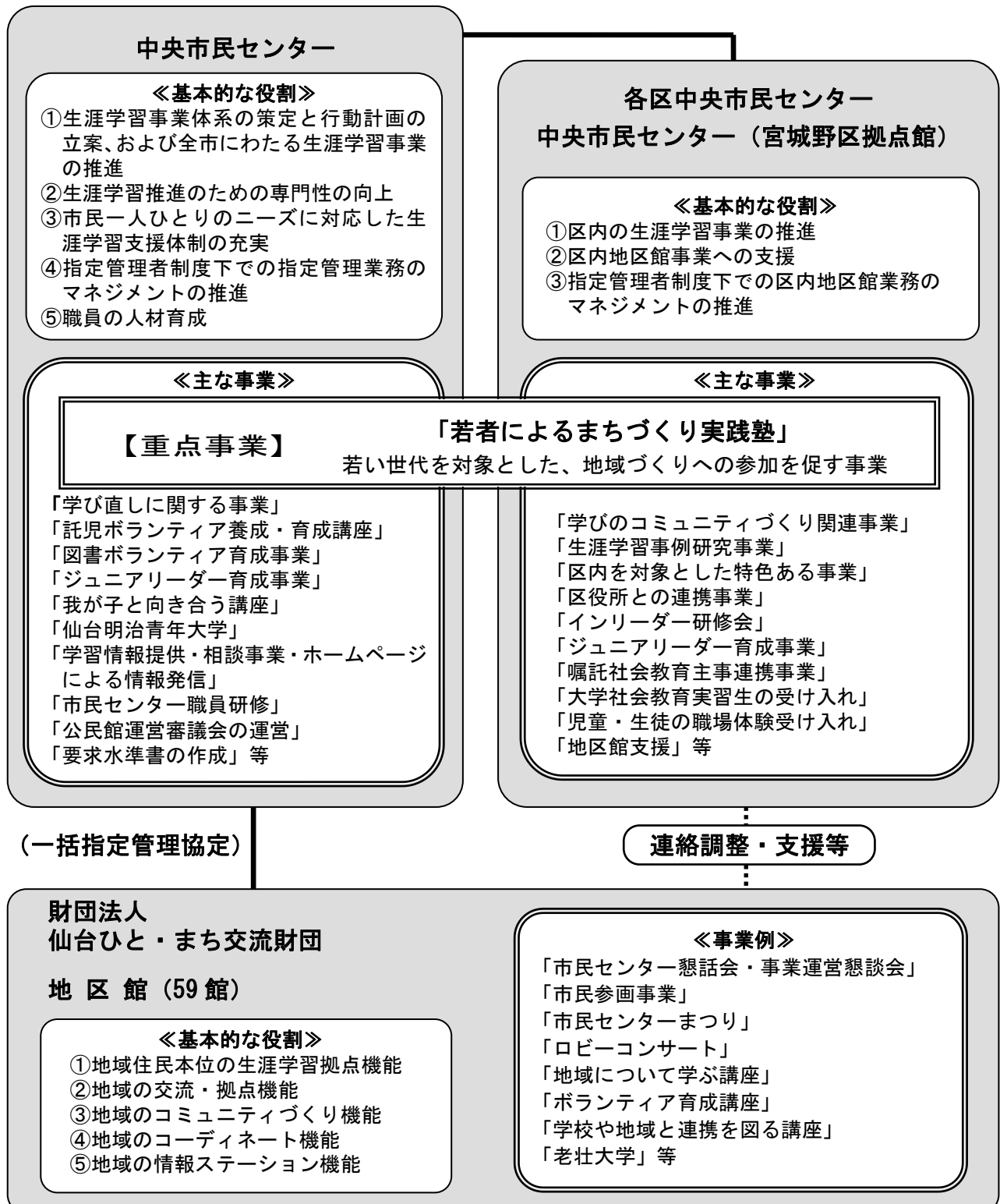
区 分	定 義
家庭教育推進事業	子育て世代が育児や家庭生活について学ぶことができたり、親子のふれあいを深めることをねらいとする事業 (例)子育て支援講座／親子ふれあい教室／食育講座／思春期親学／プレパパママ講座／絵本よみきかせ講座
青少年健全育成事業	青少年が様々な体験を通じて学ぶ力を身につけることによって心身の健やかな成長を培ったり、仲間づくりや親子・異世代の交流を図ることをねらいとする事業 (例)インリーダー研修／子どもの広場／キッズクッキング／夏休みチャレンジ講座／子ども体験塾
成人学習振興事業	幅広い教養を身につけたり、さまざまな課題を学習する機会を提供するとともに、共通の課題や関心を持つ市民(受講者)相互の仲間づくりや交流を図ることをねらいとする事業 (例)自然体験教室／エコライフ講座／裁判員制度講座／男の料理教室／パソコン・デジカメ教室／社会教育実習生の受入
高齢者学習振興事業	長寿社会の中で、高齢者が学習を通じた仲間づくりや交流によって、生きがいを持って社会生活を送ることができるようになることをねらいとする事業 (例)明治青年大学／老壮大学／健康づくり教室／介護予防教室／シニアパソコン教室
地域社会教育推進事業	市民や地域の団体等がイベントや体験活動などを通して、地域住民との交流や地域活動の推進を図ることをねらいとする事業 (例)市民センターまつり／地域懇談会／学びのコミュニティ関連事業／地域防災教室／社会学級連携事業／地域(自然・伝統)を知る講座
民間指導者育成事業	自らの学習成果や経験を生涯学習ボランティアとして社会に生かす意欲のある人材を養成したり、そのような活動を支援することをねらいとする事業 (例)各種ボランティア育成講座／各種ボランティア活動支援／ジュニアリーダー育成支援／子ども広場サポーター養成講座
学習情報提供・学習相談事業	生涯学習の推進に必要な人材や施設、学習機会、サークルなどの情報を収集し市民に提供するとともに、学習相談に応じる事業 (例)学習情報提供・相談／サークル活動支援／サークル体験／市民センターだより発行／地域学習・人材情報収集

6 平成22年度 市民センター事業の実施体制

仙台市民センターの施設理念と運営方針

＜市民センターの3つの機能＞

「市民本位の生涯学習の支援拠点」「市民が主役の交流の拠点」「地域づくりの拠点」



Ⅱ 拠点館事業

平成 22 年度 市直営事業実績

1 生涯学習事業研究

生涯学習事業の現代的課題について、具体の先進的事業の事例研究として「調査」・「研究」・「分析評価」・「成果の活用」等を実施する。

(1) 若者によるまちづくり実践塾

地域や社会との接点が少なく、活動範囲も学校や職場が中心となり、地域の関心や人間関係の希薄になりがちといわれている若者の「自分づくり」を支援すると同時に、今後のまちづくりを担う若者にも、地域づくり等への関心を持ってもらい、参加を促すことにより、地域活動が活性化されることを目的として、20代・30代の若者を対象とした講座を各区中央市民センターでそれぞれ実施した。

①「情報屋台村―はじめの一步」

＜青葉区中央市民センター＞（受講生 9 名 大学生、社会人他）

意欲はあっても情報の取得方法や手立てを見つけない若者に、自ら活動を行うことができるための情報提供・取得を目的とした『情報カフェ』の設置を企画。今年度は将来的に常設の『情報カフェ』設置を目的として、プレイベントとなる「情報屋台村」を実施し、地域で活動している団体と若者達をつなぐ場を設定した。

②「EAST プロジェクト―若者によるまち育て実践塾」

＜中央市民センター(宮城野区対象)＞

（受講生 21 名 東口で就労、就学している社会人、専門学校生他）

「東口界隈の仲間を作る⇒東口界隈の良さを知る⇒東口界隈の良さを提案する」という連続講座を「まち育て実践塾サポーター」と連携協働しながら展開し、「まち育て活動のロールモデル」となるようなプログラミングのプランニングとプレゼンテーションを試みる活動を行った。

③「ヤングエンパワーメント講座」

＜若林区中央市民センター＞（受講生 17 名 大学生他）

若林区の中でも歴史の古い荒町商店街を住民と若者が一緒になって活性化していくことを目的として、若者が荒町商店街の地域の活動に参加、また商店街の利用者にアンケートをとり、それをまとめて商店街の人たちに提言するなどの活動を行った。

④「若者情報発信プロジェクト」

＜太白区中央市民センター＞（受講生 32 名 大学生他）

太白区で活動する大学生企画員 IMAYO!!を中心に事業を通じたネットワーク作りをすることで、仙台の若者の情報が集まり発信し、双方向に交流できる場を作ることを目的として、1年を通して受講生が企画したさまざまな事業(講座)を実施した。

⑤「若者によるまちづくり実践塾【泉区版】」

＜泉区中央市民センター＞（受講生 22 名 大学生）

若者と地域で活動している団体等をつなぐことを目的として、受講生が泉区内をより活性化するための事業を企画し、地域団体に対してプレゼンテーションを行った。

⑥「若者によるまちづくり実践塾」報告会（フォーラム）

＜中央市民センター＞

「若者の地域活動参加の推進」の一環として、各区中央市民センターの「若者によるまちづくり実践塾」の報告会を開催した。

報告会では、各区中央市民センターの受講生が中心となって事業の成果や課題などについて発表したほか、支援委員によるアドバイス等も行った。

開催日	内容	会場	参加人数
10月17日(日)	趣旨説明 各区事業内容の説明 質疑応答、講評ほか	中央市民センター	23人
12月19日(日)	趣旨説明 「若者によるまちづくり実践塾」各区講座参加者とフォーラム委員との意見交換会	中央市民センター	46人
2月11日(金)	受講者を中心とした事業報告会及びフォーラム委員との意見交換会	仙台市市民活動サポートセンター 市民活動シアター	75人

＜支援委員＞

阿部 清人氏（FM いずみ 取締役事業部長）

小松 州子氏（仙台市市民活動サポートセンター センター長）

澤村 隆太氏（東北福祉大学 総合福祉学部 4年）

中山 聖子氏（特定非営利活動法人ハーベスト 代表理事）

八巻 寿文氏（せんだい演劇工房 10・BOX 工房長）

（２） 学び直しに係る高等教育機関との連携調査

職に係るスキルアップの支援事業の有効的な実施を目的として、高等教育機関と連携しながら、成人の現状を把握していくもの。把握した内容により次年度に向けて支援事業の企画を行う。

◎ 事業例 子育て中の皆さんへ～就労チャレンジ講座

＜中央市民センター＞（全4回開催、延べ45人参加）

平成22年度は、概ね1から3年後くらいに就労を考えている子育て世代を対象に、「キャリアサポート仙台」の協力を得て、自分や社会の現状を知ることを通じた就労準備の支援を実施した。

開催日	テーマ
11月26日(金)	自分を知ろう！
12月3日(金)	社会を知ろう！
12月9日(木)	コミュニケーション力を身につけよう！
12月17日(金)	個人相談・交流会

(3) 地域連携事業事例研究

◎ 事業例 商店街活性化のための学習支援事業

＜青葉区中央市民センター＞（年間 36 回実施、延べ 570 人参加）

商店街住民の地域活性化に向けた学び（ワークショップ等）への支援。

中心市街地エリアを対象地域とした学習支援活動の一環として、中央市場商業協同組合と連携し、平成 22 年度は、「壺式参（いろは）横丁」の住民が自ら活性化に向けて活動を進めるための会議やワークショップ等への支援を行った。今後は地区館による日常的支援に移行していく。

(4) 学習成果社会還元事例研究

◎ 事業例 まなびごっこ

＜若林区中央市民センター＞（年間 124 回実施、延べ 3,180 人参加）

区民を対象に、区内在住の高齢者が豊かな経験や知識・技術を生かした学習機会を提供するために、「リーダー養成講座」で養成したリーダーによる各種講座「まなびごっこ」を実施した。

小物作り、茶道教室、囲碁教室、読書の集い、パソコン教室、俳句教室、音楽鑑賞、映画上映、活花教室、シニア教室（すずめ踊り）など

◎ 事業例 宮城大学食産業学部連携共催事業

＜太白区中央市民センター＞（全 3 回開催、延べ 130 人参加）

宮城大学食産業学部の協力を得て、市民がそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じて、食に関する知識や実践行動を獲得できる講座を開催した。

開催日	内容	講師
10 月 31 日(日)	食育講演会 卵と健康 ー卵が秘める「なぞ」を解くー	宮城大学食産業学部 准教授 石川伸一 氏
11 月 20 日(土)	楽しく学ぶ食育講座 (パウンドケーキ)	宮城大学食産業学部 教授 石田光晴 氏
11 月 27 日(土)	楽しく学ぶ食育講座 (笹かまぼこ, さつま揚げ)	宮城大学食産業学部 教授 西川正純 氏

(5) 市民企画事業事例研究

◎ 事業例 I MAYO!!

＜太白区中央市民センター＞（年間 33 回実施、延べ 1、150 人参加）

長町地区の活性化を目指し、大学生の企画により、若者参加型、地域交流型、異世代交流型講座を開催した。

＜主な活動内容＞

- ・職場体験の中学生の事業企画体験支援
- ・財団事業「ながまちっこ倶楽部 プチかがくじっけん」支援
- ・「ガチオニ!!2010」（長町まちあるき、あすと長町での鬼ごっこ、交流）
- ・交流フェスタ参加（スタンプラリーの実施）
- ・コンサート「ほしふる夜の音楽祭」開催

- ・太白綱とり物語(スタッフとして参加)
- ・かしわCITY(スタッフとして参加)
- ・スポーツ大会開催(卓球・バドミントンなど)

◎ 事業例 たいはく子育て支援ネットワーク事業

＜太白区中央市民センター＞（年間 12 回実施、延べ 629 人参加）

太白区内の子育て支援団体、グループの協働により地域の子育て力を高め、親の育児力をアップするため、地域に子育て支援ネットワークができる環境づくりを推進する。

ネットワーク参加者同士の情報交換や交流ができる機会を提供し、子育て支援事業の活発化を図る。

企画会開催、親子ひろば支援、家庭教育講演会等を開催。

2 広域規模の学習支援

(1) 広域規模の学習プログラムの実施

全市・区規模の学習支援、場合によっては複数の区の連携による取り組みを推進する。

市政各般の領域に係る施策、市民の課題ニーズを考慮するとともに、地域に濃淡なく生涯学習が行われるよう学習プログラムをつくり、実施する。

① 我が子と向き合う講座 ＜中央市民センター＞

社会情勢の不安から大人にもゆとりがなく、自信のないまま子育てに関わる保護者が増えている。特に少子高齢化社会の中では、急激な社会情勢の変化に伴い、我が子といえども子育ての関わり方が難しいと感じる大人も少なくない。そこで子どもたちの特徴をいろいろな視点から学び、子育ての一助とするための講座を実施している。

＜講座内容＞

開催日	テーマ	講師	参加者数
第1回 11月13日 (土)	「個育ちと子育て」 疲れている お父さん、お母さん方へ	HEAL ホリテック教育実践研究所 所長 金香百合 氏 共催：(特活冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク、宮城野区社会福祉協議会)	24 人
第2回 11月20日 (土)	「転ばぬ先の家庭教育！」 ～中 1 ギャップや不登校を防ぐために	NPO 法人ミヤギユースセンター 代表 土佐 昭一郎 氏	28 人
第3回 11月27日 (土)	「いざ、ハローワーク！？」 夢の実現と進路のための 家庭内サポート術	キャリアプランニング(株) 代表取締役 桑名 暢 氏	26 人
合 計			78 人

② 仙台明治青年大学 <中央市民センター>

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齢学園を修了した高齢者（61歳以上の仙台市在住者）が学習をさらに深め、豊かな社会生活を営めるよう、自主的学習意欲の向上が図れるような学習会や大学祭などを開催する。本科生として6年間、その後研究生として引き続き籍を置くことができる。平成22年度は新入生70人が入学し、在籍者数804人となった。

<主な活動>

活 動	活動内容	年間回数	参 加 延人数
学習会	○定期講座 太白区文化センター楽々楽ホールを会場に、年間16回開催。1回あたりの平均出席者数は523人であった。政治経済、文化芸能、環境、健康などをテーマに、外部講師を依頼し実施した。 ○野外活動（1回 73人） 山形県上山・寒河江方面 ○対話集会（2回 630人） 「今検討すべき大学全体の最重要課題は？」をテーマに、学生間で意見交換を行った。 ○大学祭（3回 1,238人） 楽々楽ホール、仙台市中央市民センターを会場に実施。サークル団体の活動発表の場となっている。 ○式典（3回） ・入学式、開講式 ・新年の集い （「修了・閉講式」は、東日本大震災の影響により未実施）	25	10,477
広報活動	・学生間の情報共有を促進するため、学内広報誌「団欒」を発刊。 ・文芸誌「老学文苑」の発刊	—	—
ボランティア活動	・近隣小学校、児童館で昔遊びや囲碁・将棋、七夕飾り作り等を指導。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請にも対応してきた。 ・学習会の度にワンコイン募金活動を行っている。	—	—

③ 秋の子どもの日事業

秋休み期間中のこどもの居場所作りとして、各区拠点館で子供向け事業を実施した。

開催日	主催館名	内容	参加者 人数
10月9日(土)	青葉区中央市民センター	子ども広場 ～サイエンスフェスティバル'10 楽しみながら科学に親しむ見本市(いろいろな科学の実験など)を開催	326
10月9日(土)	中央市民センター(宮城野区対象)	わくわくどきどき Japan 体験 日本の文化と歴史を 見て、ふれて、つくって、遊ぶ 体験コーナーを設置。(昔の遊び・土人形づくり、和太鼓、日本の踊り等)	200

10月10日(日)	若林区中央市民センター	ワカチュウ 子どもランド クラフトコーナー、茶道体験、バリアフリースポーツ「ボッチャ」体験、子ども映画会、らくがきパラダイス、炎のやきやきコーナーでの炭火焼体験、試食コーナーを設置	300
10月13日(水)	太白区中央市民センター	“秋休み太白こどもチャレンジタウン 2010” 体育館を会場に、昔遊び、人間双六、89ers の選手とのふれあいコーナー等を設置	281
10月11日(月)	泉区中央市民センター	飛び出そう！ 宇宙へ JAXA 職員による宇宙をテーマにした講演とサイエンスレンジャーによる面白科学工作	50

④ その他の主な事業

館名	事業名	内容	開催日	参加 延人数
青葉区中央市民センター	子どものための日本語講座	在仙の外国籍子女及び帰国子女対象の日本語習得のための事業を実施した。	年間 34 回 開催	691
	せんだい日本語講座	在仙の外国籍生活者対象の日本語習得のための事業を実施した。	年間 143 回開催	6,788
若林区中央市民センター	家庭教育講座講演会	医師・産業医を講師に迎えて、親子関係について、家庭でのコミュニケーションの取り方の大切さや傾聴の方法、家庭でのストレスなどについて学ぶ機会を提供した。	1 月 22 日	11
	区内市民センター連携モデル事業（ザリガニ釣り）	地区市民センター単独では困難であったネットワークの構築や地域資源の掘り起こしを行い今後の社会教育プログラムづくりの参考に資するため、区内の住民等を対象に、区中央市民センターと地区市民センターの連携（共催）によるモデル事業として「ザリガニ釣り」を実施した。	7 月 25 日	58
	区内市民センター連携モデル事業（若林区民文化セミナー）	若林区内には、様々な文化・歴史・自然などの地域資源が豊かに存在している。これらの地域の隠れた魅力を再発見し、これらの資源を活用した地域づくりを行うため、地区市民センターとの連携による「若林区民文化セミナー」を実施した。	2 月 27 日	141
太白区中央市民センター	コミュニティFM連携まちづくり人材育成事業	生涯学習の事業や、地域情報等の情報収集方法や番組作りを市民が学ぶ機会をつくる。	3 月 1 日	25
	高校生企画講座「専門高校って！」	高校生が、学習成果を発表できる講座を企画し、市民センターを会場に地域に紹介する。	9 月 25 日 12 月 18 日 1 月 8 日	118

泉区中央 市民センタ ー	泉環境まつり	「泉環境フォーラム」と連携し、泉区役所前市民広場を会場に、楽しく身近に環境問題を考えるイベント(まつり)を開催した。	5月29日	3,483
	泉環境フォーラム 運営支援	環境問題に取り組む市民団体・企業・学校・行政機関で組織する「泉環境フォーラム」の運営を支援し力量を高めながら、地域に「エコなまちづくり」を定着させ、市民協働推進と賑わい創出を図った。	4月15日 5月12日 6月4日 9月15日 11月16日 1月20日 3月9日	176

(2) ボランティア養成等人材育成

① 託児ボランティア養成

＜中央市民センター＞

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学習できる「学びのバリアフリー事業」の一環として、子育て中の保護者が安心して学習できるように講座に託児を付設している。

託児付き事業の託児室は、市民参画による市民のためのものとしてボランティアの主體的な運営を前提としており、その中で活躍する託児ボランティアの養成と育成及び支援のための事業を市民センターで実施している。

＜研修内容＞

事業名	内容	開催日	受講者 延人数
託児ボランティア 養成講座	市民センター託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学ぶ。 ・オリエンテーション 「託児ボランティアとは」 ・講話、実技「子どもを取り巻く環境①」 講師：支倉保育所 ・移動研修「子どもを取り巻く環境②」 仙台市支倉保育所見学 ・講話「子どもの病気と怪我」 講師：宮城野区保健福祉センター家庭健康課 ・話し合い、実技 「これからの活動に向けて」	8月31日 9月7日 9月16日 9月28日 10月5日	66
託児ボランティア 養成講座 in 泉	より地域に密着したボランティアを育成するため、区中央市民センターを会場として開催。 ・オリエンテーション 「託児ボランティアとは」 ・講話、実技「子どもを取り巻く環境①」 講師：長命ヶ丘保育所 ・移動研修「子どもを取り巻く環境②」 仙台市長命ヶ丘保育所見学 ・講話「子どもの病気と怪我」 講師：泉区保健福祉センター家庭健康課 ・話し合い、実技 「これからの活動に向けて」	2月2日 2月9日 2月16日 2月23日 3月2日	116

託児ボランティア フォローアップ研 修	より質の高い託児室運営のため、託児ボランティア の資質や技術向上に役立つ研修を実施。 ・年齢に合わせた実践的な手遊び等と保育所の現 状 講師：蒲町保育所 地域子育て支援室 職員 ・発達障害を疑われる子どもの基礎的知識と対処方 法 ・2歳前後の子どもの保育についての現状と問題点 講師：仙台市立町たんぽぽホーム園長 仙台市上飯田たんぽぽホーム園長	6月15日 11月30日	98
託児ボランティア 活動支援 (連絡会・調整会 の開催)	市民センターで養成された託児ボランティアに対 し、連絡会、託児調整会等の開催により、日常の活 動を支援する。	4月13日 10月19日 3月16日	107

＜託児ボランティアグループ一覧＞（平成23年3月現在）

グループ名	設立年月日	最寄の市民センター	会員数
さくらんぼ	H14.5.8	青葉区中央市民センター	3
ひまわり	H9.8.1	水の森市民センター	10
プーさん	H3.1.1	水の森市民センター	5
てっこの会	H6.4	水の森市民センター	13
ポッケの会	H2.3.25	広瀬市民センター	12
アリスの会	H5.7	中央市民センター	7
ぐるんぼ	H18.12	中央市民センター	9
くれよん	H20.3	中央市民センター	6
にんじん	S59.7.9	東部市民センター	8
ハイジ	H22.4	若林区中央市民センター	6
クリップ	H9.4.1	六郷市民センター	9
でんでんむし	H12.3.22	太白区中央市民センター	9
こんぺいとう	H7.10.1	茂庭台市民センター	3
たんぽぽ	H4	富沢市民センター	8
ちゅうりっぷ	H13.3.14	寺岡市民センター	16
キャンディ	H22.4	南光台市民センター	11
合計 16グループ / 会員数135人			

② 図書ボランティア養成

＜中央市民センター＞

全市民センターのうち 29 館の図書室で、市民ボランティアの協力により図書の貸し出し等の運営を行っている。

中央市民センターでは、より身近で利用しやすい図書室環境の整備のため、図書ボランティアのスキルアップの機会として研修会を開催している。「子ども読書活動推進計画」の趣旨を汲み、市民センターや児童館などの各図書室で活動する方を対象に実施しており、意見交換などを通してボランティア同士の連携構築の機会ともなっている。

<研修内容>

開催日	内 容	講 師	受講者数
2月1日 (火)	「図書ボランティアとしての心構えと役割」 「人がどんどん集まる図書室を目指して」 図書室の環境づくり、来館者への声かけ など	仙台市民図書館 中川美佳氏 鴨原明子氏	27 人
2月8日 (火)	「人を引き付けるための読み聞かせセルフチェック術！」 自分の読み聞かせのセルフチェック、お勧めの本の紹介 など	仙台市民図書館 中川美佳氏 武澤奈津子氏	61 人
2月15日 (火)	「ワクワクする読み聞かせの場づくり」 ものがたりの世界を広げる舞台演出の工夫	せんだい演劇工房 10-BOX 工房長 八巻寿文氏ほか	61 人
合 計			149 人

<図書ボランティア一覧> (平成 22 年 3 月末現在)

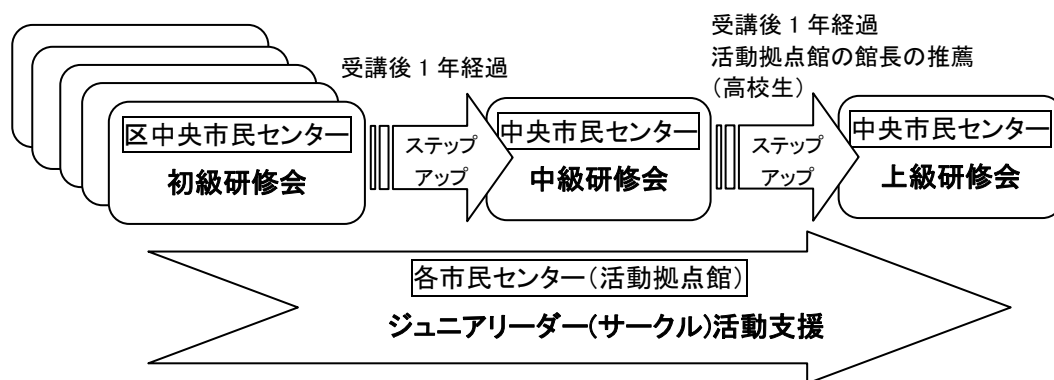
グループ名	活動館	ボランティア 人数
カンナの会	福沢市民センター	14
図書ボランティアぽけっと	三本松市民センター	7
葉の会	落合市民センター	19
(グループ名なし)	片平市民センター	7
(グループ名なし)	水の森市民センター	24
ひまわり	貝ヶ森市民センター	10
中山児童館図書ボランティア	中山市民センター	9
コスモス文庫	大沢市民センター	14
図書ボランティアサークル「たんぽぽ」	吉成市民センター	12
(グループ名なし)	木町通市民センター	10
しおりの会	岩切市民センター	13
田子図書ボランティア	田子市民センター	6
芽ぐみ 他	東部市民センター	7
かすみそう	高砂市民センター	13
図書ボランティアみちくさ	荒町市民センター	10
図書ボランティア	七郷市民センター	12
図書ボランティア	沖野市民センター	8
若林子育て支援クラブふぁみーゆ	若林市民センター	20
ブックスフレンド中田	中田市民センター	18
(グループ名なし)	八木山市民センター	45
(グループ名なし)	山田市民センター	14
富沢市民センター図書ボランティアの会	富沢市民センター	40
東中田図書ボランティア	東中田市民センター	7
(グループ名なし)	茂庭台市民センター	13
(グループ名なし)	西多賀市民センター	16
図書ボランティアコスモス	八本松市民センター	12
ブックポケット	柳生市民センター	10
(グループ名なし)	松森市民センター	12
そよかぜ	桂市民センター	8
合計 29グループ / ボランティア数410人		

③ ジュニアリーダー育成・支援

ジュニアリーダーとは、青少年ボランティア活動の一環として、仙台市教育委員会の支援を受け各市民センターを拠点として活動している中学生・高校生のこと。

ジュニアリーダーの主な活動内容は、地域の子ども会活動を活性化するための支援であり、このような活動を通して、地域全体の活性化に貢献している。また、子供を対象としたイベントの企画・実施やその他のボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、こうした活動が、ジュニアリーダー自身の人格形成にも役立っている。

市民センターでは、ジュニアリーダーを育成するために、各区中央市民センターにおいて初心者を対象とした初級研修会、中央市民センターにおいてステップアップ研修となる中級研修会・上級研修会を実施している。さらに、ジュニアリーダーの活動の拠点となっている市民センターにおいては、活動の支援や、ジュニアリーダーを指導者とした事業を行っている。



市民センター全体を通して、ジュニアリーダー一人ひとりが段階的に認定を受けながら、子ども会活動全般についての専門的な知識や技能を身に付け、自覚と責任を持って活動できるように支援し、さらに地域とのつながりの中で活動するジュニアリーダーを支援することによって、子ども会をはじめとする地域の活動を活性化している。

<ジュニアリーダーサークルの主な活動>

自主企画（ジュニアと遊ぼう、交流会など）、定例会及び連絡会、各種研修会
子ども会、市民センター、その他の機関からの要請による活動

- ・子ども会行事の実施及び企画の補助
- ・区民まつりへの参加
- ・市民センター事業への補助
- ・児童館行事のスタッフ など

○ジュニアリーダー初級研修会

新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生に対し、青少年のボランティア活動をと
おして、地域の子ども会活動の活性化を図るために必要な、基本的な知識と技術を習得す
る機会を提供する。

また、区内のジュニアリーダー相互と、新たにジュニアリーダーに加わる受講生との親睦を図り、今後の活動への意欲を高める。

主催館名	開催日	参加人数
青葉区中央市民センター	7月11日(日)	48
中央市民センター(宮城野区内対象)	8月8日(日)	27
若林区中央市民センター	12月19日(日)	25
太白区中央市民センター	6月26日(土)	46
泉区中央市民センター	12月12日(日)	20

○ジュニアリーダー中級研修会

地域の子ども会の活性化と青少年のボランティア活動を積極的に推進するため、初級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行なっている中学生および高校生で、市民センターの推薦を受けた者を対象に、より高度な知識と技術を習得するための研修を行なう。

＜仙台市中央市民センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

7月10日(土)～11日(日) 参加者数 80人

- ・ジュニアリーダーの活動について
- ・効果的な話し合いの仕方
- ・広報紙の作り方
- ・集団活動の進め方
- ・安全に活動するために
- ・子ども会とレクリエーション活動

○ジュニアリーダー上級研修会

青少年のボランティア活動と地域の子ども会活動の一層の振興を図るために、仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ、リードする立場に立つべき高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行なう。

中級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行なっている高校生又は高校生の年齢に相当する者で、かつ活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり、市民センターの推薦を受けられる者を対象とする。

＜仙台市中央市民センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

10月2日(土)～3日(日) 参加者数 72人

- ・ジュニアリーダーの活動について
- ・サークル活動(集団)運営のあり方
- ・安全に活動するために
- ・子ども会と野外活動について（実習：県民の森）

＜ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧＞（平成 22 年 9 月末現在）

区内連絡会	No	サークル名	登録 人数	活動拠点館名
青葉区(70 人) 連絡会『星のすなごけい』 (青葉区中央市民センター)	1	MRVCくまっこ	22	広瀬市民センター
	2	かめ吉	7	福沢市民センター
	3	朝実巣あかよばく	11	柏木市民センター
	4	SKY	13	中山市民センター
	5	みずの森ーダー’S	8	水の森市民センター
	6	Blue Leaf Spirits	9	青葉区中央市民センター
宮城野区(53 人) 連絡会『Lovers』 (中央市民センター)	1	高砂フレンズクラブ	9	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	4	岩切市民センター
	3	鶴ヶ谷YOURSELF	22	鶴ヶ谷市民センター
	4	幸町Fortune	18	幸町市民センター
若林区(40 人) 連絡会『田んぼっ区』 (若林区中央市民センター)	1	郷郷七郷	5	七郷市民センター
	2	六郷村	0	六郷市民センター
	3	ピ野沖ヲ	2	沖野市民センター
	4	JARO	21	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	7	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	5	若林市民センター
太白区(72 人) 連絡会『ANON』 (太白区中央市民センター)	1	なかだかな	18	中田市民センター
	2	おいでください	6	生出市民センター
	3	にしたがつつまん	21	西多賀市民センター
	4	ながまっくる	27	太白区中央市民センター
泉区(71 人) 連絡会『ざわざわ森』 (泉区中央市民センター)	1	黒松ファミリー	9	黒松市民センター
	2	南光台アドバルーン	10	南光台市民センター
	3	根白石いなかもん	2	根白石市民センター
	4	将監くれよん	6	桂市民センター
	5	向陽台ぱぴぷぺパレット	2	松陵市民センター
	6	長命ヶ丘巣子っぷ	4	南中山市民センター
	7	高森流星サークル	14	高森市民センター
	8	寺岡流星サークル	4	寺岡市民センター
	9	七北田JLありす	8	泉区中央市民センター
	10	みちのく松陵	11	松森市民センター
	11	加茂プレゼント	1	加茂市民センター
市全体（306 人 / 31 サークル） 連絡会『ずんだ』（中央市民センター）				

④ インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施した。

区	開催回数	参加 延人数
青葉区	10	628
宮城野区	8	429
若林区	6	393
太白区	10	641
泉区	18	508
合計	52	2,599

⑤ 実習受入

○社会教育実習生

各区中央市民センターにおいて、社会教育主事資格取得を目指す宮城教育大学、東北学院大学、東北福祉大学の学生を対象に、市民センターでの実習を通して生涯学習事業を学習させるため、実習生として受入れ、講座の企画立案や実践について指導した。

○児童・生徒の職場体験実習

小学生、中学生の職場体験実習を受け入れ、市民センター業務に関する学ぶ機会を提供した。

3 学校・地域連携推進

学校や地域団体等とネットワークをつくり、様々な人たちが連携して課題に取り組めるように必要に応じて、つなぎ手、支え手の役割を果たす。

(1) 学びのコミュニティ推進事業支援

学校や市民センターが事務局となり、地域の様々な団体が連携し、中学校区または小学校区の児童、保護者、住民等を対象として、子どものすこやかな育ちを支援する地域のネットワークをつくり、様々な事業の実施をととして子どもを育む地域づくりを行っている。

3年間、市から事業委託を受け、委託終了後は自主実施となるが、市民センターでは、長く組織に関わり、活動支援を行っている。

<平成 22 年度に市民センターが関わった主な事業>

館名	事業名	概要	年間 実施 回数	参加 延人数
青葉区中央 市民センター	旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ	学コミ事業。旭丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・7月10日 コピー機になってみよう ・8月21日 森2がっこキャンプ-4つのわ-(食育をテーマにした学校キャンプ) ・11月22日 わんぱく森2がっこ遠足	14	529
若林区中央 市民センター	通学合宿！ 連坊！	連坊小路小学校4年生から6年生を対象に、親元を離れて地域のお寺に2泊3日で宿泊させて自炊しながら学校に通学する講座を実施した。 ・10月6日(水)～8日(金)	1 (3日間)	90
太白区中央 市民センター	とみざ和がっこ	富沢中学校区の各団体と協力して事業を実施することで地域全体で子どもを育てていくきっかけをつくる。 ・9月19日 親子デイキャンプ体験 ・2月12日 こどものまち in 富中「かしわCITY」ほか	12	2,071

館名	事業名	概要	年間 実施 回数	参加 延人数
太白区中央 市民センター	東なかだ学び のコミュニティ 推進事業	袋原中学校区内の児童・生徒や保護者、地域住民と共に、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行い、地域コミュニティを深めていく。 ・4月17日 お花見の会 ・4月24日 お花見の会② ・7月24日 学校に泊まろう ・8月7日 学校で花火を見る会 ・11月6日 すずめ踊り&中学生スキルアップ体験会(職場体験事前研修会)	5	692
	湯元地区学び のコミュニティ 推進事業	湯元小学校区の各団体と協力して事業を実施することで地域全体で子どもを育てていくきっかけをつくる。 ・10月17日 がんばれ秋保っ子 ・1月15日 秋保カルタ大会	9	400
南中山市民 センター(泉 区中央市民 センター支 援)	学びのコミュニ ティ支援事業 (南中山編)	まなびねっと「いずみ中山」推進委員会を組織し、南中山地域、北中山地域の住民の交流を促すことにより、子どもたちの健やかな育ちを支援するとともに地域の活性化を図った。 ・9月4日 長谷倉川で友だち交流会 ・12月26日 門松づくり ・1月15日 南中山・北中山小学生交流会	13	539

<委託終了後の事業に対する継続的支援>

館名	事業名	概要	年間 実施 回数	参加 延人数
青葉区中 央市民セ ンター	かみすぎねっと 支援	学コミ事業。上杉山通小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・7月17日 おもしろ子ども会	1	300
	まちがっこ	東二小・幼稚園をはじめ、センター周辺の関係団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・5月27日/10月27日 花あるまちづくり ・6月2日 わくわくワイワイ囲碁体験! ・6月16日 だるまこ遊びをしよう! ・8月22日 東二夏祭り ・2月2日 泉が岳クラフト体験	6	890
	ひろせ山がっこ	学コミ事業。広瀬小、愛子小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・7月24日 学校に泊まろう! ・10月31日 宮城地区まつり参加 ・1月15日 だんごさし	3	319

館名	事業名	概要	年間 実施 回数	参加 延人数
中央市民 センター (宮城野 区対象)	榴岡かいわい 学びのコミュニ ティづくり推進 事業	仙台駅東口かいわいの幼児、小学生を対象として遊びの広場を提供する。また、地域の住民や中学生、ボランティア等の参加も促し、異世代間の交流も図る。 ・8月28日 第9回つつじがおかワイワイ夏まつり ・1月29日 第4回つつじがおかワイワイ冬まつり	10	857
若林区中 央市民セ ンター	南小泉子ども のふるさとづくり 推進事業	南小泉小学校の子どもたちや保護者を対象に子どもとその保護者が親子一緒に体験活動ができる講座を2回実施した	4	500
	区内小学校区 合宿支援	蒲町・大和小学校4年生から6年生を対象に、小学校に自炊しながら1泊2日の共同宿泊体験をさせ、地域を知るための体験活動をする事業の支援を行った。	2	259
	ひがろく子ど も・ふるさと再発 見推進事業	東六郷小学校の子どもたち等を対象に、地域コミュニティづくりと学びの場を提供するため、「東六郷フェスティバル参加」や「仙台市PTAフェスティバル」に参加した。	2	120
太白区中 央市民セ ンター	学びのコミュニ ティながまち	長町中学区(長町小、長町南小、鹿野小学区)内児童・生徒や保護者、地域住民と共に、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行い、地域コミュニティを深めていく。	3	428
泉区中央 市民セン ター	学びのコミュニ ティ支援事業 (松森編)	松森市民センターが核となった「まなこみネット鶴が森推進委員会」を支援した。 ・7月19日 どんどこ！巨大紙相撲 鶴が森場所2010 ・1月8日 冬のお楽しみ会 「もちつきとだんごさし」	2	585
	区内学コミ連絡 会	区内で活動している各学コミ委員会と情報を共有し、学コミの活動の促進ならびに拡大を図った。	2	46
	ふれあい学び ネットい・ず・み 「あそびの天 国」	市民センター全館を会場に、遊びによる交流を図る、子どもの居場所づくりの事業を行った。 2月20日	1	387
	ふれあい学び ネットい・ず・み 「キャンプだホ イ！」	市名坂小学校を会場に、七北田中学校区の小学生(高学年)を対象としたキャンプを開催した。 8月18日～19日	1 (2日間)	80
	ふれあい学び ネットい・ず・み 推進委員会	地域の諸団体が連携し、青少年健全育成事業の展開を図ると共に、子どもの居場所づくり事業について検討協議した。	12	244

4 学習情報収集・提供事業

区内地区館が収集している地域情報を含め、広く情報を集積し、多様な媒体に整理・保管し、広く市民が活用できるよう公開する。

(1) 学習情報提供システム

市民の学習意欲に応え、的確な情報提供サービスを展開することで、効果的に市民の学習活動を支援するため、中央市民センターと各地区 56 館の市民センターとがコンピューターでネットワークを結び、生涯学習に関する、より新しい情報を提供するとともに、市民の学習相談に応じることを目的として、平成 12 年 3 月より現行システムを運営している。

< 仙台市生涯学習情報提供システムの特色 >

- ・ 各市民センターで同じ情報を提供することによって、市民は身近な市民センターで学習情報を取得できる。
- ・ インターネットにより、家庭や職場のパソコンから情報を取り出すことができる。(個人情報についての制限有り)

< 仙台市生涯学習情報提供システム登録情報数 >

情報種類	20 年度末現在	21 年度末現在	22 年度末現在
団体・サークル情報	1,281	1,162	1,126
人材・講師	701	637	615
事業		65	64
合計	1,982	1,799	1,741

< 平成 22 年度 学習情報提供・相談件数 >

相談内容	窓口・電話受付	インターネット経由	合 計
施 設	17	0	17
団体・サークル	725	76	801
事業・イベント	16	2	18
人材・講師	75	11	86
その他	90	0	90
合 計	923	89	1,012

< 平成 22 年度 インターネット関連アクセス等件数 >

市民センター全般	41,672,073 件	学習情報検索	205,073 件
年間概算閲覧者数	754,355 人	1 日あたりの閲覧者数	2,066 人
年間閲覧頁数	3,692,120 頁	1 日あたりの閲覧頁数	10,115 頁

(2) 市民センターホームページ(ブログ)の運営

URL : <http://www.stks.city.sendai.jp/sgks/WebPages/>

仙台市市民センターのウェブページを開設し、市民センターに係る各種のデータを公開するとともに、学習情報提供システムの情報を検索できるページを設け、広く学習情報を提供している。

また、ホームページ内では、全市民センターがそれぞれブログを公開している。

＜地区館のブログの例＞

The screenshot displays the website of the Sendai City Central Citizen Center, accessed via Microsoft Internet Explorer. The page features a header with navigation links and a main content area with a blog post titled "「森林セラピー」&「汗」職場体験!". The blog post describes a field trip to a forest therapy course. The page also includes a sidebar with various links and a footer with system information.

仙台市 新着情報 | 内容別索引 | 組織別索引 | 検索 | サイトマップ | 使い方ヘルプ |

仙台市トップ>教育>中央市民センター>市民センター各館>太白区中央市民センター

あーど! たいはく 学ぶ気持ちを応援します
太白区中央市民センター
●お問い合わせ (9:00~21:00)
講座 TEL **022-304-2741**
施設 TEL **022-304-2211**
●休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始

HOME E-mail Low Vision Mode Navi 05月<<<06月<<07月<08月

1 センターだより
1 主催事業情報
1 周辺区域の概要
1 施設のご案内※
1 部屋の使用料※
1 利用のご案内※

新着情報
■ 08/21(日) -- 「森林セラピー」&「汗」職場体験!
■ 08/13(土) -- 「たいはくになるお家の話」終了しました
■ 08/10(水) -- 『親子で防災! わいわい井戸端会議inながまち』参加者募集のお知らせ
■ 08/06(土) -- センターだより8月号のお知らせ
■ 07/26(火) -- センターだより8月号のお知らせ
■ 07/24(日) -- ながまち交流フェスタ参加団体募集!
■ 07/20(木) -- 講座『ながまち夜のつづみナード』のご案内
■ 07/02(土) -- 老壮大学校がはじまりました!
■ 06/30(木) -- センターだより7月号のお知らせ
■ 06/22(水) -- あふれる「笑顔! えがお!」
2011年8月21日(日)

太白区中央の四季
市民センター児童館棟屋上はジャングルジムなど被災しましたが、プランターの花はみな「あの日」を乗り越えて咲いています!

1 休館日のお知らせ※
1 案内図(Google Map)
※関連ページへのリンク
1 講座レポート
太白区中央編
太白区中央市民センター主催事業の様子を紹介いたします。
1 講座レポート

1 関連情報
1 地域のリンク
■ 仙台市立長町小学校
■ 仙台市立長町南小学校
■ 仙台市立鹿野小学校
■ 太白区中央児童館
■ 地底の森ミュージアム

「森林セラピー」&「汗」職場体験!
老壮大学校がはじまりました。連日の猛暑の疲れを癒すためにも「近場の山」へ出かけてフィットネッスをとり入れようという内容でした。ラストはラフターヨガで盛り上がりました。この講座に受付業務から聴講、後片付けまで全面的に、職場体験中の西多賀中学校2学年男子5名が活躍しました。終了後感想を聞くと、「“ありがとう、今日は楽しかったよ”と言われ、役に立つことができたんだと胸に染みしました。」というコメントが届きました。

受付の中学生に「わあ、元気かい! わね」という声。

ラフターヨガでは、大きなのこを収めたことを想定して大きな笑い声が……。

仙台市市民利用施設予約システム
学習情報検索
他館のページ
市民センターだより(全部分) PDF版
事例研究報告
リンク集
PDFについて
PDFファイルで作成されている文書をご覧いただくには、PDFを見るためのソフト「Adobe®(Acrobat®) Reader」(無料)が必要です。下記にある「Get Acrobat Reader」のボタンをクリックして、ダウンロードして下さい。ダウンロード終了後、インストールが必要です。

(3) 市民センター事業ガイド

講座等参加者の募集中、募集予定がある事業について、57館分を1冊の冊子にまとめて、2ヶ月に1回発行して、市民への情報提供を行っている。

(4) その他の学習情報提供事業

館名	事業名	概要	実施日等
若林区中央市民センター	若林区地域情報発信事業 「若林区歳時記情報発信事業」	写真ボランティアに依頼して区内の歳時記情報を蓄積するため、定例会を3回開催し情報を収集した。また、蓄積した情報を窓口等に掲示するなど情報発信を行った。	4月16日 7月30日 11月19日
	生涯学習情報発信事業 「いぐスペ！わかばやし！」	当市民センターとして、隔週水曜日に「エフエムたいはく」のラジオ放送で、若林区内の生涯学習事業の情報を発信する「いぐスペ！わかばやし！」の放送を実施した。	年間24回実施
太白区中央市民センター	コミュニティFM連携学習情報提供事業	「エフエムたいはく」と連携して、太白区内市民センターの生涯学習事業や地域情をの紹介。番組サポーターと共に事業をすすめながら、学習情報の提供を行う。	年間71回実施

5 職員研修

市民センター職員の役割に対応した能力を備え、事業運営に係る技術や能力の向上を目指して、市民センターの事業に携わる職員を対象とした各種研修を実施している。

<研修内容>

研修名	実施日	受講対象	概要	参加人数
新任研修会	5月12日 (水)	新任の市職員	4月に新しく配属された職員を対象に市民センターの基本を学ぶ研修会を実施する。	10
事例発表研究研修会	2月24日 (木)	(財)ひと・まち交流財団職員	区拠点館で実施している先進モデル事業、各地区館で実施している重要課題解決のための事業など、時代の流れに対応した事業の分析・検証を行う。 また、その結果により職員を対象とした研修を実施し、職員の意識、及び事業企画運営に関する技術の向上を図る。	97
学習相談研修	年間29回 実施	(財)ひと・まち交流財団職員	指定管理者職員を対象に、学習相談や情報レファレンスシステム操作の研修を行う。	185

6 仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条、仙台市市民センター条例第13条に基づき、市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は、17人で、任期は、平成21年11月1日から平成23年10月31日までの2年間となっている。

<委員名簿> [平成23年3月31日現在]

氏 名	勤務先・所属団体(役職名)
阿 部 重 樹	東北学院大学経済学部 教授
石 井 山 竜 平	東北大学大学院教育学研究科 准教授
伊 藤 芳 郎	仙台市立三条中学校 校長(仙台市中学校長会)
笠 井 文 子	ふれあいサロン ゆうゆう(結遊) 代表
吉 良 智	人権擁護委員(子ども人権委員)
小 岩 孝 子	特定非営利活動法人 FOR YOU にこにこの家 理事長
佐 藤 憲 子	仙台市社会学級研究会 顧問
佐 藤 美 佳 子	仙台市PTA協議会 副会長
島 田 福 男	仙台市連合町内会長会 庶務理事
鈴 木 有 希 子	仙台市子育てふれあいプラザのびすく泉中央 副館長
千 枝 倫 子	財団法人仙台市スポーツ振興事業団
梨 本 雄 太 郎	宮城教育大学教育学部 准教授
○ 新 田 新 一 郎	(有)プランニング開 代表取締役
橋 本 啓 一	仙台市議会 議員
増 田 学 身	東北文化学園専門学校 インテリア科長
◎ 水 谷 修	東北学院大学教養学部 教授
森 忠 治	演劇プロデューサー・ワークショップデザイナー

◎:会長 ○:副会長 敬称略・50 音順

<近年の審議内容(平成12年度～平成22年度)>

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成12年 1月16日	提言	市民センター業務再編に関する見解	1 市民センターのあるべき姿 2 業務再編をめぐる課題 3 今後の課題
平成15年 10月7日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1 子どもの事業に取り組む課題と視点 2 ジュニアリーダーの育成と活動支援 3 学社連携・融合事業について 4 学校週5日制に対応した事業について
平成17年 9月12日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1 市民企画委員のプログラムづくりについて 2 市民センター運営における市民の参加について 3 市民参加を広げる事業活動を目指して

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 19 年 10 月 30 日	答申	市民センターの施設 理念と運営方針の見 直しについて	1 見直しの背景 2 見直しにあたっての考え方 3 市民センターの施設理念と運営方針
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1 今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2 経過報告のまとめについて ＜これまでの審議内容(各委員の意見)の概要＞ 1 市民センターの区への移管について 2 連携事業の調査から見てきたもの ＜市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは＞ (梨本雄太郎委員) ＜区行政との「融合」をめぐる＞ (石井山竜平委員)
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計 画(素案)」に対する意 見書	区役所への移管については課題や懸念があることから、 それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点 とした新しいまちづく りの提案 ―仙台プ ラン―	＜市民センターを拠点とした新しいまちづくり＞ 1 意識を変える 2 人材発掘・育成とネットワーク化 3 市民の活動の場を生み出し支援する ＜新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩 /今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案＞ 1 住民参画・問題解決型学習事業 2 子ども参画型社会創造事業 3 学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連 携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを活か した地域づくりの推 進」に関する意見書	1 検討の進め方について 2 組織見直しをめぐる課題について

＜平成22年度の審議経過＞

開催日	会議種別	協議議題
5 月 18 日(火)	定例会	報告：①平成 22 年度生涯学習要求水準書 ②平成 22 年度市民センター事業計画概要 ワークショップ：地域づくりの中で市民センターが担う役割について
7 月 6 日(火)	定例会	報告：平成 21 年度市民センター事業実施状況について 審議：地域づくりの中で市民センターが担う役割について
8 月 17 日(火)	臨時会	審議：市民センターを中心とした新しい地域づくりの提案―仙台プラン ―[素案]」の検討
8 月 31 日(火)	定例会	審議：地域づくりの中で市民センターが担う役割について
11 月 9 日(火)	定例会	審議：市民センターを活かした地域づくりの推進に向けて
12 月 14 日(火)	臨時会	審議：市民センターを活かした地域づくりの推進に向けて
1 月 18 日(火)	定例会	審議：市民センターを活かした地域づくりの推進に向けて
1 月 25 日(火)	臨時会	意見交換：市民センターを活かした地域づくりの推進に向けて
(3 月 15 日(火))	(定例会)	(審議： 今後の公民館運営審議会の進め方について)
* 平成23年3月15日の定例会は、上記の内容で開催を予定していたが、東日本大震災の影響により中止した。		

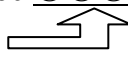


地区館事業

平成 22 年度 指定管理事業実績

市民センター地区館ホームページアドレス一覧

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/〇〇〇〇/index.html>

※館によって入る文字が異なる 

市民センター名	〇〇〇〇に入る文字	市民センター名	〇〇〇〇に入る文字
青葉区		六郷市民センター	rokugo
青葉区中央市民センター	aochu	沖野市民センター	okino
柏木市民センター	kasiwagi	若林市民センター	wakabayasi
北山市民センター	kitayama	太白区	
福沢市民センター	fukuzawa	太白区中央市民センター	futochu
旭ヶ丘市民センター	asahigaoka	生出市民センター	oide
三本松市民センター	sanbonmatsu	中田市民センター	nakada
片平市民センター	katahira	西多賀市民センター	nisitaga
水の森市民センター	mizunomori	八本松市民センター	hachihonmatsu
貝ヶ森市民センター	kaigamori	八木山市民センター	yagiyama
中山市民センター	nakayama	山田市民センター	yamada
折立市民センター	oritate	茂庭台市民センター	moniwadai
広瀬市民センター	hirose	東中田市民センター	higashinakada
宮城西市民センター	miyaginishi	柳生市民センター	yanagiu
大沢市民センター	osawa	秋保市民センター	akiu
落合市民センター	ochiai	馬場市民センター	
吉成市民センター	yosinari	湯本市民センター	
木町通市民センター	kimachi	富沢市民センター	tomizawa
宮城野区		泉区	
中央市民センター	chuo	泉区中央市民センター	izuchu
高砂市民センター	takasago	根白石市民センター	nenosiroisi
岩切市民センター	iwakiri	南光台市民センター	nankodai
鶴ヶ谷市民センター	tsurugaya	黒松市民センター	kuromatsu
榴ヶ岡市民センター	tsutsujigaoka	将監市民センター	syogen
東部市民センター	tobu	加茂市民センター	kamo
幸町市民センター	saiwaichou	高森市民センター	takamori
田子市民センター	tago	松陵市民センター	syoryo
福室市民センター	fukumuro	寺岡市民センター	teraoka
若林区		長命ヶ丘市民センター	chomeigaoka
若林中央市民センター	wachu	松森市民センター	matsumori
七郷市民センター	sichigo	桂市民センター	katsura
荒町市民センター	aramachi	南中山市民センター	minaminakayama

青葉区中央市民センター

〔沿革〕

昭和 61 年の市立東二番丁小学校の全面改築に伴い「仙台市市民教養センター」が廃止され、昭和 63 年 1 月に「仙台市中央公民館一番町分館」が開館。平成 13 年 4 月、隣接の「アスピア一番町（勤労青少年ホーム）」を統合し、新しく「青葉区中央市民センター」としてスタートした。

市の中心地域で交通の便が良いため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用率が高く、外国人も集まりやすいため、日本語講座を開催するなど国際交流の場としても一役を担っている。

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	ボランティア養成講座「仙台七夕応援隊」		
参加者	大学生、一般	参加延人数	50人
開催日	全7回 6月19日(土)、7月3日(土)、7月17日(土)、7月24日(土)、7月31日(土)、8月6日(金)、 8月21日(土)		
ねらい	子ども広場「仙台七夕に参加しよう」の事業を地域の方々と共に運営し、仙台の伝統行事である「仙台七夕」に関わりながら、地域活性化に繋がるような活動をするを目的にボランティアを養成する。		
概要・成果	「子ども広場・仙台七夕に参加しよう」の講座運営のボランティアとして大学生や折り紙の得意な方などが参加し、子ども達や地域の方とふれあいながら、七夕作りや飾り付けの手伝いなど、講座運営のサポートとして活躍した。受講者の感想や反省会での「今後もボランティア活動を継続したい」との声からも、概ね目的は達成できた。		

〔平成 22 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てステップバイステップ～聞いてほっと話してほっと～	子育て中の保護者を対象に、子育てや家族との関わり方、かけがえない子どもの命について話し合いと情報交換の場を設けた。	6月3日・10日・17日・24日	4	17
パンダくらぶであそぼう	親子で運動、人形劇、読み聞かせ、豆まき等で触れ合う時間を共有することで、コミュニケーションを深め、風通しの良い親子関係へと繋がる場を設けた。	11月2日・12日・30日・12月14日・1月18日	5	66
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション・ゲーム等を学習する場を設けた。	1月29日	1	40
子ども広場「仙台七夕に参加しよう」	日本と外国の子ども達が、地域の団体と協力して商店街に飾る吹流しを作成し、仙台の伝統行事である「仙台七夕まつり」に参加することで、参加者及び地域との交流を図った。	7月17日・24日・31日・8月6日	4	50
子ども広場「サイエンス・フェスティバル'10」	小・中学生を対象に、管内中・高・大・大学院・企業などの科学関連団体が行う実験や工作のブースを設け、五感を使って楽しく体験できる場とし、科学の不思議と面白さを学んだ。	10月9日	1	326

あおばカレッジ	市民の主体的な学びと仲間作りを目的に、今年度のテーマを「環境」にし、年間を通して学習の場を設けた。内容は、基調講演「地球温暖化のこと、教えてマサくん」、「生活ごみの分け方、出し方」、運営委員自主企画講座等	5月21日～2月18日	10	328
一番町で会いましょう ー未来を切り開く自己表現	ビジネス街という立地から勤労者を対象に、夜間に自己表現やコミュニケーション等について学ぶ場を設けた。	9月15日・22日・29日	3	57
一番町で会いましょう ーフォークソングをうたわnight	グループでフォークソングの練習を行い、仕事以外での有効的で充実した時間の活用方法を探る場、ひとつのものを創り上げる喜びを共有する場を提供した。最終回にはクリスマスライブを実施。自主グループができ、活動を始めた。	11月11日・18日・25日・12月2日・9日・23日	6	101
ふれあいいきいき講座	聴覚障害者を対象に、「ガス局ショールームの施設見学と調理実習」「青葉消防署の施設見学とぐらら体験」を実施し、日常生活を安心して過ごせるように学習の場を設けた。	7月6日・9月7日	2	22
国際理解講座	「シミュレーションゲームで交流しよう」「文化の違いを学ぼう」「調理実習-食文化で交流しよう」を開催し、参加者が体験や交流を通して、異文化間のコミュニケーションを学び、国際理解を深める場を設けた。	8月28日・9月4日・11日	3	53
あおばブックカフェ	様々なスタイルの読書会を行い、読書の新たな楽しみ方を知り、本を媒体とし参加者間のコミュニケーションを図った。	11月17日・12月15日・1月19日	3	12
紙芝居で地域発信	尚絅学院大学市民講座、泉区中央市民センター主催講座「作ってみよう！七夕かざり」において、平成19年度講座で作成した紙芝居「一番町物語」を上演した。そのことで、紙芝居を広く発信し、昭和の一番町を知ってもらった。	7月8日・28日	2	90
綱引きinサンモール	サンモール一番町商店街アーケードで、野中神社の縄にちなんで綱引き大会を実施し、地域の新たな賑わいを創出するきっかけを作った。	10月23日	1	234
第7回ふれあい祭 「和気藹々☆一番町」	センター利用団体の舞台発表、展示発表、体験コーナー、出店コーナー、ダンスパーティー等を実施。各サークル間や来場者との交流の場を設けた。	3月5日・6日	2	2120
まちなかミニライブ	当市民センターを拠点に活動している団体や地域で活動している団体に発表の機会を設けた。館内で1回とサンモール一番町商店街アーケードにおいて3回実施。住民が気軽に参加できる環境を作った。	9月20日・23日・10月23日・12月23日	4	757
青中懇話会	市民の学習ニーズや地域の課題等について市民の意見を聞く場を設け、市民センターが地域に密着した事業を展開できるようにした。	6月10日・10月6日	2	19
ボランティア養成講座 「仙台七夕応援隊」	七夕の由来や七夕飾り等を学び、子ども広場「仙台七夕に参加しよう」の講座運営に携わり、講座を通して「仙台七夕まつり」に関わりながら、地域活性化に繋がる活動することを目的にボランティアを養成した。	6月19日・7月3日・17日・24日・31日・8月6日・21日	7	50
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーが、独自のプログラムを立てながら小学生親子が楽しめる講座を企画・運営することで、自分達の活動のスキルアップに繋がった。	7月29日・3月6日	2	73
市民企画会議 「読書会を企画しよう」	「読書会」をテーマに市民と協働で企画会議を持ち、講座「あおばブックカフェ」を企画し、実施した。	5月19日～2月9日	11	46
サークル体験～きっと 見つかるあなたのやりたいこと！	当市民センターで活動している様々なサークルを広く市民に紹介することで、生涯を通して学べる場の提供と、共に学ぶ仲間作りの支援を行った。	11月5日～28日	17	93

柏木市民センター

〔沿革〕

当市民センターは昭和 61 年 7 月に旧仙台女子高等学校の校舎を改修し、中央公民館柏木分館として開館した。平成元年の政令指定都市移行とともに、「柏木公民館・市民センター」として独立、そして平成2年には名称を「柏木市民センター」とした。その後、施設の老朽化のため平成 7 年 4 月から一時休館して改修工事を行い、平成 10 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として新たに開館した。施設の特徴としては収納式のステージをもつ多目的ホール、会議室、和室等に加え、広いロビーがあり、地域住民の学習・スポーツ・交流の場として活用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	お仕事たんけん隊		
参加者	小学生	参加延人数	86人
開催日	全4回 7月23日(金)、8月21日(土)、10月30日(土)、1月6日(木)		
協力者・協力団体	仙台放送、青葉消防署、仙台市地下鉄、日本銀行仙台支店		
ねらい	小学生を対象にしたキャリア教育として、様々な仕事の現場を見学し、職業に対する理解を広めることで、教科書にない生きた社会科を学ぶ機会として役立てる。		
概要・成果	前年度の職人系の個人商店訪問が好評だったことを受けて、今年度は会社訪問とし、地元のテレビ放送局、消防署、地下鉄工事現場や日銀仙台支店など、様々な仕事の現場を見学した。職業に対する理解を広める良い機会を提供できた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
親子de国際交流サロン	外国人親子と日本人親子を対象に親子遊びや日常生活に直結した食や文化、健康など、体験を交えた学習と情報交換で交流を図った。	5月26日・6月23日・7月28日・9月22日・10月27日	5	105
子育てほっとサロン	子育て中の母親を対象に、子育てに関する悩みなどを共有しながら、生活の工夫についての情報交換や、ティータイムを取り入れての心の交流を図った。	5月27日・6月3日・10日	3	17
インリーダー研修会	子ども会についての講話や子ども会行事プログラムの作り方の実習。ジュニアリーダーからゲームなどの遊びを楽しみながら学習した。	2月5日	1	45
子ども環境講座「エコ・ぴいす」	南極観測隊員の体験談や電気エネルギー、ゴミのリサイクルなどについて、体験も交えながら環境について学んだ。	7月17日・30日・31日 8月19日・20日	5	64
お仕事たんけん隊	小学生を対象に職業への理解を広げるためのキャリア教育を目的にした講座。地元のテレビ放送局、消防署、地下鉄工事現場や日銀仙台支店など、仕事の現場を見学した。	7月23日・8月21日・10月30日・1月6日	4	86

柏梁学院	心身共に健康で充実した生活に寄与するため、企画員と職員で検討しながら、文学館、博物館の館外学習、落語や歴史講話を鑑賞した。	4月14日～3月2日	12	775
ようこそ仙台へ ～ございん仙台～	仙台への転入者をサポートし、市街地の彫刻を鑑賞したり、ゴミの分別法の実習などを行い、転入者同士の交流を図った。	9月3日・17日 10月1日・15日・29日	5	57
歴史にみる通町・堤町・北山界限	この界限が城下町の町並をкаろうじて留めていることから、その歴史的な意味や役割について考える機会とし、歴史や風土が地域の財産であることを再確認する場とした。	6月15日・24日 7月9日	3	160
博学さんぽ ～柏木界限のツボ～	寺社・仏閣に囲まれた地域の環境を生かし、実際にまち歩きをしながらの体験を通して、地元の歴史的・文化的魅力について学んだ。	5月13日・7月15日・9月9日・10月21日・28日・11月11日	6	100
大人のわっくわっく生活塾	市民企画講座から提案された内容をもとに、団塊の世代を対象にした講座。裁判所への見学や暮らしに役立つロープワークなど、社会生活に役立てる体験を通して、参加者の交流を図った。5回目は雨のため中止。	10月8日・29日 11月5日・19日	4	34
くつろぎタイム2010	多くの方が気軽に参加できる夜間開催のコンサート、小学校や地域を巻き込んだ朗読会を開催。	7月24日・10月16日・12月18日	3	107
私たちにもできる地震対策	阪神大震災をもとにした朗読劇を鑑賞。他にコミュニティ防災資機材倉庫を見学し、地震への備えについて学んだ。	6月12日・19日・26日	3	48
第7回柏木ふれあい祭り	地域団体や市民センター利用サークルによる展示・舞台発表の他、ジュニアリーダーによる体験コーナーを設け開催。	10月3日	1	400
柏木市民センター懇談会	本年度は地域のコミュニティセンターに出向き、市民センターへの理解を深めてもらう機会を設定した。2回目は震災のため中止。	2月16日	1	70
初めて学ぶ読み聞かせボランティア養成講座	地域で活動する読み聞かせボランティア養成のため、講話と実技、実践を交えながら読み聞かせボランティアの心構えや基本などを学んだ。	11月18日・25日・12月2日・9日・16日・22日・1月27日・2月17日・3月10日	9	203
市民企画講座「わっく2」	生涯学習の場に呼び込みにくい団塊の世代を対象に、気軽に参加しやすい講座の企画について話し合った。	5月21日・6月4日・12月17日	3	8

北山市民センター

〔沿革〕

社会福祉活動の場がほしいという地域住民の願いが叶い、北山福祉会館が設置されたのが昭和49年7月である。(所管は仙台社会福祉協議会)。平成元年の政令指定都市移行に伴い「北山市民センター・公民館」に、平成2年には「北山市民センター」と名称を改め、地域の生涯学習の拠点としての機能を果たしている。

施設の老朽化に伴う改築工事のため平成21年6月から約2年間閉館したのち、平成23年1月18日に新館としてオープンした。

地域内には、青葉神社や大崎八幡神社、北山五山などの神社仏閣があり、歴史的・文化的資源や緑に恵まれている。また、東北福祉大学や東北大学国際交流会館があるため若者や外国人が多く福祉や国際理解への関心が高い。

〔特色ある事業〕

事業名	北山シルバースクール		
参加者	地域に住む高齢者	参加延人数	174人
開催日	全7回 4月23日(金)、5月28日(金)、7月23日(金)、10月22日(金)、11月26日(金)、1月28日(金)、3月4日(金)		
ねらい	高齢者が健康で生きがいのある社会生活を送れる様、学習の機会を提供し、また自主的な社会参加と活動が出来るよう支援を進める。		
概要・成果	ミニコンサート、ラジオ体操、遊書、地域散策、「被災した時あなたは」をテーマにした座談会、昭和20～50年頃の仙台の映像鑑賞会。 新しい試みとして防災意識を喚起するための座談会を開いたところ、次年度の企画に繋がる提案が出たことが収穫だった。講座の開始前に、心と体のリラックスを兼ねてラジオ体操を行ったのが好評であった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子ども会インリーダー研修会	講話(子ども会活動と世話人の役割、インリーダーの役割と心構え)、演習(行事プログラムの立て方)、実技(レクリエーションゲームの進め方)	2月5日	1	33
北山シルバースクール	ミニコンサート、ラジオ体操、遊書、地域散策、「被災した時あなたは」をテーマにした座談会、昭和20～50年頃の仙台の映像鑑賞会。	4月23日・5月28日・7月23日・10月22日・11月26日・1月28日・3月4日	7	174
懇談会「館長と語ろう」	開館予定と今後の利用についての説明。地域ニーズの情報収集と意見交換。	12月7日	1	15
ジュニアリーダーと遊ぼう	小学生を対象に傘袋ロケット、新聞フリスビー作りを指導し一緒に遊んだ。	10月3日	1	40

※ 改築工事のため、平成21年6月1日から平成23年1月17日まで休館

福沢市民センター

〔沿革〕

昭和 59 年 6 月 9 日、コミュニティ防災センターを併設し「福沢公民館」として開館、平成 2 年 4 月に「仙台市福沢市民センター」と名称を改めた。平成 20 年 6 月より大規模改修工事を行い平成 21 年 1 月 14 日にリニューアルオープンした。

当市民センターの地域内は、東照宮の門前町として栄えた宮町を中心として昔の雰囲気を今にとどめており、下町情緒に溢れた古い歴史の地域になっている。反面、仙台市中心部からも近く、マンションも建ち並び新旧住民が混在した地域でもある。このような中で、地域の交流の場として多くの人々に利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座「宮町春夏秋冬今昔物語」マップ作り		
参加者	地域住民	参加延人数	36人
開催日	全8回 9月7日(火)、10月19日(火)、11月26日(金)、12月10日(金)、12月15日(水)、 12月25日(土)、1月10日(月)、2月22日(火)		
協力者・協力団体	宮町商店街		
ねらい	伝統ある宮町の文化・魅力を伝承し、地域の住民に再認識してもらう。 21年度は宮町商店街のカレンダー付今昔マップを作成して多くの反響を得、この地域の魅力を発信できた。22年度は切り口を変え、前年度発信できなかった部分を取り上げ発信することで、地域活性化を図る。		
概要・成果	「宮町今昔物語カレンダー」を製作し、地域内外に宮町の魅力を発信した。ホームページからハガキ版のものをダウンロードできるようにした。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママの寺子屋	親子ピクス、乳幼児の救命講習、読み聞かせ、コンサート等、親子で一緒に体験できる講座を行なった。	6月24日・7月8日・9月9日・10月14日・11月11日・12月5日	6	173
囲碁を学ぼう！	囲碁同好会メンバーが講師になり小学生の初心者に囲碁の基礎を教え、対局までを指導した。	11月20日・27日・12月4日	3	42
仙台市子ども会インリーダー研修会	児童研修「行事プログラムの立て方」と世話人研修「子供会の活動について」を行なった後に、ゲーム・レクリエーション研修を合同で行なった。	2月19日	1	98
キャリア教育講座～ゲームやるぞ！全員集合～	身近なゲームキャラクターを用いて、ゲーム制作のプログラミングに必要な関数について学んだ。	7月31日	1	15
僕らはチャレンジャー「捨てる紙あれば拾う神あり～段ボールで作る絵馬」	エコ活動の一環として段ボールを再利用し絵馬を制作した。また地域の東照宮へ持参した。	10月23日・30日・11月6日・13日	4	18

声に出して伝えたい物語の世界	発声の基礎を学び、「読み聞かせ」や「朗読」を体験した。また、図書まつりにおいて実際に「読み聞かせ」を行なった。	5月27日・6月3日・10日	3	59
思い出の音楽室 ～懐かしい歌とともに～	懐かしい唱歌を中心に歌う楽しさや合唱の難しさ等を学んだ。	9月1日・8日・15日	3	55
「宮町からの歴史」講座	東照宮や宮町界隈の歴史と、博物館企画展「仙台人物誌」を見学し、仙台ゆかりの人物についても学んだ。	11月12日・26日	2	54
福沢シニア大学	「地元学」「健康体操」「川柳」「幕末の歴史」「折り紙制作」「コンサート」等、多方面においての学習を行なった。	4月22日～3月3日	12	680
ライブラリー福沢	「本のリサイクルコーナー」や「読み聞かせ」「ハワイアンコンサートとフラ」等のイベントを行ない、図書室利用の活性化を図った。	8月25日・26日・27日・28日	4	232
緑のカーテンの輪・わ・ワッ！	昨年取れた朝顔やゴーヤの種をセンターのみならず地域にも配り「緑のカーテン」作りを行なった。	5月15日・29日・6月12日・7月10日・24日・9月4日	6	60
来てしまった！さあどうする？～女性の目線で減災を～	「女性達の防災宣言をつくって」の講話や防災資機材倉庫の見学とアルファ米試食などを行なった。	10月27日	1	30
社会学級共催事業企画会	社会学級と共催で地域に発信する講座の実施に向けて企画会を行なった。	7月8日・9月2日・29日・10月27日・11月25日	5	57
ひなまつりの会	昭和初期の雛人形を飾り、地域の子供達に伝統行事を伝えながら昔あそびやぬりえ等を行なった。	3月2日	1	40
福沢市民センターまつり	福沢市民センターで活動するサークルや地域団体、住民が参加して「展示」や「舞台」等で学習成果を発表し、屋外で「模擬店」等を行なった。	10月3日	1	816
福沢懇談会	事業企画・運営に反映させるため、地域の学校や団体との懇談会を行なった。	7月15日・1月26日	2	22
ジュニアリーダー「かめ吉」とあそぼう！	小学生を対象にゲームやバルーンアートを行なった。	7月28日・12月18日	2	20
市民企画講座「宮町盛り上げ隊」	宮町の魅力を地区内外に発信することを目的に市民企画会議を行なった。	5月18日・6月8日・22日・7月27日	4	21
市民企画講座「宮町春夏秋冬今昔物語」マップ作り	「今昔物語」というカレンダーを作成。また、ホームページからハガキ版のものをダウンロードできるようにした。	9月7日・10月19日・11月26日・12月10日・15日・25日・1月10日・2月22日	8	36
ぐるっとサークル探検！？体験！	福沢市民センターを拠点に活動しているサークルの「見学・体験会」を行なった。	5月8日～7月30日	15	53

旭ヶ丘市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、地下鉄南北線建設事業の一環として昭和60年6月に開館されました。地下鉄・バスの利便性が非常に良い立地にあり、また近隣は青年文化センター等の学術文化ゾーンとなっています。さらに西側には市民から親しまれている台原森林公園が広がり自然環境にも恵まれています。年間利用者が10万人を越えていることを踏まえ市内全域を視野に入れ、現代社会における課題に取り組み、地域資源・人材を活用した事業展開を推進し多様なニーズに対応する生涯学習の場を提供すると共に新たな地域コミュニティの基盤としての役割を担っていきたい。

〔特色ある事業〕

事業名	旭ヶ丘アート講座「台原森林公園写生会」		
参加者	小学生以上	参加延人数	99人
開催日	全3回 6月26日(土)、6月27日(日)、7月3日(土)		
協力者・協力団体	東北生活文化大学		
ねらい	旭ヶ丘地域の資源である台原森林公園。公園の風景を描くことによって、緑化資源の素晴らしさ大切さを認識、理解する機会とする。また、協力者の大学生との交流による地域コミュニティの新たな活性化も促進される。		
概要・成果	資源の素晴らしさの気付きとなり、自然を描くことにより情操的感情の育成につながった。展示交流会により、受講生、大学生の交流が図られた。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子ども企画講座 「お兄さんお姉さんと一緒！エンジョイックキング」	大切な食育、子どもたちが自分たちで献立を考えることで食に関する知識を深めてもらう	8月21日・22日・25日	3	168
インリーダー研修会	こども会についての知識や活動に必要な技能を研修することでインリーダーを養成、また、子ども会の充実と活性化を図る	2月5日	1	81
集まれ！元気な旭ヶ丘キッズ	子どもの学ぶ力、考える力の育成を図ることを目的に公共・公益機関などを見学・体験することで子どもの健全育成を図る。	8月4日・10月10日	2	87
アスリートたちの熱い生き方	中学生が興味・関心の高いスポーツの中から車椅子バスケットボールを取り上げ厳しい状況での生き方について触れる	11月16日	1	663
仙台フィルハーモニー管絃楽団共催事業	クラシック音楽に触れる機会を広げることをねらいとする講話とCD鑑賞	8月25日・2月17日	2	81
旭ヶ丘歴史散歩 「東照宮・宮町・小田原の歴史を学ぶ」	近隣で身近な東照宮・宮町・小田原の歴史を学び、纏わる史実を学ぶことで地域に対する関心を高め、再発見する機会とする	7月7日・14日・21日・28日	4	96

軽体操でリフレッシュ	地域住民から要望があった健康のための軽体操講座を実施し、地域コミュニティを活性化する	9月8日・15日	2	46
台原森林公園をウォーキングで健康に	地域資源である台原森林公園において、地域住民の健康維持のために正しい歩き方を学ぶ	5月18日・25日・11月2日・9日	4	85
旭ヶ丘老壮大学	高齢者が豊かで充実した生活を送るための情報や幅広い知識を自主的に学習する機会を作る	4月23日～3月4日	12	1348
旭ヶ丘アート講座「台原森林公園写生会」	市民の憩いの場である台原森林公園を描くことによって、資源の素晴らしさ、大切さを理解する	6月26日・6月27日・7月3日・	3	99
市民センターがやってくる！	地域内にある集会所やコミュニティーセンターを会場として講座を開催し、地域活性化を図る	9月9日・11月17日・12月18日	3	85
行ってみよう！聴いて視よう！ステキな雅楽器「笙」の世界へ	旭ヶ丘の演奏家による笙の演奏会で、日本古来の雅楽にふれ、また子育ての講演により、地域の世代間交流、地域活性化を図る	11月3日	1	130
台原森林公園 自然観察しよう！体験しよう！	台原森林公園を地域の高齢者の案内で散策し植物の名前や特徴を学び、「えごのき」がシャンプーになる等の実体験をする	9月11日・9月18日	2	29
子育て応援講座「ママのほっと・タイム」	児童館遊戯室で親子で安心して参加出来る講座を開催し、受講者同士の情報交換をもつ。地域団体と共催し地域ネットワーク活性化を図る	11月26日・1月27日	2	28
安全で安心な暮らしができる地域づくり事業	宮城県避難所運営運営について学んでもらい、地域で災害に強いまちづくりを目指す	6月19日・9月4日	2	47
社会学級共催事業企画会議	地域の学習団体と共催し、事業を企画運営し、地域コミュニティの活性化を図る	6月2日・7月15日・8月31日・9月29日・10月28日・12月8日	6	54
台原中学校PTA共催事業会議	学校、PTA、旭ヶ丘、三本松市民センター四者で青少年が育つ環境づくりに向けて、よりよい事業を展開する	5月27日・6月4日・7月5日・8月2日・12月1日	5	109
「地域に知恵袋をひろげよう！」	地域の高齢者の知恵を若い世代に伝えることによって、知恵を継承して地域に広げ交流・活性化を図る	5月28日・6月19日・8月5日・21日・9月3日・18日	6	24
旭ヶ丘児童館共催事業企画会議	旭ヶ丘児童館と共催事業を企画することで、地域情報を共有し、より充実した地域支援をする	6月30日・9月15日・11月17日・2月16日	4	21
旭ヶ丘市民センターまつり	地域住民や利用団体のふれあいと交流を目的に学習成果の発表や展示を行い、地域活性化を図る	10月16日・17日	2	2630
旭ヶ丘地域懇話会	市民センター事業への提案、地域の課題、ニーズなどについての意見と情報交換、情報収集	6月5日・11月20日	2	31
読み聞かせスキルアップ講座	昨年立ち上った、自主グループ活動の広がりを踏まえ、スキル向上に繋がる講座を開催し、増員につなげ、子ども達が本に親しむ機会とする	8月19日・9月2日・9日・16日・30日	5	87
市民企画講座「おもしろいね！お父さんの企画講座」	市民センターに足を運んでももらえないお父さん世代に、自分達の目線で事業を企画してもらうことにより、家庭教育の一助とし、市民センターの協力者となってもらい、地域活性化につなげる	12月19日・1月23日	2	8

三本松市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、北仙台駅から近く、閑静な住宅街である堤町の中に位置し、西側には雑木林が残されているなど環境に恵まれている。堤町は、現在は窯の火は消えたが、古くから「堤焼き」と「堤人形」の町として知られた歴史のある地域である。

当市民センターは、昭和 62 年 4 月 14 日、泉ヶ岳を眺望できる高台に建設された。駐車場(45 台)、舞台付で約 50 畳の和室と広い体育館(バスケットボールコート 1 面、バレーボールコート 2 面、卓球台 12 台)があり、地域住民の生涯学習の場として広く利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	剪定ボランティア養成講座		
参加者	地域住民	参加延人数	44人
開催日	全6回 4月22日(木)、5月13日(木)、5月20日(木)、6月3日(木)、6月10日(木)、6月17日(木)		
協力者・協力団体	剪定ボランティア「ガーデニング三本松」		
ねらい	当該地域は一人暮らしの高齢者が多く在住している。これらの方々の住環境整備と防犯をお手伝いすることを目的として、植栽の手入れ・庭木剪定の学習と技術を取得して地域活動するボランティアを養成する。		
概要・成果	当センターを会場にして基礎講座の座学講座を1回開催後、台原中学校の校庭にある樹木を実際に剪定しながらの実技講習を4回開催した。 21年度に同講座から立ち上がったボランティア団体(ガーデニング三本松)との交流会(6月17日開催)を経て、新たに4人のボランティアメンバーの加入があった。21年度の秋季剪定に続き、22年度は春季剪定であったので、季節に応じた剪定方法等技術向上が図られた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て支援講座 ～楽しもう!わたらしい子育て	子供の心身の発達、離乳食とおやつの作り方、親子ピクス等を学び、保護者同士の交流・情報交換をする。	2月4日・11日・25日	3	48
インリーダー研修会	子ども会活動に必要な知識・技能を学ぶ。レクリエーション、ゲームの進め方、行事プログラムの立て方など。	2月5日	1	81
荒巻塾	仙台北下・荒巻村の歴史・伝統・地域特性を学ぶ。	7月28日・29日	2	6
三本松寺子屋	昭和の遊び、館外学習、異文化、伝統工芸などの体験学習。	9月11日・18日・10月16日・23日	4	41
アスリートたちの熱い生き方	台原中学校PTA共催事業企画会議で企画開催の事業。車椅子バスケットボールの監督、選手からアスリートとしての生き方や情熱等について聞く。講話と実技。	11月16日	1	663
くらし悠遊塾	地域での仲間作り、健康作り、伝統工芸、郷土について学ぶ。	10月8日・15日・11月5日・12日	4	80

《青葉区》

北仙台セミナー	北仙台地域の歴史・伝統を再確認する。奥州街道、堤焼き、堤人形、神社仏閣、梅田川について。	5月15日・22日・12月14日・2月19日・3月5日	5	81
シニアパソコン講座	パソコンの基本操作、色々な機能の使い方、文書作成、カレンダー作り。地域住民と専門学校生・中学生との世代間交流。	8月17日・18日・19日・10月27日・28日・29日	6	86
三本松老壮大学	講話(歴史・健康・生活)・実技(歌・軽体操)工場見学、自主企画講座(学びあい)。	5月12日～3月9日	10	406
七夕を作ろう	七夕の由来を学び、仙台伝統七夕づくり、地域商店街へ飾りつけ。	7月3日・10日・17日・24日・27日	5	71
3on3バスケットボール大会 in 三本松	代表者会議組合せ抽選会、体育館個人利用同士によるバスケットボール大会。世代間交流の促進。	2月19日・3月6日	2	116
七夕コンサートin三本松	地元ユニットによるアカペラ、高校生による演奏など。	7月31日	1	80
台原中学校PTA共催事業企画会議	四者共催事業で、青少年の健全に育つ環境づくりに向けての企画会議。	5月27日・7月29日・9月7日・11月9日・16日・12月7日	6	121
三本松市民センターまつり	利用サークルの学習成果の発表と地域住民同士の交流。舞台発表、作品展示、駄菓子や、食事などの各種コーナー。	10月17日	1	1500
利用者懇談会	センター利用サークル(スポーツ・文化・育児・音楽団体)との意見交換、情報の共有。	6月12日・1月12日	2	71
もっと知ろうよ!台原	市民企画講座。地域の歴史や課題を調べ、資料を作成し、地域を歩く。	10月19日・26日	2	31
剪定ボランティア養成講座	地域の住環境と防犯を支援するため、剪定ボランティアを養成。剪定の基礎知識学習、剪定技術の取得。	4月22日・5月13日・20日・6月3日・10日・17日	6	44
市民企画会議	企画員と一緒に実施に向けた手法・課題について検討。テーマ設定、企画書作成、反省会。	7月1日・29日・8月26日・9月10日・16日・10月19日・26日・11月17日	8	19
図書まつり	本離れの進む今日、図書に関わる様々なイベントを行ない、本に親しむ機会の提供と図書室の利用者数の増加を図る。音楽会、絵本の料理、仙台弁による昔話、人形劇、川柳など。	5月25日・26日・27日・28日・29日・30日	6	515

片平市民センター

〔沿革〕

片平市民センターは平成元年、児童館とコミュニティ防災センターを併設して、東北大学農学研究所跡地に開館した。市内中心部に位置し、交通が便利なことから町内会など地域の団体ばかりでなく、全市的な市民活動の場として盛んに利用されている。

また市民センターが立地する地区は、市街地にありながら広瀬川がつくりだす独特な地形や、仙台城や経ヶ峯の豊かな自然に囲まれたところである。さらには歴史的な資源に恵まれ、大学の研究機関などが隣接する。

こういった地域の資源を活かした生涯学習プログラムの提供や、市民の自主的な活動の支援、併設する児童館との共催事業の提供を通して、地域に貢献している。

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画会 片平平成風土記を活用した「まち歩き」マップ作成		
参加者	地域住民	参加延人数	113名
開催日	全11回 4月27日(火)、6月3日(木)、6月5日(土)、6月17日(木)、7月15日(木)、9月3日(金)、 9月4日(土)、9月25日(土)、10月1日(土)、10月31日(日)、11月27日(土)		
協力者・協力団体	片平地区連合町内会、青葉区家庭健康課		
ねらい	21年度に引き続き、片平地域の地域資源を活かしながら、「片平地区平成風土記」を活用したマップを作成する。マップを活用した講座を開催し、地域を再発見するきっかけ作りを促しながら、まち歩きを通して健康づくりの気運を高める一助とする。		
概要・成果	21年度作成の「花壇・大手町一霊屋下地区」に引き続き、2年間の事業の集大成として、22年度は「大広会一柳町一北目町地区」「米ヶ袋地区」のマップを作成した。名所ポイントの抽出や校正などの編集会議を経て、3地区それぞれの「マップ検証のためのまち歩き」を行うなど、各企画員の地域への愛着と熱意に支えられた講座となった。「まちづくり会」始動の気運の中で、今後の活動へのつながりが期待される。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
新米ママ・プレママ応援講座 「ハッピーママの気晴らしカフェ」	参加者同士の情報交換や子育てへの不安やストレスの軽減のため、「ベビーサイン」「親子ビクス」等の講座を開催した。	5月28日・6月11日・18日・7月23日・10月20日・27日	6	102
ようこそ本の世界へ～もうすぐ来るね！クリスマス～	幼児から高齢者まで、世代を超えて「本」に触れる機会を提供した。「絵本の読み聞かせ」「折り紙ワークショップ」「絵本展示」等	12月4日	1	40
キッズ・サイエンス	小学生を対象に、科学のお話や工作を通して科学の面白さに触れ、異年齢交流と科学への興味の発掘につながった。	5月8日・6月12日・7月10日・8月21日・11月6日・12月18日	6	154
～せんだいアート～ ぼくたちカメラマン！	子どもの視線で街の風景を撮り、想像力や創造力を育んだ。「かたひらwaiwai広場」で作品を展示・発表	9月25日・10月2日・16日	3	10

学社連携事業 「社会参加へはじめの一步」	社会人としてのコミュニケーション能力をつけ、多様な体験の場を提供した。「就活に向けてのセミナー」「ビジネスマナー」「クッキング」等	7月16日・23日・2月8日・15日	4	214
インリーダー研修会	子供会のリーダー養成のための研修会 児童:「行事プログラムの作成」世話人:講話「子供会育成について」情報交換等「みんなで楽しめるゲーム」を体験	1月29日	1	40
杜々かんきょうレスキュー隊 みどりなライフ	「ウォーキングマップでまち探検」「環境カルタで遊ぼう」等を体験し、子どもの環境学習と地域住民との異年齢交流につながった。	2月26日・3月5日	2	14
どんどこ！巨大紙相撲大会片平夏場所	「かたひら夏祭り」実行委員会との共催により、「かたひら夏祭り」に参加し、「紙相撲大会」「おけけ屋敷」の企画を通して地域内コミュニティ活性化に貢献した。	7月29日・8月6日・22日・29日	4	79
片平は歴史の杜	歴史的素材として片平界隈の樹木をテーマに、まち歩きやワークショップを通して地域の魅力を発見した。	10月22日・29日・11月5日・12日・19日	5	160
「対物宮城の最」を読む	「対物宮城の最」を題材として、明治時代の仙台の時代背景や、資料の探し方や読み方を学習した。	1月22日・29日・2月5日・6日・9日	5	62
手話要約筆記付き「見る見るわかる」講座	聴覚障害者向けに社会教育施設である博物館を紹介し、常設展の解説を通して仙台の歴史に触れる機会を提供した。	9月16日	1	16
片平丁小学校社会学級連携事業	片平丁小学校社会学級や子育て支援サークルと共に、子育て世代のニーズを探り、「フィンランドの教育」「児童虐待防止講座」を開催した。	5月18日・12月15日	2	48
新たな“学び”—自分誌作りからみえてくるもの	自分誌を書く作業を通して、参加者同士のコミュニケーションを図り、傾聴のスキルを学んだ。	10月15日～2月3日	13	128
シニア隣経堂	社会福祉協議会と共催で、地域の高齢者サロンへの出前講座を開催した。「フィルム上映会」「漫談」「健康体操」等	6月20日・7月2日・8月6日・9月10日・2月8日・3月11日	6	109
かたひら四季暦	地域住民が気軽に市民センターに集い、「花火講座」「仙台藩作法」「コンサート」等に参加し、片平地区の魅力に触れ、交流を深めた。	8月5日・10月22日・12月3日・3月9日	4	138
「片平地区平成風土記」を活用したまち歩き	「かたひらウォーキングマップ」を活用して、片平地区を3コースに分かれてのまち歩きを開催し、片平界隈の魅力を発掘した。	10月31日	1	44
かたひらwaiwai広場	住民の交流と親睦を深める場を提供し、生涯学習を通して、活力ある地域づくりを推進した。	10月16日	1	400
片平市民センター懇話会	地域内の町内会、学校、諸団体との情報交換、課題抽出	4月27日・10月26日	2	40
市民企画会 平成風土記を活用した「まち歩き」マップ作成	マップ作成・まち歩きを目的とした市民企画講座	4月22日～11月27日	11	113
読書推進のための市民企画会	子どもから大人までを対象とした読書推進を目的とした市民企画講座	4月22日・29日・5月14日・6月4日・18日・25日・7月9日・9月17日・12月16日	9	58

水の森市民センター

〔沿革〕

当センターは、広く市民の憩いの場として親しまれている水の森公園の南口に立地し、自然休養林を背にした高台にあり自然環境に恵まれている。管内は水の森、東勝山、桜ヶ丘、川平等の閑静な住宅地を擁しているが、初期に開発された住宅団地のため、高齢化率の高い地域である。当センターは、児童館・温水プール・防災コミュニティセンターを併設する複合施設として平成2年9月にオープンした。斬新な外観は地域のランドマークとして親しまれ、一年を通して多くの利用者が訪れる地域の生涯学習の拠点的存在である。2階の広いメインホールは、地域住民の情報交換や憩いの場として高齢者から幼児までいつでも賑わいをみせている。

〔特色ある事業〕

事業名	中学生・高校生企画講座「子どもの広場」		
参加者	中高生、地域の親子	参加延人数	225人
開催日	全4回 7月18日(日)、9月19日(日)、10月17日(日)、10月23日(土)		
協力者・協力団体	北仙台中学校、北仙台中学校PTA、プロジェクトM		
ねらい	北仙台中学校の中学生ボランティアが中心になって企画実施する事業を展開する。様々な人々との繋がりの中から、児童生徒の健やかな育ちを支援する学びの機会とする。高齢化や少子化が進んでいる地域で、住民が協力し合うことで地域活性化や世代間交流を促進する。		
概要・成果	市民センター地域まつり「子どものひろば」を実施。中学生・ジュニアリーダー・市民企画グループによるゲームコーナー運営、収穫体験を行った。中学生ボランティアとジュニアリーダーが活躍し、企画から実施までをやり遂げ、確かな手ごたえを感じていた。 中学生、ジュニアリーダーとプロジェクトMのコラボレーションが成功し、異世代間交流が深まり、活気あふれるまつりを展開することができた。また、地域の人々の出会いの場として、住民同士のコミュニケーションが図られた。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ドロップス読み聞かせの会	月2回第2・第4水曜日に読み聞かせの会を実施。幼児親子を対象に10:30～11:00(和室)、小学生を対象に15:00～15:30(図書室)、てあそび・絵本・紙芝居など。	4月14日～3月9日	23	858
笑顔のママって大好き！	①講話「子育てママに伝えたいこと」②制作「ペーパークラフトカード作り」③実技「いっしょに遊ぼう！」④調理実習「甘くないパウンドケーキ作り」	9月3日・17日・10月1日・8日	4	71
おやこで山学校「水の森公園をまるごと楽しもう！」	①館外学習「水の森公園自然観察会」②館外学習「昆虫採集」③昆虫の標本作り④館外学習「キャンプ場でいも煮作りにチャレンジ」	5月3日・6月4日・7月31日・10月8日	4	85
水の森キッズクラブ	①花と野菜の種まき・植付け②緑のカーテン用苗の植付け③緑のカーテン・夏野菜の観察と除草作業④白菜・大根の種まき⑤調理実習「仙台の郷土食」⑥調理実習「秋の野菜収穫といも煮会」	5月8日・6月5日・7月3日・8月21日・28日・10月16日	6	85

インリーダー研修会	子ども会の児童に向けて講話「インリーダーとは」・演習「〇〇会をしてみよう」・レクレーションゲーム。子ども会の世話人に向けて講話「子ども会活動について」・情報交換・レクレーションゲーム。	1月29日	1	72
水の森のセカンドライフを楽しむ	講話「ボランティアについて」、水の森キッズクラブサポート、梅ジュースづくり、子どものひろば用野菜作り、畑の手入、梅の木の剪定、講話・実習「野菜作りの年間計画」	4月17日～2月26日	20	125
家族の笑顔が見たいから「年越しそば」に挑戦！	①②③南会津伝承の裁ちそばのデモンストレーション・試食・実習	11月11日・25日・12月2日	3	15
自分磨きサロン	講話「おしゃれと魅力学」	12月8日	1	33
水の森老壮学園	①開講式・健康講話とシャンソン②講話「月と星」③講話「福祉用具の使い方」④リフレッシュ体操⑤地域まつり演芸発表⑥講話「藤原氏と東北の武士」⑦コンサート⑧市民の中の映像記録⑨文集作り⑩閉講式・講話「おしゃれ学」	4月15～3月3日	10	763
中学生・高校生企画講座「子どものひろば」	①②③企画会議・準備④市民センター地域まつり「子どものひろば」実施(中学生・ジュニアリーダー・市民企画グループによるゲームコーナー運営・収穫体験)	7月18日・9月19日・10月17日・23日	4	225
星のおはなしと天体観望会	①講話・天体観望会「いっしょに見よう！土星の輪」②講話「見えるかな？木星のしまよう」	5月21日・10月15日	2	83
水の森防災学校	①講話・情報交換「すぐに役立つ！情報交換会」②避難所運営ゲームHUG	6月26日・9月30日	2	72
社会学級との企画検討会	①②③④企画会議⑤自分磨きサロン実施⑥反省会	4月20日・5月13日・10月15日・11月30日・12月8日	6	24
水の森市民センター地域まつり	①開会・公開演技・老壮学園演芸発表②舞台発表・チャリティバザー・住まいのメンテナンス実演・物産販売・閉会①②作品展示・軽食喫茶・お茶席	10月23日・24日	2	2280
水の森音楽隊「ミュージックベルで楽しもう！」	①自己紹介・選曲②③④⑤ミュージックベル練習⑥地域まつりオープニングで演奏	9月18日・25日・10月2日・9日・16日・23日	6	77
水の森懇話会	①水の森市民センター地域まつりに参加している利用団体代表と施設利用について懇談②北仙台・桜丘中学校区内の団体代表や地域連携担当者と情報を交換し、市民センター事業について懇談。	11月12日・2月26日	2	48
ジュニアリーダーと遊ぼう	①夏休みだよ！みずあそび(ゲームとシャボン玉遊び)②おいでよ！児童館まつり(ストラックアウトコーナー)③冬を楽しもう(ゲームとバルーン作り)	7月29日・10月23日・12月19日	3	156
市民企画委員会	①②③⑥企画会議④⑤「星のおはなしと天体観望会」講座実施⑦⑧⑨「年越しそばに挑戦」講座実施⑩反省会	4月2日～12月2日	10	16

貝ヶ森市民センター

〔沿革〕

“貝”をモチーフにしたデザインが館内随所に配された当市民センターは、平成5年4月に児童館を併設して開館した。閑静な住宅街の中にあつて、その瀟洒な建物は隣接する貝ヶ森中央公園とともに地域のシンボルとして親しまれている。

また、風光明媚な貝ヶ森地区は自然の風物に富み、さらに高等教育機関や文化施設などにも恵まれており、国際交流の盛んな場所でもある。

当市民センターは、可動式の舞台を持つ多目的ホール、会議室、調理台付き小会議室、水屋付き和室等があり、地域住民の学習・スポーツの場として、また、憩いの場として活用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	ガーデンサポーター フォローアップ講座		
参加者	子ども、一般成人	参加延人数	115人
開催日	全9回 4月22日(木)、5月27日(木)、6月17日(木)、7月15日(木)、8月19日(木)、9月16日(木)、10月21日(木)、11月18日(木)、12月16日(木)		
協力者・協力団体	共催:貝ヶ森児童館、貝ヶ森子育て支援クラブ「花時計」		
ねらい	もともと緑の多い当館の敷地内であるが、これまでは雑然となっていた建物の周辺をきちんと緑化・美化することで市民センター・児童館のイメージアップにつながりより多くの市民が来館するようにする。地元の受講生が地域の小学生等と共に作業することにより、子ども達に土に触れさせ、世代間交流が図られ、地域の緑化による憩いの場、潤いの場が形成される。		
概要・成果	市民センター・児童館の中庭が整備でき、児童クラブの子ども達が活用できる庭となり、季節ごとの花々で利用者の目を楽しませることができた。さらに、話し合いながら作業をすることで、受講生同士の交流が図られ、地域の繋がりが生まれた。また、幼児、小学生、中学生との異世代間交流も行われた。来年度も自主ボランティアグループとして活動を継続することとなった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
食育講座	お父さんの参加を促すとともに、親子がふれあい食生活を見直すきっかけとすることを目的に、食育をテーマとした講話と調理実習、野外での火おこし体験を行う。	5月29日	1	58
幼児をもつ親のための防災・安全講座	幼児を持つ親が安心して子育てできる環境づくりを図るため、災害への備えや緊急の際に必要な知識を講話で学ぶ。	9月3日・10日	2	13
子ども木工講座	子ども対象の木工工作体験を、地域の成人と保護者の協力を得て実施することで、世代間交流を図るとともに、青少年の健全な成長を促す。	10月30日・11月20日	4	127
子ども会インリーダー研修会	子ども会の活性化を目的に、次年度世話人とインリーダーを対象にした講話と実技(レクゲームなどの講習)を行う。	2月26日	1	99

青少年のための減災講座	小・中学生が防災への意識を高めることを目的に、減災を学べるように作られたすごろくやカルタで災害への備えについて学んだり、とっさの時に対応できるように応急手段の実技を行う。	10月19日・23日・2月16日	3	114
水の実験教室	夏休みを利用して小学生が水の大切さを認識し環境への意識を高めることを目的に、暮らしの中で使われている水について講話と簡単な実験を通して学ぶ。	7月22日・29日・8月5日	3	51
星空映画祭スタッフ会議	星空映画祭に小・中学生や地域住民の意見を反映させるとともに、参加意識を持ってもらうことを目的に、ポスター作成や当日の運営などについて話し合う。	7月24日・30日・31日・8月7日・24日・28日・9月4日	7	51
仙山線途中下車の旅	近隣の仙山線駅で下車して訪れることのできる貝ヶ森、北山、国見、落合、愛子付近の名所、旧跡について、講話を聞きながら現地学習することで、地域の魅力を再発見する。	9月4日・11日・25日・10月2日	4	99
ノルディックウォーキング講座	ノルディックウォーキングを実技で学ぶことで、住民の健康づくりと参加者同士の交流を図る。	9月30日・10月7日・14日	3	37
身近な野草・樹木～観察と活用～	地域内の植物、自然環境への関心を高めることを目的に、「青陵の森」の植生の観察、薬草に関する講義、薬膳料理の調理実習を行う。	9月8日・11月10日・12月8日	3	86
免疫力アップで乗りきるこの冬～風邪を寄せつけない“まち”にしよう～	まちぐるみで健康管理への意識を高めることを目的に、地域講師を活用した講話と実技で、冬の健康管理について学ぶ。	10月8日・15日	2	43
貝ヶ森シニア学園	地域の高齢者の健康と生きがいづくりを目的に、現代生活に必要な様々な内容(医療・文化・歴史・介護予防運動など)を講話と実技で学ぶ。また、企画委員による講座の企画・運営への参画を促進する。	5月26日～3月2日	10	576
シニアのための軽体操	地域の高齢者の健康づくりと健康寿命の延伸を目的に、介護予防の知識・技術を講話と実技で学ぶ。	5月13日～9月16日	10	260
星を見る会	学校と地域住民がお互いの理解を深め交流することを目的に、仙台高等学校を会場に、天文地学部との協力のもと星の観察会を行う。	12月11日	1	13
豆まき会	地域住民の世代間交流を目的に、住民の協力のもと、アトラクションやゲーム、豆まき会などを行い、節分という伝統行事を体験する。	1月29日	1	143
星空映画祭	親子のふれあいや地域住民の世代間交流を目的に、夜間に屋外での映画会を行う。	8月28日	1	606
貝ヶ森サロンコンサート	気軽に市民センターを訪れてもらうことを目的に、センター利用団体によるコンサート、及び仙台国際音楽コンクール関連イベントの「街かどコンサート」を開催する。	6月20日・8月28日・12月17日・3月4日	4	931
社会学級生による講座企画会	貝森・国見・八幡社会学級生が一堂に会して、地域の特性・問題点を探り、地域活性化を目指す事業を企画・実施するための会議を行う。	5月20日・6月3日・7月1日・10月8日・15日	5	18
貝ヶ森地区文化祭	地域の連帯と親睦・交流を目的に、貝ヶ森地区の住民、及び当市民センター利用者による作品展示・演芸発表、お茶席、テント村等の催しを実施する。	11月6日・7日	2	2,000
地域懇話会	地域の現状や課題・ニーズを把握し今後の事業運営に役立てることを目的に、地域諸団体の方やセンター利用のサークルとの情報交換や意見交換のための会議を行う。	11月27日・3月1日	2	27
ガーデンサポーターフォローアップ講座	平成21年度に養成したサポーターの力量向上と地域の美化に協力するサークルとしての自立をめざして、花壇の手入れや植物に関する知識を講話と実技で学ぶ。	4月22日～12月16日	9	115
「貝ヶ森・国見」講座企画会	地域住民が仲間づくりをしながら、市民センターと協働して地域課題を解決するための糸口をつかみ、地域ニーズに合った事業を企画・実施するための会議を行う。	5月12日・6月9日・7月14日・9月8日・10月13日・11月10日・12月8日	7	49

中山市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、旧中山コミュニティセンターを増改築し、平成7年4月に児童館を併設して開館した。中山地区でも国見ヶ丘地区に近い閑静な住宅地に位置し、月急山公園に隣接して自然環境に恵まれている。

中山・川平地区は、戸建て・集合住宅のほか、近年は大型マンションが増え、新しい町並みを形成している。旧中山街道の長い坂道には、商店が建ち並び、月に一度「街道市」を開催するなど、活気がある。また、近くに福祉施設「せんだんの杜」「せんだんの里」等福祉関係の施設があり、福祉に関する住民意識と学習意欲の高い地域である。

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座 なにか体験し隊		
参加者	中学生・高校生	参加延人数	84人
開催日	全8回 5月9日(日)、6月20日(日)、7月18日(日)、8月8日(日)、9月11日(土)、10月24日(日)、11月7日(日)、11月14日(日)		
ねらい	中学生・高校生に集ってもらい、今一番興味があることや必要としている情報を企画会で話し合い、地域や地域以外の中高生が今やってみたいことを軸にしてコミュニケーションを深め自己成長の一環とする。		
概要・成果	企画会を重ね、11月7日に小学生を対象にした講座「ジュニアのそばでそばを打とう」を開催した。講座内容の企画から広報(ちらし・ポスター)、試作、当日の運営など全て中高生が手作りで行った。企画会では活発な意見交換も行われ、受講生同士の交流が深まり、コミュニケーション能力も高まった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
楽しいお父さん講座	父親が子育てに関わるヒントや情報を提供しながら交流、親子で参加できる工作や料理教室も取り入れる。	7月3日・25日・8月22日・9月25日	4	50
はじめての子育てブレパママ講座	はじめての出産を迎える夫婦を対象に沐浴実習や妊婦体験、アロマテラピーや音楽鑑賞などを行い、交流を図り、子育てへの不安を解消する。	6月19日・7月3日・17日	3	32
かわだいらお楽しみ劇場	センターから遠い川平地区への出前講座。未就園児親子のための人形劇と手遊び。	6月25日	1	51
わんぱくたいけんinかわだいら	川平小学校を会場にスポーツやゲーム、工作等を行う。ジュニアリーダーも参加し、活動の場をひろげる。	7月17日・11月20日・2月5日	3	120
ジュニアのそばでそばを打とう	小学生がそばを打つことで「食」に関心を持ち、その大切さを学ぶ。企画者の中高生や地域講師との異世代間交流も図る。	11月7日	1	8
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を図るために中山・川平・貝ヶ森地区の5年生と世話人を対象に運営方法や行事の持ち方などについて研修する。	2月26日	1	99
それゆけ！たいけん！ドキドキッズ	長期休暇や土日に小学生のための居場所作りとしての事業を展開、紫外線ビーズや楽器作りなどの工作や調理、スポーツなど。	7月28日・8月25日・9月29日・11月25日・12月21日・2月19日	6	110

北欧フィンランドに学ぶ	福祉の先進国といわれるフィンランドの歴史や教育、高齢者の暮らしなどについて学ぶ。	11月10日・17日 12月1日	3	82
仙台七夕をつくろう	仙台的年中行事伝統七夕について学び、実際に作成する。	7月9日	1	23
ノルディックウォーキング講座	ノルディックウォーキングをテーマに健康作りへの意識を高め、継続できるようサークル結成につなげる。	10月13日・20日・27日	3	46
うまいすべ！？みやぎの料理	郷土料理を学ぶことで宮城の食材の豊かさを知り、地産地消を促す。はらこ飯、しそ巻き、仙台白菜を使ったキムチを作る。	7月21日・10月6日・12月11日	3	44
パソコンで思い出を編集しよう	初心者を対象にデジカメ写真を編集し、アルバム作りをすることでパソコンに親しむ。地域の高校を会場に開催し、生徒と受講生との交流もはかる。	8月4日・5日	4	74
楽しく元気にフラダンス講座	腰痛予防になるフラダンスを体験することで継続して運動を行うことの楽しさを知り、交流を図る。サークル化につなげ、センター祭にも参加。	7月6日・13日・27日・8月3日	4	61
緑のカーテンをつくろう	地球温暖化が進むいま、身近な生活の中でできることを考え、実践してもらう。センターに緑のカーテンを作り、植えつけや効果について学ぶ。	5月29日・8月21日	2	35
昼食を作ってみよう	高齢者世帯の食の自立改善と地域活動への参加を促すために調理の初歩を学び、交流する。	10月19日・26日・11月16日	3	34
中山銀鈴倶楽部	地域の高齢者を対象に音楽会、歴史・健康・映画など様々な講座を開催し、生涯学習の充実を図り、受講生同士の交流を深める。	5月7日～3月4日	10	322
「おかのまち中山Dハーマニー」音楽会	地域の音楽団体や学校、センター利用サークルの発表の場であり、地域住民との交流の場としての音楽会。コーラス、ギター、吹奏楽など。	11月27日	1	310
地域で防災	緊急時の共助活動や防災意識を高めてもらうためにトイレの組立訓練や講話、地震体験などを行う。	9月12日・18日・10月16日	3	545
地域で防犯	高齢者をねらう詐欺犯罪防止対策についての寸劇と講話。管内の犯罪の傾向と対策を知り、防犯活動について考える。	3月5日	1	44
中山市民センターまつり	センター利用団体・地域住民・地域諸団体の発表の場及び交流の機会を提供。児童館と共催し、防災をテーマにイベントを企画。	9月18日	1	1,500
中山市民センター懇話会	地域の課題やニーズを探る。①センター利用サークル②町内会や老人クラブ・福祉団体等③教育関係	11月18日・12月4日・16日	3	38
手作り布おもちゃ	子育て中の母親でも参加できるボランティア養成講座。汽車やボールなどの布おもちゃを作る。	2月17日・24日・3月3日	3	18
市民企画会「なにか体験し隊」	中学生・高校生に集まってもらい、興味があることや必要としている情報について考え、同世代のための講座を企画する。	5月9日・6月20日・7月18日・8月8日・9月11日・10月24日・11月7日・14日	8	84
サークルー 日体験講座	地域の方々を対象に中山市民センター利用サークルの活動を紹介し、一日体験・見学の機会を設ける。	6月15日・16日・17日・18日・19日・20日	6	65

折立市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、仙台市中心部から西方約 5 kmの地点に位置している。東側には青葉山丘陵、南側には里山蕃山、北側には広瀬川が流れ、西側にはその広瀬川によって形成された河岸段丘が開け、遠くには奥羽山系を眺望できるという自然環境に恵まれた場所に立地している。平成 7 年 5 月 30 日に市内 50 番目の市民センターとして、折立児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

施設の特徴としては、可動式のステージが備わった多目的ホール、照明付の舞台を備えた 49 畳の和室、調理用機器を完備した会議室兼調理室等があり、地域住民の生涯学習・スポーツ・コミュニティづくりの場として、広く利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	防災教室 ～僕たち私たちの力～		
参加者	折立中学校 2 年生	参加延人数	150人
開催日	全1回 5月14日(金)		
協力者・協力団体	仙台市立折立中学校、仙台市立折立中学校 PTA、折立地区町内会連合会、折立地区社会福祉協議会、仙台市民生委員児童委員協議会、青葉区消防署片平出張所		
ねらい	災害時を想定し、消防署職員の指導のもと、普通救命救急や AED 等々の講習を受け、災害時におけるボランティア活動に対する意識の向上に努める。又、地域の諸団体と連携することにより地域の防災力を高める。		
概要・成果	折立中学校との連携事業。普通救命救急、AED 体験のほか、諸団体の協力により炊き出し訓練を実施できた。地域と学校と市民センターが協力して防災の意識を高める良い機会となった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
小学生の生活習慣を学ぼう	子どもの生活習慣の乱れがどれほど子どもの成長に悪い影響を及ぼしているか、どうすれば正しい生活習慣を身につけることができるのかを学び、子どもの健全な成長につなげる。	6月19日	1	17
布の絵本を手づくりしようー託児付ー	子どもの情操教育に好ましい布絵本をつくり、また集まることで、母親同士のコミュニケーションが生まれ、しいては健全な子どもの成長の一助となることが期待できる。	8月25日・9月22日・10月27日・11月17日・12月15日	5	39
親子たいけん隊	地域の自然に触れたり、地域の伝統文化を学ぶ体験を通して、子ども達の心身の健やかな成長を培う。また親子、異世代間の交流を図る。	7月18日・10月9日・11月13日・1月8日	4	76
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとなる児童および世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーションゲームの研修を行い、地域おこしを目指す。	2月26日	1	112
防災教室～僕たち私たちの力～	災害時を想定し、消防署職員の指導のもと、普通救命救急や AED等々の講習を受け、災害時におけるボランティア活動に対する意識の向上に努める。又、地域の防災力を高める。	5月14日	1	150

おりたてメンズクラブ	団塊世代を対象に定年後の生きがいづくりや活力ある生活を目指し、社会参加を促す機会を設ける。また、自主企画を取り入れながら積極的な活動の展開を図る。	6月25日・7月30日・9月17日・10月8日・11月26日・1月28日・2月18日	7	60
パソコン講座－エクセルで出来るいろいろ－	講師は地域人材を活用し、相互に学びあい、住民の交流を推進するとともに、習得したことを生かし、町内会活動やふれあいまつりに役立てていくことをめざす。	5月13日・27日・6月10日・24日・7月8日・22日	6	69
折立老壮大学	高齢者が様々な情報や学習を通し、月に一度仲間と学び合う事で、生きがいのある生活を送る機会を提供する。	5月20日～3月3日	12	410
おりたて歌声ひろば	地域住民が気軽に集い交流できるような、コミュニティづくりを目指し、童謡、唱歌等の音楽を通しての地域住民の交流の場を提供する。	9月14日・10月5日・19日・23日・11月9日	5	101
折立風のメロディーコンサート	市民センターを拠点に活動している音楽愛好家たちの発表の場、住民が気軽に音楽を楽しみ交流できる場を提供する。また地域の夏祭りとして位置づけ、地域の活性化を目指す。	7月24日	1	150
秋の料理教室と地域交流会	老人クラブ会員の指導で郷土料理の教室を開催し、郷土料理の伝達と、地域の高齢者と若い世代の交流を図り、地域の活性化を目指す。	9月29日	1	75
お笑い元気塾	笑うことでストレス社会や新型インフルエンザに負けない元気な心と体をつくり、地域をより一層元気にする。	12月9日・1月13日・2月10日	3	84
折立マップを作る	地域の自然や史跡等の魅力を広く発信するためにマップ作りを行う。	7月9日～1月14日	11	85
折立救命救急講座	災害時における安否確認、AEDの使い方、心肺蘇生などを行い、災害時に備える。	1月26日	1	16
災害に強いまち	宮城県沖地震の災害に対し、万が一避難所での生活が余儀なくされた場合を想定し、“避難所での生活について”学習し、防災意識や共助意識を再確認し、災害に強いまちを目指す。	10月2日	1	40
折立ふれあいまつり	地域で活動している団体やグループ、市民センターなどが中心となり、日頃の練習の成果や作品の発表を行う。また、地域との協働で、融和と活性化を図る。	10月23日	1	985
懇話会意見交換会	地域住民と課題や資源の情報を交換し合い、より良い地域づくりの方向性を探る。また、要望や意見を市民センター事業に反映させ、パートナーシップづくりに役立てる。	5月29日・9月11日・2月19日	3	34
市民企画会議「地域のマップを作ろう」	折立地域の豊かな自然や史跡等の魅力を、地域の大切な資源として保護活用していくためマップを作成する方法を、地域住民が主体となり企画検討する。	4月23日・5月7日・6月18日	3	28
地域発信「ボランティア情報紙わ・和・輪」作成講座	折立地域を中心に活動するボランティアグループやボランティア活動者の情報提供の場として情報紙を作り、ボランティア活動を支援する。また、地域住民が活動するきっかけづくりを促す。	6月9日・7月23日・11月10日	3	18
サークル体験会	市民センターや地域で活動しているサークル団体を見学・体験できる機会を設け、生涯学習への関心を高める。また、活動の紹介と新規会員獲得への一助とする。	5月26日・8月24日・25日・26日・27日・28日	6	38

広瀬市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、広瀬川の中流域に位置し、周辺にはサイカチ沼や月山池、蕃山などの豊かな自然と、子愛観音を初めとする数多くの旧跡が残る。また、近年は住宅の造成や商業地域の開発が進み、人口が著しく増加している地域である。

当市民センターの歴史は古く、昭和24年大沢・広瀬両村に村立公民館が建設されたことに始まる。昭和62年仙台市との合併により仙台市宮城公民館となり、条例改正により仙台宮城市民センターと改称、平成3年6月に名称を広瀬市民センターと改めて現在の庁舎に移転した。

施設は広瀬文化センター・広瀬図書館との複合施設で、地域住民の交流と生涯学習活動の拠点として広く親しまれ利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	「愛子の田植踊」を踊ろう！～次世代につなぐ広瀬の伝統		
参加者	地域の小学生の親子	参加延人数	589人
開催日	全24回 6月19日(土)、6月26日(土)、7月3日(土)、7月17日(土)、7月27日(火)、7月28日(水)、 7月29日(木)、8月21日(土)、8月28日(土)、9月3日(金)、9月4日(土)、9月19日(日)、 10月9日(土)、10月23日(土)、10月31日(日)、11月13日(土)、11月14日(日)、 11月27日(土)、1月8日(土)、1月29日(土)、2月6日(日)、2月12日(土)、2月19日(土)、 2月20日(日)		
協力者・協力団体	広瀬小りんどう社会学級、愛子小社会学級、愛子の田植踊保存会		
ねらい	後継者不足に悩む貴重な地元の伝統芸能を途絶えさせないために、市民センターと社会学級が連携して伝承の機会を提供し、2校に跨る小学生が学校の枠を越えて集い、踊りやお囃子などを共に学ぶ事により、地域の中に伝承の仕組みが復活することを目指す。		
概要・成果	本来小学生が踊る踊りを、長年に渡る後継者不足により70代の方々が踊っていることから、まずは小学生世代に田植踊を知ってもらおう場として昨年度より開催した。今年度は6つある踊りの後半を学んだ。参加を親子でとした事により、自宅へ帰ってから一緒に練習するなど受講生の意識が高まり確実な習得へと結びついた。 地域の関係各所にも認められ発表の要請を受け、5回の大きな舞台発表の機会を得て自信にもつながった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
みんなで子育て子愛ネット	親子で3B体操やリズム遊び。ミニコンサート。託ボ「ポッケの会」と親子遊び。愛子児童館を見学し簡単な工作を体験。愛子保育所では子育てについての話。読み聞かせボランティアによる人形劇の後茶話会で交流した。	5月14日・6月18日・7月9日・9月17日・11月12日・12月10日・1月14日	7	213
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会の意義などについて学習し、リーダーとなる子ども達には行事のプログラムの立て方やゲームを、世話人には子ども会の活動状況やジュニアリーダーの要請の仕方などについての話をした。	2月26日	1	123
子ども体験講座☆夏の思い出	地域の大人から子どもに昔の遊び伝える体験講座。サイカチ川で川遊びを通して世代間交流し、愛子の自然の素晴らしさを体感した。	8月19日	1	27

ひろせ山がっこ	企画員立案提供による、小学校へ泊まっの夜のプール体験やダンボールハウス作り、地区まつりへの出店、だんごさしなどを、小学生が体験し世代間交流した。	7月24日・10月31日・1月15日	3	351
ひろせを学ぶ地元学「愛子考」	地域住民が愛子の歴史・民俗・暮らしなどを講話と現地散策を組み合わせて学んだ。学んだ成果を昨年立ち上がった自主サークルと共にセンターまつりで発表した。	5月26日～11月30日	17	200
サイカチウォーキング～ひろせの魅力発見！～	広瀬に残る豊かな自然を地域住民や仙台市内の住民に広く知ってもらうため、サイカチ沼周辺を地域で活躍している「広瀬ウォーキングクラブ」がコースの策定から当日のガイドまで主体となって散策した。	5月21日・7月2日・10月1日・11月26日	4	53
学びの百科「ひろせ生活倶楽部」	地域や生活に密着した事柄から受講生自らがテーマを選び出し多目的に学習した。愛子小・広瀬小ワンコインプロジェクトの話、米粉料理、受講生を講師としたフラ、サプリメント、介護保険、仙山宝さがし、愛子小学校の児童と昔遊び交流。	5月13日～2月3日	7	257
老壮大学「若返り教室」	地域の高齢者が健康で生きがいのある豊かな生活を送るため、低栄養予防、脳トレ、ストレッチ体操、童謡コンサート、地域の歴史など多目的に学んだ。	5月27日・6月24日・7月22日・8月27日・9月30日・12月10日・3月10日	7	404
ひろせ芝居塾	住民が地域に残る史実「天明の雨乞い」を芝居に作り上げ、愛子小学校と広瀬小学校の児童・地域住民を観客に広瀬文化センターのホールで発表した。その後サークルとして自立した。	6月9日～9月15日	20	688
「愛子の田植踊」を踊ろう ～次世代へつなぐ広瀬の伝統	小学生の親子が地域の伝統芸能「愛子の田植踊」の踊りやお囃子を学び、豊齢まつり・上町芸能まつり・地区まつり・市民文化祭・天文台まつり・ひろせ学習フェアで発表した。	6月19日～2月20日	24	589
冬のあったかおはなしコンサートinひろせ	ミニステージにて地域で活動している読み聞かせボランティアグループ「ひなたぼっこ」と東北大生サークル「ドルチェ」によるお話とカントリー音楽のコンサートを開催した。	12月23日	1	105
ひろせ地域連携企画会	「愛子の田植踊」を題材とした講座の実施運営。「朝食アンケート」を取り、地域の主婦と小学生の母親達が漬物などの伝統料理を通して交流した。	4月22日～12月1日	10	105
ひろせ山がっこ企画会	小学校や地域などで活躍する人々が企画員となり、小学校へ泊まりダンボールハウスを作ったり、地域の伝統行事であるだんごさしの体験の機会を作り子ども達に提供した。	5月15日～3月10日	10	123
第22回広瀬市民センターまつり	広瀬市民センターで活動しているサークル・団体が一年間の学習の成果を、展示・ステージ・体験等を通して発表した。	10月30日・31日	2	1,750
生涯学習活動発表会「ひろせ学習フェア」	宮城地区のサークル・団体や主催事業で学んだ受講生が一年の活動成果を大舞台で発表・披露した。また実行委員会が主体となって地域の伝統芸能「愛子あいや」を会場全体で踊った。	2月19日・20日	2	1,667
ひろせサマーナイトコンサート2010	野外ステージエリアを会場にキャンドルを並べ夏の夜のイベントを開催し、地域で活動している団体の音楽や踊りの発表の場・出店の場を提供して、賑わいのある空間を作り出した。司会はジュニアリーダーが務めた。	7月31日	1	300
ひびけ！大合唱「ひろせの歌声」	地域の歌が好きな人や合唱サークルが学習フェアの出演を目標に交流を図りながら合唱の練習をし、ひろせ学習フェアで発表した。	1月15日・29日・2月12日・19日・20日	5	279
ひろせ懇談会	サークルや地域団体の代表、主催講座受講生と市民センター事業について意見交換をした。	7月3日・11月18日	2	15
ジュニアリーダー「くまっこ」まつり	市民センター全館を会場にジュニアリーダーが小学生向けのまつりを企画・運営した。お化け屋敷・ミニステージ・工作・もぐらたたき・スタンプラリーなどで小学生と交流した。	7月23日・24日	2	153
市民企画会 再発見！ひろせの底力2010	地域内の都市開発により昨年末まで調査に取り組んでいた川が暗渠化される事を受け、開発計画の中に川の重要性や歴史を地域に発信できる何かを盛り込むための提案作成し開発者や設計会社に提案した。	4月24日～1月19日	14	86
サークル1日体験	広瀬市民センターで活動しているサークル活動を地域の方々に周知し、体験を通してサークル参加を促した。	4月28日～7月30日	17	84

宮城西市民センター

〔沿革〕

昭和 52 年 4 月に宮城町西部地区公民館として開館した。その後、昭和 62 年 11 月 1 日宮城町が仙台市と合併して仙台市宮城西公民館となり、平成 2 年 4 月 1 日から仙台市宮城西市民センターと改称した。当市民センターは、宮城地区西部の自然環境に恵まれた緑豊かな山間地に位置している。近年過疎化が進み、少子・高齢化の現状にあるが、地域の活性化を図るため町内会・老人クラブ等の各種団体と連携を密にして社会情勢の変化に伴う学習要望に応え、地域住民と共に歩む生涯学習を推進している。また、地域住民の自主活動の場、交流の場として広く利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	出前講座		
参加者	地域住民	参加延人数	261人
開催日	全10回 7月31日(土)、9月12日(日)、10月26日(火)、12月9日(木)、12月14日(火)、 12月17日(金)、1月27日(木)、2月3日(木)、2月8日(火)、2月10日(木)		
協力者・協力団体	宮城西地区管内10町内会		
ねらい	交通事情が不便な地域住民にも公平な生涯学習提供の場とし、社会生活及び文化の向上を図りながら、市民センター事業の理解を深める。		
概要・成果	講座日程・内容について、出前希望団体と協議のうえ決まる。講座開催場所・講座参加者については、町内会運営下にある集会所を会場とし、各開催地域が参加者を募集し、とりまとめる。講師相談及び講師謝礼は市民センターとする。 講座内容(地域づくりに関すること・教養学習・健康管理関係・社会生活家庭生活に関すること他希望するもの)		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
託児ボランティアさんと遊ぼう	幼児の豊かな情操を培うために託児ボランティアと一緒に遊ぶ	7月1日	1	12
インリーダー研修会	子ども会リーダーの児童及び世話人を対象に子ども会活動を活性化するための研修	2月19日	1	24
親子ふれあい教室	学校休業日に、異なった地域の親子が共に自然体験をし、よりよい親子関係を築く	6月5日・7月8日・9月17日・1月8日	4	162
女性教養講座	女性同士で体験を共有することで仲間作り、地域作りに役立てる。	7月9日・8月24日・10月14日・12月10日	4	51
炭焼き体験教室	西部地区の生活を支えた伝統産業である炭焼きの作業工程と技術を体験	9月14日・21日	2	17

《青葉区》

出前講座	交通事情が不便な地域住民に、公平な生涯学習を提供する場とし、生活文化の向上をはかり市民センター事業の理解を深める。	7月31日～2月28日	10	261
山の幸講座	西部地区の特性を活かした自然素材を、地域住民の指導により採取、調理、保存などの情報交換し、地域交流に役立てる。	5月14日・9月24日	2	41
自然体験教室	宮城西部地域の豊かな自然の魅力を再発見し、地域財産としての認識を深める。	6月19日・7月16日・9月18日	3	39
おらほ自慢	地域それぞれの郷土料理を出し合い、交流する。地域素材を使った料理を作りだし、地域還元する。生きがいづくりと地域活性化。	12月15日・24日・1月7日・2月9日・16日	5	102
老壮学級	高齢化が進むこの地域で高齢者が心豊かでいきいきと暮らせるよう様々な内容の学習機会を設け生き甲斐づくりとする。	6月17日・24日・7月8日・22日・29日・8月26日・9月9日・1月20日	8	367
地域交流研修会	地域づくりの中心的・指導的立場にある関係者を対象に研修をとおして団体の活動の充実を図る。	3月5日	1	87
宮城西市民まつり	西部地域住民が一同に会し手作りのまつりを展開することで地域交流、コミュニティーづくりに役立て、地域活性化を図る。	11月23日	1	1,791
地域懇談会	15町内会、各種団体の情報交換の場とし、様々な会場で懇談会を設け地域ニーズ把握と市民センター事業運営に役立てる。	7月29日・8月20日・9月30日・12月5日	4	145

※ 改築工事のため、平成22年8月1日から休館中

大沢市民センター

〔沿革〕

当センターは、青葉区の西北部に位置し、田園地帯や緑多い丘陵地帯など閑静な自然環境の中、平成2年5月、児童館・コミュニティ防災センターを併設し大沢市民センターとして開館した。

当地域は、古い史跡が点在する歴史ある地域でもあり、古くからの村落と、成熟化が進行する団地、開発が進む新興団地が混在する中、若い世帯の増加が著しく更に発展が見込まれる。このような地域の状況を背景にその特性を活かし、地域住民の活動・交流の拠点として社会変化に伴う市民のニーズに対応する生涯学習事業を展開している。

〔特色ある事業〕

事業名	地域資源活用講座「芋沢川の住民票をつくろう」		
参加者	小学生(低学年は保護者同伴)	参加延人数	42人
開催日	全3回 7月22日(木)、7月29日(木)、8月5日(木)		
協力者・協力団体	地域在住の自然観察指導員、地域の見守りサポーター、NPO 法人水魚方式研究会		
ねらい	地域資源である芋沢川を題材とし、水辺の生き物の生態・川の環境を学習し身近な自然への理解と関心を深める。子どもなりに水循環全体の仕組みや環境保全の意味を考える契機とする。		
概要・成果	芋沢川で定点観察をし川の生き物の種類と生態を調べたり、川の上流から中流に移動観察し自然条件による生き物の分布を比較してみるなど、地域の自然を体験学習した。 外遊びの経験が少ない小学生が、芋沢川に入って自分たちの手で川の魚や昆虫を捕まえ、その特徴や生態を知ることができた。また、川に沿って歩きながら川とその周辺の自然に親しみ、動植物の観察を通して自然環境と生き物の関係について考えるきっかけとなった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
大沢子育てひろば 「おやこDEきらりん」	ラフターヨガ、親子でお散歩、コーチング、ふれあいコンサートなど、親子のふれあいと参加者同士の情報交換の機会をつくり、地域ぐるみによる子育て支援を図る。	7月2日・8月6日・9月9日・10月8日・11月5日	5	140
大沢地域畑で会いましょう～親子編～	幼稚園児や小学生の親子が夏野菜の種まきや苗の定植から生長の観察、収穫、調理実習までを、地域講師のほか老人クラブと畑のサークルの支援を受けながら体験し学ぶ。	5月21日～9月4日	10	104
市民企画 「ママの食卓安心講座」	「食育」をテーマに食品添加物の危険性や自然食品の基礎知識、旬の野菜の活用方法などについてお話を聴き、学びながら調理実習を行う。	6月24日・7月8日・23日	3	36
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとなる小学生と世話人となる保護者が、子ども会の運営の仕方や活発な活動を行うための方法を学ぶ。	2月20日	1	38
地域資源活用講座 「芋沢川の住民票をつくろう」	芋沢川で定点観察をし川の生き物の種類と生態を調べたり、川の上流から中流に移動観察し自然条件による生き物の分布を比較してみるなど、地域の自然を体験学習する。	7月22日・29日・8月5日	3	42

大沢暮らし百科	給与明細の見方や社会保障制度の理解、無添加石けん作り、絹の古布を再利用して袋物作り、下半身強化ストレッチ、焼酎のお話、天文台見学、ドイツのお国柄など様々な切り口で生活に役立つ情報を学ぶ。	6月3日・7月1日・9月2日・10月7日・17日・11月11日・12月2日・1月13日・2月3日	9	172
老壮大学 「大沢朗々学園」	「おとく体操」や夏野菜を使った調理実習、睡眠のお話など健康に関するもの、仙台市博物館・芹沢美術工芸館の見学やクラシックコンサートなどの芸術鑑賞、緑茶の知識や山野草の話など多方面にわたり学習する。	5月20日～3月10日	10	339
地域の達人に学ぶ 「男の料理」	中高年の男性が蕎麦打ちや餃子づくりを学び、家事に関心を持ち積極的に関わるきっかけ作りをすると共に、地域で活躍する講師の生き方や社会とのかかわり方を学ぶ。	6月18日・7月16日	2	31
地域の伝統文化にふれる	「川前鹿踊」の大沢市民まつりにおけるステージ発表や「芋沢田植え踊り」の紹介とお話、仙台市文化財課による「田植え踊り」の歴史紹介など、地域の特色ある伝統文化について学ぶ。	10月17日・11月20日・27日	3	68
スポーツで地域交流 「大沢・川前グラウンドゴルフ大会」	大沢・川前の学区民体育振興会と連携し、大沢小学校を会場に、地域住民がグラウンドゴルフをしながら交流と親睦を深める場を創出する。	7月14日・9月12日・18日	3	62
みんなおいで！大沢まるごとブックフェア	リサイクル古書市、子どものためのお話会と大人のためのお話会、昔話とピアノ演奏のコラボ、図書室ガイドツアーなどをし、地域住民が本に親しみ読書への関心を高める機会と場を提供する。	12月5日	1	65
大沢地区地域防災安心ネット	地震や天候不順による土砂災害の可能性について、地域の地形や地質を考え過去の災害映像を見ながら話を聴いたり、非常時のライフライン確保について各機関の対策を聴くなど、防災への関心と積極的な取り組み実現のための情報や知識を学ぶ。	5月15日・6月12日・7月3日・11月13日・1月15日	5	161
ロビーへようこそ	身体を動かす「おとく体操」、コーラスやギター演奏などの音楽に親しむコンサート、読み聞かせや紙芝居、すばなしなどの朗読会を開き、その活動を地域に紹介すると共に活躍の場を提供する。	5月29日・9月25日・1月22日	3	135
大沢市民まつり	大沢小学区連合町内会と大沢地区社会福祉協議会による実行委員会を中心に企画準備し、地域住民に日頃の学習成果発表の場を提供すると共に地域住民の親睦と交流を図る。	10月16日・17日	2	2403
大沢地域懇談会	町内会、社会福祉協議会、老人クラブ、防犯協会、消防関連団体等地域の代表とボランティアサークルの代表が集まり、地域の課題について意見交換や要望など話合いの成果を今後の事業活動に活かす。	11月6日・12月11日・1月29日	3	32
昔遊びを伝えよう	地域の高齢者が、お手玉や独楽回し、おはじき、竹とんぼなど昔のこどもの遊びと遊び方を工夫して小学1年生に紹介し、一緒に遊びながら異世代間交流を実現すると共に高齢者の活躍の場作りの一助とする。	11月12日・19日・26日	3	31
みんなの企画会議 (即書編)～ひろげよう！心をつなぐブックワールド	地域から本や読書に関心の高い企画員が集まり、地域住民が本に親しむ機会と場の創出について話合い、大沢市民センターの図書室や地域の人材を活用した「みんなおいで！大沢まるごとブックフェア」を準備開催。	6月23日～2月2日	10	27
おかあさんの企画会議～食育編～	子育て中の市民企画員が「食」に関するテーマで話合いを重ね、「ママの食卓安心講座」を準備開催。	4月21日・5月21日・6月8日	3	11

落合市民センター

〔沿革〕

平成 6 年に開館した当市民センターは、広瀬川、齊勝川、蕃山などの自然環境と、仙山線（陸前落合駅）、国道 48 号線仙台西バイパス、作並街道という交通環境に恵まれた地域にあります。また、宮城県立こども病院を始めとする医療機関、栗生小学校、宮城県宮城広瀬高等学校などの教育機関、宮城消防署などの公共施設、更には大型商業施設も整備され、人口が増加している地域でもあります。

その様な地域環境の中で、当市民センターは設立以来、施設利用および生涯学習講座等を通じて、地域コミュニケーション活性化、まちづくり推進の拠点として広く地域住民の方々から愛され、利用されてきました。

〔特色ある事業〕

事業名	栗生・西館・五郎八姫一五郎八姫ってどんな人？		
参加者	成人	参加延人数	116人
開催日	全5回 6月12日(土)、7月3日(土)、8月28日(土)、9月4日(土)、9月11日(土)		
協力者・協力団体	瑞巖寺、天麟院		
ねらい	伊達政宗公長女「五郎八姫」が晩年、栗生・西館で暮らしていたという説がある。しかし、転入してきた人だけでなく、古くから住んでいる人たちにもあまり知られてはいない。地域の歴史や、五郎八姫について学習し、当地域が持つ歴史的価値を再認識する機会とするとともに、地域への愛着や理解を深める。		
概要・成果	市民企画事業から生まれた講座で、専門家三氏による様々な角度からの講話と、松島瑞巖寺と天麟院を訪ねて五郎八姫について学んだ。また、学習者同士での意見発表会を行なった。この講座を通して学んだ方々のより深く追求したいとの思いからサークルが誕生した。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママいっしょにあそぼう(前期)	幼児親子が仲間づくりのきっかけとなるような、親子ふれあい遊びや集団遊びを行なった。	6月3日・7月1日・8月5日・9月2日	4	91
ママいっしょにあそぼう(後期)	幼児親子が仲間づくりのきっかけとなるような、親子ふれあい遊びや集団遊びを行なった。	10月7日・11月11日・12月2日・1月6日	4	103
はじめてのベビーマッサージ	赤ちゃん和妈妈と時にはパパも入って、音楽に合わせて体を動かしたり、簡単なマッサージでスキンシップを重ねた。語り合いの場も持った。	5月22日・6月12日・26日・7月10日・24日	5	95
こどもへ伝える性のマナー	子どもの性の発達、性のマナーとルール、家庭の役割、性被害の予防と対策についてなど、具体的な例や対処法を学んだ。	6月2日	1	20
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活動する児童、および世話人を対象に、講話や行事プログラムの立て方、レクリエーションゲーム、交流会等を行なった。	2月26日	1	112
昔の暮らし、今の暮らし	電気の伝わり方や昔ながらの塩づくり、火力発電所、ガス局工場見学、かまどでのご飯の炊き方など現代の便利なくらしと昔のくらしを体験した。	6月26日・7月23日・8月4日・11月6日	4	90

親子で挑戦 夏休み 消防士体験	消防署を見学し応急救護訓練、放水訓練、はしご車搭乗、初期消火訓練、地震体験車に搭乗し社会施設の役割と目的を学習した。	7月30日	1	76
各駅停車・仙山線	地域にある仙山線について、役割や歴史を学び、結果をリーフレットにして地域向けに発表した。	5月19日・6月2日・23日・30日・7月14日・28日	6	57
栗生・西館・五郎八姫 五郎八姫ってどんな人	栗生に住んでいたと言われている五郎八姫についての人物像など、館外学習も取り入れ学習した。また、学習者同士での意見発表会を行なった。	6月12日・7月3日・8月28日・9月4日・11日	5	116
落合実年学級	歴史、文学、消費者トラブル対策などの講話や軽体操、詩吟などの実技、環境施設見学、落語や音楽を鑑賞し、さまざまな分野を学習した。また調理実習で受講生同士の交流の場も設けた。	4月15日～3月2日	12	298
宮城県宮城広瀬高等学校連携事業	宮城広瀬高校の生徒を講師とし、卓球・書道を学び、市民センターまつりでは子どもたちに工作を指導した。また生徒の案内で高校の文化祭を見学し地域の人が高校を知ることができた。	7月17日・24日・31日・8月7日・9月11日・10月17日・1月6日・7日	8	484
真冬のハワイアン	ハワイアンバンドとセンターを利用しているフラダンスサークルのジョイントコンサート。観客参加型で実施した。	12月4日	1	39
紙芝居で地域の魅力再発見	地域に昔から伝わる蕃山の雨乞いの話の大型紙芝居を、紙芝居作成講座受講生が読み手となり、小学校や老壮大学、センターまつり等で上演した。	4月24日・6月23日・9月16日・10月17日	4	207
1日前の防災再点検	コミュニティ防災センターの物資活用、災害用伝言ダイヤルの使い方、救命処置、身近な物を使った応急処置を体験学習した。また、非常食の試食も行なった。	9月12日・26日	2	51
知っていれば支えになる認知症	地域で高齢者を見守ることについてと認知症サポーター養成講座を受講し、10年後地域で暮らしていくために今からどんな事に取り組む必要があるかを考えた。	11月19日・26日・12月3日	3	86
第14回落合市民センターまつり	サークルによるデモンストレーション、演技発表、作品展示、あそびのコーナー、読み聞かせ、工作コーナー、地域の方による模擬店、フリーマーケットなどがあるおまつりを実施した。	10月17日	1	2,400
地域懇話会	地域の各種団体、教育機関、行政機関の代表者が集まり、情報交換や意見交換をし、落合・栗生地域のニーズの共有を図った。	9月1日・3月4日	2	23
「五郎八姫の里を学ぶ」企画会	五郎八姫が栗生に住んでいたという言い伝えについて、地域の人が学べるような講座の企画をした。	4月3日・10日・17日・20日・6月5日・8月28日・10月2日	7	33
「初心者のための地域学」企画会	地域についてこれから学びたい人向けの講座の企画会。企画会の中でも学習したいという企画員の希望で、昔話を聞いたり、地域を実際に歩いたりした。	11月10日・17日・12月15日・1月19日・2月16日	5	17
サークル体験講座	落合市民センターで活動している25サークルの見学・体験ができる一週間を設けた。	5月25日・26日・27日・28日・29日・30日	6	34

吉成市民センター

〔沿革〕

仙台市北西部の吉成と南吉成小学校区の間位置に、市内 51 番目の市民センターとして児童館及びコミュニティ防災センターを併設し平成 8 年 4 月にオープンした。吉成地区は住宅地と商店街が共存し、市内北部と西部を結ぶ交通の要衝となっている。当センターは、吉成学区と南吉成学区の2連合町内会を管轄としており、吉成学区は 7 町内会約 7,600 人、南吉成学区は 7 町内会約 11,000 人、総世帯数約 7,000 世帯(平成22年3月26日現在)となっている。現在南吉成学区を中心に人口も増加の傾向にあることも含め、当市民センターの利用件数及び利用者数は増加の傾向にある。

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画委員会「青陵の森の活用を考える」		
参加者	成人	参加延人数	91人
開催日	全9回 4月24日(土)、5月8日(土)、5月15日(土)、5月22日(土)、5月29日(土)、7月3日(土)、 8月7日(土)、9月4日(土)、1月22日(土)		
協力者・協力団体	仙台市立仙台青陵中等教育学校、権現森自然研究会、青陵の森愛好会、緑を守り育てる宮城県連絡会議		
ねらい	吉成地域の住宅地の中で唯一自然の姿を現存する青陵の森を、地域の憩いの森として、また子どもたちの教育資源として活用する方法を、地域住民自ら学校と一緒に考えることにより、森を大切に、環境を守る気持ちを育み、学校と地域住民の交流となることを目的とする。		
概要・成果	青陵の森の活用を考える市民企画会議から2回の講座を企画・開催した。市民企画委員と青陵の森愛好会とで森のマップを仙台青陵中等教育学校監修のもと作成し、地域の小学生や住民と共に、森の自然と触れあい交流を深めることができた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
育児は育自	子育てを通して自分自身も成長することを知るきっかけとし、より良い子育てと仲間作りを図る。	9月1日・15日	2	17
吉成チャイルドスクール<食育>	小学生を対象に、日本の伝統と食の大切さを伝える	11月27日・12月11日・1月29日	3	50
ジュニアスクール「童々塾」	青少年の生活力UPと居場所作り	7月24日・31日・8月20日・28日・12月5日・2月5日・12日・19日	8	177
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとなる児童や世話人を対象に、活動に必要な知識を習得する	2月26日	1	33
市民企画講座 新健康づくり講座 シニアチアダンスを楽しむ	自立した健康管理や予防医学は、地域で生涯健康で暮らすことに通じる	10月1日～12月17日	12	236

《青葉区》

市民企画講座青陵の森を歩いてみませんか	四季折々の森の様子を観察し、親しめる森とし市民の交流を図る。	7月22日・9月11日	2	55
老壮大学 きらめきスクール	高齢化社会に対応した講座の開催	5月14日～3月4日	11	437
達人に学ぶ	地域で特技を持っている人の特技や知識を生かす講座	11月19日・26日・12月2日	3	37
みんなのコンサート	地域の小中学校と東北福祉大の吹奏楽の共演。地域づくり、世代間交流を図る。	1月15日	1	471
市民企画講座ニュースポーツで地域交流	地域の高齢者、小学生の参加による軽スポーツによる地域交流大会	11月13日	1	61
地域で支え合うまちづくり	健常者と障害者・高齢者が共に住み慣れた地域で生活するためにできることを学ぶ	7月22日・12月16日	2	32
吉成出前サロンⅢ	地域の集会所等に出向き市民センターのサークルを活用してサロンを開催する。	10月7日・2月18日	2	89
吉成市民センターまつり	地域の市民、団体および利用者の発表の場として実施する文化フェスティバル	10月23日	1	723
吉成地域団体交流会	地域活動する各種団体の一堂に会しての交流会	1月26日	1	51
地域懇談会	地域課題や、市民センター活動に対する要望などを把握するほか活動の理解促進を図る	11月26日・2月3日	2	8
続・ブックトークボランティア養成講座	ブックトークボランティアのスキルアップと増員を図る。	5月27日・6月3日・10日・17日・24日・7月1日	6	138
市民企画会 みんなで楽しく吉成健康クラブ2010	市とセンターと市民で考える、地域で暮らし地域で生きるために健康づくり	5月19日・6月9日	2	9
市民企画会 地域交流スポーツ大会	2地域の体育振興団体とセンターが連携して、地域交流のスポーツ大会を企画する	4月13日・6月5日・13日・22日・23日	5	74
市民企画会 ～青陵の森の活用を考える～	学校と連携し青陵の森を地域に生かす講座を企画し、地域活性化を図る。	4月24日～1月22日	9	91

木町通市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、木町通小学校の全面改築に伴い、平成16年4月に小学校と児童館、コミュニティ防災センターとの複合施設として開館した。市民センター施設は、5・6階に位置し全館バリアフリー対応になっている。また、屋上緑化を施し、一部は児童館の庭園として利用している。

木町通地区は市の中心部に位置し、官公庁・学校・病院・商業施設・マンションが建ち並び、従来からの一戸建ての住宅はほとんど見られなくなった。人口では若い単身世帯や乳幼児の子育て世代の20代を筆頭に30代、40代、50代、60代と続き、この地域の特性と言える。

都心の中の複合施設の利点を生かし、地域との連携を図りながら講座を通して学びの場を提供することを目指している。

〔特色ある事業〕

事業名	木町通地域懇談会		
参加者	地域団体の代表者	参加延人数	66人
開催日	全4回 5月27日(木)、9月2日(木)、3月3日(木、2回)		
協力者・協力団体	木町通学区連合町内会、木町地区社会福祉協議会、木町地区民生委員児童委員協議会、他小中学校、PTA、地域団体、ボランティア団体など計20団体		
ねらい	地域住民や市民センター利用団体、さらには地域内の企業、学校、各種団体を対象に、地域課題や学習ニーズについての情報交換、意見交換を行い、市民センターの事業運営に対する地域ニーズを把握する。		
概要・成果	木町通地域「各種活動団体連絡会」が発足して二年目、この連絡会の会議へは毎回全ての団体が出席している。また、地域内の様々な活動予定を集約した「平成23年度地域活動年間カレンダー」を作成するに当たっては、参加団体の協力によりスムーズに作業を進めることができ、お互いの情報交換が進んだ。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママの息抜きほっとカフェ	子育て中の母親を対象に、子育てや絵本についての講話や調理実習、軽体操などを実施。	6月23日～2月16日	10	104
子どもの居場所プロジェクトみんなあつまれ！あそび塾	地域の子どもたちの放課後や学校の休日の遊びと居場所づくりのための工作、料理、お菓子づくり、テーブルゲーム、手芸、など各種体験講座を実施。	5月26日～2月5日	14	255
親子で体験しよう～仙台再発見～	小学生の親子を対象に七夕や、館外学習で地産地消をテーマにみそ作り体験等を実施。	7月25日・9月11日・2月19日	3	55
仙台市子ども会インリーダー研修会	児童はグループに分かれアイデアを出し合いながら子ども会行事を考え発表し、世話人は子ども会世話人の役割を講話、ゲームを通して学ぶ。	1月29日	1	40

木町通小学校PTA 花火まつり	あらゆる世代の方々が気軽に参加出来る場として、地域の祭りに欠かせない盆踊りを取り入れ、木町通小学校PTA花火まつりに参加。	9月1日・9日・17日	3	30
健康講座～絵手紙で 脳を活性化～	絵手紙作成と健康の関係、絵手紙の基本について学び、作品を完成させ市民センターまつりに作品を展示する。	8月27日・9月3日・10月1日・15日	4	53
木町通メンズ倶楽部	成人男性を対象に、健康管理と脱メタボをテーマに、低カロリーで身体にやさしい洋食・和食・中華料理を実施。	12月25日・1月22日・2月26日	3	46
私にも出来ます～障 害のある人もない人 も一緒に学ぼう～	障がいのある人とない人との交流を目的とした「料理」「生け花と抹茶体験」講座の実施。	11月16日・12月14日	2	31
社会学級連携事業 「裁判所へ行こう」	社会学級生と一般参加者が裁判所へ行き、実際の刑事裁判を傍聴し、裁判員制度の理解を深めた。	9月28日	1	14
社会学級連携事業 「エコ料理」	社会学級生と一般参加者が家計にまた、環境にもやさしい料理の講話を聞き、大根一本等を使い切る調理を実施。	1月25日	1	12
木町通老壮大学	5月開講式～2月閉講式まで8回、歯・生活の知恵・後見人制度・東洋医学等の講話、健康体操、映画会、仙台文学館の企画展、新春交流会実施	5月12日・6月9日・7月14日・9月8日・10月13日・11月10日・1月19日・2月9日	8	406
レッツエンジョイ!木町 通ナイトタイム	市民センターへ足を運ぶ機会の少ない企業人や、昼間働いている地域の方々に、気軽に参加出来る夜の講座を実施。	6月17日・8月26日・11月18日・1月27日	4	78
社会学級連携事業会 議	地域の身近な課題やニーズの情報交換を行い、2講座「裁判所へ行こう」「エコ料理」を企画実施。	6月17日・9月28日・12月8日・1月25日	5	41
木町通市民センター・ 児童館まつり	市民センター利用サークルの発表の場の提供や地域の方が参加できるイベントの開催などを、地域の各種団体と連携し運営。地域活性化を支援。	10月22日	1	750
木町通地域懇談会	地域住民や市民センター利用団体、地域内各種活動団体20団体による地域課題や学習ニーズについての意見交換、情報交換会。	5月27日・9月2日・3月3日	4	66
木町通サポーターズ 養成講座手芸編	サポーターズの人材・内容の充実を図り、幅広く活動を広げるために、地域住民を対象にグループまたは個人として活動できるよう養成講座を実施。	6月16日・30日 7月17日・9月9日・16日・10月16日	6	32
図書ボランティアスキ ルアップ研修会	図書の貸し出しを始めた図書ボランティアの方達に図書室の運営に必要なノウハウや、図書ボランティアとして活動を継続するためのスキルアップのための講座を実施。	11月10日・25日	2	22
市民企画会議	障がいのある人とない人との交流を目的とした講座の企画のための会議	7月6日・21日・8月26日・9月6日・10月20日・11月16日・12月14日	7	28
木町通サークル体験 会	講座から立ち上がった団体とセンターを利用する団体の体験会を実施。	6月22日・23日・25日・7月1日	5	22

中央市民センター

〔沿革〕

仙台市の公民館は、昭和21年に在仙文化人有志による民間団体として設置され、その後、昭和24年に仙台市公民館条例が制定されて「仙台市公民館」が発足した。各地域の公民館設置とともに、昭和48年には中央公民館と改称。昭和58年には榴岡図書館とともに現在地に開館し、平成元年には中央市民センター・公民館となったが、翌年には中央市民センターと改称した。

当市民センターが位置する仙台駅東口周辺は、高い利便性を生かした企業や学校、マンションが混在するとともに、古い歴史ある地域としての顔も併せ持っている。そういった立地条件から、最近増加している核家族とともに、市内各方面からの利用者が夜間の利用頻度も高く、多様な学習活動、市民活動が活発である。

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	子育てママのお散歩マップづくり～ママたちの東口活用術		
参加者	地域在住の親子	参加延人数	103人
開催日	全13回 8月27日(金)、9月3日(金)、9月10日(金)、9月17日(金)、10月1日(金)、10月8日(金)、 10月15日(金)、10月22日(金)、11月5日(金)、11月9日(火)、11月17日(水)、 11月19日(金)、11月26日(金)		
ねらい	子育て世代が多い地域で「お散歩マップ」を作ることで、子育ての知恵や情報を共有しながら 支え合う仲間づくりを進める。また、地域情報の交換や収集をすることで、街づくりが進むこの 地域への関心を高め、積極的に関わる気運を高める。		
概要・成果	地域で子育てをする母親に必要な情報を収集・整理し、情報マップ「ひろがる東口マップ 探 検！ママのまち」を作製した。講師のアドバイスを受け、掲載情報内容の整理、レイアウト、パ ッケージデザイン、切り折り作業など、すべて参加者で行った。講座日以外にも自主的に学 習活動を行い、講座が参加者同士の交流を深めるだけでなく、地域を見直すきっかけにもな った。地域で子育てする母親だけでなく、父親、祖父母にも役立つ情報マップができあが ったことが、さらに参加者の達成感を高めた。		

〔平成22年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加 延人数
子どもの力を引き出すために～お父さんお母さんのためのコーチング	コーチングの手法を取り入れた家庭でのコミュニケーションについて学び、子どもの自立性を認識し、家庭教育について考える機会とした。	5月15日・22日・29日	3	51
子育てママのお散歩マップづくり～ママたちの東口活用術	地域で子育てをする母親に必要な情報を収集・整理し、情報マップを作製した。	8月27日～11月26日	13	103
お父さんお母さんのためのおもしろ科学実験室	親子、保護者同士のつながりを深め、理科離れを解消するために家庭でできる科学実験を体験し、主催事業「東口ゆうえんち」にスタッフとして参加した。	7月10日・17日	2	25
和みカフェ～子育てを楽しもう	遊びや運動を通して親子のコミュニケーションを深め、子育ての体験談を話したり、情報交換をすることで母親同士の仲間づくりを進めた。	5月27日・9月16日	5	52
子育てママのお助けスプーンマッサージ	子育てに不安などを抱えている母親が身近にあるものを使って、子どもの体調をケアするスキータッチを学んだ。	12月14日・12月16日	2	21

＜宮城野区＞

東口ゆうえんち	少人数で遊ぶことが増えている子ども達に、小学生同士や大人の企画員、親子と大勢で遊ぶ機会を提供した。	5月15日・7月17日・10月2日・11月27日・2月26日	5	303
まちの名人に学ぼう	地域の人材を講師として活用し、市民センターをより身近に感じてもらうとともに、地域の人材発掘の機会とした。	12月1日・2月24日・3月5日	3	50
世界一受けたいコミュニケーション講座	笑顔や第一印象と、傾聴やストレス学を学び、人と人とのつながりの楽しさを知り、円満な人間関係を築くための学習の機会を提供した。	10月7日・21日・11月3日・18日・12月2日・16日	6	164
子育て世代のための暮らしマネージメント	子育て世代が時代の変化に対応した生活を送るため、家事や家計など社会力を高める機会を提供した。	10月14日・21日・28日	3	43
地震から自分と家族を守ろう	若い世帯や高層マンションに暮らす住民を対象に災害の備え、地域での防災意識を高めるため、避難や緊急時の対応、応急処置などを学んだ。	6月3日・10日・17日	3	34
介護予防講座	地域に住む高齢者が健康な生活を続けられるよう、軽体操や健康について学んだ。また、開催を通して地域の福祉団体との連携を強めた。	6月9日～3月3日	14	206
つつじがおかワイワイまつり	地域の小学生が学校や学年を超えて巨大紙相撲や工作などで遊び、餅つきや昔遊びなども体験した。	8月28日・1月29日	2	798
ふれあいコンサート	地域やセンター利用の団体に発表の場を提供し、地域の方が気軽に音楽に親しみ、集う場とした。	5月15日～1月15日	9	539
児童館作品展	地域の子どもの交流を深め、地域全体で子どもの成長を見守る意識を高めるため、近隣の2児童館の子供たちの作品を展示した。	8月6日・10月30日	2	620
中央市民センター事業運営懇談会	市民センター事業への理解を深め、地域住民からの意見や要望を事業に反映させるため、学びのコミュニティ推進委員会で意見などを聞いた。また、主催事業の際にアンケート調査を行った。	通年	1	30
宮城野通り防犯情報紙作成講座	住民の主体的な地域課題解決につなげるため、地域の関係団体が連携して防犯課題について話し合い、住民の視点から情報を発信した。	10月20日・27日・11月10日・17日・12月8日・15日	6	43
市民企画会議	地域で子育てする母親が、子育てに関する悩みや課題を解決するための講座企画を話し合った。	9月15日・10月6日・10月27日	3	12
東口ゆうえんち企画会	市民スタッフが、地域の子育て環境充実の為、遊びを通じての異世代交流の場である「東口ゆうえんち」を企画運営した。	4月24日～3月19日	13	147
パワーアップビジネス講座企画会	多様化する学習ニーズに応えつつ、意欲的に学習する市民の交流を図るために、夜間講座「パワーアップビジネス講座」を企画運営した。	4月22日～1月13日	11	70
サークル情報パネル展	生涯学習のために情報を求めている市民に、市内で活動しているサークルの情報を提供した。	8月27日～9月29日	1	1,567
サークル体験会	中央市民センター利用のサークルの活動を体験してもらい、市民の主体的な学習活動への参加意欲を高めた。	11月7日～11月26日	7	32

高砂市民センター

〔沿革〕

昭和 43 年、仙台市高砂小学校校舎を改築し、高砂公民館として発足した。昭和 53 年宮城県沖地震で建物が大破し隣接する前高砂小学校給食センターを改築、昭和 54 年に移転した。平成元年「高砂市民センター・公民館」、翌年「高砂市民センター」と改称、その後平成 6 年高砂地区のほぼ中心部に複合施設として新たに開館した。高砂地区は、七北田川、貞山運河、蒲生干潟などの自然に恵まれ、南部に広い田園地帯が広がっている。近年、急激な都市化が進み大型複合施設、商業施設等の出店も相次ぎ田園が住宅に変わるなど新たな住民が増加傾向にある。また、東北の海の玄関口としての役割が重要視されている仙台港を擁し、物流、工業生産、国際交流の拠点としての整備が進められ、後背地としての発展が大いに期待されている地区である。

〔特色ある事業〕

事業名	土曜コンサート		
参加者	一般	参加延人数	329人
開催日	全4回 5月22日(土)・8月7日(土)・12月4日(土)・12月18日(土)		
協力者・協力団体	高砂地区社会福祉協議会(高砂地区各子育てサロン)、宮城野区保健福祉センター家庭健康課、高砂地区各児童館、地域子ども情報誌「ホッとね」		
ねらい	地域住民が主役となって、音楽を通じた交流の場をつくり、気軽に集うことのできる市民センターづくりを行う。当センターを主体として活動しているサークルや地域住民の学習成果発表の場をつくり交流することで、サークル活動への新たな参加や地域への紹介を促し、センター事業の利用者増につなげる。あわせて、社会福祉協議会と連携し、日頃音楽に接する機会が少ない乳幼児向けの音楽会も行う。		
概要・成果	全4回のうち、3回をロビーコンサートとし、出演者を高砂市民センターや地域で活動している団体及び個人とし日頃の学習成果発表の場とした。地域団体との連携事業として高砂地区社会福祉協議会が運営する子育てサロンの参加者など、子育て世代の親子に向けたコンサートを開催。また一般の方も参加自由とし、“家族みんなで楽しく元気に”を提唱するコンサートとした。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
食育講座 「家族のための食事」	健全な食の知識と、家族一人一人の年齢にあった健康的な食事づくりを地場産品を通して学ぶ。講話・調理実習	1月12日・26日	2	18
地域子育てサロン出前講座「親と子のホッとタイム」	地域の「子育てサロン」の開催日に合わせて親子ふれあいの講座を出前開催し、市民センターから離れている地域の親子がふれあいながら学べる機会を提供する。	10月8日・15日・22日・11月18日・25日	5	218
育児の中の自分みがき講座	親として学んでおきたい学習とストレス解消の講座を組み合わせ、託児付の育児支援を目的とした講座。今年度は父親の参加を促す親子体操とおやつについて学習する。	11月20日・11月27日・12月4日・11日	4	39
高砂地区小学校連携「夏の講座」	地域小学校・地域・保護者と連携し、センター利用サークル等による色々な分野の講座の開催により夏休みの児童に「開かれた学校」として学びの場を提供する。	7月29日～8月10日	22	684

＜宮城野区＞

インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション・ゲーム等の学習をし、子ども会活動の充実を図ることを目的とする。	2月26日	1	48
高砂ファーム・楽しい野菜づくり	野菜を育てることにより、地域で作られる野菜や食について青少年が自ら考えるきっかけづくりとする。また地域の高齢者との交流を通じて人間関係を育む。	5月8日・6月3日・17日・7月16日・23日・10月14日・11月13日	7	94
小学生地域防災講座	近い将来高い確率で来ると言われている地震に備え、小学生が地域の一員としてできることを学ぶ。学校と地域が連携して防災活動を行なうことを理解する。	7月22日・8月3日・11月10日	3	533
高砂昔話語部講座Ⅱ	昨年の市民企画講座から引きつづき、地元学の「高砂を歩く」から「高砂の昔話」を取り上げ地域に伝承するために、語部としての知識や技術を学ぶ。	8月6日・20日・27日・9月10日・17日・24日・29日	7	66
三館共催事業「郷土七北田川下流域過去から未来へ」	高砂・田子・福室市民センターとの共催で、七北田川下流域の成り立ちや歴史を学び、地域の魅力を再発見し、地元に対する関心と愛着心を高める。	9月4日・11日・18日	6	284
出前講座「高砂市民センター健康講座」	センターから遠い地域の住民を対象に健康講座を出前開催し、健康作りの一助とすると同時に、市民センターの活動について理解を深めてもらうことを目的とする。	9月8日・11月16日	2	45
市民企画講座「野菜を楽しむ講座」	地産地消などについての総合的学習	11月5日・12日	2	24
充実エコ料理「ひとり分もおいしく」	野菜を使い切る講座を通じ、資源やゴミの分別意識の啓発や環境問題の意識を高める。調理実習と講話	12月10日・12月17日	2	20
高砂老壮大学	地域の高齢者が、生き生きと生活するために生きがい、健康、教養を中心とした学習の場を提供すると共に、受講生同士の交流と親睦を図る。	5月1日～2月28日	10	2,030
高砂市民センター「土曜コンサート」	音楽サークルや地域音楽愛好家などの地域住民が主役のコンサートやゲストによるコンサートの開催により、地域住民が気軽に集うことのできる交流の場の提供と各種情報の提供を図る。	5月22日・8月7日・12月4日・18日	4	329
高砂市民センターまつり	センター利用サークル等の学習成果発表と各世代が楽しめるイベントを通じ、地域住民相互の交流を図るとともに、管内小中学校等との連携を図り、地域の青少年健全育を図る。	10月30日・31日	2	9,300
あなたの町と市民センター懇話会	地域住民を対象とした懇話会を開催し、情報収集や地域課題の掘り起こしを行うとともに、課題解決に向けて協働できることを模索する。	4月18日・5月16日・11月13日	3	57
読み聞かせボランティア フォローアップ講座	近隣小学校の要望に応え、読み聞かせボランティアの育成を図り、児童の読書活動推進と学習成果地域還元に繋げる。	7月1日・8日・15日・29日	4	103
市民企画会「高砂地区 地産地消を考える」	地域の農業生産者や特産物を学び、地域の地産地消について講座を企画する。	6月3日・7月8日・8月6日・10月8日・11月21日	5	11
悠々時間「元気の素を見つけよう」	地域住民への、多様な生涯学習の機会を提供するとともに、地域の特技を持つ方の人材発掘を行う。	7月14日・8月31日・1月22日	3	47

岩切市民センター

〔沿革〕

当市民センターは昭和24年仙台市に設立された7つの公民館の一つで、平成2年「仙台市市民センター条例」により市民センターと名称が変更された。昭和56年12月に現在の建物が建設され、平成18年6～12月に大規模改修が行われ現在に至っている。建物内部には市民センターの他に、保健センター、老人憩いの家、コミュニティ防災センター資機材倉庫が併設されており、さらに平成22年3月より岩切証明発行センターが併設された。

当地区は宮城野区の北東部に位置し、美しい田園風景が広がる。古からの歴史と文化を伝える神社、仏閣、遺跡が点在している。近年は岩切駅前地区の再開発により若い世代の人口増加が著しい。人々の学習意欲は高く、自主サークル活動が盛んに行われてきた地域である。

〔特色ある事業〕

事業名	いわきり de 子育て～もっと知って岩切パート2		
参加者	岩切地区在住の未就学児とその親	参加延人数	207人
開催日	全3回 10月26日(火)、11月9日(火)、11月16日(火)		
協力者・協力団体	宮城野区家庭健康課、宮城野区まちづくり推進課、仙台中央市民センター、地域の子育てサークル12団体		
ねらい	JR岩切駅周辺の再開発に伴い、子育て世代の転入が増加している。今年度は新たに岩切に転入してきた子育て中の方へ、旧来の良好なコミュニティが存在している岩切の地域の特徴を紹介すると共に、地域での仲間作りの一助とし、子育てしやすい環境を作ることを目的とする。		
概要・成果	3回連続講座。1回目は「バスで岩切探検」と銘うって市内の子育て世代が知っていて役に立つ施設(保育所や児童館、子育てサークルの拠点など)を見てまわり、子育てに役立つ情報を提供することができた。2回目は「親子リトミック」。3回目の「岩切親子でわいわい広場」では、定員枠を広げて、乳幼児を子育て中の方ならどなたでも参加できるミニ子育てまつりとして、子育て世代と地域の子育てサークルの交流会を行った。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
親子で仙台の七夕を楽しもう！	七夕の星座の美しさや七夕飾りの持つ意味、こめられた庶民の想い等、仙台の七夕を親子で体験し伝承する意識を育てる。七夕飾りの製作も実施した。	6月18日・7月23日	2	61
いわきり de 子育て～もっと知って岩切パート2～	岩切駅周辺の再開発に伴い、岩切地区へ転入してきた子育て中の方へ地域の特徴の紹介と共に仲間作りの一助として集まりを提供した。	10月26日・11月9日・16日	3	207
市民企画講座「ママはスーパーレディ！」	子育て中の方を企画員とした企画会議を受け孤立しがちな子育て中の母親の友達作りの場と日頃のストレス解消やリフレッシュを目的とした講座を開催した。	9月7日・28日	2	32
いわきりっ子は大丈夫？	「安心して子育ての出来る環境づくり」をテーマに家庭教育地域交流会の会議の中から実施された講座。メディアの及ぼす危険性を取り上げ、会話や遊びの中で情感豊かな青少年の育成と細やかな情報の流れる街づくりへの提言を図った講演会を実施した。	9月25日	1	66
みんな仲良し子育てサロン	子育て世代の増加が著しい岩切地区で楽しい子育てをしてもらう為に同じ子育て中の方と知り合うきっかけの場を提供した。	7月28日・8月25日・9月29日・10月27日・12月1日	5	172

＜宮城野区＞

ワイワイ作って 楽しく食べよう！	食の安全をテーマに地域の食材を用いて親子でおやつ作りを楽しむ機会を提供した。	11月27日	1	18
ふれあい囲碁・将棋 教室	子ども達の学校5日制の有効活用と地域の囲碁・将棋の名人たちとの世代間交流を支援した。	5月1日～1月 22日	18	348
伝承あそび	高齢者から園児に伝統的な日本の昔遊びを伝承し世代間の交流を図る。お手玉・けん玉・竹とんぼ・折り紙・はねつき・こま回し等を楽しんだ。	12月26日・1月 20日	2	180
イン・リーダー研修会	子ども会活動の活性化を図る為、子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人に研修会を実施した。社教主事による講話・工作・JLによるゲーム等。	2月13日	1	43
いわきり味散歩	多種の仙台野菜の生産地である事と食育のテーマを踏まえ地域農産物を使った季節の伝統料理を地域講師から学ぶ機会を提供した。	7月30日・10月 1日・12月17日	3	28
ふるさとスケッチ～岩 切の山河を水彩画に 残そう～	古里の風景を見つめ直すことにより地域への愛着心を培い環境保全について考える機会を提供した。その手段として水彩画を用い、長い活動への支援への契機とした。	10月14日・21 日・28日・11月 5日・11日	5	72
中高年の健康講座～ メタボ、大丈夫ですか ～	近年話題のメタボリック症候群について、正しい認識とその対策を講じ健康生活維持の必要性を学ぶ機会を図った。	9月2日・9日・ 16日	3	45
かわいい笑顔にこん にちは！	岩切保育所に毎年人形を提供しているボランティアサークルの活動を支援、継続に繋ぐ新メンバーの育成と異世代交流から地域力を高める機会を提供した。	1月27日・2月 3日・10日	3	29
岩切老壮大学	地域高齢者に充実した生涯学習の場を提供し、豊かなシニアライフを営む手助けをした。又、受講生間の交流と親睦を図り地域活動へ積極的参加に導いた。	4月16日～3月 4日	12	490
岩切老壮大学院	高齢化が進む中、地域高齢者が心豊かに生活出来る様、学習機会の場の提供、及び受講生相互の親睦と交流を図った。又、自主的活動の充実に向けた支援を行った。	4月21日～3月 16日	10	664
すずむしの里づくり コンサート	すずむしの里づくり実行委員会の活動を多くの市民に伝えていくためコンサートを開催し、すずむしに親しむ機会を提供した。	9月4日	1	110
すずむしリンリン講座	すずむしが仙台の虫であることを仙台市民に広く知ってもらう。又、飼育方法を伝え、その音色に親しむ機会を広く提供した。	8月12日・9月 1日	2	290
とっさに役立つ、AE D！	日常生活において突発的に起こりえる病気や怪我・災害等から自分、怪我や急病人を正しく救助し救急隊に引き継ぐまでの救命の手当てを学んだ。	2月5日・24日	2	49
家庭教育地域交流会	岩切地域内の6団体が一同に会し情報提供や問題提起を図り地域社会教育の普及発展と内容の充実を図った。2つの内容を企画実施した。	5月27日・6月 24日・9月2日・ 10月21日	4	48
岩切市民センターま つり	市民センターで学習するサークルの学習成果を発表する場を提供し世代を超えた地域住民の交流の場を提供した。	10月9日・10日	2	1,650
地域懇談会	市民センター利用者、地域住民、諸団体の多くの皆さんと地域課題について情報交換や意見交換を行い今後の事業に反映させる課題を探った。	8月4日・10月 27日・2月23日	3	34
市民企画会議「ママ はスーパーレディ ー！」	子育てに追われる忙しいママにストレスを抱え込んだり孤立する事のない様、友だちを作ったり自分が輝くためのリフレッシュする講座を企画した。	5月20日・27 日・6月3日・12 月2日	4	29
庭木を育て隊	定年を迎える団塊世代が緑豊かな街づくりに貢献すべく植栽管理を学び、地域と関わり合いながらイキイキと生活していく機会を提供した。	6月12日・19 日・26日・7月3 日・10日	5	61

鶴ヶ谷市民センター

〔沿革〕

当センターが所在する鶴ヶ谷地区は、東北最大級のモデル団地として、昭和 43 年入居を開始した新興住宅団地である。当館は、団地の完成とともに RC3 階建、温水プールを併設する施設として昭和 47 年 5 月 22 日に開館した。

その後、地域住民から生涯学習への要望が高まり、昭和 59 年から岩切公民館の協力を受け各種の講座が開設されることとなるが、本格的に生涯学習が展開されたのは、平成元年、市民センター・公民館として発足してからのことである。

平成 4 年 4 月には児童館が併設され、地域の生涯学習・児童福祉・コミュニティづくりの拠点として機能している。なお、温水プールは、平成 11 年 4 月から外郭団体へと管理が委託されている。

〔特色ある事業〕

事業名	出前講座「君もプチレスキュー」		
参加者	中学 3 年生	参加延人数	461 人
開催日	全 6 回 9 月 8 日(水)、9 月 9 日(木)、10 月 19 日(火)、11 月 11 日(木)、11 月 18 日(木)、11 月 19 日(金)		
協力者・協力団体	鶴谷中学校、西山中学校、宮城野消防署、救急サポートセンター、ドコモショップ泉店 東北福祉大学ボランティアセンター、鶴谷地区民生委員児童委員、地域ボランティア		
ねらい	避難所設営等に必要な地域の力となり得る人材の確保のため、地域内中学生に避難所運営上必要な知識・技能を体験学習により体得させ、ボランティア活動等への意識づけと即戦力を養う。		
概要・成果	避難所ボランティア実技体験。簡易トイレ組立・非常時の携帯電話の使い方・AED 体験・弱者疑似体験など実施。また、災害図上演習(DIG)での地域内マップづくりが地域の状況を知る機会となった。地域の団体が指導・運営することで、いざという時に地域コミュニティの活力がいきるよう、地域の防災活動に対する理解の輪を広げた。今回、事前学習として、講師の各災害ボランティアセンターに関わった経験談を交じえたボランティアの重要性、活動についての講話を行った。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て応援講座	図書ボランティアによる絵本の読み聞かせや歌を通して食育について学んだ。また、父親の育児参加や親子関係・家庭教育のあり方について考えた。	9 月 1 日・10 月 6 日・11 月 10 日・12 月 8 日	4	102
インリーダー研修会	子ども会活動と世話人の役割について講話。レクリエーションゲームの進め方、子ども会で使えるゲームなどを学んだ。	2 月 19 日	1	70
つるがやキッズクラブ	お茶、折り紙、ものづくり、科学実験などを実施。地域講師や高校生(仙台三高)、大学生のボランティアサークルなどとの世代間交流。	6 月 12 日・8 月 3 日・11 月 27 日・12 月 18 日・1 月 29 日・2 月 5 日	6	101

＜宮城野区＞

出前講座「君もブレスキュー」	災害弱者疑似体験、DIG 研修、簡易トイレ組立、非常時の携帯電話の使い方、救急救命講習等の実施。また、被災地での中学生のボランティア活動に触れながら、災害時のボランティアの重要性等について講話。	9月8日・9日・10月19日・11月11日・18日・19日	6	461
キャップハンディ体験	車椅子体験・聴覚障害について学んだ。また、聴覚障害者が講師となり、手話通訳者を通じて講話を行い、手話を使つてのコミュニケーションを体験した。	7月14日・9月2日・14日・16日・17日・22日	6	342
小学生のための国際理解講座「モンゴルについて学ぶ」	モンゴルの日常生活や遊び、学校生活の様子、民族衣装の説明を聞き、馬頭琴の演奏を聴く。	11月16日・3月9日	2	196
ノルディックウォーキングで健康づくり	ノルディックウォーキングの紹介。歩き方の基礎を学び、実際に公園をウォーキング。	7月9日・16日	2	26
鶴ヶ谷まな Bee カレッジ～みんなで始めましょう！	地域ボランティアによる運営・企画講座。バドミントン・パッチワーク・花かごづくりなど多彩な講座を実施。	9月29日～1月28日	14	136
ことぶき大学	医療、国際交流、郷土史など幅広い内容の講座を実施。	5月19日～3月2日	11	753
楽しく馴染める シニアのパソコン寺子屋	初心者を対象に、パソコンの起動・基本操作。ワードの基本、文字の入力・保存・印刷を学んだ。	9月7日・8日・9日	3	59
仙台七夕飾りを一緒に作ろう！	伝統七夕の由来・作製方法について学び、地元商店街に飾る七夕の制作展示。	6月3日・7月8日・15日・22日・23日・29日	6	54
「ひょうたん沼」の四季ウォッチング	鶴ヶ谷地域の自然資産「ひょうたん沼」を季節毎に観察。動植物や環境問題について学んだ。	4月24日・7月31日・10月16日・1月15日	4	45
市民企画実施講座「鶴ヶ谷企画防災セミナー」	自主防災組織の形成・活動をしている市内の町内会から講話・事例を聞き、自分たちの取組みに活かせる企画講座の実施。	10月16日・10月30日	2	40
鶴ヶ谷ときめきコンサート	地区内の幼稚園・児童館児童クラブによる合唱。ママさんプラスやバイオリン・ギター・アマチュアバンドなどによる演奏発表。	6月19日	1	600
鶴ヶ谷市民センターまつり	センター利用サークルの学習成果・活動成果の発表。地区内小・中学生の作品展示。福祉団体によるバザー・ジュニアリーダーによる綿アメ販売など。	10月23日	1	2,364
鶴ヶ谷市民センター地域懇談会	センター事業・運営に対する提案や地域情報・課題について意見交換会。	7月24日・11月6日	2	65
鶴ヶ谷まな Bee カレッジ～運営ボランティア養成講座	地域人材活用事業に向けての、講座運営・企画についての学習会。	6月10日・17日・24日・7月1日	4	10
市民企画講座 みんなで守ろう～地域防災を考える～	地域防災の現状を探りながら、「自主防災」のあり方について検討・意見交換会。	7月2日・23日・30日・8月6日・20日・11月12日	6	66

榴ケ岡市民センター

〔沿革〕

日本住宅公団の高層共同住宅の建設に伴い、一階・地階部分の一部を市民会館の分館として位置付け、昭和48年6月に開館し、平成元年4月に公民館が併設され翌年4月に榴ケ岡市民センターに改称された。

当市民センターは、市民の憩いの場である榴岡公園の東側に位置し自然環境に恵まれ、近くには仙台市歴史民俗資料館・国の合同庁舎・クリネックススタジアム宮城などがある。中心市街地として都市基盤整備が進み古くからの街並みが日々変化している中、新旧地元住民の交流の場として、また各種会合や生涯学習活動の場として多くの人々に利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	「平和学習」語り部ボランティア養成講座		
参加者	戦中・戦後の体験者	参加延人数	43人
開催日	全4回 9月1日(水)、9月8日(水)、9月15日(水)、2月3日(木)		
協力者・協力団体	共催：仙台市戦災復興記念館		
ねらい	平和だからこそ伝えなくてはならない戦争時代の辛かった事、悲しかった事、小学生だった頃の話、地域住民の貴重な体験を通して戦争と平和について子ども達に語り継ぐ「語り部」のボランティアを養成する。		
概要・成果	実際に活動している団体からの講話、戦災復興記念館の見学と体験を語り継ぐ意義を学ぶ話法、戦争体験者同士の話し合い。 受講生は平和にたいする思いも強く、これからの世代にどう伝えるかを考えている。太平洋戦争を体験したとはいえ、当時の年齢や記憶の差があり情報交換することによりお互いの体験を知る機会となった。また、「平和を伝える会」発足することとなった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
パパとママのほっとステーション	子育て中の保護者が、育児の不安やストレスの解消と子どもの発育について学ぶ環境を提供し、より健やかな育児の手助けを目的とする。また参加者同士の交流を図っていく。	11月5日・12日・19日・12月3日	4	14
榴ケ岡おはなしの部屋	読み聞かせや手遊びを通して、親子のスキンシップを図り、また絵本を通じた子育てを充実させる。	6月2日・11月11日・1月26日	3	45
「地域が育む子ども達」	「地域が育む子ども達」企画検討委員会で決定した講座を開催する。テーマは「伝えよう・つなげよう わがまちを」。	11月20日	1	60
星座観察会	家族や地域の人たちと一緒に天体観察を行うことで、相互のコミュニケーションを深め、宇宙に対する興味・関心を醸成する。	9月30日・12月17日	2	266
家族で体験！榴ケ岡学びの広場	保護者と子どもが共通の体験を通して、コミュニケーションを深め、土日を利用して地域の伝統や歴史等を学ぶ。	6月26日・10月13日・11月13日・2月5日	4	84
インリーダー研修会	地域の子ども会の活性化を促進するために、子ども会のリーダーの育成と世話人を対象に学習の機会を提供する。	2月27日	1	84
地域が伝える平和学習	戦争体験者である地域の高齢者から戦中戦後の学校や家庭での体験、復興にいたるまでの様子を聞く。	11月12日・26日・12月1日・8日	4	189
仙台でやってみよう！新体験	若い世代の転勤者を対象に仙台に親しみ、地域とのコミュニケーションを図っていく。	7月3日・10日・17日・31日	4	20

足元から考える国際理解・国際協力	国際都市仙台の一市民として、身近な活動から国際理解・国際協力に関われることを知る機会をつくる。	2月2日・9日・16日	3	49
榴ヶ岡老壮大学	長寿高齢化が進む中、社会の仕組みや生活習慣の変化・新技術の対応等を学び、一人ひとりの人生を豊かにするための学習を開催する。また受講生同士の交流を図る。	4月15日～3月3日	12	944
すずむし配布会・交換会	「すずむし」を通し、杜の都の自然環境を守り、小さな命の大切さを学ぶ機会とする。	8月7日・27日・31日	3	291
エコで作る伝統の仙台七夕	チラシや包装紙等を再利用した「環境にやさしい七夕飾り」を作るとともに地域交流も図っていく。	6月25日・7月9日・8月6日・31日	4	26
平成仙石線物語企画講座―仙石線今昔ものがたり―	仙石線を中心とした地域交通網と街づくりとの関連講座を開催	9月3日・17日・10月12日・26日	4	65
つつじがおかワイワイまつり	「榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進委員会」が中心となり、地域の多様な団体が子どもの健やかな育ちを支援するとともに地域のコミュニティづくりをしていく。夏まつり・冬まつりを開催。	8月28日・1月29日	2	798
五輪楽舎～地域と学ぶ～	地域課題やニーズに即した講座を開催し、学びを通じた地域コミュニティづくりを推進する。	4月8日・5月13日・6月11日・7月16日・9月29日・2月10日	7	200
萩こぼれて企画検討委員会企画講座「癒しの音楽会へようこそ」	4社会学級とセンターとの企画検討委員会で話し合いを重ね、「元気・一緒・癒し」をテーマに、参加型・体験型のコンサートでコミュニケーションに主眼を置き地域活性化を目指し地域交流の場を提供	10月24日	1	100
五輪楽舎～地域と学ぶ～企画検討委員会	五輪町内会メンバーとともに、地域課題やニーズを把握し、学びを通じたコミュニティづくりの事業を開催する。	4月8日・6月25日・7月9日・8月6日・9月10日・10月15日・11月12日・1月21日	8	45
「地域が育む子ども達」企画検討委員会	榴岡地区の市民団体といっしょに、地域ぐるみで、子どもとの関わりや子育てのための環境づくり事業を検討する。	7月3日・8月19日・10月14日・11月20日	4	26
「萩こぼれて」企画検討委員会	市民センター管内の4社会学級とともに、地域の課題やニーズを探り地域への情報発信および地域活性化のため事業の企画運営を図る。	6月8日・7月16日・8月10日・9月28日・10月24日	5	35
原町地域連携事業 原町小学校区地元学	センター・原町小学校が軸となり地元学推進委員会を結成し地域の協力を得ながら地域住民と小学生の交流を深め、地域の歴史・文化・暮らし等について学び、地域コミュニティの活性化とする。	6月8日・7月8日・7月16日・9月29日・10月8日・11月12日・2月10日・3月10日	8	807
榴ヶ岡市民センター・榴岡公園軽体育館まつり	榴岡軽体育館利用のサークルの学習成果発表の場と地域住民の参加による地域コミュニティ活動の活性化を促進する。	10月23日	1	620
榴ヶ岡市民センター懇談会	地域の課題や解決策をテーマに話し合う。また市民センター事業運営についても意見交換をする。	9月10日・12月3日	2	23
「平和学習」語り部ボランティア養成講座	戦中戦後の貴重な体験をとおして平和の大切さを語り継ぐボランティアの養成講座	9月1日・9月8日・9月15日・2月3日	4	43
読み聞かせボランティアステップアップセミナー	市民センターで養成した読み聞かせボランティア「おはなし いっちょばこ」の活動支援として、技術向上と活動の活性化を目的とした研修を行う。併せて新規のメンバーを募る。	12月15日・12月22日	2	37
「平成仙石線物語」企画委員会	市民センター管内を走る仙石線の沿線にある地域の街づくりや現状を学ぶ講座等を企画する。	4月23日～2月21日	12	62

東部市民センター

〔沿革〕

昭和 47 年 5 月に旧保健所庁舎の一部を改装し開館した「東部市民福祉会館」を前身としている。昭和 58 年 4 月に全面改装され、平成に入り「東部市民センター」に改称、平成 5 年 4 月には「東部児童館」が併設されている。

当市民センターは、宮城野区役所から北東へ約 0.7km の地点に位置し、通称「中原地区」といわれる住宅地にある。付近には、東仙台・苦竹・原町などそれぞれに歴史を持つ住宅地や商業地が広がっている。近年、新田や新田東地区の人口増加により館利用管轄地域の範囲が広がってきている。

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座 手作りヨットでGO！GO！梅田川		
参加者	小学生	参加延人数	29人
開催日	全2回 8月3日(火)、8月4日(水)		
協力者・協力団体	市民企画委員、ジュニアリーダー、みずほ工務店		
ねらい	市民企画会議を通し、今年度は近くの木工所の廃材を利用して子ども達に思い思いの舟を作らせ、梅田川で舟の競走をする。これらの体験を通して、小学生が梅田川を身近に感じ、興味や関心を持つ機会とする。		
概要・成果	・今回、夏休み前半の期間で日時・時間の設定も良く、申込者数が募集人数をはるかに上回った。企画内容も子ども達が自分なりの工夫で舟を作って、自ら川で流す一連の作業ができ、子ども達にとって梅田川が身近に感じられ、地域に対して関心を持つよい機会となった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子どもあつての親「子供からのシグナルをつかむには」	子供の訴えのシグナルを見逃さないために親子間のコミュニケーションのあり方を学ぶ	2月1日・8日	2	28
親子で挑戦 野菜づくり	季節の野菜作りを通し、作物の成長と育成の苦労と共に食物の大切さを学び、作業を通して親子間のコミュニケーションづくりを図る。地域の子育て支援区クラブと連携し、子ども達が健全に育つ地域づくりをする。	4月17日・5月15日・6月19日・7月17日・8月21日・9月18日・10月16日・11月20日	8	144
東部あそびの原っぱ	地域の小学校・社会学級・諸団体と連携し、遊びを通した子ども同士および地域の子どもと大人との世代間交流を図り、地域での子どもを育てる環境づくりをする。	7月16日・27日・28日・8月3日・12月11日・1月26日	6	394
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るための学習	2月6日	1	59

＜宮城野区＞

食育講座一子ども料理教室 「作ってみよう！おいしいごはん」	子供が料理を通し、その楽しさや食の大切さを学ぶ	11月27日・12月4日・11日・18日	4	40
市民企画講座 「手づくりヨットでGO!GO!梅田川」	廃材を利用して、子ども達が舟をつくり、梅田川で競争をして、梅田川を身近に感じ興味や関心を持つ	8月3日・4日	2	29
東部こども企画会議	地域の子供が自ら地域活動に貢献するため、講座の企画・運営・指導を行うことにより、地域に対する意識関心を高める。「中学生企画・小学生対象こども防犯講座」を実施。	6月1日・7月1日・26日・30日・8月5日・9月1日・10月1日・12月11日	8	125
楽しく学ぶ「こども防犯講座」	子ども犯罪防止について、その備えと対応について子ども自身が判例や危険な場所を学ぶことで、子どもの注意喚起を促し、安全な地域社会を作る。	7月30日・8月5日	2	33
楽しさ再発見 大人も楽しむ絵本講座	絵本を通し親子・家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりをする	6月22日・29日・7月6日・13日	4	55
男の茶の湯	日頃の忙しさにストレスを抱えて働く男性を対象に、茶の湯の精神や作法を通して、受講生同士の心の交流と癒しの場を提供する。	7月3日・10日・17日	3	23
川に学ぼう～しぜん・ちいき・くらし「梅田川の源流をたずねる」	地元を流れる梅田川の源流や川に生息する生物を学ぶことで、実際の梅田川が地域にとって大事な川であることを改めて知る機会とする。	5月20日・27・6月3日	3	27
おじいちゃん・おばあちゃん大集合！ 「みんなで気軽にレク・スポーツ」	地域高齢者の心身の健康維持のために気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションを提供	7月7日・14日・21日・8月27日・9月3日・10日・17日	7	104
東部いきいきスクール	シニア世代の交流と生涯学習の場	4月21日～3月9日	12	
わたしのまちのイチオシ大集合 ～あなたの大切なイチオシを撮影しよう～	地域の写真撮影を通して、日常見慣れた風景が地域の資源として再認識するとともに、地域の良さを改めて感じ、地域に対する愛着を持つ機会とする。作品展を開催し、地域の方とも、想いを共有し、地域づくりにつなげる。	9月4日・11日・18日・25日	4	25
東部ふれあいコンサート	地域住民が音楽を通し交流の場を作り、気軽に集うことができる	11月26日・2月20日	2	73
東部ふれあいまつり	当市民センター利用サークルの発表と地域住民の交流	10月3日	1	1,050
東部市民センター地域懇談会	地域住民・団体から事業への要望・地域課題を聞き、次年度の企画に向けて話し合う	4月23日・24日・2月26日	3	39
食育ボランティア養成講座	子供達が料理を体験する作業をスムーズに介助しながら、食の大切さを伝えるサポーターを養成	10月23日・30日	2	23
市民企画会議「ふるさと梅田川」	小学生が地域の資源を守り、受け継ぐための具体的な講座を企画する。	4月16日・5月14日・22日・6月8日・7月7日・8月3日・10月7日	7	49

幸町市民センター

〔沿革〕

平成5年4月20日、地域住民の長年の念願が叶い、幸町児童館及び幸町コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。

当施設がある幸町中学校区は、近年大型商業店舗の進出、民間マンションの建設などで町並みの変容著しい幸町・大楯地区と、与兵衛沼、柵江の森などの緑豊かな自然に恵まれた柵江地区からなる。仙台市ガス局をはじめ、県・市障害福祉センターなど公共施設やきぼう園、いずみ授産施設などの福祉施設とともに、国、県、市の公団住宅があり、民間も含め、集合住宅が多い地域でもある。ここ数年で地域の環境は大きく変化し、住民として、子育て中の世代や若年層の増加がみられる。

〔特色ある事業〕

事業名	学校へ行こう隊		
参加者	成人	参加延人数	111人
開催日	全12回 5月12日(水)、6月30日(水)、7月15日(木)、7月22日(木)、9月3日(金)、10月19日(火)、 10月22日(金)、11月26日(金)、12月14日(火)、12月15日(水)、1月18日(火)、 2月18日(金)		
協力者・協力団体	地域一般成人、センター受講生(生涯大学、陽だまりサロン)、 管内小中学校(幸町小、中・幸町南小・柵江小)、地域ボランティア		
ねらい	学校教育活動の中に地域人材が活躍する場を設け、地域住民と学校の連携、交流を促進する。地域住民と児童生徒が共に学び合い、感動を共有する事で世代間交流を深め、お互いを理解し合う場を構築する。		
概要・成果	年度当初、学校教育活動への参加、協力を呼びかける「学校へ行こう隊」を公募。同時に、センター企画講座である、「生涯大学」「陽だまりサロン」の受講生にも参加を呼びかける。大豆作り・工作・戦争体験・しめ縄作り・昔遊び・和楽器演奏等を通して、小学生と地域の方との交流等を実施。 回かさねることにより、活動の内容が定着してきており、地域の方の協力者も増えている。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママのお助け講座	子育て中の方に充実した学びの時間と情報交換の場の提供。 食育や幼児の救急・応急処置などを実施	9月15日・22日・29日	3	69
ママのリフレッシュ講座	子育てによる心身のストレスの解消するためのアロマオイルを用いたマッサージなど実施	7月9日・16日・23日	3	49
インリーダー研修会	子ども会活動についての講話や工作・ゲームなどを実施	2月5日	1	60

＜宮城野区＞

さいわいどんぐりクラブ	ザリガニ捕り・科学実験・工作など体験学習を主に実施	7月24日・8月18日・19日・20日・10月8日・12月4日	7	98
地元学The幸町 ～与兵衛沼を知ろう 記録に撮ろう～	幸町地区の貴重な自然資源の与兵衛沼を様々な視点から学ぶ。地元で愛着と関心を深める。	6月4日・11日・18日・25日7月2日	5	36
からだを動かさナイト 講座 ～卓球編～	中高年向けに卓球をとおり健康な体作りなどを実施	8月27日・9月3日・10日・17日・10月1日・8日	6	70
旬を学ぼう・旬を食べよう	地元で収穫された旬の食材を使って調理実習を実施	11月20日・12月11日・1月29日	3	41
暮らしハンディ体験	障害がある方との交流と体験等を通しお互いを理解する場の提供。地域で求められるサポートのあり方を探る	6月2日・9日・16日	3	25
市民環境講座 「ミニ菜園講座」	緑のカーテン作りとセンター敷地に四季の野菜を栽培し、食の安全や環境について学ぶ	5月15日～10月16日	12	143
幸町生涯大学	防犯・文学・歴史等の講話や軽体操、医療講座、受講生自主企画講座など高齢者を対象とする教養講座を実施	4月22日～2月17日	11	500
陽だまりサロン	茶話会で話し合い講座の内容を決め、自分史・ブローチ・蒸しパン・伝統料理等を実施	5月27日～12月10日	10	134
学校へ行こう隊	大豆作り・工作・戦争体験・しめ縄作り・昔遊び・和楽器演奏等を通して、小学生と地域の方との交流等を実施。	5月12日～2月18日	12	111
幸町市民センター・児童館ふれあい祭り	各団体・サークルのステージ・展示発表の場と地域住民の交流の場として実施。	10月31日	1	3,000
ハッピーナイトコンサート	市民センター利用サークルと地域の方のダンスやギター演奏等のコンサートを実施	12月18日	1	60
地域懇談会	地域の諸団体と情報や意見を交換する。地域の現状とニーズの把握のために実施。	5月21日・28日	2	41
ジュニアと遊ぼう	工作やゲームで学校間や世代間交流を図る。ジュニアリーダーに活動の場の提供として実施	12月2日・9日	2	32
市民企画会「企画委員会」	企画委員となった市民が学習ニーズを事業に反映させ、事業の計画にあたる。	7月7日～2月2日	13	44

田子市民センター

〔沿革〕

平成11年8月、仙台市で53番目の市民センターとして開館した。仙台市東部に位置し、市中心部と直結する JR 仙石線(最寄駅:福田町駅)や国道45号線等の交通利便性から人口が急増し、近郊都市化が進行している田子地域にある。施設規模としては児童館とコミュニティ防災センターを併設し、多目的ホールや会議室2室、和室2室、調理実習室、児童館図書室があげられる。幼稚園や小中学校、高校等の教育施設に恵まれ、地域リーダーとして活躍する人材も豊かで、地域づくりに関する住民意識が高く、防災訓練等の特色ある活動が活発に行なわれている。

田子市民センターは、これらの立地要件を活かし、地域団体や学校との連携に努め、事業を展開している。

〔特色ある事業〕

事業名	田子地区地域防災訓練～中学生の地域力～		
参加者	田子中学校生徒・田子中学校区10町内会	参加延人数	545人
開催日	全1回 11月5日(金)		
協力者・協力団体	田子中学校、田子中学校PTA、田子中学校区10町内会、高砂地区第一民生委員児童委員協議会/福田町包括支援センター		
ねらい	田子中学校区10町内会と田子中学校が合同で防災訓練を行うことで、生徒と地域住民がお互いの存在を確かめ、発災時における協力体制とそれぞれの役割を認識し、地域住民としての意識を喚起し地域活性化につなげる。		
概要・成果	田子中学校と10町内会および市民センターが実行委員会を組織し運営する。生徒はいったん帰宅し、「花火」をもって発災の合図とし、各町内会一時避難所での町内会独自の訓練(安否確認・車いす搬送・担架・リヤカー搬送など)を実施する。その後、町内会有志と指定避難所(中学校)に向かい、避難所運営模擬会議・煙体験・消火器体験などの合同の訓練を行う。 地域防災会議として広域に展開でき大きく効果を上げることができた。中学生が地域住民としての意識を高め、年代を越え互いに存在を確認しあい地域力の高まりに通じていく道筋となった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
田子っこ親子クッキング	宮城の地場産品(大豆・米粉)を取り上げ地産地消について理解を深めると共に、親子コミュニケーションを図った。	10月23日・30日	2	20
すてきなママのいろいろなTIME	子どもから離れ日頃の疲れを癒すと共に、日常生活の中でおきがちな子どもの事故の防止方法を学習。気軽にできる親子体操を楽しんだ。	9月15日・22日・29日	3	66
あつまれ！にぎやかキッズ！	化学実験や光るキーホルダー作りを通して科学の楽しさに気付く機会を提供した。	10月2日・1月29日	2	41
インリーダー研修会	子ども会活動全般・世話人の役割・レクゲームの進め方を学んだ。	2月12日	1	22
タイルで作ろう！アートに作ろう！	環境美化を目指して絵柄を決めタイルを素材に「破損・汚損」した図書室の壁面美化に取り組んだ。	9月14日・15日・16日・17日	4	87

＜宮城野区＞

学びの杜	児童が地域の指導者から遡上する鮭の採捕・採卵の指導を受け、学校で稚魚を育て、放流することを通して、自然環境を守り、命を育むことの大切さを学んだ。	11月16日・22日・2月22日	3	285
夏の講座	地域の人材や、学校と協力しながら児童に交流と体験学習の場(天体観測、動物とのふれあい、ポッチャなど)を提供した。	7月16日～8月7日	11	295
三館共催事業 「郷土七北田川下流域 過去から未来へ」	高砂・田子・福室市民センターとの共催で、七北田川下流域の成り立ちや歴史を学び、地域の魅力を再発見し、地元に対する関心と愛着心を高める。	9月4日・11日・18日	6	284
介護予防教室	要介護状態にならないための体操、認知症対応の講話	9月16日・30日・10月7日	3	58
食の市民企画 安全 安心クッキング	企画員が育てた伝統野菜(田子芋、仙台白菜、余目の曲がりねぎなど)を用いて、安心・安全な食材の調理を体験し、地域住民との交流を図った。	11月19日	1	27
食の市民企画	有機農法による野菜の栽培をととして農業全般について学ぶとともに、安全な食品について学んだ。	5月14日～11月26日	14	199
田子老壮大学	高齢者の学びや活動への意欲に応えた講話、運動、そのための自主企画を実施。	5月12日～2月8日	10	580
田子っこの四季	七北田川河畔植物観察会や、地域人材から四季おりおりの伝統行事(伝統七夕作り・正月飾り作り等)について学びながら世代間交流を図った。	4月24日・7月2日・3日・11月13日・12月11日・17日	6	62
ミニコンサート in 田子	地域で活躍する音楽家によるコンサート、音楽にのせた朗読の発表を実施。地域住民と交流を図った。	6月9日・12月12日	2	41
みどりなライフ	「緑のカーテン」をすることで、楽しく環境について学んだ。	6月19日・26日・7月10日・31日・8月7日・21日	6	56
田子地区地域防災訓練～中学生の地域力～	生徒はいったん帰宅し花火を合図に各町内会の一時的避難所で活動後、指定避難所に集合し模擬避難所運営委員会開催等の訓練を実施。	11月5日	1	545
市民企画会議 「田子を愛する住民塾」	平成19年度から「地域防災」をテーマに行なってきた。今年度は田子中学校と10町内会を巻き込んだ田子地区地域防災訓練を実施	5月25日～3月31日	10	461
たごっ子まつり	小中ジョイントコンサート・ステージ発表・展示・模擬店等による地域交流	2月19日	1	2,500
田子市民センター懇談会	地域の課題とその対応方法を懇談会メンバーと市民センターにより定期的に話し合った。	5月25日・6月18日・7月16日・8月27日・2月18日・3月5日	5	85
地元学 企画会	地域住民による学びの交流の中から「わたしが暮らした田子のむかし」再編纂をテーマとし、わかりやすい注釈、写真などを添付し、地元学掘り起こし作業に取り組んだ。	4月1日～3月31日	14	93
はじめよう！緑のボランティア	植栽管理を学び、その知識と技術を地域に還元した。	6月4日・18日・7月2日・16日	4	37
図書ボランティア養成・フォローアップ講座	絵本の歴史に始まり、たくさんの絵本の世界に触れると共に図書ボランティアの役割について考えた。	10月20日・27日	2	16

福室市民センター

〔沿革〕

この地域は西に七北田川、北は多賀城市に接し、南は仙台港背後地に囲まれた地域で、かつては豊かな田園地帯であった。昭和 30 年～40 年代にかけて住宅地や市営住宅が造成され、住環境が急速に整備された。国道 45 号線、JR仙石線の沿線という利便性から、最近では仙台港背後地の開発や商業施設の増加に伴い、高層住宅、集合住宅が増え、人口は増加傾向にある。旧来の農地は激減したが、今も七北田川周辺の豊かな自然は健在である。当センターは中野中学校区を管轄地域として平成 15 年 3 月に開館し、児童館、コミュニティー防災センターを併設。年々利用者も増加し地域住民の生涯学習の拠点として、広く親しまれ利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	子育てママのピヨピヨカレッジ		
参加者	一歳児未満(第一子)の幼児を子育て中の親子	参加延人数	52人
開催日	全7回 6月18日(金)、7月16日(金)、9月17日(金)、11月12日(金)、12月17日(金)、1月21日(金)、2月18日(金)		
ねらい	当地区は乳幼児を抱える核家族の若い世代が多く居住している。孤立しがちな子育て中の保護者を対象に、子育ての情報交換や悩みを話し合い、支えあう仲間づくりの一助とする。また、子育て中でも社会参加ができることを認識し、自分たちで課題を見つけ解決できるように支援する。		
概要・成果	乳幼児を抱えての防災・ママのホームエステ・骨盤体操で元気な子育て・マナー講座等を行った。毎回、講座後半に実施した参加者全員での交流会でコミュニケーションがとられ、仲間づくりの一助となった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てママの「ピヨピヨカレッジ」	子育て中でも社会参加できることを認識し、子育ての情報交換や悩みを話し合い仲間づくりの一助とする ・乳幼児を抱えての防災 ・ママのホームエステ ・マナー講座	6月18日・7月16日・8月27日・9月17日・11月12日・2月18日	7	52
インリーダー研修会	子供会運営のノウハウやレクリエーションの技術を学び子供会の活性化を図る	2月5日	1	56
キッズわいわいクッキングクラブ	野菜栽培や調理を通し食の楽しさや大切さを学ぶ	4月24日・5月22日・6月12日・7月10日・8月28日・9月30日・11月19日・12月12日	8	102
ボケとツツコミ講座	「お笑い」を通して同世代はもちろん異世代とのコミュニケーション力の向上を図る	9月20日・27日・10月22日・29日・11月19日・2月6日・13日	7	17

＜宮城野区＞

市民企画絵馬と歴史のミステリーウォークラリー	地域の歴史的価値のある遺物等を学び、地域の良さを見直す。また、伝統文化、民俗について学びを深める	9月26日・10月23日	2	35
市民企画 中世・多賀国府と武士	伊達政宗以前の地域の歴史を掘り起こす事で、地域の成り立ち、良さを再発見する	11月20日・27日	2	69
和歌で親しむわたしのまち	地域を舞台に詠まれた歌の背景を紐解き、地域の魅力を探る	6月3日・10日・17日・7月1日・8日	5	124
三館共催事業「郷土七北田川下流域過去から未来へ」	高砂・田子・福室市民センターとの共催で、七北田川下流域の成り立ちや歴史を学び、地域の魅力を再発見し、地元に対する関心と愛着心を高める。	9月4日・11日・18日	6	284
市民センターin 高砂住宅	市営住宅に居住する足腰の悪い方等閉じこもりがちな入居者の為にラフターヨガの出前を行う(町内会、民児協共催)	12月3日・2月20日	2	60
福室老壮大学	高齢者が生涯学習に積極的に取り組むことで充実した生活ができるよう支援	5月26日～2月23日	10	648
ふくむろ和みサロンin 中野栄	気軽に集うことができるコンサートの開催で地域住民の交流や世代間交流を図る	2月26日	1	61
社会学級連携事業	地域の方々が大勢で楽しめるコンサート等の企画をする(今回はイケメンズのコンサート)	11月13日	1	104
福室小・中野栄小学校学社連携事業	地域人材や住民と協働しながら地域資源を活用した講座の開催	9月24日・30日・10月1日・11月26日	5	368
ふくむろ防災塾	防災訓練のノウハウを学びながら福室小学校での避難所訓練を計画、実行することで地域の連携と防災意識の向上を図る	5月20日・6月19日・7月17日・9月17日・11月19日・12月17日	6	190
福室市民センターまつり	センター利用者、地域住民の学習成果を発表する場を提供するとともに地域住民の交流を図る	10月16日	1	2,400
地域懇談会	地域課題の収集とセンター事業への理解を深めてもらう場とする	4月16日・6月11日・18日・3月8日	4	49
緑のカーテンプロジェクトF	環境にもやさしい緑のカーテン作りを学び、ボランティアを育成することで地域に緑のカーテン作りを普及させ地域全体で環境対策に取り組む	4月24日・5月22日・6月5日・19日・7月10日・24日・8月28日・11月20日・12月25日	9	68
市民企画会「地域のたからをテーマに企画しよう！」	講座の企画運営にかかわることで、まちづくりへの参加意識を向上させる	4月15日～12月2日	15	114

若林区中央市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、昭和 53 年、当時の養種園の改築に伴い、養種園の複合施設として「南小泉市民福祉会館」の名称で開館した。その後、条例改正により「南小泉市民センター」と名称を変えたが、平成 5 年 9 月 28 日、若林区文化センターの新設に伴い移転し、現在の「若林区中央市民センター」となった。旧建物は、児童館・社会福祉協議会等との複合施設となり、「若林区中央市民センター別棟」として運営されている。

若林区文化センターは、市民センター・図書館・市政情報センターが併設されている複合施設であり、当市民センターは地域の生涯学習活動の拠点として多くの区民に活用されている。

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	市民企画講座「アツとたまげた若林—キラリ 女・男・ひと—」		
参加者	若林区民	参加延人数	75人
開催日	全4回 10月29日(金)、11月12日(金)、11月13日(土)、11月27日(土)		
ねらい	若林区在住で、幅広く魅力的な活動をしている「人」を紹介し、あらためて地域のことを発見、再認識する場を提供する。また、地域住民の交流と活性化を図る機会とする。		
概要・成果	1回目：七郷朗読奉仕会の皆さんのお話と朗読 2回目：ユニバーサルファッション工房繕代表者のお話 3回目：ラジオ DJ の顔も持つ徳照寺副住職のお話 4 回目：歌手仙台のジュリーをゲストにラジオ収録 地域の人材を活かすことができた。幅広く活動している地域の人材を知り、改めて地域を再発見し、身近に感じることでできる良いきっかけとなった。		

〔平成 22 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
おはなしと音楽のひろば	読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせとママさんブラスによる演奏会	7月8日・11月30日	2	164
子育てママのリフレッシュタイム	親の時間と子どもの時間の持ち方のお話と交流会、リフレッシュするためのハンドマッサージとネイルの実技を行った。	11月11日・18日・25日	3	23
インリーダー研修会	子ども会のリーダーになる児童及び世話人を対象に子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習した。	2月26日	1	99
こども夏まつり	ジュニアリーダーや地域のボランティアグループに、本を読んでもらったり、折り紙やゲームを通して楽しみ交流を深めた。	7月22日	1	314
子どもワクワククラブ クッキングクラブ	1回目：栄養バランスを考えたワンプレートランチ作り 2回目：小学生親子を対象にアウトドア(海岸公園冒険広場)でクッキング 3回目：クリスマスのメニュー3品を作った。	7月3日・10月2日・12月11日	3	55
子どもワクワククラブ サイエンスたまため箱	1回目：光の三原則を学び乱反射を利用した光る箱を作った。 2回目：LEDのしくみを学びLEDを使ったオルゴールを作った。	8月29日・1月23日	2	32

《若林区》

子どもワクワククラブ 工作教室	1回目：自然のものでクラフト作りをした。道具の使い方も習った。2回目：磁石で人形を動かすことができるペーパークラフトを作った。	8月1日・21日	2	18
やってみよう！ ノルデック	ノルディックウォークについての講話と実技	9月4日・11日・18日	3	48
仙台七夕に願いを	折り紙ボランティアの皆さんの指導で、七夕飾りを中心とした七夕をつくり、文化センターのエントランスホールに飾った。また、来館者にも短冊に願い事を書いてもらい、笹だけに飾った。	7月2日・9日・16日・23日	4	38
市民企画講座 「アツとたまげた若林 ～キラリ女・男・ひと～」	1回目：七郷朗読奉仕会の皆さんのお話と朗読 2回目：ユニバーサルファッション工房継代表者のお話 3回目：ラジオ DJ の顔も持つ徳照寺副住職のお話 4 回目：歌手仙台のジュリーをゲストにラジオ収録	10月29日・11月12日・13日・27日	4	75
若林区民文化セミナー	「伊達政宗の城造りと防衛戦略」第1部 なぜ「仙台」だったのか？ 第2部 政宗の仙台防衛構想 第3部 若林城はなぜ造られたのか？のテーマで講演。他に、各市民センターの講座レポート等をパネルに展示	2月27日	1	141
本の世界は夢いっぱい	図書館のバックヤード見学と図書館の上手な活用方法を学び、また図書館職員によるブックトーク実演	9月14日	1	18
健康アップ体操	健康増進のためのウォーキングやストレッチ、肩こりや腰痛改善のための体操、転倒予防のためのエクササイズを学んだ。	10月7日・14日・21日	3	51
南小泉老壮大学 教養コース	食生活、歴史、社会、異文化などの多様な内容での講座を行った。	4月14日～3月2日	11	852
南小泉老壮大学 健康コース	健康に関する講話や実技を中心に映画鑑賞、朗読などの講座を行った。	4月28日～3月9日	11	827
たぐれどきの ミニコンサート	宮城県仙台第一高等学校吹奏楽部、若林区吹奏楽団、齋藤惣一朗氏による歌や演奏等のミニコンサートを行った。	7月24日	1	130
南小泉老壮大学 公開講座	東北弁での落語(川野目亭南天)と漫才(今野家なにかにも)を通して、コミュニケーションツールとしての言葉の大切さを学んだ。	2月6日	1	677
社会学級連携事業 企画会	南小泉小学校社会学級と地域ニーズに沿った事業を実施するために企画会を行った。	6月2日・7月2日・8月6日・8月27日・9月17日	5	15
ミュージックあ・ら・か ると	市民センターや地域で音楽活動している8団体の皆さんが実行委員となってコンサートを運営した。	1月16日	1	118
若林区中央市民セン ター学習発表フェスタ	地域や若林区中央市民センターで活動しているサークルや個人が、日頃の成果を発表する場として行った。	2月19日・20日	2	2,136
若林区中央市民セン ター事業懇談会 「田んぼっ区懇話会」	地域の課題やニーズを話していただき、主催講座に関しても提案をいただいた。	5月29日・9月25日	2	11
読み聞かせボランテ ィア 養成講座	ボランティアとしての心構えを学習したうえで、読み聞かせの方法や絵本の選び方、わらべ歌などを教わり、実際に読んでみて指導を受けた。	5月21日・28日 6月4日・11日・18日・25日	6	138
市民企画会 「若林をもっと知ろう」	企画スタッフが職員とともに地域の学習ニーズや課題を話し合い、「若林をもっと知ってもらふ」講座を企画立案、実施にあたった。	5月12日～12月7日	14	30

七郷市民センター

〔沿革〕

地元住民の要望により七郷公民館として昭和 58 年 4 月に保健センター・コミュニティ防災センターの複合施設として開館。平成元年には、七郷公民館・市民センターと呼称し、若林区の拠点館となる。平成 2 年七郷市民センターと改称。平成 5 年 9 月には若林区中央市民センター開館に伴い、拠点館機能を移行した。平成 14 年 4 月児童館を併設、さらに平成 22 年 2 月大規模改修工事を終え、リニューアルオープンした。

近年、荒井土地区画整理事業により新しい街並みが形成され、加えて地下鉄東西線整備事業も荒井起点ルート決定で、市民センターの果たす役割は大きくなっている。新旧住民が交流しながら発展する街づくり、文化づくりに市民センターは機会と場を提供している。

〔特色ある事業〕

事業名	第 27 回七郷市民まつり		
参加者	地域住民	参加延人数	15,000人
開催日	11 月 27 日(土)・28 日(日)		
協力者・協力団体	連携：七郷地区連合町内会、七郷学区民体育振興会、社会学級、婦人防火クラブ、JA他		
ねらい	市民センターを利用している団体やサークルに学習成果の発表の場を提供し、生涯学習活動への意欲を高める。地域内外住民との交流の場とし、地域の活性を促す。		
概要・成果	地域の関係団体が実行委員会の中心となり、地域住民で作り上げていく事業。 また、祭りにかかわることにより地域社会との連携、コミュニティづくりの活性化に繋げる。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て応援講座 「大丈夫！行き詰らない子育て法」	子育てに関する悩みについて、何に原因があるのかに気づき、改善していく方法を学ぶ。講話と話し合い。	7 月 8 日・15 日・22 日	3	25
七郷子どもクラブ	週休 2 日制における子ども達の居場所づくりと、子ども達を取り巻く環境の充実を図る。料理教室、マジック教室等	6 月 5 日・19 日・7 月 23 日・9 月 25 日・2 月 18 日	5	96
インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るためのインリーダーと世話人に対する研修。講話、演習、実技。	2 月 26 日	1	61
荒浜キッズ	ふるさとの歴史・文化・伝統を学ぶ世代間交流	12 月 18 日・1 月 22 日・2 月 19 日	3	43
メンタルヘルス講座 「心の病の回避法と対処法」	誰もがかかる可能性が高い「心の病」の見分け方と予防法について学ぶ。講話と話し合い。	3 月 5 日	1	10
人生をもっと豊かにする講座 「隠れた自分の魅力を発見しよう！」	「心理テスト」「美術手法」などを通して、自分の人生を見つめ直し、更なる人生を豊かで有意義なものにする。	7 月 28 日・8 月 4 日・11 日	3	37

「ノルディックウォーキング」で荒浜を歩こう	ノルディックウォーキングを体験し実践する事によって健康づくりへの意識を高め、取組んでいく環境づくりをする。	6月10日・17日・24日	3	34
健康リフレッシュ運動講座 「エアロビ・有酸素運動に挑戦！」	無理なく楽しくリフレッシュできる有酸素運動を行うことで、体力と免疫を増加させる事の大切さを知り、健康について前向きに考える。エアロビクス。	9月3日・10日・17日	3	22
温故知新講座 「藤沢周平を最も知る人のお話」	藤沢周平の文学を学ぶことにより現代社会、地域社会にも通じる人間的ふれあいやお互いのやり取りを学ぶ取る。	12月17日	1	32
七郷歴史探訪	七郷の地域の歴史を学ぶことにより地域への愛着と興味関心を深める。七郷かるたを資料として活用した講話や散策の実施。	9月25日・10月2日・9日・16日・23日	5	98
いいっちゃ、仙台弁と七郷カルタ	七郷カルタを使って地域の歴史を学ぶ	11月5日	1	25
メンズクッキング	基本的な調理法を学ぶことによって自立的な生活力を高め、男性の家事参加を促進する。健康的な食習慣の実践につなげる。	1月29日・2月5日・12日	3	41
パソコン講座 「パワーポイント編」	中学生との広報誌作りを通して世代間交流を深めながら社会活動での自信を高める。	1月29日	1	10
第28回 七郷老壮大学	地域の高齢者が生き生きと生活するための生きがいづくりや学習の場を提供する。健康・音楽・文化・経済・自然科学様々な分野の講話や実技。	4月21日～3月2日	11	993
街かどコンサート	市民文化事業団と共催によるコンサート	3月5日	1	68
七郷防災講座 ～防災の意識を高めよう～	地域連携防災講座	9月2日・30日・10月7日	3	81
「七郷学びの応援隊」企画会	身近に関心が高い地域課題について理解を深め、その解決のための講座開催に向けて企画会議を運営する。	5月27日・6月3日・10日・17日・24日・10月21日・28日	7	49
リニューアルオープニングセレモニー	リニューアルオープンを記念し、センター利用者を主体としたサークルの演芸発表と記念講話を行う事によって、地域住民との交流と親睦を図る。	4月17日	1	0
第27回七郷市民まつり	市民センターを利用している団体やサークルに学習成果の発表の場を提供し、生涯学習活動への意欲を高める。地域内外住民との交流の場とし、地域の活性を促す。	11月27日・28日	2	15,000
地域『憩和』会	地域の方々からの様々な要望や意見を聞き出し、市民センターがそれらを反映できるような企画・運営を行う。併せて親睦を深める。	2月6日・3月6日・8日	3	40
傾聴ボランティア講座 「話を引き出す聴き方とは？」	傾聴には、塞いでしまった心の扉を少しずつ開放し活性化していく効果がある。このスキルを身につけてボランティアにつなげ、自らもやりがいを見出す。講話と実践。	6月16日・23日・30日・7月7日	4	70
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーと一緒に様々な遊びを通して、集団遊びの楽しさや体験学習の大切さを学ぶ。	1月6日	1	53
「七郷の防災講座」企画会	宮城県沖地震の時は、多数被害が出た地域である七郷地区。必ず来るといわれている宮城県沖地震にそなえて、地域で出来ることを学ぶ講座を企画する。	5月21日・6月4日・18日・7月9日・8月28日	5	34

荒町市民センター

〔沿革〕

昭和 47 年に旧斎藤記念館を全面改築し、「荒町市民福祉会館」として昭和 48 年 5 月に開館した。昭和 58 年 4 月「荒町市民センター」と名称変更になり今日に至る。建物は施設の老朽化と機能拡充の必要性から現在地に改築され新館として平成 22 年 2 月 2 日にオープンした。

当市民センターは、仙台市のほぼ中心部、昔からの老舗街である荒町商店街の一角に位置しており、仙台藩の名残を今尚残している地域である。

また、地下鉄五橋駅から徒歩 5 分、JR 仙台駅から徒歩 20 分と交通の便に恵まれ地域の方はじめ市内全域から多くの市民に利用されている。日中はもとより、夜間も勤め帰りの勤労者の活動の場として、幅広い年齢層に活用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	あらまち子ども企画室		
参加者	地域の小中学生	参加延人数	144人
開催日	全26回 5月14日(金)、5月28日(金)、6月4日(金)、6月13日(日)、6月18日(金)、7月9日(金)、 7月18日(日)、8月20日(金)、9月3日(金)、9月10日(金)、9月23日(木)、10月1日(金)、 10月2日(土)、10月13日(水)、11月5日(金)、11月19日(金)、11月26日(金)、 12月3日(金)、12月17日(金)、12月23日(木)、1月7日(金)、1月14日(金)、1月21日(金)、 1月28日(金)、1月29日(金)、2月11日(金)		
協力者・協力団体	荒町社会学級、ジュニアリーダー(ワンマイル荒町)		
ねらい	この地域は核家族世帯が多く、世代間交流も少ないため、地域にすむ様々な人と交流する機会を作る。そこで地域の小中学生が一年を通した活動計画をたて、地域人材や地域で活動するジュニアリーダーを助言者として活用し、子供の主体性や社会性を養う。		
概要・成果	一年間通しての活動で、異学年の交流ができ、子ども達同士良い関係を築くことができた。センター所属のジュニアリーダーと一緒に活動し、子ども達の中から次年度ジュニアとして活動する子も出てきた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
荒町でつながろう～子育ての輪～	子育て中の母親対象に地域で支えあえる関係づくりを目指す。	10月29日・11月26日・2月25日	3	41
あらまち子ども囲碁クラブ	囲碁を通して子どもたちに余暇活動の場を提供し、地域の囲碁ボランティアとの交流を図る。基礎と対局 囲碁指導ボランティアの数を増やししながら活動する。	4月10日～2月26日	22	169
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活動する児童と世話人を対象にした講座。講話「子ども会活動について」 実技「レクリエーションゲームの進め方」	2月19日	1	63
あらまち子ども企画室	地域の小中学生が自ら一年を通した活動計画を立て、地域に住む様々な人と交流する機会を作る。地域人材やジュニアリーダーを助言者として活用し、子どもの主体性や社会性を養う。	5月14日～2月11日	26	144

郷土史講座	郷土史に関心を持つ学習者対象に開催し地域活性化への一助とする講座。 明治維新から第二次世界大戦頃に活躍した仙台藩士にスポットをあて、市井の人々の暮らしに迫る。	6月10日～9月16日	10	477
荒町いきいき講座	聴覚障害者を対象に、気軽に参加できる情報交換や生涯学習の場を提供する講座。 仙台的参加型イベント「すずめ踊り」を楽しむため、ステップなどを体験する。	9月9日・16日	2	52
若林区民文化セミナー	若林区を中心にした歴史学習	2月27日	1	141
あらまち町民大学シルバーセミナー	地域高齢者が健康で心豊かな生活を送るために、生涯学習の機会を提供する。健康・くらし・教養・社会問題などの定例講座とコーラス・ハーモニカ・散策・川柳などのクラブ活動を支援。	4月21日～3月2日	11	700
介護予防教室	五橋地域包括支援センターとの共催で、介護予防の知識を提供する。広く地域住民の関心を高め介護予防の向上を図る。	5月20日・27日・6月4日・18日・7月15日	5	109
伝統の仙台七夕	地域を盛り上げるため荒町の七夕に参加し、地域活性化の一助とする。 講話「仙台七夕の由来」 実習「七夕飾り作り」	6月22日・29日・7月6日・13日・27日	5	129
すずめ踊り お囃子盛り上げ隊	仙台伝統のすずめ踊りを継承・継続するために、すずめ踊り自主サークル「荒町すずめっこ」専属のお囃子養成を目指す。	4月18日～8月2日	14	137
社会学級連携事業～つなげる力を広げよう～	社会学級生と地域住民がともに学ぶことにより、教育力の向上、ネットワークの活性化を図る。	11月20日・1月15日	2	47
荒町市民センターフェスティバル	地域住民及び利用サークルによる作品展示、ステージ発表をすることにより生涯学習の振興及び地域住民の交流とコミュニケーションづくりの促進を図る。	10月2日・3日	2	1,250
荒町事業運営懇談会	センターの事業運営をより良いものにするため、地域住民・地域団体代表者・利用者を対象に、意見および情報交換・要望聴取、事業運営についての説明・協力要請などを行う。	6月11日・11月19日・2月18日	3	27
本の楽しさを伝えよう	活動中のサークルのスキルアップを目指す。子どもと保護者のためのお話会について学ぶ。	9月3日・10日・17日・10月12日	4	41
ママの企画会議室	地域に若い世代の転入が増えているため、子育て中の保護者につなぐの場を提供するとともに、自ら課題を見つけ解決するための機会を設ける。	6月1日・15日・11月12日・26日・2月25日	5	34

六郷市民センター

〔沿革〕

昭和 56 年地域住民の福祉増進を目的に、保健センターとの複合施設「六郷市民福祉会館」が開館し、昭和 58 年に「六郷市民センター」と名称を改め地域の社会教育活動の場として地域に定着した。平成元年には公民館としての機能が加わり、平成 2 年には「六郷児童館」が併設され、生涯学習の拠点として現在に至っている。

六郷地域は名取川と広瀬川の合流点を有しており、河口には美しい干潟や貞山堀運河、屋敷林の居久根など自然環境や伝統が残されている。農業地域である東六郷地区と宅地化が進む新旧住民の混在する六郷地区に二分され、高齢化が進んでいるものの、1 万 5 千人弱の人口で推移している。

〔特色ある事業〕

事業名	六郷地域防災事業		
参加者	一般	参加延人数	477 人
開催日	全 2 回 7 月 31 日(土)、11 月 6 日(土)		
協力者・協力団体	連携：六郷地区防災対策推進委員会(町内会、小・中・高等学校、老人クラブ、婦人防火クラブ、消防団他)		
ねらい	高い確率で発生が予想される宮城県沖地震に対処するため、市民が自分自身の安全を確保し、地域においても被害状況の把握や、要援護者のサポートなどにより被害を最小限度にとどめるような地域防災体制の確立に向けて、自主的な防災訓練を行う。		
概要・成果	7 月の講座では、2 年前の栗原市での地震災害時に実際に救助活動をした、若林消防署職員にスライド等を通して地域コミュニティの災害対策の必要性を学び、意識を高める機会にすることが出来た。11 月の防災訓練では、地域住民や各諸団体役員等 383 名の参加があり、災害への関心の高さがうかがえた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
中高生のための「六郷倶楽部」	地域の中高生の居場所作り、仲間作りの支援として、中高生が気軽に参加できる講座の開催や自主活動の支援を行う。	12 月 18 日・2 月 5 日・2 月 12 日	3	73
六郷ウィンタースクール	センターで活動しているサークル等を講師とし、小学生の社会学習の場や異年齢間交流の場を提供する。	1 月 5 日・6 日・7 日	3	38
インリーダー研修会	地域の子ども会活動の充実を図るために、子ども会活動に必要な知識等を学習する場を提供する。	2 月 19 日	1	45
公開講座「六郷を探る」	六郷の地域資源である歴史や自然について学ぶことで、六郷の良さを再発見し地元への愛着心を育てる。	1 月 29 日	1	37

《若林区》

貞山堀でノルディックウォーキング	仙台市の高齢者福祉計画に基づいたノルディックウォーキングを利用した健康づくりを進めるとともに、地域魅力を発信する。	6月12日	1	14
若林区民文化セミナー	若林区には様々な文化・歴史・自然等の地域資源が豊かに存在している。「若林区民文化セミナー」を実施することで、地域の隠れた魅力を再発見し、地域固有の資源を最大限に活用した地域づくりを行う契機とする。	2月27日	1	141
六郷あすなろ大学	地域の高齢者が生き生きと生活するために、生きがい、健康、教養を中心とした学習の場を提供すると共に、受講生同士の親睦を図る。	1月20日・2月17日・3月10日	3	217
街かどコンサート	街へのアクセスが不便な地域がら、子供達や年配者が演奏会に出向く機会は少なく、改修工事後の市民センター利用拡大に繋がるよう、地域住民や家族が気軽に生演奏を聴けクラシック音楽が身近に感じられるよう演奏会を開催する。	3月6日	1	40
六郷地域防災事業	近い将来起こることが予測される災害に備え、地域防災体制の確立に向けて自主的な防災訓練、啓蒙のための講演会等を行う。	7月31日・11月6日	2	477
市民センター事業運営懇談会	地域の課題検討を通じて市民センターの役割を明確にする中で、センターの運営や事業に対する理解を得るとともに、聞き取った地域住民の意見を今後の事業等に反映させる。	7月9日・11月9日	2	23
「ハートフル六郷」市民企画会議	心通う温かみのある地域づくりを目指し、六郷地区の地域団体とともに、地域交流の場、地域住民のふれあいの場の提供を目的とした事業の企画を模索する。	9月21日	1	12

沖野市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、平成3年4月、児童館・老人福祉センター及びデイサービスセンターとの複合施設としてオープンした。平成4年センター前広場には、芝生と多種の木が植えられ「光と風」を設計コンセプトとした豊かな広場を持つ市民センターとして、地域住民の憩いとふれあいの場所として利用されている。

地域住民の生涯活動に対する関心は高く、また自主サークル活動も盛んであり、その利用者数は年々増加の傾向にある。

〔特色ある事業〕

事業名	沖野で地産地消～スローフード～		
参加者	成人	参加延人数	73人
開催日	全4回 9月29日(水)、10月6日(水)、10月20日(水)、12月2日(木)		
協力者・協力団体	JA仙台、近隣農家		
ねらい	自然に恵まれ、田畑が点在している地域の特徴を生かし、農業や食の安全について学び地元産の野菜を使った調理実習や農園見学を通じてスローフード・地産地消について考える。		
概要・成果	地域の農業について学んだり、交流したり、地産地消やスローフードについての理解を深めた。地元産の野菜を使った料理を学び、地元野菜に対する理解を深め、食材の良さを見直すきっかけとなった。 また、学んだ成果を小学校の豆腐づくりの授業に協力する形で、地域貢献につなげることができた。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
おはなし いっぱい	お話や読み聞かせを開催し、豊かな感性を養い夢を育む機会とする。	6月16日・7月21日・9月22日・2月5日	4	81
インリーダー研修会	子供会活動の充実を図る為、児童及び世話人が子供会運営の知識や進め方を学ぶ。	2月19日	1	52
仙台七夕七つ飾りを作ろう	伝統的な仙台七夕七つ飾りの作り方を通して地域の高齢者と交流する。	6月26日・29日・7月9日・16日	4	342
学校・地域連携事業 バイリンガル沖野っ子	国際化に対応できる感覚を身に付けたバイリンガル沖野っ子の誕生を目指し、ゲーム感覚で英語に親しむ。	11月6日・13日・20日・27日	4	17
語り部による「宮澤賢治の童話鑑賞」	語り部による宮澤賢治の童話を鑑賞することにより、賢治について興味をもち、調べようとする態度を育み、読書量が増すよう方向付けをする。	10月19日・11月19日	2	155
沖野で地産地消～スローフード～	地域農業や食の安全について学び、地元産の野菜を使った調理実習や農園見学を通じてスローフード・地産地消について考える。	9月29日・10月22日・11月26日・12月2日	4	73

《若林区》

パークゴルフで地域の輪	自然豊かな海岸公園の施設を知る機会を提供しながら、誰でも楽しめるスポーツを通じて地域活性化に繋げる。	4月21日・5月28日・6月25日・9月8日	4	73
地域施設交流事業～ボッチャに挑戦～	障害の有無に関係なく楽しめるボッチャを通して心のバリアフリー社会を目指す。	9月15日・22日	2	104
支え合いのまち沖野	講話・体操などを通して高齢者同士が支え合い気軽に参加できる環境づくりを目指す。	9月17日・10月19日・12月11日・1月19日	4	152
沖野耕友大学	講話・健康体操・音楽鑑賞自主企画講座など高齢者が学習することにより社会参加、交流を図る。	5月14日～3月11日	12	624
学校・地域連携事業「パソコン寺子屋」	小学校のパソコンルームを使いパソコンを学び地域に全体でパソコンのレベルアップを図る。	7月17日・22日・11月13日・20日・12月11日・25日	6	49
ふれあいコンサートinおきの2010	地域で活動したり、センターを利用している音楽サークルが一同に会し成果を発表し地域の交流を図る。	11月27日	1	380
沖野地区市民まつり	地域コミュニティの拠点として生涯学習活動者の成果発表の場とする。	11月2日・3日	2	5,600
懇話会	地域情報の収集とセンター事業に対する理解を深める為意見交換の場とする。	6月10日・11月17日・2月9日	3	30
市民センターへ行こう・ジュニアとあそぼう(ザリガニ釣り)	ジュニアリーダーに活動の場を提供し自らの運営で小学生と交流する。	7月24日・25日	2	66
読み聞かせボランティア フォローアップ講座	センターで養成したボランティアの活動内容を充実させる為、知識や技術を学ぶと共に、新たにボランティアを養成する。	5月13日・20日・27日・6月3日	4	140
市民企画会議	地域の様々な人と音楽祭開催に向け、協働体験を通じて行動する力を養い、市民協働を推進する為に企画会を実施する。	5月11日・25日・6月8日・22日・7月8日・22日・8月12日・26日・12月1日	9	141
サークル体験講座	何か始めたいと考えている人々に、各種サークルの活動を紹介することで学習のきっかけを提供し、同時にサークル活動の活性化も図る。	4月17日～7月16日	13	40

若林市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、平成3年4月に若林児童館、コミュニティ防災センターの併設施設として開館した。以来、地域の社会教育活動や福利厚生活動に活用され、親しまれて現在に至っている。管内は政宗ゆかりの史跡や商人街の歴史を伝える町名を残し、広瀬川の自然に恵まれている。また、平成6年度から地域町内会等と一体となった「若林ふれあいまつり」を開催し、平成9年度からはコスモスを育て、その開花時に地域住民が集う「若林コスモスまつり」を定例行事として開催している。

〔特色ある事業〕

事業名	地域に交流の輪を広げる「はーとふるサロン」		
参加者	地域住民	参加延人数	企画会議:32人 サロン:82人
開催日	企画会議 全6回 9月1日(水)、9月8日(水)、9月15日(水)、9月22日(水)、9月29日(水)、3月9日(水) サロン 全3回 12月15日(水)、2月16日(水)、3月3日(木)		
ねらい	核家族化が進み地域交流の機会が少なくなっている。市民センター利用者に呼びかけ、地域交流の輪を広める企画を考え、市民センターに気軽に立ち寄れる場を作る。		
概要・成果	市民センターや児童館を利用している人たちが企画員となり託児を付けた子育て中の方も含めて闊達で新鮮な意見が多く出された。 趣旨や記録を確認しながら進めた結果、内容の濃い3講座が企画された。 1回目:食卓に彩りを添える折紙 2回目:若林3丁目の昔遊び 3回目:雛サロン 地域の方たちは昭和時代の物品や作品の提供などでも関わり子ども連れとの交流の輪を広げ、好評だった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
パパとあそぼう～「パパ友もつくらう」の巻	父親と子どもが遊びを通してコミュニケーションづくりをする場を設け、父親の子育て参加を促す。	7月25日・8月8日・9月5日	3	47
インリーダー研修会	子供会活動の充実を図るため、子供会のリーダーや世話人が、子供会活動の進め方やゲームなどを学ぶ	2月26日	1	75
地域を知って好きになろう	若林小学校5年生対象に若林歴史かるたを素材に地域について学び、地域を知るとともに良さを再認識する。	7月29日・10月27日	2	51
仙台再発見！伝承七夕を作ろう	古城小学校5年生とPTA、地域の方を対象に仙台七夕の成り立ち等を学び、作った作品を施設や学校に飾ることで地域の人にも伝統文化を伝える。	5月25日・6月26日・7月6日・12日・16日・21日	6	447
子育て世代の方へ～書でアート～	子育て世代の人が「書」を自己表現の手段として描くことで自分らしさを再認識し、これにより余裕ある子育てとする。	5月19日・26日	3	34

《若林区》

介護者のメンタルヘルス	介護する人がストレスを溜め込まないよう、心の持ち方やストレスのかわし方を知るとともに、健康的な生活を送る知恵を学ぶ	1月26日・2月2日・9日	3	41
働きマンのトキメキ時間割	市民センターの利用が少ない働き盛りの20～30代の人の利用を促し、交流、仲間作りを図る。	10月24日・11月6日・20日・12月4日・18日	5	55
若林区民文化セミナー	若林区に存在する文化的資源を知る機会を提供し、これらを活用した地域作りの契機とする。	2月27日	1	141
エコ夢考房	家庭の中で眠っている不用品を生活用品に再利用する方法を学び、環境問題への関心を高める。	7月13日・23日・30日	3	21
若林老壮大学	高齢化社会の幅広い内容の学習を行い、生きがいのある生活の確立を目指す。	4月16日～3月4日	12	974
四季のコンサート	地域の人に、身近なセンターでさまざまなジャンルの音楽を聴く機会を提供するとともに、人々の交流の場とする。	4月24日・7月24日・10月31日・1月22日	4	224
地域に交流の輪を広げる「はーとふるサロン」	地域の人々が気軽に集えるよう、企画員が企画したサロンを開催し、地域住民の交流の場とする	12月15日・1月28日・3月3日	3	82
若林ふれあいまつり	市民センター利用団体の作品展示やステージ発表の場とする とともに、地域団体などと連携し、地域の人の交流の場とする。	6月27日	1	2,000
若林コスモスまつり	地域で育てたコスモス園の周辺で、ステージ発表や出店を行い、地域の人々の交流の場とする。	10月9日・11日	2	730
若林地域懇話会	地域の方々と地域課題やニーズの意見交換を行い今後の講座の参考とし、生涯学習の場として機能の充実を図る。	10月5日・2月26日	2	21
コスモスボランティア・ステップアップ講座	コスモスまつりに向けて養成したボランティアの増員を図り、花を育てるより高度な技術を学び、地域に広める。	6月19日・7月3日・17日・8月21日・9月4日・18日・10月2日・16日・11月20日	9	61
庭の助っ人・選定ボランティア養成講座	高齢者世帯などへ庭木の剪定をするボランティアを養成し、地域貢献を図るとともに、人に優しい地域社会を目指す。	6月5日・12日・19日・7月3日・10日・17日・11月27日	7	26
ジュニアと遊ぼう	ジュニアリーダーによる遊びを通して地域の子どもの交流を深め、ジュニアリーダーの広報を図る。	10月11日	1	60
はーとふるサロン企画会議	サロンを運営するにあたり企画員がアイデアを出し合い、地域の人々が気軽に集えるように話し合う。	9月1日・8日・15日・22日・28日・29日	6	32

太白区中央市民センター

〔沿革〕

太白区中央市民センターは、平成 11 年 6 月長町商店街の中核をなすJR長町駅前に太白区文化センター、太白図書館、太白区中央児童館及び太白区情報センターからなる複合施設として開館した。JR長町駅前と国道旧 4 号線沿道という立地条件に恵まれ、バスや地下鉄などの公共交通機関の利便性に優れているため、近隣の広い地域の市民が学習活動に利用している。

当市民センターの周辺地域は、昔から仙台市南部地域における商業の中心として活況を呈してきた歴史のあるところであるが、近年においては地下鉄沿線の開発が著しく、大規模小売店の進出やマンション建設が進み、またJR東北本線の高架化やJR長町駅の移設に伴う新駅の開通などに伴い、長町地区の交通の利便性が更に増し今後大きく変貌を遂げようとしている。

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	市民企画講座「長町名物物語～お土産品開発～企画会議」 ながまちおみやげプロジェクト		
参加者	成人	参加延人数	企画会議:65人 プロジェクト:31人
開催日	企画会議:全6回 5月27日(木)、6月3日(木)、6月10日(木)、6月17日(木)、6月24日(木)、7月1日(木) おみやげプロジェクト:全3回 10月7日(木)、12月3日(金)、1月8日(土)		
協力者・協力団体	(株)宝饅頭本舗、(株)ささ圭		
ねらい	長町地区は昔から物資の流通の拠点であったが、それ故か特産品、お土産品が見当たらない。そこで長町地区限定のお土産品を開発し長町地区をアピールすることで地域活性化の一助とする。		
概要・成果	企画員は、一つのものを作り上げていく困難さを体験しながら、良いものを作ろうと気迫がこもった議論を重ね、「ながまちおみやげプロジェクト」で、「がんづき」「まんじゅう」「鮭ハンバーグ」の試食会を行うことができた。 おみやげを開発するという目的を掲げることで、その到達するまでの過程で地域課題の共有や地元商店主の方々とのつながり、また地元の歴史や風土等現状リサーチをする際にもこれまで知られなかった様々なことが再認識された。		

〔平成 22 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てをもっともっと楽しく～ココロとカラダに元気をチャージ～	1回目は親子で体を使って歌や音楽に合わせて楽しく遊び、2回目は託児つきで、親はおもちゃ作り、3回目も託児つきの調理実習でおやつ作りをした。2、3回目には職場体験の中学生も参加。	11月11日・18日・25日	3	40
まちのお菓子屋さんをオープンしよう！	子どもたちが自分の住んでいるまちを歩き、食材や地域の食文化・地域の人材などを調べたり、おやつ作りに挑戦する体験を通して、長町地域のまち資源と地域性・生産から流通など、地域と食環境の関わりを学んだ。	9月11日・18日・10月2日	3	88
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を図るために、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象にした研修を行った。	2月19日	1	83
ながまちっこ倶楽部	学校を離れ、様々な体験学習を重ねることで、社会性を身につけようと、科学実験、国際理解プログラム、夏のおやつ、ペガ号等を実施。地域の人々との関わり、触れ合う機会を提供した。	8月20日・21日・22日・10月15日・	4	43

《太白区》

ウエルカムながまち 転入者家族講座	転入者への情報提供と、暮らしをエンジョイできるよう仙台弁、 歴史散歩、郷土料理、情報交換会を実施し仲間づくりのきっかけとした。	5月8日・15日・ 22日・29日	4	49
太白区中央老壮大学 校 公開講座	1回目は、区内祭事(フェスタ)に参画し落語を通して地域や人 との繋がりを深めた。2回目は、マリンバ演奏を通して広く市民 に生涯学習活動の魅力を推進できた。	10月24日・2月 18日	2	1,107
太白区中央老壮大学 校 いきいき健康コース	地域や人との関わりの中で毎日を心豊かにいきいきと健康的 に過ごしていくために高齢者に学習する機会を提供した。	5月14日・6月4 日・7月2日・9月 3日・10月1日・ 24日・12月3日・ 1月7日・2月18 日	9	577
太白区中央老壮大学 校 せいかつ教養コース	健康・文化・音楽・生活等、広範囲にわたって時代に即した事 柄を、講話や実技・館外学習等で学んだ。	5月14日・6月11 日・7月9日・9月 10日・10月8日・ 10月24日・12月 17日・1月14日・ 2月18日	9	706
太白区中央老壮大学 校 ふるさと文化コース	コースの特徴を活かし、地域の歴史・文化・習慣などを学び、学 習成果の発表の場を設けるなどして自主的な活動促進と交流 を図った。	5月18日・6月18 日・7月16日・9 月17日・10月24 日・11月19日・ 12月17日・1月 21日・2月18日	9	664
ながまち夜のブロム ナード	1回目は地域で活動している団体とストリートジャズフェスの参加 者によるコラボ演奏会、2回目は同じくストリートジャズフェスの 常連参加団体による演奏会を開催。	8月21日・2月12 日	2	130
市民企画講座 ながまちおみやげプ ロジェクト	市民企画講座「長町名物物語」により企画した。長町地区限定 のお土産品を開発しアピールすることをねらいとした第一弾。	10月7日・12月3 日・1月8日	3	31
町内会ハートフル出 前講座	「成年後見制度」について講義を聞き知識を深めたことにより地 域住民の心配が少しでも解消される機会に繋がった。また連携 したことで市民センターについての理解や関心を高めることが できた。	9月24日	1	25
社会学級連携事業企 画会議	地域活性化と地域ネットワークの構築を図る目的で、社会学級 と連携し事業を行った。	5月26日・6月23 日・9月1日・22 日・10月20日・2 月9日	6	45
社会学級連携事業	社会学級と連携し事業を行うことで、地域における諸問題を共 有し、それらを解決するためのきっかけとなった。	12月1日・2月2 日	2	140
ながまち交流フェスタ 2010	今年度は1日のみの開催で、太白区文化センター・楽楽楽ホー ル・太白区中央市民センター全館を使用して、舞台発表部門・ 展示発表部門・体験味覚部門それぞれの発表をおこなった。	10月24日	1	2,500
魅力アップ懇話会	当センターの事業をより魅力あるものにするために、町内会・ 地元商店会・生涯学習ボランティア・市民センター利用者など からの助言を受け、事業の手法・内容・運営等の参考とする。	6月5日・11月13 日	2	22
市民センター登録団 体・サークル懇談会	希望する団体にサークル体験の機会提供をしたり地域課題等 の意見交換会を行い、市民センター主催事業への参画を促し た。	4月21日・22日・ 6月19日・3月5 日	4	36
竹細工名人養成講座	長町駅前商店街七夕飾りの竹を再利用し、竹細工ボランティア 養成目的の3ヶ年計画の最終年、技術の研鑽を積んだ。	9月11日・18日・ 25日・10月9日・ 16日	5	31
伝統の仙台七夕作り 隊 養成講座	「伝統の仙台七夕作り」を5回の講義・実技で体験した。参加協 力した「たいはつくる自治会子ども会」に実技指導する機会も組 み入れたので受講生は、関心を持って取り組むことができた。 講座終了後、自主サークルが結成された。	7月3日・10日・ 17日・24日・28 日・31日	6	178

〔沿革〕

昭和 24 年、生出村公民館として発足、生出小学校の一隅で公民館活動を行なってきた。昭和 31 年仙台市との合併により「仙台市公民館生出分館」と改称された。

地域住民の強い要望から昭和 42 年 5 月、地域社会教育の拠点として現在地に生出公民館が建設され、事業が活発になった。その後昭和 55 年 5 月に、地域住民から自由に利用できる体育館を併設した公民館の新設が要望されるようになり、公民館・診療所・保健センターが一体となった複合施設としてオープンに至った。その 10 月には第 1 回生出コミュニティまつりが開催された。平成 2 年に生出市民センターに改称され、市民相互の交流と地域活動の振興の拠点、また地域づくりの拠点として利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	おいで健康づくり		
参加者	地域住民	参加延人数	266 人
開催日	全 8 回 6 月 24 日(木)、6 月 27 日(日)、6 月 30 日(水)、11 月 6 日(土)、11 月 18 日(木)、11 月 25 日(木)、12 月 4 日(木)、3 月 8 日(火)		
協力者・協力団体	生出学区連合町内会、太白区保健福祉センター、太白区中央市民センター		
ねらい	こどもから高齢者まで「世代を超えた健康づくり」をテーマに、地域の各種団体が連携して事業を行うことにより、健康づくりに対する意識の共有化とともに、地域健康とコミュニティの活性化を図る。		
概要・成果	健康づくりを「食」「運動」「子育て」の視点から捉え、それぞれの分野において、多角的な取り組みを行った。 「食」: 栄養に関する食育講座を実施(3 回)。 「運動」: ウォーキングで健康の関わりを実践(2 回) 「子育て」: 孫育てセミナーを実施(3 回)		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に子ども会活動の充実を図るための研修会を実施する。	2 月 12 日	1	61
クラシック演奏に親しむ	クラシック音楽について講話を聞き、楽器に触れたり、演奏を鑑賞することで音楽的情操が養われる機会を提供する。	9 月 29 日	1	61
いきいき坪沼っ子アントレ	米・野菜作りを通して地域への理解を深め、コミュニティ祭りに参加し、野菜を作ることの大切さと販売の大変さを学ぶ。	4 月 14 日・7 月 10 日・11 月 6 日・12 月 10 日	4	144
もぎたて野菜の漬物講座	地域講師の指導で漬物という食文化の伝承と異世代間交流を目指す。	12 月 2 日・9 日	2	28
フラで欲張り健康	健康な体づくりと孤立しがちな高齢者の交流の場を目指す。	9 月 30 日・10 月 7 日・14 日・21 日・23 日	5	54

生出の生活・文化から学ぶ	生出の郷土から生活の智慧、季節の移り変わりの行事などを地元講師より学ぶ。	5月15日・5月29日・7月3日・7月31日・8月1日・12月18日	6	59
出前講座	受講生の利便性を考えて、地域に出向いての教養講座・健康講座を行う。	6月2日～2月12日	15	311
生出朗壮大学	地域の中高年に生涯学習と交流の場を提供する。	5月21日～2月18日	10	176
おいで健康づくり	健康づくりをテーマに地域の団体が連携し意識の共有化とコミュニティの活性化を図る。	6月24日・7月10日・31日・8月28日・9月11日・10月16日・30日・3月8日	8	266
蛍観察会	坪沼地域の魅力的な自然を広く市民に発信し、蛍の観察を通して、地域住民の環境保全に対する意識を喚起。	6月17日・7月10日	2	1,408
蛍と平家琵琶の夕べ	坪沼地域活性化のため、祭囃子、平家琵琶の演奏や地域住民と市民との交流の場を提供し、伝統文化を広くPRする機会。	7月10日	1	1,400
防災講座 「災害時ボランティア体験」	地域独自の防災力を高めるため、中学生のボランティア体験を通して災害に備える町づくりを考える機会。①ボランティア体験者講話 ②防災体験	6月22日・23日	2	283
いざというときの自主組織～地域がひとり残らず生き残るために	発災時の要支援者体制づくりや公助が間に合わないことを想定した避難所運営の組織作りについて学んだ。	11月27日	1	47
花植栽ボランティア講座	センター周辺の環境美化を目的として、花や緑を植える植栽ボランティアを目指す。	6月3日・10日・17日・24日	4	48
生出コミュニティまつり	地域住民による日頃の生涯学習の発表と地域住民の交流の機会を提供するとともに市民センター主催事業の実績紹介の場とする	10月23日	1	1,850
地域懇談会	地域住民とセンター事業や施設などについて意見交換の場を設ける。	12月23日	1	11
わんぱく広場	コミュニティまつり開催にあわせて自分たちのコーナーを企画し、実践する。みんなで協同で企画することを学ぶ	10月23日	1	60
茂庭・赤石再発見	地区内の名所・旧跡を訪れ地域外交流と地域活性化を目指す。	10月1日・2日・3日・5日・6日	5	52
市民企画講座	地域課題の解決と地域コミュニティのづくりのきっかけとする。地域で関心の高い防災講座についての企画会議を実施。	5月12日・6月16日・7月7日・11月17日・12月1日	5	14

中田市民センター

〔沿革〕

昭和 44 年 10 月に、中田中学校跡地に同校の旧体育館と旧校舎の一部を改築して仙台市で 5 番目の公民館として開館。昭和 56 年 3 月に本館を鉄筋コンクリート二階建てとして新築。平成 2 年 4 月に「中田市民センター」と改称。平成 19 年 7 月からの外壁塗装や体育館暖房装置設置等を内容とした大規模改修工事を経て、平成 20 年 1 月にリニューアルオープンし、現在に至る。

平成元年度から平成 11 年 6 月までの間は太白区内市民センター13 館の拠点館として太白区全体の生涯学習推進の重責を担っていたが、現在は地区館として事業を展開している。

〔特色ある事業〕

事業名	災害に備えて安心しませんか？ー地域の中での防災学習ー		
参加者	地域住民	参加延人数	75人
開催日	全4回 7月6日(火)、7月25日(日)、11月13日(土)、11月27日(土)		
協力者・協力団体	連携：中田地区町内会連合会		
ねらい	現在中田地域では町内会ごとに防災マップを作成しているが、活用できていない。現在ある地域マップの活用術を地域へ発信することで防災意識を高める。あわせて災害時の救助方法などを学ぶことで、自分なりに災害への備えをするための一助とする。		
概要・成果	普通救命救急は多くの参加者があり、熱心に救命方法を学んだ。 地域防災の話は、地域の問題を提示し、活発に議論できた。 DIG(災害図上訓練)は子どもたちが自発的に学び、実際に地域を歩きながら検証することでより具体的に危険な場所と役に立つ場所を学ぶことができた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てサポート講座 「なかだっこランド」	新しく転居してきた親子が体操などの活動や既存の子育てサークルとの交流を通し、情報提供や仲間作りを支援し、センター利用のきっかけを作る	7月14日・21日・28日・8月18日	5	66
家族で作ろう楽しもう	工作など作って遊ぶ体験を祖父母、親子世代と一緒に楽しむことで世代を超えてともに体験する喜びを得る機会を提供する	12月11日・18日・2月19日	3	53
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童および世話人を対象に子ども会についての知識やレクリエーションゲーム等を学習する機会を提供する	2月26日	1	67
本はともだちーおはなしひろば	読書活動推進のため、本の紹介、昔話など子どもたちに本の楽しさを体感できる場を提供し、図書室の利用促進を図る	4月21日・5月19日・6月23日・7月21日・9月29日・10月27日・12月22日	7	437
中田 七夕 DE ないと	身近な夏の風物そして伝統ある七夕づくりを通して地域の活性化と世代間交流を図る。	7月24日・27日・31日・8月3日・4日・6日	6	101

秋休み～ディキャン プ in なかだ	秋休み期間の児童を対象に地域の人材や素材を活用した野外体験学習を行うことで、地域資源の有効活用と子どもたちの経験値を高める	10月9日	1	21
緑のカーテンを作ろう！	中田小学校で緑のカーテンを育てることを通して、子どもたちが環境問題にに対する理解を深め、子どもたち自身が環境に対する優しい生活を推進するきっかけ作りとする	6月14日・9月13日・11月15日	3	95
おやじと学校に泊まろう	指定避難所である小学校を会場に体験学習を通して、防災意識を高めるとともに参加者同士の交流を図る。また地域の団体同士の協力体制を強化する一助とする	7月17日・18日	1	93
中田歴史講座	中田の歴史を学び、地域に対する愛情を育み、それぞれが歴史を踏まえたまちづくりを考える場を提供する	12月19日	1	100
地球にやさしい生活はたのし	日常生活においてごみの減量化など環境にやさしい生活が求められている。生ごみからの堆肥づくりや雨水利用など実践方法を学ぶ	6月24日・7月18日・11月2日・16日	4	37
災害に備えて体験しましょう	まち歩きを通して、建物の耐震性や危険性に気づいた。講話や演習を通して、災害への備えについて考える機会を提供する	2月5日・20日・3月6日	3	22
なかだ健康くらぶ	ウォーキングを中心に、高齢者に健康や体づくりのためのプログラムを提案し、自立した生活をするためのステップとする	6月4日・11日・18日・25日・7月2日	5	66
中田老壮大学	高齢者が定期的に学習の機会を持つことで心身ともに健康な生活を送るための提案と、社会との接点を継続し、活動しやすい環境づくりの一助とする	5月20日～3月3日	10	425
ロビーコンサート 『中田音楽歓』	センターを利用する音楽サークルの発表の場とするとともに地域住民が気軽に音楽に触れ、交流する機会づくりをする	7月3日・11月20日・1月22日・3月5日	4	213
なかだ篝火コンサート	古くからの地元住民と新しい住民が音楽を通して集い、交流することにより、地域に対する理解を深め、地域全体の活性化を図る	9月18日	1	500
中田まつり	市民センター利用サークルが学習成果を発表する場であり、地域コミュニティの拠点としての市民センターの存在を多くの人たちに知ってもらう	10月23日・24日	2	6,750
地域懇談会	地域住民が考える地域課題や地域情報についての情報を交換・収集し、市民センターへの意見、要望を聞き取る場とする	6月30日・11月10日・2月22日	3	31
災害に備えて安心しませんかー地域の中での防災学習	災害に対し地域として備えるため、新たにAEDマップを作成し、また、現在ある地域防災マップの活用術を地域へ発信することで防災意識を高める	7月6日・11月13日・27日	6	75
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーが自主的な企画を実施する場を設けることにより、メンバーのスキルアップを図り、更なる活動につなげる	10月24日・12月25日	3	258
市民企画講座 『中田のまち探検隊』	地域住民が地域資源や魅力に気づき、問題点や課題を発見し、新しい街づくりへ向けて考える	8月21日・28日・9月4日・25日・10月2日・30日	6	25
サークル体験会 ーセンターでやってみよう面白体験ー	市民センターを利用しているサークルを、体験学習を通じて地域住民に広く知ってもらう機会をつくることで、学習情報とサークル活動の支援を行う	10月29日・11月25日・1月27日・3月6日	4	41

西多賀市民センター

〔沿革〕

西多賀地区は、桜で有名な三神峯公園や富沢遺跡があり、仙台でも暖かく環境に恵まれた、住みやすい土地である。昭和 50 年代、福祉に対する住民の要望が多様化し、自らが福祉活動に参加する傾向が現れてきた。そのため、活動拠点となる地域の施設を求める要望が高まったことから、昭和 53 年仙台市として 5 番目の福祉会館として開設した。昭和 58 年、地域住民のより幅の広い利用を可能にするため、名称を市民センターと改めた。平成元年政令指定都市移行に伴い地域の社会教育充実のために公民館が組み込まれ、生涯学習の拠点として活用されている。平成 3 年には児童館が併設された。以後子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる市民センターとして親しまれている。

〔特色ある事業〕

事業名	すこやかな成長を地域で支えるために		
参加者	中学生	参加延人数	461人
開催日	全3回 5月25日(火)、8月7日(土)、10月24日(日)		
協力者・協力団体	西多賀中学校、太白区保健福祉センター		
ねらい	核家族化や少子化の現代社会の中、地域で子どもを育てようといわれているが、犯罪の増加などの安全に対する意識が日常の地域住民同士の関わりをも減少させている。地域住民や大人と中学生が関わり、心身共に著しく成長する時期を地域で支えていくために学校と連携した事業とする。		
概要・成果	妊婦疑似体験、育児疑似体験、センターサークル「西多賀卓球同好会」の方々と西多賀中学校卓球部の部員との交流練習会、西多賀中学校の吹奏楽部の「第13回 西多賀ふれあいまつり」への参加など。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
すこやか子育て	託児を経験したことのない母親が託児付き講座を体験し学ぶ機会を持つことで、子育てに前向きになれるよう支援する。	6月22日・6月29日・7月6日・7月13日	4	52
おはなしひろば	本に親しむ機会の提供として、小学生を対象におはなし会を開催し、心豊かな子どもの育成に寄与する。	4月21日～2月16日	12	321
虫とり名人になって、標本をつくろう	実験・体験の授業が少なくなった子供達に自然に対する観察眼を育てるために標本づくりの基礎の習得。	7月31日	1	14
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を図るために子ども会についての知識や活動に必要な技術の習得につながる学習の場を提供する。	2月5日	1	77
飛べ！天沼のホタル	センターで飼育しているホタルを放流し、夏には観察会等を実施することで地域の「天沼」への関心を高め、地域愛を育む。	4月17日・6月26日	2	87
大事にしたい伝統行事 「仙台七夕のいわれ」 「冬の昔遊び」	地域の講師を迎え、伝統の仙台七夕七つ飾りの作り方を提供する。地域の方とけん玉・こまなどの遊びと餅つきと一緒に体験する。	7月22日・12月11日	2	50

西多賀“通”になる検 定	地域のことを学び、地域に対する愛着心を育む。西多賀に関する様々な事項を検定形式で学ぶ。問題を通して地域をアピールする。	10月23日～11月10日	1	59
西多賀のおもしろ歴史 ～街道を歩く～	古人が巡った街道を歩き地域を学び、郷土の成り立ちを再認識する。また学習の成果を集積し数年かけて歴史マップ作りも考える。	5月23日・6月20日・27日・7月4日	4	89
はじめませんか～ノ ルディックウォーキン グ～	高齢化率が進展している。要介護者とならないために、健康維持のための運動の方法を学び、健康に関心をもって頂く。	10月10日・10月17日	2	32
金剛沢小学校社会学 級共催 「健康ウォーキング」	疲れやすく運動不足になりがちな現代人に「歩くこと」の大切さを伝える講座。内蔵や血液の健康を維持することができる体づくりを学ぶ。	11月9日	1	25
男子初めて厨房に入 る(料理入門)	団塊の世代への家庭と地域の居場所づくりのためにサークル化を目指した料理講座基礎編。	5月16日・5月23日・5月30日・6月6日	4	57
西多賀寿大学	高齢者の誰もが地域の中で孤立することなく、心豊かに暮らし続けられるよう、社会の変化に対応できる力を身につける為に多様な学習を深め、大学生同士の地域交流を促す。	5月19日～2月16日	10	614
「あたま」も健康です か ～認知症の予防 について～	地域課題である認知症の増加に対し、正しい理解、予防方法、介護保険との関係について学ぶ。	10月7日・14日	2	32
西の平・金剛沢サロ ン	高齢者が地域で豊かに暮らす為に近隣に声がけして気軽に参加できるサロン風な場とする。また災害時に地域に顔見知りを持てるように交流を図るため、高齢者が参加しやすいよう、地域へ出向いての開催とする。	11月25日	1	10
すこやかな成長を地 域で支えるために	心身ともに著しく成長する中学生を地域で支えるために命の大切さを知る機会や地域交流など学校と連携した事業を実施する。	5月25日・8月7日・10月24日	3	461
花ボランティア養成 講座 ～天沼公園に花壇を 作ろう～	地域の資源天沼公園に花壇をつくり、四季を通じた草花の手入れの方法を取得し、継続して花壇整備をするボランティアの育成	5月13日～10月28日	11	70
金剛沢小学校社会学 級共催事業企画会	社会学級と共に高度な家庭教育の事業を企画実施するためのプランニングの場とする。連携を持つことにより、社会学級の組織力とセンターの講座のノウハウを提供でき地域学習を展開できる。	7月9日・11月9日・26日	3	22
第13回 西多賀ふ れあいまつり	作品展示、演芸発表、お茶席、ジュニアリーダーコーナー、こどもまつりなどを実施し、学習発表の場、地域交流の場とする。	10月23日・24日	2	3,850
西多賀市民センター と地域を結ぶ懇談会	地域課題や学習ニーズの把握のために、地域の各団体の方々を委員とする地域懇談会を開催する。	6月25日・7月1日・8日・23日	4	29
おはなしボランティア スキルアップ講座	質のよいおはなし会を提供するために、おはなしボランティアのスキルアップを目指す。	2月2日・10日・16日	3	61
ジュニアと遊ぼう	幼児から小学生を対象に気軽に参加できる交流の場を提供する。ジュニアリーダーの資質向上を図る。	7月17日・10月24日・1月29日	3	135
西多賀検定委員会	地域についての知識と理解を深めることを目的とする。「西多賀検定」の問題作成と運営を行う。	5月27日～12月26日	12	60
市民企画会議 「市民が気軽に参加 できる講座を企画し よう」	地域の方が気軽に参加でき、地域交流を促し、ほっとできる時間を共有できるような講座を企画する。	8月28日・9月30日・11月25日	3	15

八本松市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、八本松地区の国有地を取得し、昭和 59 年 9 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として着工し、昭和 60 年 5 月に開館した。さらに平成 20 年 4 月には、八本松児童館が新たに併設された。近辺には広瀬川が流れ豊かな自然環境に恵まれ、歴史資産として国指定を受けた郡山遺跡、北目城跡がある。長町副都心長町駅東再開発が行われ、歴史的情緒を持ち合わせつつ近代的な街並みを呈した地域である。

建物は八本松公園と隣接しており、町内会の集会や文化活動、レクリエーション、スポーツにと、子供から高齢者まで誰もが気軽に利用できる市民センターとして、地域住民に親しまれている。

〔特色ある事業〕

事業名	八本松データ館		
参加者	成人	参加延人数	53人
開催日	全7回 8月28日(土)、9月11日(土)、10月2日(土)、10月9日(土)、10月22日(金)、11月2日(火)、12月17日(金)		
協力者・協力団体	せんだいメディアテーク		
ねらい	あすと長町の開発や郡山遺跡の整備などで変貌する八本松・郡山地域の風景の記録を、地域資産として残すべく集積する。		
概要・成果	地域の方に昔の写真の提供依頼をし、撮影年月や撮影場所を検証しながら写真をデータ化した。市民まつり「第15回うぶすなフェスティバル」で展示発表し好評を得た。写真の他に貴重なアルバムや、地図などを持参された方もあり、昔の地域の様子への関心の高さがうかがえる。古い写真をきっかけに地域への関心を喚起できたので、今後も継続し、さらに広く写真を集め地域の資産としてデータを蓄積する。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
八本松子育てカフェ	子育て中の母親に仲間づくりの場を提供し、親子で楽しみ子育てについて学ぶ講座として、親子リトミック・育児相談・おやつ作り・フェスティバル参加などでコミュニケーションを育んだ。	5月12日～12月22日	10	308
ハート&ハートコンサート	若い世代の親子がコンサートスタッフとして参加しコンサートの運営など体験した。「あきらちゃん&らーめんちゃん」遊びうたコンサート開催。	4月14日・21日・23日・24日	4	340
インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るため、子ども会のリーダーとなる児童及び世話人を対象に「子ども会の意義と行事プログラムの立て方・子ども会活動と世話人の役割」について学習	2月5日	1	71
こどもわくわく体験	学校ではできない経験や体験を学ぶ事を目的に、ドッジボール大会・陶芸・ペガ号・花あそびを実施。	6月2日・7月24日・10月13日・1月21日	4	204
八本松広瀬川探検隊	地域にある広瀬川についての環境学習。広瀬川の生き物観察とカヌー体験。サケの遡上の観察	7月31日・11月14日	2	83

パソコン講座 —かんたんエクセル 活用法	地域活動に積極的に参加できるパソコンスキルを身につける。郡山中学校のパソコン室を会場に、生徒も講師アシスタントとして参加。	7月27日・28日・30日	3	84
八本松寿大学	歴史講座・音楽鑑賞・聴覚支援学校交流会・民謡・認知症サポーター養成講座など	5月12日～2月9日	10	586
市民企画講座 —学びま専科—	こころとからだの健康をテーマとし、卓球講座2回、調理実習4回、エネルギー講座＆アロマフットセラピー1回を実施。	7月16日・28日・11月27日・12月8日・2月25日・3月4日・6日	7	114
社会学級共催企画講座 「こどもを狙う危険な 落とし穴～ちょっと待 て！そのケータイ」	社会学級共催の講演会。大人も子どもも利用しているインターネットや携帯電話の問題点を学び、トラブルに巻き込まれない為の対処法を身につける。	9月17日	1	47
地域防災講座	宮城県沖地震の災害防止講座と普通救命講習講座を実施し、八本松地域合同防災訓練に参加。	10月2日・10月16日	2	612
手話の広場	手話講座基礎学習編と聴覚障害を持つ子ども達対象の遊びの広場編。遊びの広場では、ニュースポーツ大会・クリスマスリースづくりなど、のびのび活動できる場となった。	5月16日・9月4日・5日・11日・12月5日	5	54
社会学級共催事業企 画会議	八本松・東長町・郡山各小学校社会学級・市民センター共催で、企画会議により講座講演等を企画する。	6月8日・7月7日・21日・9月9日・9月17日	5	44
第15回うぶすなフェ スティバル	プレフェスタダンスパーティー3回、前日祭・本祭り開催。フリーマーケット・作品展示・舞台発表・縁日・抽選会など地域市民と共に祭りをを行いコミュニティづくりの推進に寄与する。	4月24日・25日・11月5日・6日・7日	5	4,380
ふれあいコンサート	地域住民に生の音楽に触れ親しむ機会と集いの場を提供。クラシック、ジャズ、クリスマスイベント、街かどコンサート市民センター編等開催。	5月9日～3月4日	11	590
市民懇話会 いいまち八本松を考 えよう	連合町内会、小学校と協働しネットワークづくり・地域課題を見出す。	12月4日	1	6
八本松歴史再発見	重要な遺跡を抱えるこの地域について学び、その歴史的遺産について認識し広報する人材を育成。文化財課による遺跡学習・見学会開催。そののち遺跡案内マップ作成。	6月11日～12月17日	11	107
八本松剪定ボランテ ィア養成講座	剪定技術のスキルアップを図りボランティア活動を推進。	5月22日・29日・6月5日・9月18日	4	51
八本松データ館	変貌する八本松・郡山地域の風景の記録を地域資産として集積。借用した写真などの資料のデータ化・編集作業。センターまつりにて発表。	8月28日・9月11日・10月2日・9日・22日・11月1日・12月17日	7	53
市民企画会議 —学びま専科—	地域課題や現代的課題など、素案から取り組み企画運営する。	6月16日・23日	2	12
うぶすな塾	地域指導者を招き、囲碁教室開催2回開催・浴衣着付けの基本と帯結びを学ぶ。	5月21日・5月26日・8月3日	3	64

八木山市民センター

〔沿革〕

八木山市民センターは、昭和62年4月6日、仙台市南西部に位置し昭和30年後半～40年代中頃にかけて整備・開発された豊かな自然と調和の取れた住宅地である八木山地区に、開館。

センター隣接地が、平成27年開業予定である地下鉄東西線の西起点（動物公園駅）となることから平成20年11月体育館が新たにセンター北側に増設された。市民の自主活動及び生涯学習の拠点施設として利用され親しまれている。また、八木山動物公園や八木山ベニーランドなどのレクリエーション施設をはじめ、大学、野草園、放送局、総合病院など学術・文化・医療等の施設が揃い、地域住民ばかりでなく広く仙台市民に親しまれている地域でもあるので、今後ますます大きな変貌が予想される。

〔特色ある事業〕

事業名	こどもにやさしい yagiyama ～秋の八木山フェスタ～		
参加者	一般	参加延人数	9000人
開催日	全1回 11月3日(水)		
協力者・協力団体	共催：八木山動物公園、仙台市公園緑地協会、八木山ベニーランド、東北工業大学		
ねらい	官民の枠を越え、八木山動物公園、八木山ベニーランド、仙台市公園緑地協会及び東北工業大学との共催、並びに八木山地区の2連合町内会との連携を図り、①こどもにやさしい八木山②地域の交流③公営と民営のコラボレーションをテーマに八木山の活気ある人づくり、街づくりを目的に開催する。		
概要・成果	八木山・八木山南両小学校とPTAの協力を得て、ポスターコンクールを実施した。地域の子ども達とその家族に、フェスタの認知を高め、参加意識を持ってもらった効果は大きかった。市民センター利用のサークルの方々の協力も定着し、地域との交流に貢献している。今回は市民センター企画のおもちゃ交換会を開催、地域の子どもボランティアスタッフとして参加した。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
親子のおはなし会 「クリスマススペシャル2010」	情操豊かな子どもの育成と親子の温かいコミュニケーションを促すことを目的に絵本や紙芝居などで楽しい時間を過ごす	12月11日	1	27
ジャンボかるた大会	遊びを通して父親と子どもの絆を深める	1月23日	1	45
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、児童及び世話人を対象に学習する	2月19日	1	74
自転車で学ぶ社会のルール	悲惨な事故から身を守る為、通学や移動に自転車の使用頻度が多くなる前に、正しい交通規則や整備の仕方を学ぶ	7月2日	1	265
八木山子どもひろば	「子どもの居場所作り」と異年齢間の交流を目的に健全な余暇活動の場を提供する	7月24日・8月21日・9月25日・11月20日・12月18日	5	66
子どものための囲碁教室	子どもの土曜日の居場所作りとして健全な余暇活動の場を提供する	4月3日～3月5日	30	559

YAGIYAMAカップ3on3大会	中学・高校生などの若い世代がセンターを利用したり、事業に参加するよう3on3バスケット大会を開催する	2月19日	1	29
「地域の先輩からワンポイントアドバイス」英語について	地域の中学生が小学生にあそびながら楽しく英語を教えることで親睦と交流を図る	9月25日	1	16
八木山自然探索講座	環境保全の大切さを理解し、自ら進んで活動するきっかけ作りの場となるよう八木山地区の自然について学ぶ	4月15日～2月17日	10	462
やぎやまシニア大学	高齢者の生きがい作りや社会活動の参加を促す為の多分野における教養講座	5月13日・6月10日・7月8日・9月9日・10月14日・11月11日・12月9日・1月13日・2月10日	9	399
こころにひびけコンサート	地域住民が気軽に音楽を楽しめる機会と住民相互の交流の場を提供する	8月27日	1	55
科学の目で文学に迫る～奥の細道・科学でたどる～	講座から新たな興味へと発展し互いに触発し交流が深められるよう地域人材を活用し、科学の目で奥の細道を辿る	7月3日	1	53
「八木山いま・むかし」～変貌する八木山を後世に伝えるために～	地下鉄工事に伴い大きく変貌しつつある八木山の今昔を探り、後世への伝承と新たな地域住民相互の交流を図る	6月12日・7月10日・8月28日・9月18日	4	100
在仙外国人向け日本語講座「日本語ティールーム」	在仙の外国人に生活日本語を指導し快適に生活できるよう支援することで国際交流と相互理解を深める	通年	69	2,475
こどもにやさしいyagiyama～秋の八木山フェスタ～	八木山の活気ある人・街づくりを目的に地域ぐるみで祭りを開催する	11月3日	1	9,000
第22回八木山市民センターまつり	地域住民の交流と地域の活性化を目的に地域住民とセンターで活動するサークルの発表の場として、まつりを開催する	10月9日・10日	2	2,800
「八木山気軽に事業運営懇談会」	地域課題や多彩なニーズ、センターに対する要望等気軽に話合う	12月4日・2月4日	2	12
図書ボランティア研修会	図書室の円滑な運営に役立つ技術を学び市民の読書推進に貢献する	6月8日・2月22日	3	77
「日本語ティールーム」託児ボランティア研修会	託児を希望する学習者が安心して学習できるよう託児する上での技能を高める研修を行う	5月28日・9月22日・12月10日	3	37
「日本語ティールーム」教師ボランティア研修会	外国人学習者の支援のために、問題の解決に必要な知識の習得と指導の技能を高める研修を行う	6月25日・11月19日	2	33
市民企画会議 パパもおいでよ「いっしょにあそぼう!!」	地域住民が企画等に関わることで経験したことを地域活動に還元できるよう子育て支援事業を企画・運営する	6月5日～1月23日	10	26

山田市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、コミュニティ防災センターを併設して昭和 62 年 4 月 17 日に開館した。

本地域は旧笹谷街道に沿った地域で戦後住宅街として開発、発展してきた。当市民センター周辺は縄文遺跡や鹿除土手などの歴史遺産や昔ながらの自然を残す恵まれた環境のなか、太白消防署や郵便局、鉤取球場、縄文の森広場など防災・防犯、スポーツ施設、学びの場となっている。また、国道 286 号線沿いには近年大型商業施設などの進出がみられる。こうしたなか、当市民センターは地域の生涯学習や地域コミュニティづくり、交流の場として地域住民に広く活用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	江戸人から学ぶ生活の知恵－江戸しぐさ		
参加者	一般	参加延人数	70人
開催日	全1回 10月8日(金)		
協力者・協力団体	連携:上野山小学校社会学級、太白小学校社会学級		
ねらい	「江戸しぐさ」から江戸商人の暮らしの知恵を学ぶことで今に生かし、豊かな人間関係の一助とする。		
概要・成果	江戸の町に住んでいた人々のトラブルを防ぐための知恵「江戸しぐさ」を学んだ。「江戸しぐさ」という先人の知恵を多くの方に知って頂き、人を思いやることの素晴らしさを改めて見直すことで、日頃の自分自身の行動や考え方を考える良い機会になった。社会学級との連携講座だったが、一般の受講生が講演会に参加することで、社会学級の活動や市民センターとの連携事業についての理解が広まった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てママの山田ほっとカフェ	子育ての不安やストレスの解消の為に様々な観点から学びを提供し、子育ての一助とするともに、仲間作りに繋げる。	9月15日・29日・10月20日	3	55
インリーダー研修会	子ども会活動の意義、インリーダー・世話人の役割などを学び、子ども会活動に役立てる。	1月29日	1	51
「ごはん」を食べよう！	自分で調理をする機会が多くなる中学生・高校生に調理実習を通して「米」を食べることの大切さ、「米」のおいしさを実感してもらう。	7月25日・8月8日・22日	3	22
山田わんぱくクラブ	子ども達がいろいろなことに挑戦し、命を大切にする心、生きる力を養い、心豊かな精神、考える力、想像力を育てる。	6月19日・7月24日・8月21日・10月13日・11月27日・12月18日	6	135
働く世代のためのリフレッシュ講座	働く世代を対象にヨガを学んでもらい、肉体的な症状だけでなくストレス解消に役立ててもらおう。	11月19日・26日・12月3日・10日・17日	5	68
山田歴史散歩 －羽黒大権現と山田羽黒神社	地域の歴史に触れ現地探訪することで、地域への愛着心を育て、その魅力を再発見するとともに、地域住民の出会いの場や学びあいの場を提供する。	10月29日・11月10日	2	38

身近な薬草で健康づくり	身近にある薬草の正しい使い方や、日常生活への活用方法を学び健康への意識を高める。	5月19日・6月2日・16日	3	79
山田あばいん倶楽部	地域住民の特技、知識をお持ちの方々に活動の場を提供すると共に、地域の方々が気軽に楽しく参加していただき、交流できる場を提供する。	6月30日・7月7日・8月4日・9月1日・10月6日・12月1日・2月2日	7	51
江戸人から学ぶ生活の知恵－「江戸しぐさ」	江戸の町に住んでいた人々のトラブルを防ぐための知恵「江戸しぐさ」を学び、スムーズな人間関係を築くための一助とする。	10月8日	1	70
市民企画講座「身近にエコを楽しもう」	深刻化している環境問題について、身近にできることを取り上げ、日常生活でも環境に配慮できるような生活方法を学び環境についての意識向上に役立てる。	11月18日・12月2日・16日	3	50
山田豊齢大学	高齢者が地域の中で孤立することなく暮らす為の生涯学習や交流の場を提供する。	5月20日～3月10日	10	594
山田いきいき健康塾	高齢者はもとより若い世代からの健康づくりへの意識改革と市民が取り組みやすい健康づくりの環境整備を展開する。	6月11日・18日・9月3日・17日・10月1日・11月16日・30日・12月7日・14日	9	204
鉤取山親子スタンプラリー大会	昨年作成した鉤取山マップを活用して親子でスタンプラリーを行うことで、地元にある自然に親しみ、参加者相互の交流の機会とする。	11月20日	1	9
社会学級連携事業企画検討会	社会学級が地域の抱える課題や問題について情報交換し、地域への学習課題を提起し、学習機会を提供するための検討会を開催する。	5月21日・7月16日・10月8日	3	30
山田ふれあいまつり	地域住民と市民センター利用者の学習成果を広く発信し、相互の交流をはかる。	11月6日・7日	2	3,750
山田みんなのオン・ステージ	センターを利用するサークルや地域のサークルに発表の場を提供するとともに、地域住民の交流を促進する。	6月5日・7月22日・9月18日・10月16日・12月4日・2月12日	6	332
山田地域懇話会	地域の有識者と地域の課題、ニーズについて意見交換し、よりよい市民センター事業の実施、地域拠点としての機能充実を図る。	10月16日・2月19日	2	31
「山田あばいん倶楽部」運営ボランティア養成講座	「あばいん倶楽部」の事業をボランティアによる手作りで実施するために、また地域の住民が市民センターや地域の施設に積極的に関わることを目的として運営するボランティアを養成する。	6月30日・7月7日・9月1日	3	30
市民企画会「環境にやさしいまちづくり」	環境問題について地域住民とともに取り組み、企画展開する。	5月20日・27日・6月17日・8月26日・10月17日・11月18日・12月2日・16日	8	39
山田サークル体験会	地域住民に活動の機会を提供するとともにサークル活動の活性化に役立てる。	1月8日・18日・20日・21日・28日・2月3日	8	41

茂庭台市民センター

〔沿革〕

茂庭台地区は仙台市西部で青葉区に隣接し、西道路を利用すれば市内中心部より約20分の距離に位置する。当センターは昭和63年4月にコミュニティ防災センターとともに設置され、平成元年4月から地域社会教育の拠点として公民館事業が開始され、平成2年から児童館が併設された。近隣には高層マンションや多くの福祉施設があり、周囲の自然環境と調和し地域コミュニティの場となっており、高齢者、子ども、福祉施設の方々、外国人居住者の利用も多く生涯学習の輪も広がっている。また、地域住民、各種団体に参画を頂き地域性を生かした事業、地域人材を活用した講座や地域課題に即した講座を開催している。

〔特色ある事業〕

事業名	よみがえれ！水道山		
参加者	成人	参加延人数	70人
開催日	全7回 4月23日(金)、5月13日(木)、6月10日(木)、7月8日(木)、9月9日(木)、10月7日(木)、11月18日(木)		
協力者・協力団体	茂庭台剪定クラブ		
ねらい	自然公園である水道山には遊歩道などがあるものの、殆ど整備されずに雑然としていたため、21年度の講座で倒木の除去や遊歩道の整備などを行い、地域住民の関心も高まって来た。22年度も整備作業を継続して行い、水道山を甦らせ、地域の憩いの場にするを目的にする。		
概要・成果	水道山を地域の憩いの場としての整備が進んだ。遊歩道、倒木整備など行い、倒木や伐採した木を利用し、ベンチやイスなどに再利用することができた。 目的を共有することで参加者の交流が深められた。また、その後参加者が市民センター・児童館行事等のボランティアスタッフとして協力してくれるなど活動が広がった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ベガ号がやってきた「星空観察会」	星座観察会を通じて、親子のコミュニケーションを図る	11月19日	1	69
乳幼児親子「おしゃべりカフェ」	乳幼児の母親を支援する為に地域の子育てネットワークを整備し、母親の孤立化を防ぐ。	5月27日・7月29日・11月26日・12月1日	4	149
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人を対象に子ども会についての知識やレクリエーション・ゲームなどを行う。	2月12日	1	61
梨野こどもファーム	児童館・地域支援団体と協働し、子どもたちが地域の畑で野菜を育てることにより、土に触れ地元でつくった野菜に関心をもつことを目的とする。	5月15日・6月12日・7月24日・9月18日・10月23日・11月6日	6	126
中学生避難所ボランティア体験2010	中学校の生徒が、災害時の避難所ボランティアをするための初心者訓練。学年別に仮設トイレ設置、応急手当訓練、AED講習を体験	6月9日	1	240

みんなができる「エコ」体験	家庭で出たゴミのリサイクルに関心を持ち、ゴミ削減の意識を高める。	5月26日・6月2日・9日	3	25
茂庭台大学	健康で前向きに過ごすことの提案や趣味を広げる機会など様々な学習機会を提供。また運営委員会による企画は受講生同士の交流を深めた。	5月21日～3月4日	10	390
ふれあいサロン	一人暮らし高齢者が地域に溶け込めるよう、茂庭台地区社会福祉協議会とともにサロンを開催する。	8月6日・12月11日	2	106
チャレンジ・ザ・ゲーム 2010	市民センター周辺のスポーツ広場や街並みを活かしたスポーツ企画で地域交流活性化を図る。	10月23日	1	69
「よみがえれ！水道山」 水道山自然観察とクラフト	市民企画により開催。地域の里山の植物観察会と里山の素材を使用しクラフト作りを行う。	6月5日・10月9日	2	32
音楽のある街茂庭台 「ふれあいコンサート」	市民企画員と協働しコンサートを企画運営することで、世代を超えた住民交流の場を設け地域活動の活性化を図る。	10月16日・12月18日	2	130
体験したい！おしえたい	地域住民の知識や特技を活かせる場を提供することで地域人材を発掘し、住民の交流を図る。	6月10日・24日・7月1日・15日・22日・8月27日・9月10日・10月15日・11月12日	9	64
茂庭台地区市民文化祭	地域のサークル、個人が参加してステージ発表・展示発表・お話し会・出店を行った。じどうかんまつりも同時開催した。	10月2日・3日	2	2,800
地域懇談会 (事業推進委員会)	地域課題のアセスメントを行い、課題解決のための事業へと反映させる。また各団体のネットワーク化を促進する。	7月2日・9月10日・10月15日・11月19日・1月14日・2月22日	6	90
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーの活動を地域の方々に広く知ってもらうと共に、中高生の活動の活躍の場を提供する。	7月25日・10月3日	2	170
「よみがえれ！水道山」整備事業	里山を整備し憩いの場にするを目的に開催。遊歩道、倒木整備など行い倒木を利用しベンチなど作成。	4月23日・5月14日・6月25日・7月9日・9月10日・10月22日・11月18日	7	70
市民企画「水道山の自然と素材」	地域の里山を素材に「植物観察会」「クラフト作り」を企画開催した。	4月3日・10日	2	6
音楽のある街茂庭台 「ふれあいコンサート」企画会	「ふれあいコンサート」を企画運営し、住民の音楽発表の場、住民が気軽に音楽を楽しみ交流できる場を提供する。	4月10日・5月28日・6月30日・7月30日・12月17日・1月21日・2月26日	7	35

東中田市民センター

〔沿革〕

東中田市民センターは、平成元年4月に児童館、保健センター、コミュニティ防災センターを含む複合施設として開館した。

仙台市太白区の東南端・名取川下流域に位置するこの地区は、名取川と広瀬川の合流点にも近く、素晴らしい自然環境に恵まれ、古墳や寺社仏閣などの歴史的資産を有している。

農村地帯であったこの地域に、近年は高層の市営住宅や高齢者福祉関連施設、ミニ開発による一戸建て住宅が次々に建設され、商業地帯の発展も著しい。新旧住民が混在し、地域が急速に発展している地域環境にあって、今後、総合的かつ重層的な地域コミュニティの確立が望まれている。

〔特色ある事業〕

事業名	東中田防災ボランティア養成講座		
参加者	地域住民	参加延人数	197人
開催日	全3回 7月15日(木)、7月24日(土)、9月7日(火)		
協力者・協力団体	東中田町内会連合会、四郎丸小学校、地区社会福祉協議会		
ねらい	確実に発生するといわれる宮城県沖地震に備えて、地域防災の総合力を充実させるために、中高生や主婦、高齢者などを対象として、防災ボランティアを養成し、地域の防災意識の向上を図るとともに、災害に対応できる体制の確立をめざす。		
概要・成果	地域住民を対象として、防災についての講話、避難所でのトイレ組み立て訓練、AED 取扱訓練等の講座を実施し、地域防災力を高めた。 町内会や地域の団体と連携して、より実践的な緊急避難体制を確認することができた。また、町内会だけでなく、地域の学校と連携することで、より多くの地域住民に防災意識を喚起することができた。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママといっしょに遊ぼう！	育児で孤立しがちな若い親を対象として本の読み聞かせ、工作など親子遊びの講座を実施し、受講者同士が交流を図った。	6月23日・29日・7月7日	3	78
親子で作る楽しい朝ごはん	一日の食事の要となる朝食づくりを親子で実習し、栄養バランスや食の大切さを学んだ。	6月19日・26日・7月3日・10日	4	56
インリーダー研修会	子ども会の世話人と児童を対象として、子ども会活動の意義や役割について講話から学び、活動に役立つゲームをジュニアリーダーと一緒に実習した。	2月5日	1	21
かにつこおはなしタイム	センターで育成した読み聞かせボランティアを活用して、小学生を対象とした児童書や名作などの読み聞かせ会を行った。	5月12日・7月14日・9月8日・11月10日・1月12日・3月9日	6	164
人形劇がやってくる	昔話を題材とした人形劇の鑑賞会を行い、劇団員と交流を図りながら、子どもたちと地域の高齢者が観劇した。	11月25日	1	109

母なる川一名取川を探る	親子を対象として、名取川の上流から下流までの移動学習を行い、流域の歴史や自然、環境等について学んだ。	6月12日・7月17日・10月16日・11月20日	4	97
東中田わくわくタイム	学校の長期休み中に開催し、小中学生が普段学ぶ機会が少ない課題をセンター利用サークルや地域講師の協力を得て、地域の大人と共に学んだ。	7月10日～10月8日	12	264
介護を見直そう	介護の基本を講話と実技から学び、学習後の茶話会で、孤立しがちな介護者同志の交流を図った。	10月21日・28日・11月5日	3	58
楽々クッキング	そばうちと地場野菜の料理実習から食生活の見直しと食育を進め、託児付、夜間講座も設けて、男女を問わず料理への参加を促した。	9月3日・10日・17日・12月10日	4	40
社会学級連携事業「洞口家住宅見学」	社会学級生が企画・運営し、近くにある県の有形文化財・洞口家住宅を見学し、地域への理解を深めた。	7月22日	1	25
市民企画事業「東中田ふるさと再発見」	市民企画員が企画して、史跡探訪とシンポジウムの講座を開催し、地域講師から地域の歴史や風習を学んだ。	10月13日・20日・23日	3	72
身近かなりサイクルパートⅡ～ゴミ削減とリサイクルを考える～	ごみリサイクル施設の見学と不用品を活用した小物の製作を行い、ごみ削減と環境問題に対する意識を高めた。	7月6日・27日・8月3日	3	47
東中田老壮大学	現代社会に対応したテーマや健康増進等について、地域の高齢者が共に学び合い、互いに交流と親睦を深めた。	5月12日～3月2日	10	545
東中田健康づくり講座「ノルディックウォーキング」	高齢者がノルディックウォーキングを体験して健康増進への意欲を高め、名所・見所を巡る活動コースを歩くことで地域への理解も深めた。	5月22日・29日・6月5日	3	41
社会学級連携事業	地域の社会学級・2団体と連携し、生涯学習のあり方や事業企画について共に学び、連携事業を企画運営した。	5月10日・24日・28日	3	36
東中田市民まつり	地域の4団体が共催し、センター利用サークルやボランティアが運営にあたって、バリアフリーに配慮したまつりを開催した。	10月3日	1	3,800
東中田ファミリーコンサート	地域の音楽団体に呼びかけ、出演者自らが実行委員となり、地域に密着したアットホームなコンサートを企画運営した。	2月12日	1	115
東中田地域懇話会	各回毎に参加者とテーマを変えた懇話会で情報交換をはかり、市民センターへの理解を得るとともに、地域課題について話し合った。	11月27日・2月3日・19日	3	33
東中田防災ボランティア養成講座	地域住民を対象として、防災についての講話、避難所でのトイレ組み立て訓練、AED 取扱訓練等の講座を実施し、地域防災力を高めた。	7月15日・24日・9月7日	3	197
『～東中田～ふるさと再発見』市民企画会議	公募した市民企画員が、地域への理解と愛着を深めることを目的として、地域資源、魅力を学ぶ講座を企画運営した。	4月21日・28日・5月12日・10月27日	4	15

柳生市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、平成9年 4 月に、市内52番目の市民センターとして児童館・コミュニティ防災センターを併設して開設された。

当地域は、市内最南端部に位置し住宅地・商業地として発展している。また自然環境に恵まれ、柳生和紙など伝統工芸も残されている。マンション等の建設に伴い、他地域からの転入者も多く、若年層の世帯が比較的多い地域である。

こうした地域の特性と施設の機能を活かしながら、住民の多様化に対応した生涯学習の地域拠点として各種事業を展開し、地域のコミュニティ・住民の自主的活動の場としての役割を担っている。

〔特色ある事業〕

事業名	柳生和紙講座		
参加者	成人	参加延人数	69人
開催日	全4回 10月7日(木)、10月14日(木)、10月21日(木)、10月31日(日)		
協力者・協力団体	柳生和紙工房、柳生和紙プロジェクト		
ねらい	柳生地区の伝統工芸である和紙に関わる人材の高齢化に伴う支援の必要性や柳生和紙の歴史の伝承および地域資源の保存の大切さを知ってもらう。		
概要・成果	地域で唯一残っている和紙工房で歴史や製造工程を学びながら和紙漉きを体験し、一閑張り(和紙の柿渋塗り)の作品制作を行った。完成品は市民センターまつりで展示発表した。和紙の特性を活かした作品制作などを通して柳生和紙の魅力にふれ、貴重な地域資源を伝えていく大切さを再認識した。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て支援「親子でホップ・ステップ・ジャンプ」	①講話「心と体の発達」②わくわくおやつで健康作り③絵本や手作りおもちゃで育む心④ママさんプラスびよびよ隊と交流会を通して、育児不安の解消と仲間づくりに役立った。	6月22日・29日・7月6日・17日	4	33
夏休み体験学習「おもしろ科学実験」	仙台高専名取キャンパス「リカレンジャー」による空気砲、ブーメラン作りなどの科学あそびを行い科学の不思議を体験した。	7月24日	1	45
インリーダー研修会	西中田・柳生小の地区子ども会のリーダーとなる児童および世話人を対象に子ども会活動に必要な知識や技能を学習した。	2月12日	1	76
ミュージックベル講座	子ども達の健全な居場所作りとして練習を重ね、オータムコンサートでその成果を発表した。また、地域の高齢者サロンより演奏を依頼され発表し、子ども達の大きな自信につながった。	8月21日・28日・9月4日・11日・18日・25日・10月2日	7	61
小学生手話入門講座	聴覚障害のある講師より手話の直接指導を受ける。手話通訳として「柳生手話サークル」が毎回支援を行い、基本的な手話の習得と障害者への正しい理解を深めた。	5月29日・6月26日・8月28日・9月25日・10月23日・11月27日・1月22日・2月26日	8	86

柳生中学校開放講座	柳生中教職員、地域ボランティアを講師に各種検定、科学実験、パソコン、音楽鑑賞、民族舞踊、ブックトーク、卓球、料理など17講座を開講し、地域の学習の場を提供した。	7月6日～12月4日	49	674
バック・トゥ・ザ小学校	西中田小4学年の音楽の授業と一緒に体験、郷土の民謡について学び、発表した。	9月28日	1	6
楽しく・無理なく健康づくり！「ノルディックウォーキングに挑戦」	年代・性別・体力にかかわらず自分のペースで取り組めるノルディックウォーキングを体験した。受講者はその後も継続して取り組んでいる	9月2日・9日・16日	3	29
柳生和紙講座	柳生和紙の継承者である佐藤さんの工房で和紙漉き体験、和紙を使った作品制作およびセンターまつりでの展示発表を行った。	10月7日・14日・21日・31日	4	69
楽しもう！退職後ライフ	①金制度の仕組み②ノルディックウォーキング体験③～⑥地域サークル活動見学などをとおして、地域で活動するヒントを見つけることができた。	1月29日・2月5日・18日・19日・26日・3月9日	6	37
柳生シニアスクール	地域の学びの場として、旅、文学、落語、音楽などの教養講座および高齢者福祉制度、環境施設見学など様々な課題に対応した講座を実施し、自己のライフスタイル向上に活かすことができた。	5月26日～2月23日	10	350
おいしく学ぼう in 柳生	柳生産野菜の栄養価と無駄なく活用する調理法を学んだ。また産直野菜を使った柳生小学校の給食を試食した。	11月16日・30日・12月14日	3	35
街かどコンサート	仙台国際音楽コンクール関連事業として市民センターを会場にピアノとヴァイオリンの演奏を楽しんだ。本格的なクラシックにふれるよい機会となった。	3月9日	1	82
オータムコンサート	地域の学校や市民センター利用サークルの音楽の成果発表の場を提供。12団体が参加し、今後の活動の励みになった。	10月2日	1	1,100
柳生市民センター・児童館まつり	市民センター利用サークルや管内小中学校・各町内会等の作品展示および児童館子ども遊びのコーナーを設け、世代を超えた地域住民の交流の場となった。	10月31日	1	1,200
町内会交流会	中田西部町内会の9町内会の代表者との懇談をとおし、市民センター事業を紹介し支援と協力を求めた。また事業に対する要望・意見、地域情報を収集することができた。	7月10日・2月25日	2	24
地域懇話会	小中学校や地域の関係団体との意見交換を行い、地域課題やニーズを共有し市民センター事業へ反映させることができた。	6月30日	1	10
お話ボランティア養成講座「お話しみたい」	幼児対象の読み聞かせボランティアを養成した。毎月おはなし会を開催し、センターまつりにも参加した。	5月21日・28日・6月4日・11日・18日	5	48
柳生あそびの広場ージュニアと遊ぼう	小学生がジュニアリーダーと一緒にゲームや工作をとおして交流し、学校外で楽しく活動することを学んだ。	12月18日	1	33
市民企画会議「団塊の主張」	退職者の地域デビューへのきっかけとするために、市民センター事業の企画運営に携わり「楽しもう！退職後ライフ」を企画した。	6月26日・7月23日・9月29日・12月4日・17日	5	9
サークルー日体験	サークル活動の活性化を図るため、センターで活動する自主サークルの活動紹介をした。18サークルが参加し体験者20名のうち18名が入会した。	11月27日・30日・12月1日・2日・3日・4日・8日・9日・14日	9	22

秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター

〔沿革〕

秋保市民センターは、社会教育法の制定に伴い、昭和26年4月秋保村公民館が設置され、昭和42年4月町制施行に伴い秋保町公民館、昭和63年3月仙台市と秋保町の合併により秋保公民館、平成元年4月に秋保市民センターと改称され現在に至っている。

馬場市民センターは、昭和52年3月旧秋保町時代に開設され昭和63年3月仙台市と秋保町の合併により馬場公民館、平成元年4月に馬場市民センターと改称され現在に至っている。

湯元市民センターも昭和53年3月秋保町時代に開設され、昭和63年3月仙台市と秋保町の合併により湯元公民館、平成元年4月に湯元市民センターと改称され現在に至っている。

〔特色ある事業〕

事業名	秋保郷土かるた大会		
参加者	地域住民	参加延人数	148人
開催日	全1回 1月15日(土)		
協力者・協力団体	共催：秋保学びのコミュニティづくり推進事業「がんばれ秋保っ子推進委員会」、秋保郷土かるたの会		
ねらい	秋保の風土・伝統・文化についてわかり易くつづった「秋保郷土かるた」を用いて大会を行い、自分達の暮らしている地域についてさらに理解を深める。また、小学生から老人会会員まで、広く世代間交流の場とする事で、地域の一体化を促進する。		
概要・成果	「秋保郷土かるた大会」を用いたかるた大会。秋保地区小中学生、地域住民が3人1組でチームを編成し対戦した。今年から秋保学びのコミュニティ推進事業の一環として事業を開催した。学校の先生方の協力を得ることができた。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
あきう子育て広場	絵本の読み聞かせや手遊び、親子遊びの大切さを学んだ。親子でのクッキング体験や、子育ての悩みについて情報交換や交流会を行った。	7月8日・10月14日・11月25日	3	52
秋保ファミリー体験講座「あきう遊々クラブ」	秋保の自然の中で、季節ごとの自然観察会や作品作りを親子で体験。樹木博士認定問題に取組み、認定証を交付した。	6月27日・8月8日・10月31日・11月28日・1月16日	5	70
インリーダー研修会	子ども会活動に必要な知識や技術などについての研修会。	6月19日	1	28
がんばれ秋保っ子	学校の枠を超え、秋保地域の子ども達が一同に介し、キックベースボール大会とニュースポーツ体験を行った。昼食に芋煮を食べながら交流した。	10月17日	1	121
中学生の市民企画講座「楽しいひと時をお茶と共に」	中学生が企画した講座。日本の伝統文化である茶道を通し、歴史や作法を学び親しんだ。市民センターを利用している茶道サークルとの世代間交流を行った。	9月4日	1	13

共に学びあう、「あきう元気畑」塾	「野菜づくり」を行う上で留意すべき諸問題について学びながら、土づくりや野菜づくりを体験した。	4月18日・5月9日・7月18日・8月22日・2月6日	5	101
郷土愛を育む「地域の食材を使った料理を学ぶ」	秋保地域の食材を使って、昔から伝わる料理を学び実習した。	7月29日・9月9日・11月11日・1月13日	4	65
秋保自然工房「山の恵みクラフト」	里山の役割について学び、受講生自ら材料を採取しクラフト制作。地域の社会福祉施設を訪問し、利用者とともにクラフト制作を行った。	9月5日・10月3日・11月7日・12月5日・1月20日・28日	6	56
市民企画講座「生活百科☆馬場塾」	市民企画会議を経て企画した講座。 ①つんめき製作②フラダンスを踊ろう	8月27日～3月6日	20	291
秋保自然紀行「森づくりとトレッキング」	里山の役割や自然保護について学び、秋保地域の里山・奥山の植生観察とトレッキングや枝打ち作業体験を行った。	5月26日・6月16日・10月27日・11月10日・12月8日	5	63
あきう熟年のひろば	高齢者が学習し、教養を高めるため、健康・教育・文化・手作り等の講座。秋保小学校と連携し、世代間交流「山の子フェスティバル」・「塩沼亮潤大阿闍梨」特別公開講座を行った。	5月20日・6月23日・7月15日・9月16日・10月21日・11月18日・12月16日・1月20日・2月17日	9	526
秋保地域出前講座	地域町内会や高齢者サークルと連携を図り、講座の出前をし、地域住民に学習の場を提供した。	8月3日・5日・12月18日・2月13日・20日	5	93
秋保学びのコミュニティづくり推進事業「がんばれ秋保っ子推進委員会」秋保郷土かるた大会	秋保の風土・伝統・文化についてわかり易くつづつた「秋保郷土かるた大会」を用いたかるた大会。秋保地区小中学生、地域住民が3人1組でチームを編成し対戦した。	1月15日	1	148
秋保ふるさと文化祭	地域の文化団体、中学校、幼稚園、個人や秋保市民センターを利用するサークルの作品、及び主催講座の作品や写真の展示発表。	10月23日・24日	2	1,457
秋保ふるさと文化祭移動展示会	ふるさと文化祭で出展した作品を、秋保・里センターでの展示発表。	11月6日・7日・8日・9日・10日・11日・12日・13日・14日	9	2,356
秋保ふるさと舞台発表会	秋保地域で活動している団体、個人の技芸の発表。	3月6日	1	250
地域懇談会	秋保三地区（長袋・馬場・湯元）ごとに、それぞれの市民センターを会場とした、地域住民による懇談会。	7月17日・9月18日・2月20日	3	53
市民企画会（市民参画型事業）	地域懇談会で要望があり、馬場地域の方々を中心に市民企画会議を開き、講座を企画・運営した。	5月12日・19日・28日	3	14
秋保歴史散策「秋保郷の史跡巡り」～長袋・境野編～	秋保長袋・境野地区の史跡を探訪、学習し、マップを作成。	5月29日・6月26日・7月31日・9月25日・10月30日・11月20日・27日・12月18日	8	96

富沢市民センター

〔沿革〕

富沢市民センターは、平成 13 年 11 月、地下鉄富沢駅近くにコミュニティ防災センターを併設し開館した。

富沢地区は、名取川・JR東北線・国道 286 号線に囲まれた地域で、中央部を笹川が流れ、かつては富沢・大野田遺跡のある田園地帯であった。地下鉄開業以来、交通の利便性から宅地化が急速に進み、高層マンションと昔ながらの農地が混在する地域である。単身・核家族世帯が多く、住民の転出入の頻度も高い。

当市民センターは、市民が気軽に利用できる共有スペースとして親子室・娯楽室・図書室やラウンジを有し、年間を通し多くの地域住民が来館、生涯学習の拠点として活用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	とみざわ子どもの広場		
参加者	小学生と保護者	参加延人数	211人
開催日	全10回 5月15日(土)、6月12日(土)、7月11日(日)、7月24日(土)、8月7日(土)、9月11日(土)、10月9日(土)、11月13日(土)、1月29日(土)、2月5日(土)		
協力者・協力団体	わくわくどきどき実験室・大野田老人福祉センター・富沢おりがみ同好会・(株)仙花・NPO 法人科学心を育む会 ほか		
ねらい	小学校が休日の土日を利用して多様なテーマを設け、子供たちの体験・学習の場を提供する。学校・家庭を離れての学びのなかから、気づきや理解を深めていき、学ぶ力・考える力を育み自立や社会性の向上を図る。		
概要・成果	笹川観察や科学工作など様々なテーマを設け、子供たちの体験・学習の場を提供した。 i. 仙台中央卸売市場花き部見学 ii. 笹川観察会春編 iii. 折り紙でミニ七夕作り iv. 笹川観察会秋編 v. ビーチコーミング vi. 感光紙とレンズでカメラを作る vii. 昔遊び・餅つき viii. 簡単な科学工作		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
おはなしの部屋	絵本の読み聞かせ・手遊び等で幼児の情操教育に役立てた。 また、子育て世代の交流の場を提供した。	5月12日～3月9日	10	403
きらきら子育て倶楽部	幼児を持つ親へ、発達に応じた育児アドバイスと交流の場を提供し、子育てを支援した。	11月5日・19日・12月3日	3	23
チビッ子夏まつり	子供縁日・フリーマーケットなど未就学児と保護者を対象にしたイベントを、育児サークルが企画運営し、親子交流・地域活性化を図った。	7月30日	1	700
家庭教育講座 「子どもの心にアンテナを」	テレビ・ゲーム・携帯が子供に与える影響とその対処法について学び、健やかな親子関係の構築を図った。	11月2日	1	29
【市民企画講座】 子育てママのひといき講座	物づくりやミニゲームで交流を図り、子育て以外に自分の時間を楽しみ交流することで、孤立感・閉塞感の軽減の一助とした。	12月1日・8日	2	14
インリーダー研修会	子ども会活動のための児童と世話人向け研修会	2月19日	1	71

とみざわ子どもの広場	筑川観察や科学工作など様々なテーマを設け、子供たちの体験・学習の場を提供した。	5月15日～2月5日	10	211
地元野菜と秋刀魚に親しむ食育講座	中学生が地元野菜と旬の魚の調理体験を通して、地域に根ざした食文化への関心を深めるとともに、地域住民との交流を図った。	9月14日～10月7日	10	591
健康食で生活力アップ	食事と生活の関係を学び、健康的な献立を調理実習した。	7月2日・11月27日・2月26日	3	37
とみざわ散歩道	地域にある知的財産や豊かな自然を、専門家の道案内で散策しながら学び、理解を深めた。	5月22日・9月18日・11月16日	3	58
【市民企画講座】あつまれ仙台ビギナー～転勤妻の交流会～	地域の方を講師に、交流茶話会や郷土料理を調理・試食した。地域情報を発信し共有することで、転入者の地域コミュニティ参加の契機とし育成を図った。	10月29日・11月12日	2	34
富沢シニアクラブ	高齢者の生涯学習推進と親睦を図った。	5月20日～2月17日	10	413
とみざわファーム	農作業を体験し、野菜づくりをとおして住民の交流を図った。	5月18日・6月15日・7月27日・8月25日・9月22日・11月19日・2月15日・3月4日	8	43
吹奏楽に親しもう～音楽は人と人をつなぐ～	普段なかなか聴く機会のないレベルの高い吹奏楽の演奏をとおして、地域の方が共有できる心豊かな時間をもつ機会とした。	2月8日	1	200
街かどコンサート	地域の方が、気軽にクラシックコンサートを楽しむ機会を提供し、若い音楽家の質の高い演奏に触れることで、心豊かなひと時を共有する時間を創出した。	3月3日	1	168
大野田小学校・西多賀小学校社会学級共催事業企画会議	小学校区の学習団体と協力・情報交換をしながら、地域の家庭教育向上をめざした講座を企画した。	6月15日・11月2日・2月8日	3	17
富沢市民センターまつり	市民センター利用団体、町内会等の参加発表の場とし、地域住民のコミュニティづくりの場とした。	10月2日・3日	2	1,600
市民センター懇談会	地域課題やニーズの収集、情報の共有化をはかり、センター事業の運営に活用した。	9月17日・2月18日	2	27
図書室サポーター養成講座	新規ボランティア育成と既存ボランティアのスキルアップを行い円滑な図書室運営をめざした。	5月19日・7月8日・9月11日・1月22日	4	30
市民企画検討会「とみざわお茶っこ会議」	地域住民を企画員として、転入者への地域情報発信や、新旧住民の交流を目的とした講座を、企画・運営した。	5月14日・6月4日・11月25日・7月9日・23日・9月10日・10月29日・11月12日	9	76
市民企画検討会「とみざわママステーション」	育児サークル間の交流を図りながら、子育て中の人々が参加できる講座を企画・運営した。	5月26日・6月23日・7月21日・9月29日・10月27日・11月25日・1月26日	7	24

泉区中央市民センター

〔沿革〕

昭和 22 年 9 月、七北田中学校内に七北田公民館として開設され、昭和 43 年 7 月には、市名坂字東裏の現在地に移転し、今日まで泉区の生涯学習の拠点として、その役割を担ってきている。平成 16 年 1 月、施設の老朽化と機能拡充の必要性から改築され新館としてオープンした。

当地域は従来の歴史的・文化的要素が残されている七北田地区と仙台市の副都心として急速に発展した泉中央周辺の都市化との混在する地域であり、住民を取り巻く学習環境は大きく変化しつつある。このような状況の中、現代社会に対応した生涯学習事業の展開を図るため、拠点館として機能がますます重要になってきている。

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	子育て支援機関連携 泉区中央おやこまつり		
参加者	未就学児とその親	参加延人数	182人
開催日	全6回 6月3日(木)、6月24日(木)、7月15日(木)、8月26日(木)、9月2日(木)、9月9日(木)		
協力者・協力団体	連携:七北田児童センター、子育て支援機関ほか		
ねらい	前年度の懇話会において、子育てに関わる機関が連携して合同のイベントを開催したいとの意見が出されたことを受け、未就園児を対象とした地域のおまつりを開催する。これによりお互いの関係をより深め、地域に住む若い親子の交流を促す。		
概要・成果	地域の子育て支援機関と連携しイベントを開催した。企画や準備を通して親交が深まり互いの活動への理解も深まった。大勢の親子の参加があり、イベント当日は社会教育実習生や学生ボランティアにも支えられた。今後のより良い関係に繋がる第一歩になったと評価できる。		

〔平成 22 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て支援機関連携 泉区中央おやこまつり	子育て機関と連携し、未就園児と保護者を対象にまつりを開催し、交流を図る。	6月3日・24日・7月15日・8月26日・9月2日・9日	6	182
すくすく育つ子どもごはん	子どもの「食」について学ぶことで家庭における「食育」について考える。	9月29日・10月27日	2	28
作ってみよう！七夕かざり	七夕について学んだ後、実際に仙台七夕を制作し、伝統文化に親しむ。	7月28日・29日	2	46
こども映画会	夜間にこども映画上映会を開催し、家族で憩える場を提供する。	2月26日	1	20
いずちゅーキッズ	体験学習を通して、考える力・学ぶ力を身に付け、学校や学年を超えた交流を図る。	5月29日・7月27日・8月4日・11月27日	4	82

星はともだち	家族で星や月を観察することで、天文や自然への関心を深める。	7月21日・31日	2	73
暮らしア・ラ・カルト	誰もが気軽に参加できる講座を地域の達人を講師に迎え開催することで地域のニーズに応える。	10月14日・28日・11月11日・18日・25日・12月2日・9日	7	99
はじめよう！ノルディックウォーキング	七北田公園の自然を楽しみながらノルディックウォーキングで健康づくりをする。	5月18日・5月25日・6月1日	3	36
男の健康づくり	食生活の大切さを認識し、運動不足の解消と健康増進を図る。中年男性層に出会いや仲間づくりの場を提供する。	10月3日・17日・11月7日・21日	4	58
泉老壮大学	高齢者に定期的に学習の機会を提供し、交流を図りながら自主活動へ発展させる。	5月12日・6月9日・7月7日・8月11日・9月8日・11月10日・12月8日・1月12日・2月9日	9	502
みんなのコンサート	地域住民が気軽に集えるコンサートを開催し、参加団体と地域の交流を図る。	12月19日	1	170
変わる言葉変わらない想い	若者の言葉遣いや気になる日本語について学び、語り合いながら、社会学級生と地域の方たちが交流を深める。	1月18日	1	29
めくりめくってぶっちゃけ談義	地域住民のコミュニケーション能力を高めるとともに、住みやすい地域社会の実現を目指す。	2月4日	1	32
七北田小学校・市名坂小学校社会学級連携企画会	誰もが参加できる生涯学習講座を合同で企画し、地域住民との交流を図る。	7月14日・8月31日・10月6日・11月5日・12月7日・1月10日・18日	7	40
泉区中央市民センター 合同サークル体験・発表会	サークル体験・発表会を実施することで各サークルの活性化地域交流を図る。	7月1日・8月5日・10月30日・10月31日・11月18日	5	648
泉中央懇話会	地域の子ども会役員との懇話会を実施し意見・要望を聞き、子育て支援を行う。	5月20日・6月17日	2	20
ジュニアと遊ぼう	ジュニアリーダーに活動の機会を提供し、近隣の小学生が集団で遊ぶ楽しさを実感することで異年齢交流を図る。	7月17日・12月11日	2	24
男の企画会	仕事や家庭での役割が一段落した男性に地域のことや自身の生涯学習などについて、語り合ってもらう。	6月23日～2月4日	12	52
子育て支援スキルアップ講座	地域の子育て支援団体にスキルアップ講座を提供し活動の活性化を図る。	11月11日・18日	2	33
読み聞かせボランティア養成講座	読み聞かせサークルを養成し、児童センターなどで活躍できる場を提供する。	6月11日・18日・25日・7月2日・9日・16日	6	89

根白石 市民センター

〔 沿 革 〕

昭和 21 年 11 月、根白石小学校内に設置され、昭和 23 年役場の移転に伴い独立施設としての活動がはじまる。昭和 28 年公民館新築促進が決議されてから 10 年の経過を経て昭和 38 年 7 月、待望の公民館が移転新築された。以来 20 年余、根白石唯一の社会教育施設として活動を続けてきたが、老朽化により昭和 63 年根白石字杉下前に新築移転、4 月に開館した。

当センターは、泉区西部に位置し泉ヶ岳を背景に豊かな自然環境に恵まれている。周辺は田園地帯と近年の開発による住宅地からなり、多様な住民構成の生涯学習の場として、又スポーツ、コミュニティ、自主学習の場として広く利用されている。

館の特色として、299 席の移動式観覧席を備えた多目的ホールを有する。

〔特色ある事業〕

事業名	昔あそびボランティア養成講座		
参加者	成人	参加延人数	40人
開催日	全7回 7月8日(木)、9月9日(木)、11月11日(木)、11月25日(木)、12月8日(水)、1月16日(日)、 2月10日(木)		
ねらい	昔遊びの道具の作り方を身につけて、子ども達にその作り方や遊び方を指導するボランティアを養成する。		
概要・成果	身近にある竹を素材として遊び道具の作り方、竹の特性を学んだ。最終回の凧づくりでは、完成品を小学校の校庭を借りて一年生の生徒たちと一緒に揚げることができボランティアの 一歩を踏み出すことができた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加 延人数
まめっ子くらぶ	大豆の種まきから収穫まで体験し、農業の現状やひとつの食材から様々な加工品ができることを学ぶ	5月22日・6月 26日・7月17 日・8月7日・28 日・10月16日・ 30日・11月6 日・13日	9	122
放課後クラブ あつまれ！元気キッズ	遠いために市民センターや児童館への来館が難しい子供たちに出前形式で普段学校では行われない様々な体験をさせる	7月17日・9月 11日・10月16 日・11月17日・ 27日・12月1日	6	200
男の腕まくり〜クッキングデビュー〜	健康に不安を覚える年代の男性に、いままでの食生活を見直し自分で作る楽しさを学ぶ	9月1日・15日・ 10月6日・20日	4	69
伝統 正月飾り	地域の人材を活用し根白石の正月飾りを作ることにより地域の伝統行事を学ぶ	12月23日・1月 13日	2	43
楽しく・すっきり・ストレッチ【託児付】	幅広い年齢層に親しまれるストレッチ体操を通し、生活の中に運動を取り入れるとともに健康に対する意識の向上を図る	7月9日・16日・ 23日	3	55

根白石民俗ミニ七夕づくり	根白石に伝わるミニ七夕飾りを近隣の地域住民が手作りしまつり会場に飾ることで地域交流に役立てる	7月13日・14日・21日・22日・27日・28日・8月3日・4日・5日	9	114
市民企画講座「子どもの安全応急対応講座～救急車が届くまで」	幼児期に起こりやすい病気や思いがけない事故の備えた応急法など、救急車が着くまでにできる初期対応法を身につける。子どもを持つ親、孫を持つ世代の人が共に学び、子どもの安全について地域を共有する。	11月20日	1	27
地域に役立つパソコン講座	広報紙作りに役立つ基本的な技術を学び効果的な地域の広報活動に役立てる	8月25日・26日・27日	3	53
さわやか大学	高齢者が時代に即した学習をとおり積極的に生きがいのある暮らしを送れるよう生涯学習と相互交流の場を提供する	5月20日・6月24日・7月22日・8月26日・9月16日・10月21日・11月25日・12月16日・2月17日	9	255
出前講座	交通手段がなく市民センターへの来館が困難な地域の高齢者を対象に出前形式で生涯学習の場を提供する	6月23日・9月7日・10日・10月5日・1月21日	5	104
ふれあい・発見！ウォーキングin根白石	運動や健康についての正しい知識を得て根白石地区を歩き世代を超えた交流をとおり地域をつなぐを深める	11月14日	1	27
冠のふるさと伝承まつり	子供たちが地域の財産である郷土芸能を受け継ぎ、その成果を発表する	10月17日	1	500
地域ぐるみふれあいコンサート	管内にある3つの中学校吹奏楽部の合同でコンサートをとおり中学生同士や地域交流の活性化を図る	10月24日	1	210
市民センターまつり	市民センター利用団体、サークルの学習発表および小学生の作品展示をとおり地域交流に役立てる	10月24日	1	500
地域懇談会	地域住民から広く意見を交換し地域課題を共有し改善等に取り組むことで地域の活性化をはかる	7月27日	1	18
昔あそびボランティア養成講座	昔遊びの道具の製作を身に付け子供たちに道具の作成指導や遊びを教えるボランティアを養成する	7月8日・9月9日・11月11日・25日・12月8日・1月16日・2月10日	7	40
市民企画会議「みんなで・楽しく・子育て」	親子が孤立することなく安心して子育てができる環境を考える	6月4日・7月2日・8月25日・9月7日・10月29日・11月20日・12月1日	7	14

南光台市民センター

〔 沿 革 〕

昭和52年4月、南光台公民館として開館し、その後、平成2年4月に南光台市民センターと改称され、地域住民の交流の場・生涯学習の場として、その役割を担ってきた。

また、昭和62年8月に泉図書館南光台分室がセンターに併設された。

〔 特色ある事業 〕

事業名	南光台地域防災力向上計画		
参加者	南光台中学校生徒・南光台地域町内会役員・地域住民	参加延人数	1,005人
開催日	全4回 6月29日(火)、7月10日(土)、11月22日(月)、2月16日(水)		
協力者・協力団体	南光台中学校・泉消防署南光台出張所・南光台地区町内会・老人会・婦人会		
ねらい	高齢者の多い南光台地区において、地域の防災戦力として中学生が果たす役割は大きい。災害発生時の様々な想定をもとに 中学生と地域の関係団体が協力しながら、各方面で連携した体制を整えていく。		
概要・成果	防災講演会、実技学習(簡易トイレ組み立て、非常食づくり、救急救命AED訓練、災害用伝言ダイヤル実践、多言語表示学習)、地域防災連絡会を行った。 中学生にとっては、地域の方たちと一緒に活動ができ、地域の一員としての自覚が生まれた。また災害に対する危機意識や共助の大切さが、中学生・地域住民それぞれの立場で大きく広がった。		

〔 平成 22 年度 事業実績 〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
幼児の救急・応急対応講座～いざという時のために～	子供の急変や事故への対応について、応急手当や救命処置体験等を通し、いざという時に対応できるスキルを身につける。	12月10日	1	5
スマイルひろば	「南光台スマイルひろば企画委員会」の企画事業①乳幼児を抱える育児中の母親と地域をつなぎ、地域で活動しているサークルや人材を活用しながら、楽しい子育てを提案し、地域で安心して子育てができる環境づくりを目指す。	5月28日・6月25日・7月23日・10月29日・11月26日・2月25日	6	133
子育てママのための心と体のセルフメンテナンス	「南光台スマイルひろば企画委員会」の企画事業②子育て中の方々の、様々な悩みを共有し地域課題について考え解決策を見だし、広く子育て世代を応援し、安心して子育てができる地域づくりを目指す。	11月19日・26日・12月3日	3	65
キッズ・チャレンジクラブ	小学生を対象に、学校・家庭以外での体験学習や活動の場を提供し、異年齢交流を図ることで、子どもの社会性や創造力を育む。	8月28日・9月11日・12月18日・2月26日	4	70
夏まつり子ども大会 わくわくプレイパーク in 夏まつり	毎年恒例の地域の夏祭りの「子ども会大会」に参加して地域と積極的な交流を図り地域活性化をめざす。	8月19日	1	41

ワケルくんに学ぼう (南光台小学校)	子どもの社会性や豊かな情緒を育むための学習の機会を、小学校と連携して子どもに提供する。	6月29日・30日	4	136
ワケルくんに学ぼう (南光台東小学校)	子どもの社会性や豊かな情緒を育むための学習の機会を、小学校と連携して子どもに提供する。	6月9日	2	78
仙台の伝統をまなぶ 講座	仙台の伝統行事や伝統料理を学ぶことで、仙台の魅力を再発見する。伝統セタづくり・仙台雑煮づくり等	11月12日・1月13日	2	25
ふれあい広場で健康 づくりスロージョギ ングから始めようー	さまざま目的でジョギングをする人が増えているが、自己流で走るとマイナスになる。そこで正しいフォームで走る技術を身につけ、健康づくりを推進する。	10月26日・11月2日・9日	3	22
ストレス社会を生き抜 くために	ストレスを抱えやすい現代社会において、体と心の健康についての知識を深くし、健康管理に役立てる。	6月30日 7月7日	2	9
最先端医療を学ぼう	南光台地域の2校の社会学級との連携で、地域の施設である仙台オープン病院を見学し地域医療支援病院について学ぶ。さらに仙台オープン病院による最先端医療を学ぶことでこれからの自己管理について考える。	1月25日	1	18
男の家事デビュー！ ステップアップ	高齢社会を意識しつつも自活できるよう、料理の基礎・基本、家事全般の豆知識を実技と講話で学習し、男性の家事参加を推進する。	9月18日・10月9日・11月20日	3	41
南光台学院	地域に暮らす高齢者が社会の変化に対し学び、自らの視野を広げる機会と仲間づくりの交流の場を提供するために、講話・実技・見学等を実施する。	4月28日～2月25日	11	480
とっておきの 市民センターコンサ ート 2010	健康者と障害を持つ方が音楽を通して集い合い、ふれあうことで両者の理解を深め、人と心のバリアフリーを目指す。(楽器演奏と歌唱)	12月4日	1	63
南光台地域防災力向 上計画	高齢者の多い南光台地区において地域の防災戦力として中学生が果たせる役割について地域人材とともに、実技をとおして学ぶ	6月29日・7月10日・11月22日・2月16日	4	1,005
社会学級連携企画会 議	南光台小・南光台東小の社会学級生と企画会議を行い地域に向けて発信することを目的に講座を企画する。	6月8日・7月8日・1月18日	3	6
南光台市民センター まつり	センター利用サークル及び地域団体等の活動成果を展示、ステージ、特設部門で発表し、併せて地域住民との交流を図る。	10月16日・17日	2	4,000
南光台市民センター 懇談会	市民センターの事業運営に地域の課題や情報を的確に反映させるため利用者、町内会、商店会等地域団体と懇談会を設置する。	7月31日・3月5日	2	12
南光台アドバルーン とあそぼう	市民センターで活動しているジュニアリーダーのスキルアップと活動の広報をめざしゲームを中心に講座を実施する。	7月24日・2月27日	2	11
南光台ふれあい広場 活用委員会	センター西側の「南光台ふれあい広場」を安全にかつきれいに広場が使用できるように、広場の整備や活用についての基盤づくりをする人材を育成する。	2月24日	1	6
市民企画会 市民センターもりあげ 隊	企画員を募集し市民センターの活性化に役立つ講座等の計画・実施を行う。また、運営の担い手になってもらい、地域人材の発掘につなげる。	3月4日	1	6
南光台スマイルひろ ば企画委員会	市民センターと協働で子育て中の人のための講座を企画運営してもらう。地域人材として育成する。	4月16日～3月4日	11	96

黒松市民センター

〔 沿革 〕

昭和 47 年 4 月開館の八乙女公民館(旭丘堤 1 丁目、建物面積 144 ㎡)を前身とする。平成 4 年 10 月移転新築により、拡充され「黒松市民センター」として、地下鉄黒松駅に隣接する現在地(黒松 1 丁目、延床面積 1、491 ㎡)に開館した。

当市民センターは地域における生涯学習の拠点として、また、交通の利便性により広域からの施設利用者にも活用されている。

〔 特色ある事業 〕

事業名	防災プロジェクト 2010 ～その時わたし達にできること～		
参加者	地域住民、中学生	参加延人数	642人
開催日	全1回 10月28日(木)		
協力者・協力団体	八乙女中学校、泉消防署、仙台市水道局		
ねらい	高齢化した団地の中で、中学生は災害時に貴重な労力を提供できる。災害が発生した時に、適切な対応、処置ができるよう中学生と地域住民と一緒に体験学習を行う。その体験を通じて、自分で判断し災害を回避できる経験や知恵を育み、地域防災の「共助」の一助となれる人材を目指す。		
概要・成果	①講話 ②実技(避難所体験、バケツリレー、AED、蛍光灯落下実験 他) 地域住民との合同訓練に向けて町内会月例会に出席し町内会単位での参加を呼びかけ、新たな町内会も加わっての訓練が実施できた。アンケートでは、地域の参加の皆さんからは、生徒との一緒にの訓練に一定の成果を感じていただけた。生徒たちからも、災害が起こった時のパニックぶりを考えることができたなど、将来に備えて考える機会を提供できた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
黒松おやこひろば	子供を地域みんなで見守り、育む場。育児中の親子が気軽に集い、母子のつながりや、地域とのつながりを感じる場とする。 【内容】絵本の読み聞かせ・歌遊び・紙芝居・リズム体操 他	4月23日～3月4日	16	223
一緒に育とう！私と子どものいい関係2010	初めての子育てをする保護者を対象として、安心して子育てが出来る知識を学ぶ場とする。【内容】①手遊びわらべ歌等実技 ②おやつ作り③おもちゃ作り④交流会	6月16日・23日・7月14日・21日	4	31
食育講座「気づいているかい？」	「身近な食」について学び、食に対しての意識を深める一助とする。【内容】講話・ワークショップ・伝統的な日常料理の調理実習	11月5日・19日・12月3日	3	48
わくわくタイム	子供達が家庭や学校を離れて学びや体験の中で、「学ぶ楽しさ」の習得を図る。【内容】科学工作・七夕作り・JL と遊ぼう・星空観察・港工場見学・国際交流・リース作り・お菓子作り	5月15日・6月12日・7月10日・8月7日・9月11日・10月9日・11月13日・12月11日・2月5日	9	216
黒松どきどきキャンパス	利用機会の少ない中学生や小学高学年に向けて、魅力ある体験学習を実施し、市民センターとの関わりや利用を促す。【内容】①昆虫標本作り②マイコン組立体験③科学実験体験	7月17日・9月25日・12月11日	3	33
こどもキャリア講座	子供達に早い段階から、自分の将来について考える習慣や生きる力を身につけるための学びの場を提供。【内容】ワークショップ；①夢に日付をつける/未来設計図作成②未来の見つけ方	7月28日・29日	2	32

防災プロジェクト2010 ～その時わたし達に できること～	災害時に、適切な対応・処置が出来るよう中学生と地域住民が 一緒に体験学習を行う。【内容】①講話/②実技;学年ごとに別 プログラム:避難所体験、バケツリレー、AED、蛍光灯落下実験 他	10月28日	1	642
おもしろ体験～うちの 仕事～	家事を通して自分も家族の一員としての自覚を持ち、生きる技 術や“おもてなしの心構”など生活の基本を身につける。【内 容】①和のおもてなし②海外のおもてなしテーブルセッティング 等体験	11月27日・12 月4日	2	18
健康講座いきいき生 活を“正しい姿勢”か ら	「身体にいい事」という視点で健康づくりを支援。身体を中心で ある「背骨・骨盤」について取り上げる。【内容】①講義②実 技…姿勢の乱れや身体のラインの崩れを調整方を学ぶ。	5月26日・27日	2	29
市民環境講座 「真美沢堤の自然林 から見えてくる環境」	近隣地域にある真美沢公園の、自然林を観察し、身近なところ から自然環境の状況について感じ、気づくための場を提供。 【内容】春夏編:春の動植物を観察/秋冬編:秋の動植物を観察	7月3日・10月 30日	2	21
食育講座なつかしい おやつ	心と身体の成長を豊かにする大切な時間であるおやつを取り 上げ、おやつ本来の役割や食べ方などを学ぶ。【内容】①素材 を生かしたおやつ作り「麦こがし」②「お餅」で保存食	12月8日・15日	2	19
「絵本の世界-小物で 楽しむ」読み聞かせ 基礎編	読み聞かせの手法を学び、ボランティア活動のスキルアップを 図る。地域で子どもを育てるためのコミュニケーション術を知 り、地域活動の充実を図る。【内容】①講話②小物作り③小物 の使い方・手遊び	9月1日・8日・ 14日	3	47
社会学級共催事業 危ないケータイ・楽し いケータイ ～大人の知らないケ ータイの世界～	情報化社会と言われなか、小中学生を持つ保護者が、携帯電 話について安心して対応できるよう、学ぶ場を提供する。【内 容】講話・情報交換	2月10日	1	27
黒松寿大学	高齢者が意欲的に学習し、ライフスタイルのスキルアップを図 り、健康で心豊かに生活を送るための生涯学習の機会を提供 する。【内容】健康・環境・食生活・時事問題・国際交流・福祉等 体験会や講義	5月20日・6月 17日・7月15 日・8月19日・9 月16日・10月 14日・11月18 日・12月16日・ 2月17日	9	459
黒松市民センターま つり	生涯学習の振興及び地域住民の交流の場とコミュニケーション づくりの促進を図る。【内容】こどもまつり・作品展示・ステージ 発表等開催	9月25日・26日	2	1,710
社会学級共催事業検 討会	2つの社会学級と市民センターが協力し、地域課題を共有し、 地域のネットワークや生涯学習環境の整備・向上を図る場とす る。【内容】顔合わせ/内容検討/講座開催/評価と反省	6月8日・7月6 日・9月7日・10 月5日・11月9 日・12月7日・2 月9日	7	33
黒松市民センター懇 談会	地域課題の共有・解決のため、地域団体から意見を聴取する。 市民センター事業について地域団体に周知・報告する事により 地域における学びの場、コーディネーターとしての理解を深め る。	7月27日・2月 22日	2	38
ボランティア支援講 座ー情報発信・ビデ オクリップを作ろうー	黒松市民センターを拠点とするボランティア活動団体の活動を 地域に広く知ってもらう手段としてビデオクリップ作成を学習。 【内容】①情報発信とは②ビデオクリップの作成③仕上/作品発 表	2月9日・16日・ 23日	3	37
「絵本の世界」企画会	講座から立ち上がった読み聞かせサークルを対象に、“本に触 れ親しむ事”をテーマにした講座を企画。実際に地域での活動・ スキルアップを目指す。【内容】企画会議/講座開催/反省会	4月21日・5月 19日・6月16 日・23日・7月 21日・8月24 日・9月14日	7	22
市民企画会 「おしゃべりサロン 2010」	生活に密着した「食」をテーマに、市民による企画・講座開催を 目指す。参加者が企画運営する事で地域の食のリーダーとし て、スキルを得る一助とする。【内容】企画会議/講座開催/反 省会	7月2日・8月6 日・9月3日・11 月5日・12月3 日	5	41

将監市民センター

〔 沿 革 〕

昭和 47 年 11 月、将監団地の開発・発展を背景に地域住民の交流の場を「将監会館」として開館した。昭和 53 年 4 月、新たに地域生涯学習の拠点施設として名称を「将監公民館」に改め、昭和 54 年 6 月には研修室棟も竣工し施設の拡充が図られた。その後、仙台市との合併に伴い、平成元年 4 月から「将監公民館・将監市民センター」となり、翌年 4 月「将監市民センター」と改称された。

平成 3 年度には、施設の大規模な改築が行われ、平成 4 年 4 月新装開館し現在に至っている。当センターは、軽スポーツ活動が可能な多目的ホールを有し、多くの人々に利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	将監ふれあいコンサート		
参加者	地域住民	参加延人数	スタッフ会議:32人 コンサート:385人
開催日	スタッフ会議: 全5回 8月5日(木)、8月25日(水)、9月7日(火)、10月7日(木)、10月27日(水) コンサート: 全1回 11月3日(水)		
協力者・協力団体	「将監沼の自然」とふれあいを育む会		
ねらい	地域連携として、市民企画会議「将監ふれあいコンサートスタッフ会議」により、市民企画員と地域団体が協働で企画した地域住民のニーズを反映したイベントを開催し、世代間交流と地域住民の交流の推進を図る。		
概要・成果	地域でのイベントの開催や清掃など幅広く活動をしている『「将監沼の自然」とふれあいを育む会』と、新たに公募した市民企画員との協働で企画会を実施。コンサートの企画段階から参加することにより、参加者同士の連携と市民センターの事業や「育む会」の活動への理解が深まった。コンサートには、地域住民のみならず市外からの参加者もあり、有意義な交流の場となった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
将監沼親子ウォッチング	地元の環境資源である将監沼を親子で散策し、子どもに豊かな生活体験の機会を提供した。	10月9日・16日	2	34
こどもチャレンジ講座「サイエンス・マジック」	身近にある材料を使って電気や化学の実験をし、科学を身近に体験した。	7月22日・29日・8月5日・19日	4	80
将監こども映画館	地域の子ども達に居場所を提供し、情操教育に効果的な映画の上映とボランティアによる絵本の読み聞かせ、折紙のプレゼントをした。	5月15日・8月7日・12月4日・2月5日	4	138
泉ヶ丘小学校連携講座「夏の講座」	交通アクセスが不便で来館が困難な、泉ヶ丘地区の親子を対象に、市民センターで活動しているサークル・グループの講師を派遣し、夏休み期間中多様な体験会を開催した。	7月23日・24日・25日・30日・31日・8月1日・6日・7日・10日	9	175
将監東中学校連携講座「災害に備えて」	災害に備えて、将監中学校と連携して災害訓練及び防災訓練を実施した。	11月16日	1	397

めざせ！体質改善！	体質改善に有効な軽体操を紹介し体験した。若い世代も参加できるよう託児付講座とし健康や運動への関心を高め、地域ぐるみの健康作りを推進した。	1 月 20 日・27 日・2 月 3 日・10 日	4	91
将監寿大学	健康講話、歴史、軽運動、時事問題等幅広い分野で実施し、受講生の親睦が図られた。	5 月 18 日～2 月 15 日	10	454
七夕飾りを作ろう	仙台七夕まつりについて学習し、大笹の七夕飾りを作製し地域に飾り付け、地域への関心・愛着を深めた。折り紙サークル活動の場を提供し資質の向上を図った。	6 月 12 日・26 日・7 月 10 日・24 日・31 日	5	136
将監の秋を楽しもう！	将監地区の「将監沼」の歴史・植物・生物を学び、将監沼を散策し、地域の魅力を再認識した。	11 月 13 日・20 日・27 日	3	55
天体観望会～ベガ号で星空を観よう～	星空講話の後、ベガ号で夜空の星を観測した。	9 月 17 日	1	76
4 館共催事業「グラウンドゴルフ大会にあつまれ」	児童館・児童センターとの共催で企画会議を重ね、子どもから高齢者までが気軽に参加し交流できるグラウンドゴルフ大会を実施し、地域の活性化と世代間交流を図った。	9 月 4 日	1	63
社会学級共催事業「簡単！即効！！ストレッチ」	将監地区3つの小学校の社会学級との共催で、地域の方々と共に手軽に出来るストレッチ運動を基礎から学び、健康作りについての意識付けをした。	11 月 11 日	1	33
街かどコンサート	地域の方々が気軽に参加でき楽しめるコンサートを開催し、地域住民の交流を図った。	3 月 5 日	1	52
市民企画講座「将監ふれあいコンサート」	市民企画会議「将監ふれあいコンサートスタッフ会議」により市民企画員と地域団体とが協同で企画した地域住民のニーズを反映したコンサートを開催した。	11 月 3 日	1	385
児童館・児童センター・市民センター4 館共催企画会議	児童館・児童センターと共催し、地域に密着した事業を実施するための企画会議を開催した。	4 月 15 日・5 月 20 日・6 月 17 日・8 月 27 日・9 月 3 日・9 日	6	44
社会学級共催講座企画会議	地域の3小学校の社会学級と共催し、地域のニーズにあわせた事業を実施するための企画会議を開催した。	6 月 17 日・8 月 3 日・11 月 2 日・11 日	4	29
将監市民センターまつり	市民センターの利用団体に学習の成果を発表する場を提供し、参加者間の親睦や地域住民との交流を図った。	10 月 2 日・3 日	2	2,300
将監まちづくり懇談会	施設や生涯学習についての要望や地域情報、課題について意見交換を行った。	1 月 26 日・2 月 23 日	2	16
ジュニアリーダーといっしょにあそぼう！	工作で紙飛行機を作って飛ばしたり、ダブルダッチを体験したあと、ジュニアリーダーとゲームをし、異学年と交流しながら集団遊びを楽しんだ。	8 月 20 日	1	46
市民企画会議「将監ふれあいコンサートスタッフ会議」	地域の幅広い年齢層の企画員を募集し事業企画を協同した。地域交流イベントの企画・運営をととして、参加者同士の連携を深めた。	8 月 5 日・25 日・9 月 7 日・10 月 7 日・27 日	5	32
サークル体験しませんか	センターを拠点として活動しているサークルの体験会を実施し、学びのきっかけを提供した。	2 月 22 日・23 日・24 日・25 日・26 日・27 日・3 月 3 日	7	51

加茂市民センター

〔 沿 革 〕

昭和58年4月、加茂公民館として会館した。その後、仙台市と泉市の合併や公民館と市民センターの併設を経て、平成2年に現施設名に改称された。平成10年には併設していた加茂体育館が編入され、現在に至っている。開館当時は長命ヶ丘・泉中山の区域まで対象としていたが、平成5年4月の長命ヶ丘市民センターの開館に伴い、現在は加茂・虹の丘・上谷刈・みずほ台を対象としている。

当市民センター周辺には加茂神社や古内志摩の墓、中世の館跡である長命館公園などが点在しているほか、七北田川や丸田沢堤・三共堤がある水の森公園などの自然環境にも恵まれている。

〔 特色ある事業 〕

事業名	市民企画会「加茂コンサートを企画しよう」		
参加者	成人	参加延人数	80人
開催日	全13回 5月27日(木)、6月12日(土)、6月23日(水)、7月7日(水)、9月22日(水)、11月11日(木)、 11月21日(日)、11月28日(日)、12月5日(日)、12月8日(水)、12月11日(土)、 12月12日(日)、12月17日(金)		
協力者・協力団体	地域住民		
ねらい	企画委員の持っている知識や経験を生かし、講座を企画・運営することで地域活動への繋がりを広げる。		
概要・成果	加茂市民センタークリスマスコンサート「Dreams Kamo True」(12月12日開催)を企画・運営した。企画委員の熱心な取り組みにより、企画進行スケジュールも的確に行われ、地域の方からも多くの賛同を得た。バレエ、ブラスアンサンブル、照明と地域にとっては大規模な企画となったが、企画委員の持てる力を存分に発揮でき、活動の飛躍に繋がった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
楽しく子育てライフ	子育て中の世代を対象に親子でリトミックや英語で歌うことでリフレッシュを図った。また保護者を対象にコーチングの学びを通して互いの現状や不安を話し合うことで交流を図った。	6月3日・17日・7月1日・15日	4	36
親子で楽しむお話のへや	親子に読み聞かせや紙芝居などの楽しさを伝えるとともに、子どもの読書習慣を身につけるため、手遊びを交えながら絵本の読み聞かせを行った。	9月3日・10日・17日・10月1日・8日・15日	6	82
加茂子どもクラブ	天体観望会やバードウォッチングを通して自然とふれあい、仙台高等専門学校の学生製作のロボットを操作したりする体験等を通して学びを深めた。	5月21日・12月23日・2月26日	3	123
加茂中学校区青少年健全育成推進協議会との共催事業	・災害時の心得・中学生にも出来る救助について学んだ。・防犯守ろうデーへの参加。	11月9日・12月10日	2	291
加茂の自然探訪	地域にある自然の素晴らしさを再発見し、地域づくりの基本とするため、地域の散策を行った。	5月13日・10月28日・2月26日	3	47
加茂中学校へ行ってみよう	加茂中学校の選択授業の一つである藍染めを体験し、給食を食べ、食育等についての講話と学校見学を行った。	9月29日	1	19

リサイクル工房	ゴミとして出していた古布を使い・布ぞうりと・ぬいぐるみを作った。それぞれがごみの減量に心がけ、環境への関心も高められた。	7月7日・14日・21日・28日・8月4日・27日	6	88
シニアカレッジ入門	中高年の方向けに種々の分野の講座を提案し市民センター講座に気軽に参加してもらうことを契機にして、継続的な学習へと発展し仲間作りの場を提供する。	6月10日・7月8日・8月12日・9月9日・10月7日・11月11日・12月9日・1月13日	8	197
ノルディックウォーキングで健康ライフ	シニア世代でも手軽に出来るノルディックウォーキングを通し、健康への意識が高まり、健康増進に繋がった。	11月12日・19日・26日	3	45
市民企画 加茂市民センタークリスマスコンサート 「Dreams Kamo True」	加茂クリスマスコンサート一部：創作バレエ二部：プラスアンサンプル	12月12日	1	157
加茂地域防災協議会共催「救急救命法を学ぶ」	災害時、できるだけ多くの住民が対応できるよう、救命救急と防災訓練を行う	6月20日・9月4日	2	394
加茂連合町内会との共催事業	高齢化が進む加茂町内において、安心、安全な暮らしを送るために、電気安全セミナーを行った。	11月28日	1	20
加茂地区社会福祉協議会との共催事業 「いきいき交流会」	高齢化が進む加茂地域の中で、地域が抱える様々な課題などを把握し、情報を共有することで、地域のニーズに合った講演会とポッチャを開催した。	6月22日・7月10日	2	85
ウォークラリーで町探検	町内のチェックポイントを、グループに分かれて回りながら問題を解き、ゴールする体験学習を行った。	12月18日	1	85
加茂地区社会福祉協議会との企画検討会	加茂地区社会福祉協議会と、地域の高齢社会を相互に担っていく環境づくりのために、事業の企画会を開催した。	4月6日・9日・28日・6月22日・7月10日・8月7日	6	45
加茂市民センターまつり	加茂市民センターを拠点に活動しているサークル、地域の各種団体の学習成果を発表するとともに、地域の交流の場となった。	10月23日・24日	2	1,750
地域懇談会	加茂、虹の丘小各地域の各種団体との話し合いの場を設け、情報交換により相互理解を進めるため懇談会を開催した。	1月8日・25日	2	34
ロビートークサロン	一般地域住民の方と気軽に話し合いができる場を設定し、事業運営に関するご意見ご要望を聴き、今後のセンター運営に繋げる	4月20日・9月28日・2月15日	3	13
緑の環境ボランティア入門	センター内の整備、地域の公園の植栽の整備など町の美化運動を行った。	5月29日・6月26日・7月24日・11月27日・2月12日	5	55
ジュニアリーダーと遊ぼう	加茂プレゼントのジュニアリーダーと地域の子どもたちが一緒に活動することで、ジュニアリーダー自身の資質の向上を図ると共に、異年齢交流を促進するためスポーツチャンバラを行った。	7月17日	1	9
市民企画会 「加茂コンサート」を企画しよう	企画委員の持った経験を生かし講座・運営をすることで地域活動への繋がりを広げる。	5月27日～12月17日	13	80
ふれあいロビーギャラリー	センターロビーでの発表・展示を行い、サークル活動の活性化とサークル支援を行った。	6月23日・9月18日・12月9日・2月15日	4	311

高森市民センター

〔 沿 革 〕

当センターは、地域住民の生涯学習活動の中心的施設として平成元年 4 月高森公民館として開館した。その後、機構改革に伴い高森市民センターと改称された。

この地域は、昭和 48 年以降、民間企業によって開発された地域で、閑静な住宅地のほか高森東公園や高森自然公園などには豊富な緑地が残され、自然と調和した美しい街区が特徴的である。

町内会や地域ボランティア団体を中心に、「新しいふるさとづくり」を目指して、四季を通じたイベント等を行い、地域活性化を推進している。その中で、地域への愛着心を育む交流の場として多くの地域住民に利用されている。

〔 特色ある事業 〕

事業名	地域安全マップを作ろう！		
参加者	高森小学校 4 年生・高森東小学校 3 年生	参加延人数	140 人
開催日	全 4 回 6 月 17 日(木)、6 月 22 日(火)、7 月 2 日(金)、7 月 10 日(土)		
協力者・協力団体	特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルズ、地域安全マップサポーター、高森小学校 PTA、高森東小学校 PTA、高森校区子ども会育成会、高森東楽寿会、高森東地区社会福祉協議会、高森児童センター、高森東児童センター、子ども 110 番の家		
ねらい	小学生が、地域内で犯罪の発生が予想される危険な場所を探して歩き、地域安全マップを作成することにより、危険を察知し回避できる能力を身につける。また子ども 110 番の家を探すことで地域での見守りを知る機会とする。		
概要・成果	地域内の小学校と連携し、地域内の諸団体等の協力を得ながら、総合学習の時間に、小学生がグループに分かれ、地域内の危険な場所を探し歩き、地域の安全マップを作成した。またグループ毎にできたマップを基にフィールドワークの成果を発表した。 サポーターや保護者の協力もあり、また 110 番の家の方々にも快く協力いただき子どもを見守る地域の温かさに触れる機会になった。		

〔 平成 22 年度 事業実績 〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
おはなし広場	絵本の読み聞かせを通して子どもが読書に親しむ機会の提供。影絵、絵本を題材とした菓子作りや簡単工作等。	7 月 28 日・9 月 29 日・11 月 5 日	3	42
親子で郷土料理を学ぼう	市民企画会議による実施講座。高森地区の転入者を対象に子どもと一緒に宮城の郷土料理を学び地域への理解と交流を深める。	10 月 23 日	1	8
わくわくチャレンジ工作	普段なかなか体験できない科学工作や風作りを体験し、製作する達成感や感動を親子で共有し絆を深めた。	8 月 5 日・9 月 28 日・10 月 31 日	3	37
伝統行事を学ぼう	地域に伝わる伝統行事、七夕飾りや小正月飾りのだんごさし等を地域のボランティアの協力を得て実施し、伝統の継承と世代間交流を深めた。番外編として猿まわしも実施。	6 月 13 日・11 月 25 日・1 月 8 日	3	245
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るためにリーダーとなる子どもや世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーションの研修。	12 月 4 日	1	90

わら縄をなってみよう！	小学生を対象に地域の縄ないサポーターの指導の下、稲作の産物であるわらをなう体験をし、伝統技術の継承を行い、世代間の交流も図る。	10月22日・11月25日	2	84
地域安全マップを作ろう！	小学生が地域内の犯罪が起こる危険性が高い場所を歩いて探しマップを作成することで危険を察知して回避できる能力を身につける。	6月17日・24日・7月1日・10日	4	140
高森ミニ農園	土作り、堆肥作りから始まる有機栽培の野菜作りに取り組み、食の安全を考える。収穫物で郷土料理や保存食作りも学び交流を深める。	4月10日～11月13日	15	582
地域の技もち人に学ぶ	地域内で特技を持っている人材を活用した講座の実施。地域の方が気軽に講座に参加できる環境を作り、地域住民の交流を図る。	6月30日・7月28日・8月26日・9月4日	4	63
男の台所入門講座	高齢化社会に向けて男性が家事に取組む機会を想定し、家事の自立を目指す。主に料理やごみ出しなどのエコ学習等を行う。	12月18日・25日・1月26日・2月1日	4	59
私のチャレンジタイム～ゆっくり体を動かそう～	子育て講座企画会議による実施講座。運動不足の解消のために気軽に取組めるヨガ等を体験する。また育児中の方の心身のリフレッシュを図る。	10月27日・11月3日・17日	3	68
高森塾	高齢化社会に適応した学習活動を推進し地域のニーズに応じた学習内容を提供する。受講生の親睦を深め健康で生きがいのある生活を支援する。	4月23日～2月25日	10	427
高森福祉地域交流大会「高森ふれあいコンサート」	高森福祉地域交流大会企画会議による実施講座。福祉活動をしているボランティア団体と共に地域の交流大会としてコンサートを開催し音楽を通して地域の交流を深める。	11月27日	1	216
早春コンサート	高森小学校社会学級連携企画会議による実施講座。育児等で忙しくゆっくり音楽を鑑賞する時間がない現状に対してコンサートを開催しゆとりある時間を提供する。社会学級活動の活性化も図る。	3月8日	1	55
地域防災講座「備えあれば憂いなし」	地震等の災害に備え、地域住民が災害発生時にできる様々な支援活動を学ぶ。	11月21日	1	27
高森福祉地域交流大会企画会議	高森東社会福祉協議会に所属し高齢者を対象に福祉活動をしているボランティア団体と連携し地域交流大会を企画する。	6月4日・7月22日・9月17日・11月27日	4	14
高森小学校社会学級連携企画会議	高森小学校社会学級と連携し共通の課題について企画会議を行い、地域に向けて発信する講座を企画する。	5月19日・7月21日・9月30日・3月8日	5	17
星空ミニミニコンサート	地域の人材を活用したコンサートを開催し、気軽に生の音楽に触れる機会を設ける。また地域の音楽活動者の支援をする。	8月20日・10月8日	2	52
高森市民センターまつり	センター利用団体や地域活動団体の生涯学習成果の発表の場として、また地域住民の交流の場としてセンターまつりを開催する。作品展示、舞台発表等。	9月25日・26日	2	4,340
高森地域懇談会	市民センター運営に対する意見交換や地域課題等を地域住民と共有する場として懇談会を開催する。	10月16日・11月2日	2	14
レクリエーションボランティア養成講座	ボランティア活動に理解が深く、余力を地域で活かしたいという方を対象に、レクリエーションの技術を学び地域で活動できるよう育成する。	2月10日・24日・3月3日	3	102
子育て講座企画会議	育児に関するニーズにきめ細かく応えるために、子育てに関心を持つ地域住民や子育て中の方々と、託児付きの講座を企画する。	4月21日・5月19日・6月23日・7月28日・11月17日	5	15
高森市民企画会議	地域住民が自らの知識や経験を生かし、地域課題や多様なニーズに応える講座を企画運営する。	5月12日・6月16日・9月14日・10月23日	4	10
市民センターデビュー	市民センターや地域で活動しているサークル団体の活動を見学、体験する機会を設け、生涯学習への関心を高める。	6月11日	1	20

松陵市民センター

〔 沿 革 〕

松陵市民センターは、泉区の北東に位置する松陵ニュータウン内にあります。松陵・永和台・歩坂町・山の寺・向陽台・明石南の6つの町をエリアとし、県民の森をはじめ、豊かな自然と緑に恵まれています。付近には、街路樹ロードとスポーツ施設のある松陵公園があり、幅広い年齢層の方が自然を愛し、親しんでいる姿が見られます。

当施設は、生涯学習の拠点として、市民に大いに利用され親しまれることを目指して、職員一丸となって事業推進に努力しています。

〔特色ある事業〕

事業名	ウォークラリー		
参加者	一般	参加延人数	81人
開催日	全1回 10月9日(土)		
協力者・協力団体	共催:松陵小・松陵西小校区育成会、松陵小学区民体育振興会、はつらつ遊樹会		
ねらい	地域住民が気軽に参加できるウォークラリーを開催し、地域の交流を深めることで、地域活性化と青少年の健全育成を目指す。		
概要・成果	松陵地区内のコースをコマ図を見ながら廻り、クイズに答えたりしてポイントを競った。ウォークラリー終了後参加者全員で芋煮やおにぎりを食べさらに交流を深めた。小学生とその親の参加が多く、家族間の交流も盛んに行われた。今回は、「いきいき楽々講座」の受講生有志の方や男の料理サークルの方々にもお手伝いいただき、例年とは違う交流が生まれた。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
使えるコミュニケーション術 ～上手なご近所づきあいのために～	地域のつながりや世代間交流を円滑にするためのコミュニケーション術を学ぶ場を提供する。	1月26日・2月9日	2	50
男の料理教室	向陽台地区での要望から出前講座を提供する。同時に高齢者が簡単な食事づくりを体験することにより自立と食への関心を深める。	2月23日	1	11
子どもゼミナール'10	学校では体験しにくい様々なことに挑戦し、創造性を育むとともに年齢を超えた子どもたちの交流をもつ。	7月27日・28日・29日	3	71
松陵っ子土っと来い！スペシャル	長期休みに伴う子どもの居場所作りを目的に工作・運動・料理などの体験学習の場を提供する。	12月4日・1月22日	2	78
昔あそびに挑戦！	小学生を対象に日本文化への知的好奇心を深め高齢者の方々を指導者として世代間交流を図る。	1月29日	1	21
障がい者学習支援講座「松陵ウエルフェアサロン」	障害者が社会参加の適応力を高め、地域住民と交流するための学習の場を提供する。	5月29日・6月27日・8月28日	3	63

いきいき楽々講座 (老壮大学)	高齢者がいきいきと元気であり続けるための生きがい作りや交流を図る場を提供する。	5月14日・6月11日・7月9日・9月10日・10月8日・11月12日・12月10日・1月14日・2月18日	9	390
県民の森でウォーキングと自然観察を楽しもう	地域資源である県民の森を歩くことにより足腰の筋力を鍛錬し、樹木を観察しながら知的好奇心を呼び起こさせ脳の活性化を図る。	10月1日	1	8
クリニカルアート(臨床美術)に挑戦!	絵を描くことで右脳が活性化しプロセスを楽しみながらアートを通してコミュニケーションを豊かにし心身共に健康意識を高める。	11月12日・19日・12月3日・10日	4	44
なごみコンサート'10	センター利用団体等の演奏発表の場作りと共に近隣住民の気軽な来館促進をめざす。	6月5日・7月9日・11月20日・12月18日・1月15日・2月19日	6	205
手話ソング'10	一連の表現による手話ソングを学び、聴覚障害者や手話に対する理解を深める。	9月11日・18日・25日・10月16日・24日	5	53
松陵ふれあい合唱	小学生から成人まで、幅広い年代層共に歌う楽しさを学び、交流を図る。	6月26日・7月10日・24日・9月11日・18日・25日・10月2日・9日・16日・23日	10	238
第19回松陵ふれあいコンサート	小学生から社会人まで、地域の方々が吹奏楽の演奏や合唱のコンサートに参加することで、異世代間交流・地域交流を図る。	10月24日	1	500
第19回松陵ふれあいコンサート合同練習	青少年が地域の社会人との吹奏楽練習を通して、向上心と協調性を高め、異世代間のコミュニケーションを図る。	8月22日・10月11日・17日・23日	4	680
松陵小・松陵西小学校区育成会、松陵小学校区民体育振興会、はつらつ遊樹会共催ウォークラリー	地域諸団体と共催でウォークラリーを開催し、地域活性化と青少年健全育成を図る。	10月9日	1	81
松陵小社会学級・松陵西小社会学級共催事業企画会	地元の2社会学級と連携し、地域活性化のための事業を企画する。	6月4日・7月7日・11月11日・2月15日・3月11日	5	20
企画検討会「松陵っ子土っと来い」	子どもの居場所作りという原点に立ち、子ども主体の事業を企画運営して地域ぐるみで、子育て支援を図る。	5月18日・9月14日・10月20日・2月1日	4	40
第21回松陵市民センターまつり	センター利用団体・地域団体・地域住民の活動発表と地域交流の場を提供する。(11月6日はさっと来いまつりも開催)	11月6日・7日	2	1,500
地域懇談会	地域課題の共有と課題解決のためのための懇談会を開催し、次年度以降のセンター事業に反映させる。	5月21日・6月11日	2	26
市民企画会「めざせ!健康長寿～健康仕掛け人大募集～」	健康維持増進をテーマに企画員を募集し、エリア内の地域交流と健康増進への意識を高める	6月18日～3月4日	12	72
松陵地域記者クラブ	地域情報を収集・発信することで、地域のよさに気づき、地域をよくする意識を高める。	6月5日・19日・7月3日・17日・8月7日	5	18

寺岡市民センター

〔 沿 革 〕

寺岡市民センターは、泉区北西部の大規模団地「泉パークタウン」の西部に位置し、緑豊かな自然が残る寺岡・紫山地区を受け持っている。

寺岡地区は、昭和50年代後半から急速に発展し、団地としては成熟している一方高齢化も進んでいる。新しく造成された紫山地区は、若い世代を中心に住民も年々増加しており、対照的な年齢構成になっている。また、団地周辺には宮城県図書館を始め、宮城大学や仙台白百合学園などの文教施設がある他、2年前には大型商業施設がオープンし、週末や休日には遠方からも人々が集まり賑わっている。今後もますます発展と活性化が期待できる地域である。

〔 特色ある事業 〕

事業名	市民センターのプチ農園で旬の野菜を育てよう		
参加者	小学生親子	参加延人数	211人
開催日	全12回 5月12日(水)、5月19日(水)、6月2日(水)、6月16日(水)、7月7日(水)、7月21日(水)、 8月4日(水)、9月1日(水)、9月15日(水)、10月6日(水)、10月27日(水)、11月6日(土)		
ねらい	スーパーなどでは一年中様々な野菜が売っており、旬の時期が分からなくなっているのが現状である。旬のおいしい野菜を自分たちで育て、食することで野菜に対する興味・関心を喚起するとともに野菜を多く摂取する健康的な生活習慣を身につけられるような食育を進めていく。		
概要・成果	親子で旬の野菜を育て、収穫した野菜を調理して食べることで、食育を進め、食の安全や生産・流通のしくみについて考えた。 プチ農園でつくったじゃがいも・人参・パプリカなどでおいしい夏野菜カレーを作った。また、それまで観察してきたことをまとめて、冊子や壁新聞を作成し、市民センターまつりに展示した。最終回には、収穫祭を行い、冬野菜を親子でおいしく料理した。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
親子でスッキリ！脳力アップ	親子で陶芸や絵手紙の作品作りをして、脳の活性化や親子間のコミュニケーションを深める機会を作る	12月18日・23日	2	50
心と体をメンテナンス～ジャイロキネシスで歪み改善～	体の歪みを矯正する効果があるというジャイロキネシス(ヨガの一種)を体験し、心身のリフレッシュと健康増進、仲間作りを促進する	5月14日・21日・28日・6月4日	4	98
市民センターのプチ農園で旬の野菜を育てよう	親子で旬の野菜を育て収穫した野菜を調理して食べることで、食育を進め食の安全や生産・流通のしくみについても考える	5月12日～11月6日	12	211
地域の施設を探検しよう	地域の施設の裏側を探検し、そこで働く人々の仕事を知ること、子どもたちが社会を知る体験活動とする	7月29日・30日・8月3日・4日	4	66
見直そう！お米の文化	米粉を使った簡単なおやつ作りを通して、日本文化の良さを再確認し、地域で活動する先輩世代から若い世代へ文化や生活の知恵を継承する	11月19日・26日	2	29

もっと上手にコミュニケーション！！	子育て世代の母親を対象に、もっと上手にコミュニケーションをとるためのコツや方法を学び家庭生活で生かすことにより、社会参加への自信や機会に繋げる	1月20日	1	38
おとうさんもがんばって！～日曜大工教室～	大工道具を使い、親子(特に父子)で共同制作することにより物作りの楽しさや、協力することの大切さを学び、親子のコミュニケーションや絆を深める	6月12日・19日・26日	3	29
子ども体験塾～科学工作～	小学生を対象に、身近な科学現象を素材にした実験や工作で科学学習への興味や関心を高める	11月20日・27日・12月4日	3	53
エコにつなげよう！～親子でつくるキャンドルナイト～	親子一緒に環境についての話を聞き、自然素材でキャンドルを作ることにより、環境保全や地球温暖化について考える機会を作る	12月18日	1	22
体験！ハワイアンエクササイズ～こころ・からだ・リフレッシュ！～	日頃ストレスの多い世代を対象に、フラダンスで足腰の強化を図ることによる健康作りと癒しによる脳の活性化や心のリフレッシュを目指す	8月27日・9月3日・10日・17日	4	114
フィンランドの健康法～ノルディックウォーキング～	ノルディックウォーキングによる健康増進と地域の魅力再発見の場とする	9月9日・16日	2	34
男子厨房に入るべし！	料理初心者向けの男性を対象に、朝・昼・晩の食事作りを通して男性の家事への参加を促し、男性同士のコミュニケーションを深め、食と健康との関連について考える機会を作る	1月19日・26日・2月2日・9日	4	63
発見！生き生き女性のライフスタイル	30～40代の子育て世代が「節約」を意識しながら生き生きと生活するためのヒントや工夫を身につける機会を提供する	11月9日・17日・30日・12月7日	4	112
食と環境を考える	「食」を切り口に市民レベルでできる環境保全への取り組みについて学ぶ	6月18日・25日	2	29
多聞塾	シニア世代に生きがい作りの場や社会参加の機会を提供し、地域や仲間同士のコミュニケーションの形成や支えあいの基盤作りをする	5月13日～3月3日	10	566
いざという時のために～救急救命講習～	AEDを含む普通救命講習を学ぶことにより、いざという時にスムーズに対応できるよう備える	10月30日	1	20
寺岡市民センターまつり	サークルや地域諸団体の作品展示や舞台発表を通して、地域住民の交流を深めるとともに、市民センターに足を運んでもらう機会とする	10月23日・24日	2	2,000
夏の夕べのコンサート	地元音楽サークルへの発表の場の提供と地域住民へ市民センター事業への参加を促す	8月29日	1	90
寺岡・紫山懇談会	寺岡・紫山の地域住民との懇談会を開催し、地域課題を抽出し、センター事業に反映させる	6月10日・11日	2	7
ティータイムサロン～市民センターの講座を企画しよう～	地域住民が事業企画に関わることで、住民視点での地域課題を探る	5月26日～12月15日	10	40

長命ヶ丘市民センター

〔 沿 革 〕

長命ヶ丘市民センターは、平成 5 年 4 月に泉区 10 番目の市民センターとして開館された。当市民センターの周囲は昭和 50 年以降に造成された長命ヶ丘団地で形成されている。利用者の約65%が長命ヶ丘地区、25%が近隣地区、残り 10%が他地区からとなっており、地域に密着した市民センターといえる。

地域優先の 13 サークルをはじめ、常時 80 以上のサークルが活動しており、本年度も 48、000 名を超える利用者があった。当市民センターは、子どもから高齢者までのあらゆる住民の層からの支持を得ながら、サークル活動はもとより、地域の生涯学習活動の拠点として定着しており、益々その役割機能は、重要性を増している。

〔特色ある事業〕

事業名	夫婦共学		
参加者	地域住民	参加延人数	73人
開催日	全5回 6月18日(金)、7月16日(金)、9月17日(金)、11月19日(金)、1月28日(金)		
協力者・協力団体	仙台福祉サービス協会 郷土マップ制作の会 ほか		
ねらい	長命ヶ丘地区は高齢化が進み、高齢夫婦の世帯が多くなってきている。 夫婦二人で共に学ぶことにより相手をあらためて見つめなおしこれからの夫婦のあり方や自立を考える機会を提供する。		
概要・成果	夫婦の「現在」と「これから」の話し合いからお互いを再発見。コーチングの指導者のもとでゲームを通して夫婦、友達、隣人について学んだ。 夫婦一緒にペアでの体操として、八乙女から水の森まで散策、手打ちうどんと冷汁の調理実習、いも煮会や茶話会での介護の体験談を聞いたり、話したりしての情報交換など。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て講座	親子のふれあいと絆を深め相互の育ちあう場を提供する	6月3日・8月5日・10月6日・12月1日・2月10日	5	262
休日自然楽校	自然のすばらしさや大きさ楽しさを共感する時間を提供	7月19日・9月26日・11月13日	3	57
仙台みそづくりと食育の話	「仙台みそ」をテーマに、食育活動や日本古来の食文化についての講話を聴き、みその仕込みを体験し、家庭での食育を考える	9月17日	1	14
夏休みあそび場づくり	夏休みをひとりで過ごす子どもを対象にさまざまな体験をする場の提供。	7月21日～8月12日	17	96
フレンドスクール	同じ教室で学ぶ縦割りの学習の場を提供し放課後の居場所作りを行う	5月19日～2月16日	20	226
丘の子夢さがし	夏休みの子どもたちがゲームやワークショップを体験し、自分の未来を考える子どもキャリア講座	8月3・4日	2	12

もっと知りたい長命ヶ丘発歴史の旅	長命ヶ丘を起点に近隣の歴史文化を学び再発見と愛着心を育てる	6月4日・7月9日・9月3日・10月9日・11月12日	5	107
長命より道クラブ	定年後どんな生活をしようかと考えている人達に地域デビューの準備として出会いの場、仲間づくりの場を提供	9月17日・10月22日・11月13日・27日・12月17日	4	78
ノルディック・ウォーキングで健康づくり	中高年にも効率よく運動できるノルディックウォーキングを習得して健康づくり・仲間づくりを促す	11月13日・20日	2	10
夫婦共学	高齢化社会をふたりで元気に暮らしていく為に共に学び時間と感動の共有の場を提供	6月18日・7月16日・9月17日・11月19日・1月28日	5	73
ECO で快適生活を知ろう	エネルギーと企業の取り組みを知る工場見学、不用品を利用したエコバック制作、環境講話を通してエコロジーや環境を考える	11月19日・26日・12月3日	3	21
長命ヶ丘町内の達人	スキルある住民を講師として活躍してもらう機会と場を提供	12月26日・1月26日・2月12日	3	52
長命大学	街づくりに活躍してきた高齢者にたいしてこれからの生活を生き生きと過ごすために学習に取り組む場を提供	5月20日～2月17日	10	521
長命ヶ丘市民センターまつり	・学習成果の発表機会の提供・地域住民の交流できる場の提供	10月16・17日	2	2,000
長命七タコンサート	地域のコンサートとして質の高い芸術文化にふれることができ住民の憩いの場・交流の場となるよう開催	7月3日	1	160
長命ヶ丘春の音楽祭	長命ヶ丘は音楽活動の盛んな街である。センターにとどまらず発表の機会を提供した	4月17日	1	160
長命ヶ丘地域活性化懇談会	地域課題として取り上げられている地域活性化に関して具体的な提案について意見交換をおこなう。	6月14日	1	9
ガーデニングのいろは	地域で堆肥づくりを広め実践している。堆肥作りからはじめ花を咲かせる技術を習得し地域に還元できるよう支援する	5月26日・6月23日・7月21日・9月28日・10月26日	5	66
めざせ！町の新聞記者	長命ヶ丘の街の様子を広報紙として内外に知らせる事を目的として技術を学び情報発信できるよう支援する	11月26日・12月3日・10日	3	20
子どもの未来を考える企画会	子どもたちの生活環境に関わる現代的課題の中から取り組む課題を検討し、講座を企画する	5月13日・27日・6月10日・24日・7月8日・22日・8月27日・9月16日・30日	7	32

松森市民センター

〔 沿革 〕

当市民センターは平成12年1月、鶴が丘中学校区施設として泉かむり訪問看護ステーション、コミュニティ防災センターと併設し、泉区内11番目の市民センターとして開館した。

市民センターの北側に、戦国時代の武将である国分氏が居を構えた松森城跡を仰ぎ、北東には鶴が丘団地、東西に細長く松森地区がある。近年大型店舗の進出や幹線道路の整備が進み人口増加の傾向にある。一方南側は、一面広大な田園地帯となっており、七北田川・仙台バイパスまで眺望が広がり、自然環境にも恵まれている。施設の特徴としては、市民が気軽に利用できる親子室・娯楽室・図書室・市民活動室や広々としたラウンジがある。地域のニーズに応える生涯学習の拠点施設として、相互交流の輪を持てる多様な事業を提供・支援している。

〔 特色ある事業 〕

事業名	まなこみネット鶴が森推進事業 「巨大紙相撲鶴が森場所 2010」「冬のお楽しみ会」		
参加者	小学生、地域住民	参加延人数	135人 450人
開催日	全2回 7月19日(月)、1月8日(土)		
協力者・協力団体	鶴が丘中学校、鶴が丘小学校、松森小学校、鶴が丘児童センター 鶴が丘中学校親父の会、松森・鶴が丘学区民体育振興会、クレイン 鶴が丘小学校区社会学級、松森小学校社会学級 鶴が丘中学校区健全育成推進協議会		
ねらい	まなこみネット鶴が森推進委員会で企画された事業。市民センターが核となり、地域の団体と連携してネットワークを広げ地域活性化を図る。子供達の健やかな育ちを支援し、さらに世代間交流を行う。		
概要・成果	「巨大紙相撲鶴が森場所 2010」 子どもから大人まで一緒にダンボールで巨大力士を作成し、鶴が森場所を開催。 「冬のお楽しみ会」 小正月の行事(もちつきとだんごさし)を地域のお年寄りから学ぶ。 巨大紙相撲は2回目、もちつきとだんごさしは4回目となり、どちらも多くの親子が参加した。 毎回関わってくださるボランティアスタッフも多く、まなこみが地域の行事として定着している。 また学校とも連携し、多くの中学生ボランティアが活躍した。		

〔 平成 22 年度 事業実績 〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
仙台的伝統食文化を学ぼう	食育をテーマに、仙台白菜と仙台味噌の原料である大豆について、ひいては伝統食について、実際に畑での作付けや高校での調理実習などを体験しながら学んだ。	6月12日・8月7日・10月2日・12月4日・1月8日・2月19日	6	186
子育てママの企画会実施講座	子育て中の悩みのひとつでもある腰痛解決のための「ママのリフレッシュ骨盤体操」と子育て中の音楽グループによる「ピロロの愉快的コンサート」を実施	12月9日・14日	2	86
ジュニアちゃれんじ！	マンガや科学実験、ネイチャークラフトなどの小学生向けの事業を展開し、子供の自主性や想像力を育成するため体験活動の場を設けた。	7月24日・31日・9月4日・11日・18日・2月26日	6	64
鶴が丘・松森社会学級共催事業「ハーブでリラックス」	忙しい現代人のために健康とやすらぎをテーマに気分をリラックスするためのハーブの効用について学んだ。	9月2日	1	31

鶴が森「温故知新」～時空を超えて～	松森・鶴が丘地域の歴史を、現地踏査をしながら検証し、歴史マップ及び歴史レポートを作成した。最終回は震災のため中止となった。	5月28日・6月25日・7月23日・8月27日・9月30日・10月29日・11月26日・2月26日	8	76
笑顔でいきいきヨーガ入門編	心身ともに健康で生き生きとした暮らしが出来るように、楽しく簡単に継続していけるヨーガの入門編を行った。	1月20日・27日・2月3日・10日	4	103
学校へ行こう	身近にある学校資源の活用として、開放日や夏休みに空き教室を利用して、科学実験、パソコンの基礎、調理実習を教師に模擬授業してもらった。	7月7日・8月4日・5日・11月12日	4	48
城前大楽	地域の高齢者に生涯学習の場を提供し、また話し合いの場をつくり参加者同士がふれあい、親睦を深めさらに自主活動ができ心豊かな生活が送れる講座をおこなった。	4月22日～2月24日	10	355
松森ラウンジコンサート	地域の人材やサークルに演奏発表の場の提供と、地域の方々の気軽な来館を目指すことができた。	5月22日・6月26日・7月23日・10月23日・11月21日	5	115
まつもりゆるゆるアートまつり	地域に居住する音楽家や市内の高校生、おもちゃ修理サークル、ゲームサークルなどが自らのアート活動を館内で発表し、地域住民と交流した。	12月5日	1	90
市民企画講座 コンサート in まつもり	身近な施設で気軽に音楽に触れる機会と交流の場を提供し、来館のきっかけづくりとした。MJOの演奏と、ボーカル等を取り入れ企画委員、演奏者、参加者の交流も図られた。	9月5日	1	100
まなこみネット鶴が森推進事業「巨大紙相撲鶴が森場所2010」「冬のお楽しみ会」	「まなこみネット鶴が森推進委員会」の中で企画立案した2事業を実施し、地域の活性化や子供と地域住民の交流などを図った。	7月19日・1月8日	2	450
(学びのコミュニティづくり推進事業)まなこみネット鶴が森推進委員会	市民センターが核となり、地域の様々な団体が連携し、子供たちの健全育成と地域の活性化を図るため、夏と冬に2事業を企画立案した。	4月21日・5月26日・6月22日・7月28日・8月25日・9月29日・10月28日・2月9日	8	135
第9回 松森市民センターまつり	市民センターで活動するサークルの学習発表の場を提供し、地域住民との交流を促進した。また、実行委員会を組織し、自分たちの「まつり」であることを確認し、地域の輪を意識した「まつり」を実施した。	10月17日	1	2,100
鶴が森コミュニティサロン	地域ニーズ・地域課題を話し合い、その解決を主なテーマとし、地域の変化・情報などの交流の場とした。	2月12日	1	55
図書ボランティア養成講座「本は素敵なパートナー」	読書推進活動のため、ブックトークや読み聞かせ等行い、図書ボランティアの人員確保と現在活動しているボランティアのスキルアップを図った。	6月4日・11日・17日	3	45
コンサート in まつもり「企画会」	身近な施設で気軽に音楽に触れる機会を提供し、地域住民の交流の場として市民センターを気軽に訪れるきっかけづくりのため、コンサートを企画した。	5月18日・6月22日・7月13日・9月5日	4	17
子育てママの企画会	地域に住む子育て中の母親が企画員となり、今子育て中に必要としている情報や体験を出し合って、2つの講座を企画立案した。	5月25日・6月8日・22日・9月14日	4	27
社会学級共催企画会議	松森市民センター管内にある2つの小学校の社会学級と市民センターが、現状に即した諸問題について企画会議を開催し、意見交換を行った。	6月3日・10日・30日・9月2日	4	21
サークル一日体験	市民センターで活動するサークルの様子を地域の方々に紹介した。地域での自分探しとなり交流するきっかけとなった。	4月27日・28日・5月8日・15日・22日	5	14

桂市民センター

〔 沿 革 〕

桂地区は仙台市の北西部に位置し、緑に囲まれた住宅と高層マンションで構成される新興住宅団地であり、高齢化率 11.7%と比較的若く活気にあふれた街である。一方、将監地区は昭和 40 年代に開発された歴史の古い団地で年々高齢化が進んでいる。

児童センターとの併設館ということもあって利用者の年齢層は乳幼児から高齢者まで幅広い。開館以来、これらのさまざまな年齢層の地域住民と地域団体を意識した事業を展開し、利用者増と生涯学習の拠点を目指して取り組んできた。22 年度は、将監地区との交流と連携を目指すとともに、桂地区の諸団体とは更なる連携を深めながら生涯学習環境の整備・拡充に努め、自主的学習意欲に応えられるよう市民参画や学社連携の輪を広げていく。

〔 特色ある事業 〕

事業名	市民企画講座 桂ロビーコンサート 音楽が生まれる街～地域をつなぐ		
参加者	一般	参加延人数	755人
開催日	全7回 7月4日(日)、7月8日(木)、9月8日(水)、10月9日(土)、11月27日(土)、12月5日(日)、3月6日(日)		
ねらい	市民企画によるロビーコンサートを開催する。音楽関係利用団体に練習成果発表の場を提供するとともに、地域の音楽家の掘り起こし、より質の高い音楽の提供、地域住民相互交流の一助とする。		
概要・成果	企画委員5名が、企画会議を経て6回のコンサートを企画した(7回目は、仙台市市民文化事業団との共催、街角コンサート)。日韓若手音楽家コンサートや地域の高校生によるバイオリンコンサートなど、質の高い音楽が提供された。音楽が生まれる街～桂というものが、地域全体に広まってきており、地域を音楽が結ぶ役割を果たしている。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
桂の森のキッズランド	桂こどもの城保育園・桂地区社協・桂児童センターと連携して2回開催。第1回みんな一緒に楽しもう！人形劇「お家にお帰りオオカミちゃん」第2回はじめてのお出かけクラシック	9月15日・11月17日	2	450
桂ジュニアカレッジ	小学生対象に6回開催。第1回カレーを作ろう 第2回囲碁に挑戦 第3回ジュニアリーダーと遊ぼう 第4回実験してみよう 第5回ネイチャークラフトに挑戦 第6回ニュースポーツに挑戦	6月26日・7月24日・8月28日・9月25日・11月27日・1月7日	6	134
桂子ども交通安全教室	桂小学校・育成会・泉警察署・泉区役所区民生活課と連携して2回開催。第1回小学生対象に自転車の正しい乗り方・交通規則を学習。第2回幼児・高齢者を対象に交通規則の学習。	6月12日・16日	2	126
みんなでりサイクル！「竹キャンドルを作ろう！」	「男組企画会議」で企画された講座。一度使用したろうそくを溶かし新たなろうそくを作り、竹の中に入れて飾る。	11月20日	1	19
桂自然塾 アウトドアに挑戦しよう	第1回講話「安心・安全な中高年の登山」第2回館外学習：銅谷・堂所・堂庭廃寺散策第3回館外学習：桑沼・氾濫原散策第4回館外学習：泉ヶ岳登山第5回蕃山登山	4月17日・24日・5月22日・10月23日・11月6日	5	69

あなたの暮らしを守る～いざという時のために	第1回講話「成年後見人制度について」第2回講話「今から考えよう老い支度」第3回講話「地域で違う葬祭いろいろ」	1月12日・19日・26日	3	57
あなたは大丈夫！？<骨粗しょう症>	第1回講話「骨粗しょう症について」第2回実技「骨粗しょう症予防の軽体操」第3回調理実習「予防・改善のための調理」	10月13日・20日・27日	3	61
仙台を知ろう	第1回講話「仙台ってどんな街！？」第2回講話「仙台の歴史と七夕祭り」第3回実技「ミニ七夕作り」第4回調理実習「仙台の郷土料理」	6月15日・22日・29日・7月6日	4	49
地球にやさしい暮らし方	第1回講話「地球温暖化と私たちの暮らし」第2回館外学習「環境施設見学」第3回調理実習「エコクッキングに挑戦」第4回講話「地球とマイホームにやさしい掃除」	9月3日・10日・17日・10月1日	4	75
国際交流講座～仙台の姉妹都市巡り	第1回講話「姉妹都市と友好都市」第2回講話「光州広域市：世界美術博覧会・ピエンナーレ」第3回調理実習「メキシコ調理」	12月3日・10日・17日	3	65
ランクアップ！コミュニケーション講座	桂小学校区社会学級連携事業「構成的グループエンカウンターによるワークショップ」	11月26日	1	56
桂友くらぶ	第1回講話「食べるを科学する」第2回講話「遠野物語」第3回コンサート「琴の調べ」第4回仙台市博物館見学第5回実技「絵手紙」第6回齋藤産土美術館見学第7回講話「積極的に生きる」第8回実技「レクリエーション」第9回講話「わが心の安重根」第10回一人芝居「人生いろいろ笑いが大事」	5月13日～2月10日	10	533
わくわくドキドキ シニアのパソコン講座	東北電子専門学校学生による指導。マイカレンダー作り	7月28・29・30日	3	57
桂ロビーコンサート	第1回七夕コンサート第2回琴の調べ第3回目・韓若手音楽家交流コンサート第4回高校生バイオリニストによるコンサート第5回ピアノ・フルート・ピアノアンサンブル第6回室内管弦楽クリスマスコンサート第7回街角コンサート	7月4日・8日・9月8日・10月9日・11月27日・12月5日・3月6日	7	755
桂地区「地域防災訓練」	桂連合町内会共催事業避難場所集合、濃煙体験、AED・応急措置訓練、消防はしご車放水訓練、非常食配給	9月12日	1	1,200
桂文化祭	利用サークルのステージ発表・作品展示、バザー、出店、抽選会、餅まき、児童センターまつり	10月16日	1	3,000
桂 地域懇談会	桂地域・各団体の現状と課題、及び桂文化祭について懇談	5月18日	1	9
あなたもストリートアーティスト「バルーンアート」	バルーンアートの技術を習得	10月2日	1	10
ネイチャークラフトボランティア養成講座	第1回講話「自然素材のクラフト製作」第2回実技「材料集め」第3回実習「道具について」第4回実習「教材準備の仕方」第5回実習「作ってみる」第6回講話「指導の仕方」	5月27日・8月26日・10月28日・11月25日・12月16日・1月27日	6	40
市民企画講座「男組企画会議」	第1回企画持ち寄り検討第2回企画の絞込み第3回役割分担決め第4回最終打ち合わせ第5回反省会	5月29日・6月26日・7月21日・9月4日・12月11日	5	11
桂ロビーコンサート企画会議	第1回情報交換第2回企画立案第3回詳細打ち合わせ第4回反省会	5月11日・18日・25日・12月5日	4	13

南中山市民センター

〔 沿 革 〕

当市民センターは南中山団地の中心部に位置し、南中山中学校校区における南中山、北中山、西中山の3連合町内会傘下16町内会を対象範囲としている。さらに、新規住宅の建築も盛んで人口も増加傾向にある。

当市民センターは、昭和59年にオープンした「泉中高年齢労働者福祉センター(サンライフ泉)」が平成15年3月をもって閉館した後、施設改修を行い、平成15年11月13日に「南中山市民センター」としてリニューアルオープンした。地域には障害者関係教育機関があり、住民や小中学生、大学生などと障害者との交流も活発に行われるなど、地域住民の市民活動も活発で、市民センター活動への期待と関心も大変高い。

〔 特色ある事業 〕

事業名	8ミリフィルム観賞会を開こう		
参加者	成人	参加延人数	企画会:42人 鑑賞会:65人
開催日	全11回 10月16日(土)、11月20日(土)、11月27日(土)、12月11日(土)、12月15日(水)、 1月8日(土)、1月12日(水)、1月29日(土)、2月5日(土)、2月16日(水)、2月19日(土)		
協力者・協力団体	連携:せんだいメディアテーク		
ねらい	昭和の様子を記録した8ミリフィルム観賞会の企画・運営を市民参画の形で行うことにより、自ら学びの場を創造することの楽しさや必要性を知ってもらう。		
概要・成果	公募で募った企画員は皆、8ミリや映写機の扱いに慣れており、鑑賞会の実施に向けて積極的な意見が交わされた。 地域の方から提供していただいた8ミリフィルムをデジタル化し、上映座談会を実施することで、地域の方々の世代の方と仙台の記憶を共有し、住民同士のコミュニケーションづくりにつながった。 鑑賞会には、地域住民はもとより、区内、市内からも多くの来場者を得ることができた。また、企画員のアイデアで会場内に設置した8ミリフィルム関連機器の展示には、多くの方が興味を示した。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママのほっとサロン	紙芝居、エブロンシアター、親子体操、育児講話、アロマオイルのお話、おさんぽ、クリスマス会、手作りおもちゃづくり、人形劇	5月28日～2月25日	10	262
わくわくこどもチャレンジ	学ぶ楽しさを知ってもらうために、工作と科学実験、ブックトーク、茶道、料理、ジャグリング等を体験。	通年	6	114
長谷倉川でともだち交流会	安全な川遊びの講習、魚のつかみ取り、魚焼き体験	9月4日	1	32
親子で体験！門松をつくろう	ミニ門松づくり	12月26日	1	59
南中山・北中山小学生交流会	綱引き大会、餅つき大会、交流食事会	1月15日	1	88
さわやか健康塾～らくらくリフレッシュ	託児付で健康講話とフィットネスを実施。	9月7日・14日・28日	3	55

いずみ中山交流事業 創ろう・語ろう・わがまち	光明支援学校の工房で紙すきをして、学校見学。すいた紙で絵手紙体験と交流会を実施した。作品はセンターまつりで展示。	7月30日・9月8日	2	26
いずみ中山地域人材講座 わがまちみんなの輪	地域在住の方を講師に迎え、海外生活の体験談、学コミの活動紹介とジャンボのりまき作り、新しいお寺の在り方等の講話を実施。	6月12日・10月23日・1月29日	3	149
8ミリフィルム鑑賞会	昭和の様子を記録した8ミリフィルムの鑑賞会	2月19日	1	65
かがやきカレッジ	コンサート、科学実験、川柳、辻標めぐり、健康体操、脳トレ、小正月行事のだんごさし等を実施。	5月14日～3月4日	10	414
いずみ中山すずなりコンサート	地域の方が出演する地域ぐるみの音楽発表会。夏に4サークルの発表。冬に南中山中学校吹奏楽部とジャズオーケストラの共演を実施。	7月3日・11月27日	2	280
南中山・北中山小学生交流会実行委員会	南中山・北中山小学生交流会の企画・検討	4月24日・5月29日・6月26日・7月24日・8月28日・9月25日・10月30日・11月27日・1月15日	9	162
(学びのコミュニティづくり推進事業)まなびねっといずみ中山推進委員会	まなびねっと「いずみ中山」で実施する事業の企画・検討	4月24日～2月26日	14	252
南中山市民センターまつり	地域の学校・団体・市民センター利用サークルの発表、授産施設の販売、あそびのコーナー	11月6日・7日	2	2,370
地域懇談会	地域交流講座参加者との懇談会、地域の学校関係者との懇談会、町内会関係者との懇談会を実施。	9月8日・12月4日・3月5日	3	36
いずみ中山愛菜ボランティア講座～野菜を作ろう	畑を100坪に広げ、10種類の野菜を栽培。子どもの講座にじゃがいもやきゅうりを提供し、地区社協のふれあい食事会にも新鮮な野菜を提供した。	4月28日～3月3日	10	223
ジュニアリーダーとあそぼう	ジュニアリーダーの指導による小学生のゲーム交流	7月24日	1	18
団塊の世代の井戸端会議	「生き生きと生きるために」をテーマに、館長講話から検討会、各自の思い等話し合った。	5月29日・6月26日・8月28日	3	23
8ミリフィルム鑑賞会を開こう	昭和の様子を記録した8ミリフィルム鑑賞会の企画	10月16日～2月19日	11	42

IV 資 料

1 市民センターの予算

<歳 出>

〔市民センターにかかる経費〕

単位:千円

		平成18年度(決算)	平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	平成21年度(決算)	平成22年度(予算)
地域社会教育事業費(※)		543,340	525,437	519,892	520,686	560,499
市民センター 施設費	運営管理費	1,303,032	1,317,349	1,294,120	1,240,579	1,306,412
	施設整備費 ・改築費等	445,307	934,984	313,747	964,852	1,250,977
合 計		2,291,679	2,777,770	2,127,759	2,726,117	3,117,888

※地域社会教育事業費 内訳

単位:千円

		平成18年度(決算)		平成19年度(決算)		平成20年度(決算)		平成21年度(決算)		平成22年度(予算)	
		拠点館	地区館	拠点館	地区館	拠点館	地区館	拠点館	地区館	拠点館	地区館
各種 講座等	家庭教育 推進事業	491	5,017	413	5,634	573	4,997	423	5,036	475	5,246
	青少年健全 育成事業	5,283	4,362	4,176	3,969	3,436	3,322	2,153	3,341	1,652	3,957
	成人学習 振興事業	606	5,385	639	5,730	332	6,143	309	8,029	313	6,436
	高齢者学習 振興事業	691	4,352	738	5,060	555	4,426	548	5,019	570	4,701
	地域社会教育 推進事業	2,188	5,673	2,202	5,278	1,631	4,810	782	4,245	3,573	4,947
	民間指導者 育成事業	3,113	2,987	2,858	2,101	1,811	2,578	1,287	3,013	1,878	2,799
	学習情報 提供事業	1,604	1,836	1,869	1,982	841	2,624	689	108	995	914
	若者によるまち づくり実践塾									1,050	
	小 計	13,976	29,612	12,895	29,754	9,179	28,900	6,191	28,791	10,506	29,000
学習情報提供事業 (情報コーナー・学習 情報提供システム関係)		17,257		16,101		15,151		14,966		16,213	
その他事務経費		13,407	469,088	12,586	454,101	11,159	455,503	20,305	450,433	12,785	491,995
合 計		44,640	498,700	41,582	483,855	35,489	484,403	41,462	479,224	39,504	520,995

<歳 入>

単位:千円

	平成18年度(決算)	平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	平成21年度(決算)	平成22年度(予算)
市民センター使用料	166,024	161,933	158,929	152,448	162,295

2 平成22年度 市民センター職員数

(平成22年6月1日現在)

 部分は嘱託職員

 内部で兼務

 外部と兼務

青葉区

	職名 館名	教 育 委 員 会											(財)ひと・まち交流財団						合 計	総 計
		セン ター 長	セン ター 次 長	係 長	主 査		主 任		主 事		正職員以外		合 計	(常勤嘱託) 館長	事業職員			非常勤嘱託		
					社会 教育主 事	主 査	社会 教育主 事	主 任	社会 教育主 事	主 事	臨時 職員	専門 員			主 任	事業 職員	事務 常勤 嘱託 職員			
1	青葉区中央	1		1	3		1	3				1	10	兼1.	1	5		2	8	18
2	柏 木												0	1		5		1	7	7
3	広 瀬												0	兼1.	1	2			4	4
4	宮城西												0	1	1	2		1	5	5
5	北 山												0	0		0			0	0
6	福 沢												0	1	1	3		1	6	6
7	旭ヶ丘												0	1	1	2	1	2	7	7
8	三本松												0	1		4		1	6	6
9	片 平												0	1	1	3		兼1.	5	5
10	大 沢												0	1		4		1	6	6
11	水の森												0	1	1	3			5	5
12	貝ヶ森												0	1	1	3		1	6	6
13	落 合												0	1	1	3		1	6	6
14	中 山												0	1		4		1	6	6
15	折 立												0	1		3	1	1	6	6
16	吉 成												0	1	1	3		1	6	6
17	木町通												0	1		3	1	2	7	7
	小 計	1	0	1	3	0	1	3	0	0	0	1	11	16	10	52	3	16	96	106

宮城野区

1	中 央	1	1	兼1.	4	2		2		3	1	0	15	兼1.	1	7		2	10	25
2	高 砂												0	1		4		1	6	6
3	岩 切												0	1	1	3		1	6	6
4	鶴ヶ谷												0	1	1	3		1	6	6
5	榴岡(軽体育館含む)												0	1	1	5	1	2	10	10
6	東 部												0	1		4		1	6	6
7	幸 町												0	1	1	3		1	6	6
8	田 子												0	1	1	3		1	6	6
9	福 室												0	1		4		1	6	6
	小 計	1	1	0	4	2	0	2	0	3	1	0	14	8	6	36	1	11	62	77

若林区

1	若林区中央	1		1	2			2				1	7	兼1.	1	3	0	0	4	11
2	七 郷												0	1		4		1	6	6
3	荒 町												0	1		3	1	1	6	6
4	六 郷												0	1	1	1		1	4	4
5	若 林												0	1	1	3		1	6	6
6	沖 野												0	1		4		1	6	6
	小 計	1	0	1	2	0	0	2	0	0	0	1	7	5	3	18	1	5	32	39

太白区

		教 育 委 員 会										(財)ひと・まち交流財団								
	職名 館名	センター長	センター次長	係長	主 査		主 任		主 事		正職員以外		合 計	(常勤嘱託)館長	事業職員			非常勤嘱託	合 計	総 計
					社会教育主事	主 査	社会教育主事	主 任	社会教育主事	主 事	臨時職員	専門員			主 任	事業職員	事務常勤嘱託職員			
1	太白区中央	1		1	3	1	1				1		8	兼1	1	3	0	0	4	12
2	中田												0	1		3	1	1	6	6
3	生出												0	1	1	2	1	1	6	6
4	秋保												0	1	1	4		1	7	7
5	馬場												0	兼1	兼1	兼4		兼1	0	0
6	湯元												0	兼1	兼1	兼4		兼1	1	1
7	西多賀												0	1	1	3		1	6	6
8	八本松												0	1		4		1	6	6
9	八木山												0	1	1	3		1	6	6
10	山田												0	1	0	3	1	1	6	6
11	茂庭台												0	1		4		1	6	6
12	東中田												0	1		4		1	6	6
13	柳生												0	1		3	1	1	6	6
14	富沢												0	1		4		1	6	6
	小 計	1	0	1	3	1	1	0	0	0	1	0	8	11	5	43	4	12	72	80

泉 区

1	泉区中央	1		1	2			3			1		8	兼1	1	5		2	8	16
2	根白石												0	1		4		1	6	6
3	南光台												0	1	1	3		1	6	6
4	黒松												0	1		4	0	2	7	6
5	将監												0	1		4		1	6	6
6	加茂												0	1	1	3		1	6	6
7	高森												0	1	1	2		1	5	6
8	松陵												0	1		4		1	6	6
9	寺岡												0	1		4		1	6	6
10	長命ヶ丘												0	1	1	3		1	6	6
11	松森												0	1		2	2	2	7	7
12	桂												0	1		4		1	6	6
13	南中山												0	1		4		1	6	6
	小 計	1	0	1	2	0	0	3	0	0	1	0	8	12	5	46	2	16	81	89

総 計

		教 育 委 員 会											(財)ひと・まち交流財団						
	職名 <																		

3 平成22年度 主催講座の事業別実施状況

区 名		青 葉 区														
館 名		青葉区中央	柏木	北山	福沢	旭ヶ丘	三本松	片平	水の森	貝ヶ森	中山	折立	広瀬	宮城西	大沢	落合
事業																
家庭教育推進事業																
(例) 子育て支援講座 親子ふれあい教室 食育講座 思春期親学 プレババママ講座 絵本よみきかせ講座	講座数	3	2	0	1	0	1	2	3	2	3	2	1	1	3	4
	回 数	11	8	0	6	0	3	7	31	3	8	6	7	1	19	14
	参加者数	138	122	0	173	0	48	142	1,014	71	133	56	213	12	280	309
青少年健全育成事業																
(例) インリーダー研修 子どもの広場 キッズクッキング 夏休みチャレンジ講座 子ども体験塾	講座数	8	3	1	4	4	4	6	2	5	4	3	3	2	2	3
	回 数	58	10	1	9	7	8	20	7	18	11	6	5	5	4	6
	参加者数	3,251	195	45	173	999	791	511	157	442	337	338	490	186	80	278
成人学習振興事業																
(例) 自然体験教室 エコライフ講座 裁判員制度講座 男の料理教室 パソコン・デジカメ教室 社会教育実習生の受入	講座数	9	4	0	3	4	3	4	3	4	7	1	3	6	1	2
	回 数	179	18	0	8	12	15	13	24	12	20	7	28	26	9	11
	参加者数	7,431	351	0	168	308	247	286	173	265	366	60	510	511	172	173
高齢者学習振興事業																
(例) 明治青年大学 老壮大学 健康づくり教室 介護予防教室 シニアパソコン教室	講座数	0	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2	1	1	2	1
	回 数	0	12	7	12	12	10	19	10	20	13	18	7	8	12	12
	参加者数	0	775	174	680	1,348	406	237	763	836	356	479	404	367	370	298
地域社会教育推進事業																
(例) 市民センターまつり 地域懇談会 学びのコミュニティ関連事業 地域防災教室 社会学級連携事業 地域(自然・伝統)を知る講座	講座数	13	4	1	7	12	6	4	7	7	5	9	10	3	7	7
	回 数	105	8	1	20	38	17	8	24	15	9	27	77	6	20	21
	参加者数	5,321	625	15	1,257	3,287	1,947	622	2,809	3,738	2,437	1,570	5,621	2,023	2,926	3,290
民間指導者育成事業																
(例) 各種ボランティア育成講座 各種ボランティア活動支援 ジュニアリーダー育成支援 子ども広場サポーター養成講座	講座数	5	2	1	3	2	3	2	2	2	2	2	2	0	3	2
	回 数	159	12	1	14	7	16	20	13	16	11	6	16	0	16	12
	参加者数	792	211	40	77	95	94	171	172	164	102	46	239	0	69	50
合 計		38	16	4	19	23	18	20	18	22	23	19	20	13	18	19
		512	68	10	69	76	69	87	109	84	72	70	140	46	80	76
		16,933	2,279	274	2,528	6,037	3,533	1,969	5,088	5,516	3,731	2,549	7,477	3,099	3,897	4,398

2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は「小計」及び「総計」欄では1事業として計上しています。

(※1)青葉区中央市民センターと各地区館の共催による「インリーダー研修会」、旭ヶ丘市民センターと三本松市民センターの共催による講座「アスリートたちの熱い生き方」

(※2)旭ヶ丘市民センターと三本松市民センターの共催による「台原中学校PTA共催事業企画会議」

(※3)中央市民センターと各地区館の共催による「インリーダー研修会」

(※4)高砂市民センター・田子市民センター・福室市民センターの共催による事業「郷土七北田川下流域過去から未来へ」

(※5)若林区中央市民センターと各地区館の共催による「インリーダー研修会」

(※6)若林区中央市民センター・若林区市民センター・荒町市民センター・六郷市民センターの共催による「若林区民文化セミナー」、若林区中央市民センターと沖野市民センターの共催による連携モデル事業「ザリガニ釣り」

			宮 城 野 区										若 林 区							
吉成	木町通	小計	中央	高砂	岩切	鶴ヶ谷	榴ヶ岡	東部	幸町	田子	福室	小計	若林区 中央	七郷	荒町	六郷	沖野	若林	小計	
1	1	30	6	3	6	1	3	2	2	2	1	26	3	1	1	0	1	1	7	
2	10	136	28	11	14	4	8	10	6	5	7	93	6	3	3	0	4	3	19	
17	104	2,832	332	275	556	102	119	172	118	86	52	1,812	198	25	41	0	81	47	392	
(※1)			(※3)										(※5)							
3	4	52	5	4	3	5	4	6	2	5	4	30	8	3	3	3	4	3	23	
12	21	199	22	33	21	21	12	23	8	21	18	171	18	9	51	7	11	9	99	
260	380	7,093	1,130	1,359	571	1,170	623	680	158	730	210	6,202	1,386	200	376	156	566	573	2,864	
			(※4)																	
2	5	61	6	5	4	2	2	3	5	4	3	32	7	9	3	3	3	5	30	
14	11	407	23	19	14	16	7	10	29	24	13	143	138	21	13	3	10	15	200	
291	156	11,468	339	439	174	162	69	105	315	568	477	2,080	3,503	309	670	192	250	292	5,216	
1	1	21	2	1	2	2	1	2	1	1	2	14	3	1	2	1	3	1	11	
11	8	191	39	10	22	14	12	19	11	10	12	149	25	11	16	3	22	12	89	
437	406	8,336	10,683	2,030	1,154	812	944	397	500	580	708	17,808	1,730	993	809	217	825	974	5,548	
(※2)													(※6)							
8	4	113	12	3	6	6	12	4	5	8	6	62	16	6	5	3	3	5	33	
13	14	418	54	9	14	16	49	11	26	45	18	242	50	17	26	5	6	12	110	
1,472	935	39,786	3,614	9,686	2,181	3,168	3,037	1,187	3,346	3,843	3,172	33,234	4,658	15,238	1,590	540	6,010	3,057	30,460	
4	3	40	14	2	2	2	3	2	2	2	2	31	4	3	2	1	3	4	17	
22	15	356	65	9	9	10	18	9	15	6	24	165	34	10	9	1	15	23	92	
312	82	2,716	1,655	114	90	76	142	72	76	53	182	2,460	364	157	75	12	347	179	1,134	
19	18	317	45	18	23	18	25	19	17	22	18	195	41	23	16	11	17	19	121	
74	79	1,707	231	91	94	81	106	82	95	111	92	963	271	71	118	19	68	74	609	
2,789	2,063	72,231	17,753	13,903	4,726	5,490	4,934	2,613	4,513	5,860	4,801	63,596	11,839	16,922	3,561	1,117	8,079	5,122	45,614	

区 名		太 白 区												
館 名		太白区 中央	生出	中田	西多賀	八本松	八木山	山田	茂庭台	東中田	柳生	秋保	富沢	小計
事 業														
家 庭 教 育 推 進 事 業														
(例) 子育て支援講座 親子ふれあい教室 食育講座 思春期親学 プレパパママ講座 絵本よみきかせ講座	講座数	4	0	2	1	2	2	1	2	2	1	1	5	23
	回 数	19	0	8	4	14	2	3	5	7	4	3	17	86
	参加者数	872	0	119	52	648	72	55	218	134	33	52	1,169	3,424
青 少 年 健 全 育 成 事 業		(※7)												
(例) インリーダー研修 子どもの広場 キッズクッキング 夏休みチャレンジ講座 子ども体験塾	講座数	7	3	6	4	3	6	3	3	5	4	4	3	49
	回 数	60	6	19	16	7	39	10	8	24	17	8	21	224
	参加者数	2,675	266	814	499	358	1,009	208	427	655	268	232	873	7,582
成 人 学 習 振 興 事 業														
(例) 自然体験教室 エコライフ講座 裁判員制度講座 男の料理教室 パソコン・デジカメ教室 社会教育実習生の受入	講座数	3	4	3	6	1	1	6	1	5	5	5	3	43
	回 数	16	28	8	14	3	10	21	3	14	63	40	8	228
	参加者数	188	452	159	312	84	462	356	25	242	815	576	129	3,800
高 齢 者 学 習 振 興 事 業														
(例) 明治青年大学 老壮大学 健康づくり教室 介護予防教室 シニアパソコン教室	講座数	4	1	2	3	1	1	2	2	2	1	1	1	21
	回 数	29	10	15	13	10	9	19	12	13	10	9	10	159
	参加者数	3,474	176	491	656	586	399	798	496	586	350	526	413	8,951
地 域 社 会 教 育 推 進 事 業														
(例) 市民センターまつり 地域懇談会 学びのコミュニティ関連事業 地域防災教室 社会学級連携事業 地域(自然・伝統)を知る講座	講座数	17	8	4	5	8	7	5	6	4	6	6	6	82
	回 数	72	20	10	23	37	80	14	22	8	9	21	17	333
	参加者数	7,030	5,313	7,494	4,432	5,847	14,495	4,152	3,185	3,984	2,451	4,357	2,055	64,795
民 間 指 導 者 育 成 事 業														
(例) 各種ボランティア育成講座 各種ボランティア活動支援 ジュニアリーダー育成支援 子ども広場サポーター養成 講座	講座数	8	3	3	4	5	4	2	4	2	3	2	3	43
	回 数	101	11	15	21	27	18	11	18	10	11	11	20	274
	参加者数	2,359	126	358	271	287	173	69	281	212	90	110	130	4,466
合 計		43	19	20	23	20	21	19	18	20	20	19	21	261
		297	75	75	91	98	158	78	68	76	114	92	93	1,304
		16,598	6,333	9,435	6,222	7,810	16,610	5,638	4,632	5,813	4,007	5,853	4,769	93,018

2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は「小計」及び「総計」欄では1事業として計上しています。

(※7)太白区中央市民センターと各地区館の共催による「インリーダー研修会」

泉 区														
泉区 中央	根白石	南光台	黒松	将監	加茂	高森	松陵	寺岡	長命 ヶ丘	松森	桂	南中山	小計	總計
3	1	3	3	0	2	2	2	6	3	2	1	1	29	115
26	9	10	23	0	10	4	3	25	9	8	2	10	139	473
718	122	203	302	0	118	50	61	492	333	272	450	262	3,383	11,843
9	1	4	5	5	1	5	3	3	3	1	3	4	47	201
39	6	11	17	20	3	13	6	7	39	6	9	9	185	878
2,676	200	325	941	824	123	596	170	104	334	64	279	293	6,929	30,670
3	6	5	5	1	4	4	1	5	6	4	7	4	55	221
14	22	11	10	4	12	26	3	16	22	17	23	9	189	1,167
193	361	115	143	91	445	772	63	352	341	258	432	295	3,861	26,425
1	2	1	1	1	2	1	3	1	1	1	2	1	18	85
9	14	11	9	10	11	10	14	10	10	10	13	10	141	729
502	359	480	459	454	242	427	442	566	521	355	590	414	5,811	46,454
16	5	5	3	11	9	8	10	4	4	7	4	5	91	381
65	5	12	11	27	20	18	39	6	5	19	10	30	267	1,370
6,634	1,255	5,086	1,781	3,189	2,583	4,735	3,343	2,117	2,329	3,045	4,964	3,100	44,161	212,436
6	2	4	3	2	3	3	2	1	3	4	4	4	41	172
42	14	15	15	6	19	12	17	10	15	15	16	25	221	1,108
496	54	119	100	78	144	127	90	40	118	110	74	306	1,856	12,632
38	17	22	20	20	21	23	21	20	20	19	21	19	281	1,175
195	70	70	85	67	75	83	82	74	100	75	73	93	1,142	5,725
11,219	2,351	6,328	3,726	4,636	3,655	6,707	4,169	3,671	3,976	4,104	6,789	4,670	66,001	340,460

4 主催事業参加者数推移

(※)2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は表上段の市民センターに計上しています

青 葉 区

(単位:人)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
青葉区中央	10,851	17,225	15,843	15,742	17,946	16,907	
柏 木	2,332	2,705	2,919	2,357	2,160	2,234	
北 山	7,286	5,223	4,053	3,666	249	229	平成21年6月1日～平成23年1月17日 現地建替工事のため休館
福 沢	6,072	5,201	4,306	1,217	2,245	2,430	平成20年6月～平成21年1月 改修工事のため休館
旭 ケ 丘	7,810	10,864	9,237	6,690	5,358	5,956	
三 本 松	2,994	3,165	2,345	2,854	3,007	2,680	
片 平	2,243	2,206	1,798	1,404	1,269	1,929	
水 の 森	6,686	7,434	8,628	7,268	4,909	5,016	
貝 ケ 森	3,704	3,936	4,192	4,253	4,158	5,417	
中 山	1,559	4,838	3,262	2,746	3,618	3,632	
折 立	2,184	2,336	5,051	1,811	2,168	2,437	
広 瀬	9,378	8,863	6,945	6,329	6,376	7,365	
宮 城 西	1,458	3,851	4,124	3,917	3,904	3,075	平成22年8月1日～ 改築工事のため休館
大 沢	3,514	3,680	3,866	3,835	2,932	3,859	
落 合	4,901	4,430	4,880	3,753	3,549	4,286	
吉 成	2,145	2,484	2,309	2,572	2,855	2,756	
木 町 通	1,812	1,498	2,717	3,780	4,164	2,023	
計	76,929	89,939	86,475	74,194	70,867	72,231	

宮 城 野 区

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
中 央	15,347	14,808	18,105	18,577	19,218	17,766	
高 砂	7,696	8,256	6,925	9,418	8,619	13,855	
岩 切	7,028	2,722	5,185	4,225	3,953	4,683	平成18年7月～平成18年12月 改修工事のため休館
鶴 ケ 谷	5,325	5,480	5,275	5,196	4,760	5,420	
榴 ケ 岡	3,208	3,172	3,632	3,942	3,704	4,850	平成22年10月1日～12月31日:耐震工 事等のため一部施設の貸出を停止
東 部	2,584	2,790	2,469	2,348	1,269	2,554	平成21年6月22日～平成22年1月12日 大規模改修工事のため休館
幸 町	6,576	6,009	6,074	4,742	3,995	4,453	
田 子	7,997	6,972	6,801	7,001	6,438	5,554	
福 室	4,116	3,295	3,564	3,675	4,298	4,461	
計	59,877	53,504	58,030	59,124	56,254	63,596	

若 林 区

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
若林区中央	11,880	12,022	12,920	12,585	12,510	11,590	
七 郷	15,749	30,455	33,456	33,712	1,480	16,861	平成21年6月22日～平成22年2月15日 大規模改修工事のため休館
荒 町	4,916	5,624	5,600	4,521	3,934	3,357	平成22年1月11日～平成22年2月1日 建て替えた施設の開館準備のため休館
六 郷	9,165	9,162	10,410	12,088	6,108	931	平成22年4月1日～12月6日 大規模改修工事のため休館
沖 野	8,310	8,253	7,893	8,281	7,436	7,969	
若 林	10,237	7,510	5,415	6,431	5,921	4,906	
計	60,257	73,026	75,694	77,618	37,389	45,614	

太 白 区

(単位:人)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
太白区中央	6,946	8,636	11,683	14,437	15,170	16,526	
生 出	3,909	4,495	4,683	4,864	4,845	6,272	平成17年7月～平成17年12月 改修工事のため休館
中 田	9,948	7,859	15,727	8,047	7,493	9,368	
西 多 賀	9,041	9,283	7,720	6,022	5,876	6,145	
八 本 松	5,656	5,337	6,167	6,736	6,765	7,739	
八 木 山	12,903	11,043	8,451	9,113	14,298	16,536	平成20年10月15日～11月17日:体育館 移転増改築工事のため体育館閉館
山 田	4,895	5,146	5,324	5,946	6,305	5,587	
茂 庭 台	8,071	6,914	3,673	3,935	3,690	4,571	
東 中 田	4,768	5,198	5,958	4,730	4,983	5,792	
柳 生	2,726	3,292	3,323	3,377	3,168	3,931	
秋 保	5,785	5,196	5,009	5,580	5,894	5,853	
富 沢	3,560	3,400	5,443	5,676	4,994	4,698	
計	78,208	75,799	83,161	78,463	83,481	93,018	

泉 区

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
泉区中央	7,031	5,281	5,758	6,817	6,629	11,219	
根 白 石	2,216	2,314	2,040	3,013	2,337	2,351	平成21年11月1日～平成22年2月28日 ホール工事
南 光 台	3,185	3,880	6,875	6,744	6,293	6,328	
黒 松	3,102	3,002	3,980	3,970	2,751	3,726	
将 監	4,041	4,685	3,617	4,402	4,511	4,636	
加 茂	2,651	3,238	2,710	3,582	3,867	3,655	平成23年4月1日～ 大規模改修工事のため休館
高 森	4,610	6,445	6,171	6,426	6,675	6,707	
松 陵	5,116	5,593	5,290	5,823	3,787	4,169	平成20年2月4日～25日 ホール工事
寺 岡	2,932	3,478	3,123	3,176	3,456	3,671	
長 命 ケ 丘	4,317	5,091	5,243	5,842	4,581	3,976	
松 森	2,527	3,036	2,941	3,587	3,538	4,104	
桂	1,711	3,203	4,450	4,943	4,606	6,789	
南 中 山	2,924	2,988	3,154	2,942	3,125	4,670	
計	46,363	52,234	55,352	61,267	56,156	66,001	

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
合 計	321,634	344,502	358,712	350,666	304,147	340,460	

◆平成22年度については、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、3月12日以降年度末まで主催講座等は実施していません。

5 市民センター利用者数推移

青 葉 区

(単位:人)

	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	平 成 22 年 度
青 葉 区 中 央	113,738	112,231	106,840	106,166	106,787	96,397
柏 木	36,974	35,186	36,574	34,987	41,807	31,999
北 山	68,522	60,537	59,625	61,169	5,783	2,595
福 沢	62,675	53,678	60,044	24,527	56,732	47,434
旭 ケ 丘	99,702	108,074	107,529	104,350	94,620	81,680
三 本 松	43,491	36,495	41,562	38,725	37,732	25,579
片 平	81,050	73,009	68,266	69,528	65,556	64,195
水 の 森	79,294	74,976	71,719	81,484	59,188	55,888
貝 ケ 森	73,962	73,128	75,976	61,226	68,075	62,547
中 山	70,275	70,426	73,495	74,276	69,647	59,007
折 立	46,286	50,877	47,879	47,577	49,407	42,172
広 瀬	48,824	49,786	50,025	50,867	52,981	44,983
宮 城 西	17,036	19,871	21,417	21,862	19,044	4,537
大 沢	38,748	41,395	38,829	39,729	40,852	33,228
落 合	61,595	54,516	61,687	50,660	58,183	36,408
吉 成	66,085	65,670	70,804	64,287	59,524	46,819
木 町 通	55,063	66,745	80,384	82,900	76,989	72,566
計	1,063,320	1,046,600	1,072,655	1,014,320	962,907	808,034

※北山:平成21年6月1日～平成23年1月19日 改修工事のため休館

※宮城西:平成22年8月1日から現地建て替え工事のため休館

宮 城 野 区

	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	平 成 22 年 度
中 央	129,544	154,846	149,196	150,888	141,559	155,651
高 砂	79,540	79,295	88,539	87,814	79,911	66,290
岩 切	53,905	23,324	42,519	45,496	41,715	38,458
鶴 ケ 谷	89,937	79,368	70,186	73,304	74,269	60,606
榴 ケ 岡	37,317	34,138	34,717	34,062	38,612	26,494
(榴公園軽体育館)	52,922	45,954	44,514	42,263	40,417	33,306
東 部	52,498	45,943	51,865	49,004	22,108	43,270
幸 町	72,074	73,992	65,659	67,099	67,277	60,539
田 子	96,959	98,258	104,250	101,531	73,619	54,959
福 室	83,752	80,078	83,449	77,669	75,205	67,373
計	748,448	715,196	734,894	729,130	654,692	606,946

若 林 区

	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	平 成 22 年 度
若 林 区 中 央	108,799	102,467	100,156	95,454	93,836	89,473
七 郷	76,813	81,905	101,542	99,106	20,418	57,406
荒 町	55,502	52,829	54,099	51,323	47,397	58,544
六 郷	77,995	87,109	88,122	92,834	91,798	17,761
沖 野	58,372	58,745	62,292	63,150	58,588	54,716
若 林	70,352	86,490	89,755	77,533	59,294	49,980
計	447,833	469,545	495,966	479,400	371,331	327,880

太 白 区

(単位:人)

	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	平 成 22 年 度
太 白 区 中 央	89,691	85,517	89,405	97,917	94,809	92,298
生 出	16,640	21,358	21,570	21,837	23,221	16,623
中 田	61,096	49,907	24,471	54,772	63,880	48,272
西 多 賀	74,321	70,628	62,470	63,758	62,378	54,169
八 本 松	74,631	61,945	60,740	60,584	66,309	44,632
八 木 山	67,212	59,929	51,203	53,112	56,842	46,671
山 田	53,984	45,312	46,019	46,978	56,427	39,849
茂 庭 台	59,859	50,864	48,428	46,490	45,824	42,337
東 中 田	64,487	55,879	62,913	59,932	55,535	49,499
柳 生	65,617	60,254	74,516	71,967	72,217	63,539
秋 保	14,456	15,670	13,169	13,360	13,963	8,288
馬 場	3,417	4,909	4,275	4,761	5,398	3,666
湯 元	5,537	6,367	4,977	7,764	7,590	8,835
富 沢	73,747	77,056	86,900	91,527	80,193	70,340
計	724,695	665,595	651,056	694,759	704,586	589,018

泉 区

	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	平 成 22 年 度
泉 区 中 央	63,618	67,319	68,658	68,294	63,644	57,934
根 白 石	31,508	26,772	29,423	29,095	27,201	21,423
南 光 台	39,085	37,393	36,916	37,617	35,336	29,100
黒 松	61,701	61,889	60,211	61,436	60,247	51,311
将 監	50,352	50,113	53,257	52,581	53,675	37,585
加 茂	47,975	50,926	52,759	51,216	51,683	47,739
高 森	39,515	42,216	42,987	44,156	42,731	34,776
松 陵	37,326	37,658	41,471	46,172	41,876	29,412
寺 岡	56,489	39,625	47,411	38,589	53,229	36,165
長 命 ケ 丘	47,449	48,270	47,052	47,115	48,099	40,850
松 森	44,211	45,673	44,489	48,891	44,973	42,262
桂	76,214	75,010	67,475	66,211	59,586	50,586
南 中 山	50,105	61,327	53,337	54,556	57,504	48,519
計	645,548	644,191	645,446	645,929	639,784	527,662

	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	平 成 22 年 度
合 計	3,629,844	3,541,127	3,600,017	3,563,538	3,333,300	2,859,540

6 仙台市市民センター条例・施行規則

仙台市市民センター条例

平成二年三月一六日
仙台市条例第八号

(設置)

第一条 市民相互の交流と地域活動の振興に資するとともに、市民の文化の向上及び福祉の増進に寄与するため、社会教育法(昭和二十四年法律第二百七号)第二十四条の規定に基づき、市民センター(以下「センター」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第二条 センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
仙台市中央市民センター	仙台市宮城野区榴岡四丁目1番8号
仙台市柏木市民センター	仙台市青葉区柏木三丁目3番1号
仙台市青葉区中央市民センター	仙台市青葉区一番町二丁目1番4号
仙台市生出市民センター	仙台市太白区茂庭字新熊野64番地
仙台市高砂市民センター	仙台市宮城野区高砂一丁目24番地の9
仙台市中田市民センター	仙台市太白区中田四丁目1番5号
仙台市岩切市民センター	仙台市宮城野区岩切字三所南88番地の2
仙台市七郷市民センター	仙台市若林区荒井字掘添65番地の5
仙台市広瀬市民センター	仙台市青葉区下愛子字観音堂5番地
仙台市宮城西市民センター	仙台市青葉区熊ヶ根字石積47番地
仙台市秋保市民センター	仙台市太白区秋保町長袋字大原百6番地の2
仙台市馬場市民センター	仙台市太白区秋保町馬場字竹林45番地の1
仙台市湯元市民センター	仙台市太白区秋保町湯元字湯向東31番地
仙台市泉区中央市民センター	仙台市泉区市名坂字東裏53番地の1
仙台市根白石市民センター	仙台市泉区根白石字杉下前24番地
仙台市南光台市民センター	仙台市泉区南光台七丁目1番3号
仙台市黒松市民センター	仙台市泉区黒松一丁目33番40号
仙台市将監市民センター	仙台市泉区将監八丁目2番1号
仙台市加茂市民センター	仙台市泉区加茂四丁目2番地
仙台市鶴ヶ谷市民センター	仙台市宮城野区鶴ヶ谷八丁目9番地の1
仙台市榴ヶ岡市民センター	仙台市宮城野区五輪一丁目4番22号、五輪一丁目3番1号
仙台市東部市民センター	仙台市宮城野区平成一丁目3番27号
仙台市荒町市民センター	仙台市若林区荒町86番地の2
仙台市北山市民センター	仙台市青葉区新坂町8番4号

仙台市若林区中央市民センター	仙台市若林区南小泉一丁目1番1号、保寿院前丁3番地の4
仙台市西多賀市民センター	仙台市太白区西多賀三丁目6番8号
仙台市六郷市民センター	仙台市若林区今泉一丁目3番19号
仙台市福沢市民センター	仙台市青葉区福沢町9番9号
仙台市八本松市民センター	仙台市太白区八本松二丁目4番20号
仙台市旭ヶ丘市民センター	仙台市青葉区旭ヶ丘三丁目2番15号
仙台市八木山市民センター	仙台市太白区八木山本町一丁目43番地
仙台市三本松市民センター	仙台市青葉区堤町三丁目203番1号
仙台市山田市民センター	仙台市太白区山田北前町13番1号
仙台市茂庭台市民センター	仙台市太白区茂庭台四丁目1番10号
仙台市片平市民センター	仙台市青葉区米ヶ袋一丁目1番35号
仙台市東中田市民センター	仙台市太白区四郎丸字吹上51番地
仙台市高森市民センター	仙台市泉区高森六丁目1番地の2
仙台市松陵市民センター	仙台市泉区松陵五丁目20番地の2
仙台市大沢市民センター	仙台市青葉区芋沢字要害65番地
仙台市水の森市民センター	仙台市青葉区水の森四丁目1番1号
仙台市若林市民センター	仙台市若林区若林三丁目15番20号
仙台市沖野市民センター	仙台市若林区沖野七丁目34番43号
仙台市寺岡市民センター	仙台市泉区寺岡二丁目14番地の4
仙台市貝ヶ森市民センター	仙台市青葉区貝ヶ森一丁目4番6号
仙台市幸町市民センター	仙台市宮城野区幸町三丁目13番13号
仙台市長命ヶ丘市民センター	仙台市泉区長命ヶ丘二丁目14番地の15
仙台市落合市民センター	仙台市青葉区落合二丁目15番15号
仙台市中山市民センター	仙台市青葉区中山三丁目13番1号
仙台市折立市民センター	仙台市青葉区折立三丁目20番1号
仙台市吉成市民センター	仙台市青葉区国見ヶ丘二丁目2番地の1
仙台市柳生市民センター	仙台市太白区柳生七丁目20番地の7
仙台市太白区中央市民センター	仙台市太白区長町五丁目3番2号
仙台市田子市民センター	仙台市宮城野区田子二丁目4番25号
仙台市松森市民センター	仙台市泉区松森字城前9番地の2
仙台市富沢市民センター	仙台市太白区富沢南一丁目18番地の10
仙台市桂市民センター	仙台市泉区桂三丁目19番地の1
仙台市福室市民センター	仙台市宮城野区福室五丁目9番36号
仙台市南中山市民センター	仙台市泉区南中山二丁目204番地の12
仙台市木町通市民センター	仙台市青葉区木町通一丁目7番36号

(使用の許可)

第三条 センターを使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 センターの管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 前二号に掲げるもののほか、教育委員会が不適当と認めるとき

(使用料)

第四条 センターの使用料は、別表に定めるとおりとする。

- 2 使用料は、前条第一項の許可の際、納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

(使用料の額の特例)

第四条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第三条第一項の許可を受けた者(以下「使用者」という。))につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき(使用料が既納の場合を除く。))は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

- 一 天災その他自己の責めによらない事由によりセンターを使用できないとき
- 二 市長が別に定める期間内にセンターの使用の取りやめを申し出たとき

(使用料の返還)

第五条 既納の使用料は、返還しない。ただし、使用者につき前条各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(使用料の減免)

第六条 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(目的外使用の禁止)

第七条 使用者は、許可を受けた目的以外にセンターを使用してはならない。

(使用権の譲渡等の禁止)

第八条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(使用許可の取消し等)

第九条 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第三条第一項の許可を取り消し、又はセンターの使用を制限し、若しくは停止することができる。

- 一 使用者がこの条例又は使用の許可の際に付された条

件に違反したとき

- 二 第三条第二項各号の一に該当することとなったとき

(指定管理者)

第十条 教育委員会は、センターの管理運営上必要と認めるときは、地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。))にセンターの管理を行わせることができる。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第十一条 前条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

- 一 第三条第一項の許可に関する業務
- 二 センターの事業として教育委員会がセンターごとに定める事業に関する業務
- 三 センターの維持管理に関する業務
- 四 前三号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

- 2 前項の場合における第三条及び第九条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(指定管理者が行う管理の基準)

第十二条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則の定めるところに従い、適正にセンターの管理を行わなければならない。

(審議会)

第十三条 社会教育法第二十九条第一項の規定に基づき、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として、仙台市公民館運営審議会(以下「審議会」という。))を設置する。

- 2 審議会の委員の定数は、十七人以内とする。
- 3 審議会の委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 前二項に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

(委任)

第十四条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附 則 省 略

別表(第四条関係)

一 会議室等の使用料

(一) 専用使用する場合

使用区分		金額	
仙台市中央市民センター	会議室	一時間につき	500円
	第一セミナー室(A)	一時間につき	500円
	第一セミナー室(B)	一時間につき	500円
	第一セミナー室(C)	一時間につき	500円
	第二セミナー室	一時間につき	800円
	和室	一時間につき	700円
	第一音楽室	一時間につき	900円
	第二音楽室	一時間につき	900円
	創作室(1)	一時間につき	700円
	創作室(2)	一時間につき	700円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,800円
		夜間	4,200円
	トレーニング室	一時間につき	700円
	ミーティング室	一時間につき	300円
仙台市柏木市民センター	会議室	一時間につき	800円
	和室(1)	一時間につき	300円
	和室(2)	一時間につき	300円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市青葉区中央市民センター	第一会議室	一時間につき	700円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	500円
	第四会議室	一時間につき	700円
	第五会議室	一時間につき	500円
	和室	一時間につき	700円
	調理実習室	一時間につき	800円
	音楽室	一時間につき	800円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,300円
		夜間	4,000円
	小ホール(1)	一時間につき	800円
	小ホール(2)	一時間につき	700円
仙台市生出市民センター	第一講義室	一時間につき	500円
	第二講義室	一時間につき	300円
	和室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	600円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市高砂市民センター	第一会議室	一時間につき	500円
	第二会議室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	800円
	和室(1)	一時間につき	700円
	和室(2)	一時間につき	300円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
	講義室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	800円
仙台市中田市民センター	第一研修室	一時間につき	700円
	第二研修室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	500円
	視聴覚室	一時間につき	600円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市岩切市民センター	講義室	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	800円
	第一研修室	一時間につき	700円
	第二研修室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	500円
	視聴覚室	一時間につき	600円
	創作室	一時間につき	300円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市七郷市民センター	会議室	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	800円
	第一研修室	一時間につき	700円
	第二研修室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	300円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	300円
	視聴覚室	一時間につき	800円
	創作室	一時間につき	500円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円

仙台市広瀬市民センター	会議室	一時間につき	500円
	セミナー室(A)	一時間につき	500円
	セミナー室(B)	一時間につき	500円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	300円
	創作室	一時間につき	500円
仙台市宮城西市民センター	会議室(1)	一時間につき	300円
	会議室(2)	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	600円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	300円
	体育館	午前	1,500円
		午後	1,500円
		夜間	2,100円
仙台市秋保市民センター	研修室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	600円
	和室	一時間につき	700円
	茶室	一時間につき	300円
	視聴覚室	一時間につき	600円
	会議室	一時間につき	500円
	体育館	午前	1,600円
		午後	2,100円
		夜間	2,500円
仙台市馬場市民センター	会議室	一時間につき	300円
	講義室	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	400円
	体育館	午前	1,600円
		午後	2,100円
		夜間	2,500円
仙台市湯元市民センター	会議室	一時間につき	300円
	講義室	一時間につき	300円
	視聴覚室	一時間につき	400円
	調理実習室	一時間につき	400円
	和室	一時間につき	500円
	集会室	午前	2,500円
		午後	3,300円
		夜間	4,000円
仙台市泉区中央市民センター	第一会議室	一時間につき	800円
	第二会議室	一時間につき	300円
	第三会議室	一時間につき	300円
	研修室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	700円

仙台市泉区中央市民センター	和室(2)	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	800円
	音楽室	一時間につき	600円
	創作室	一時間につき	700円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市根白石市民センター	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
	工作室	一時間につき	500円
	大会議室	一時間につき	800円
	小会議室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	800円
	和室	一時間につき	700円
仙台市南光宮市民センター	会議室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	900円
	集会室	午前	2,200円
		午後	2,800円
		夜間	3,300円
	第一研修室	一時間につき	500円
	第二研修室	一時間につき	500円
	第三研修室	一時間につき	300円
	第四研修室	一時間につき	500円
	第五研修室	一時間につき	300円
	和室	一時間につき	300円
仙台市黒松市民センター	第一研修室	一時間につき	500円
	第二研修室	一時間につき	700円
	和室	一時間につき	700円
	多目的室	一時間につき	700円
	調理実習室	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市将監市民センター	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	500円
	第一研修室	一時間につき	500円
	第二研修室	一時間につき	500円
	第三研修室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	800円

仙台市加茂市民センター	調理実習室	一時間につき	800円
	和室	一時間につき	500円
	研修室	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,200円
		午後	2,800円
		夜間	3,300円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市鶴ヶ谷市民センター	第一会議室	一時間につき	700円
	第二会議室	一時間につき	500円
	第三会議室	一時間につき	500円
	和室	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	600円
	遊技室	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,400円
		午後	3,100円
		夜間	3,700円
仙台市榴ヶ岡市民センター	第一会議室	一時間につき	700円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	500円
	第四会議室	一時間につき	800円
	第五会議室	一時間につき	700円
	和室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	600円
仙台市東部市民センター	会議室	一時間につき	500円
	和室(1)	一時間につき	300円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	700円
	調理実習室	一時間につき	600円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市荒町市民センター	第一会議室	一時間につき	300円
	第二会議室	一時間につき	300円
	第三会議室	一時間につき	800円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市北山市民センター	第一会議室	一時間につき	800円
	第二会議室	一時間につき	300円
	第三会議室	一時間につき	800円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	500円
	和室(4)	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	600円
	トレーニング室	一時間につき	600円
仙台市若林区中央市民センター	第一会議室	一時間につき	500円
	第二会議室	一時間につき	500円
	第三会議室	一時間につき	800円
	和室(1)	一時間につき	300円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	300円
	和室(4)	一時間につき	500円
	和室(5)	一時間につき	500円
	セミナー室(A)	一時間につき	500円
	セミナー室(B)	一時間につき	500円
	創作室	一時間につき	700円
	調理実習室	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市西多賀市民センター	第一会議室	一時間につき	300円
	第二会議室	一時間につき	500円
	和室(1)	一時間につき	700円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市六郷市民センター	第一会議室	一時間につき	500円
	第二会議室	一時間につき	300円
	第三会議室	一時間につき	300円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	600円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円

仙台市福沢市民センター	第一会議室	一時間につき	500円
	第二会議室	一時間につき	800円
	第三会議室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	300円
	視聴覚室	一時間につき	600円
	調理実習室	一時間につき	600円
	体育館	午前	2,100円
仙台市八本松市民センター	体育館	午後	2,600円
		夜間	3,100円
	会議室	一時間につき	300円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	800円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	800円
	和室(3)	一時間につき	800円
	和室(4)	一時間につき	800円
仙台市旭ヶ丘市民センター	第一会議室	一時間につき	900円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	700円
	展示ホール(1)	一時間につき	800円
	展示ホール(2)	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,300円
		夜間	4,000円
	小ホール	一時間につき	700円
仙台市八木山市民センター	会議室兼調理実習室	一時間につき	800円
	会議室	一時間につき	500円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	500円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
	和室(3)	一時間につき	500円
	和室(4)	一時間につき	500円
仙台市三本松市民センター	第一会議室	一時間につき	900円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	700円
	展示ホール(1)	一時間につき	800円
	展示ホール(2)	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,300円
		夜間	4,000円
	小ホール	一時間につき	700円
仙台市山田市民センター	第一会議室	一時間につき	900円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	700円
	展示ホール(1)	一時間につき	800円
	展示ホール(2)	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,300円
		夜間	4,000円
	小ホール	一時間につき	700円
仙台市茂庭台市民センター	第一会議室	一時間につき	900円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	700円
	展示ホール(1)	一時間につき	800円
	展示ホール(2)	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,300円
		夜間	4,000円
	小ホール	一時間につき	700円
仙台市片平市民センター	第一会議室	一時間につき	900円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	700円
	展示ホール(1)	一時間につき	800円
	展示ホール(2)	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,300円
		夜間	4,000円
	小ホール	一時間につき	700円
仙台市東中田市民センター	第一会議室	一時間につき	900円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	700円
	展示ホール(1)	一時間につき	800円
	展示ホール(2)	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,300円
		夜間	4,000円
	小ホール	一時間につき	700円
仙台市高森市民センター	第一会議室	一時間につき	900円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	700円
	展示ホール(1)	一時間につき	800円
	展示ホール(2)	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,300円
		夜間	4,000円
	小ホール	一時間につき	700円
仙台市松陵市民センター	第一会議室	一時間につき	900円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	700円
	展示ホール(1)	一時間につき	800円
	展示ホール(2)	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,300円
		夜間	4,000円
	小ホール	一時間につき	700円

仙台市松陵市民センター	和室	一時間につき	700円
	工作室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市大沢市民センター	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	700円
	和室(2)	一時間につき	300円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市水の森市民センター	会議室	一時間につき	700円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	700円
	和室(2)	一時間につき	500円
	和室(3)	一時間につき	500円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市若林市民センター	会議室	一時間につき	800円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市沖野市民センター	会議室	一時間につき	700円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	300円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市寺岡市民センター	第一研修室	一時間につき	500円
	第二研修室	一時間につき	500円
	第三研修室	一時間につき	500円
	和室	一時間につき	500円
	トレーニング室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円

仙台市貝ヶ森市民センター	会議室	一時間につき	800円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市幸町市民センター	会議室	一時間につき	700円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市長命ヶ丘市民センター	会議室	一時間につき	800円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	800円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市落合市民センター	会議室兼調理実習室	一時間につき	800円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市中山市民センター	会議室	一時間につき	700円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市折立市民センター	会議室	一時間につき	800円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	300円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市吉成市民センター	会議室	一時間につき	800円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	500円

備考	
一	使用時間は、午前9時から午後9時までとする。
二	「午前」とは午前9時から正午までを、「午後」とは午後1時から午後4時30分までを、「夜間」とは午後5時30分から午後9時までをいう。
三	その使用に係る時間に1時間に満たない端数があるときは、これを1時間に切り上げる。
四	1時間ごとの使用料を定めた使用区分において、第一号の使用時間以外の時間に使用する場合における使用料は、この表に定める額とする。
五	前号の使用区分以外使用区分において、次のイからハまでに掲げる使用時間に係る使用料は、それぞれイからハまでに掲げる額とする。
イ	午前9時から午後4時30分まで 午前の項及び午後の項に定める額の合計額
ロ	午後1時から午後9時まで 午後の項及び夜間の項に定める額の合計額
ハ	午前9時から午後9時まで 午前の項、午後の項及び夜間の項に定める額の合計額
六	前号の使用区分において、第一号に定める使用時間以外の時間に使用する場合(前号の場合を除く。)における使用料は、その使用が午前9時以前又は正午から午後1時までのときは午前の項に、午後4時30分から午後5時30分までのときは午後の項に、午後九時以降のときは夜間の項にそれぞれ定める額を時間割りして計算した額とする。
七	使用者が対価の支払を受けて展示会その他の催しを行う場合その他これに類する場合の使用料は、この表に定める額の三倍以内において市長が定める。
八	会議室兼調理実習室を会議のために区分して使用する場合の使用料は、この表に定める額に0.7を乗じて得た額とする。

二 仙台市榴ヶ岡市民センター榴岡公園軽体育館の使用料

(一) 専用使用する場合

使用区分		金額	
ミーティングルーム(1)	一時間につき		800円
ミーティングルーム(2)	一時間につき		500円
和室(1)	一時間につき		300円
和室(2)	一時間につき		300円
体育館	午前		2,100円
	午後		2,600円
	夜間		3,100円
備考 一(一)の表の備考第一号から第六号までの規定は、この表の場合について準用する。			

(二) 個人使用する場合

使用区分		金額	
体育館	一般	一回につき	200円
	小学生・中学生	一回につき	100円

(二) 個人使用する場合

使用区分		金額	
体育館・ホール・仙台市中央市民センター及び仙台市北山市民センターのトレーニング室	一般	一回につき	200円
	小学生・中学生	一回につき	100円
仙台市寺岡市民センターのトレーニング室		一回につき	200円

仙台市市民センター条例施行規則

平成二年三月二九日
仙台市教育委員会規則第五号

(趣旨)

第一条 この規則は、仙台市市民センター条例（平成二年仙台市条例第八号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用時間)

第二条 市民センター(以下「センター」という。)の施設の使用時間は、午前九時から午後九時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、同項に規定するセンターの施設の使用時間を変更することができる。

(休館日)

第三条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は休館することができる。

一 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和二十三年法律第七十八号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)

二 休日の翌日(日曜日又は休日に当たる場合は、その直後の日曜日又は休日でない日)

三 十二月二十八日から翌年の一月四日までの日(前二号に掲げる日を除く。)

(使用許可の手続)

第四条 条例第三条第一項の許可(以下「使用許可」という。)を受けようとする者は、使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定による使用申込書の提出は、次に定めるところにより行わなければならない。ただし、教育委員会が特に必要と認める場合は、この限りでない。

一 センターの施設を専用使用しようとする場合には、使用しようとする日(以下「使用日」という。)の属する月の二月前の月の十日から使用日までの期間内に行うこと

二 センターの施設を個人使用しようとする場合には、使用日に行うこと

3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認

書を交付するものとする。

4 センターの施設の使用許可に係る手続(センターの施設を個人使用しようとする場合の使用許可に係る手続を除く。)については、前三項の規定にかかわらず、市民利用施設予約システム(仙台市民利用施設予約システムの運用及び利用者登録等に関する規則(平成十五年仙台市規則第八十七号)第二条第二号に規定するものをいう。)を利用する方法により行うことができる。

第四条の二 条例第三条第二項第三号に規定する教育委員会が不相当と認めるときは、次の各号に掲げる場合とする。

一 センターの施設において物品又は権利の販売又は宣伝(次項において「物品販売等」という。)を行おうとする場合

二 その他センターの設置目的に照らして教育委員会が不相当と認める場合

2 教育委員会は、前項第一号の規定にかかわらず、センターの設置目的に照らして適当と認める場合は、センターの施設において物品販売等を行おうとする者に対し、使用許可をすることができる。この場合において、物品販売等を行おうとする者は、教育委員会が必要と認める書類を教育委員会に提出しなければならない。

(市長が必要と認めるときの使用料の納期限)

第五条 条例第四条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

一 使用料を口座振替の方法により納入する場合
使用許可を受けた日の属する月の翌月末日

二 区長が特別な事由があると認める場合
区長が定める日

(市長が必要と認めるときの使用料の額の特例)

第六条 使用許可を受けた者(以下「使用者」という。)が条例第四条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

2 条例第四条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規定にか

かわらず、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

一 使用許可を受けた日から使用日の七日前の日までの期間 零

二 使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間 条例第四条第一項の規定による使用料(条例第六条の規定により使用料を減免した場合にあっては、当該減免後の使用料)の額

3 使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、センターの施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。

(使用料の返還)

第七条 使用者が条例第四条の二第一号に該当すると区長が認める場合において、条例第五条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。

2 使用者が条例第四条の二第二号に該当すると区長が認める場合において、条例第五条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、前条第二項第一号に掲げる期間においては、既納の使用料の全額とする。

3 使用料の返還を受けようとする者は、還付請求書を区長に提出しなければならない。ただし、区長が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(指定管理者に管理を行わせる場合における規定の適用)

第八条 条例第十条の規定により指定管理者(地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)にセンターの管理を行わせる場合における第四条の規定の適用については、同条中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(審議会)

第九条 仙台市公民館運営審議会(以下「審議会」という。)は、次に掲げる事務を所掌する。

一 中央市民センター長から諮問のあったことについて、審議すること

二 センターにおける各種の事業について、調査研究すること

三 センターにおける各種の事業について、評価

すること

四 その他審議会が必要と認める事項について、審議等を行うこと

2 審議会に会長及び副会長一人を置く。

3 会長及び副会長は、それぞれ委員が互選する。

4 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十条 会長は、審議会の会議を招集し、その議長となる。

2 審議会の会議は、二月ごとに一回開くものとする。ただし、会長が必要と認めたときは、臨時に開くことができる。

3 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

4 審議会の会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十一条 審議会の庶務は、中央市民センターにおいて処理する。

第十二条 前三条に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

(実施細目)

第十三条 この規則の実施細目は、教育長が定める。

附 則 省 略

平成 2 2 年度 仙台市市民センター事業概要

平成 23 年 9 月 発行

編集・発行 仙台市教育局中央市民センター
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡四丁目 1 番 8 号
(パルシティ仙台ビル内)
電話 022 (295) 0403
FAX 022 (295) 0810